

平成30年度

## 向洋中学校トイレ改修工事

# 公開数量内訳書

### <取扱上の注意事項>

- 1 本内訳書に記載されている数量は参考数量であり、本内訳書は工事請負契約書に記載される設計図書には含まれない。
- 2 公開数量は、設計変更や出来高計算等の対象数量となるものではない。
- 3 公開数量は、公共建築工事積算基準及び公共建築数量積算基準及び公共建築設備数量積算基準の最新版に準拠している。
- 4 本内訳書に疑義があるときは、公開数量に関する質問書に入札参加予定者が自ら作成した内訳及びその根拠（部位別及び階別の集計表）を明示した数量見積書を添付して質問することができる。（細目は、工事担当に問い合わせのこと。）

七ヶ浜町

(数量公開用)



積算総括表

工事名	平成30年度向洋中学校トイレ改修工事		
工事費	金 額 円(消費税を含む)		
工事日数			
項目	名称	金額 (円)	摘要
A	直接工事費		
B	共通仮設費		
C	純工事費		
D	現場管理費		
E	工事原価		
F	一般管理費等		
G	同上(契約保証費)		
H	工事価格合計		
	改め		
	消費税等相当額		
	総合計		

# 共 通 費

主たる工事の種別	工事種目	直接工事費(A)	共通仮設費(B)			純工事費(C)	
			共通仮設費率	補正率	共通仮設費		
建築工事（改修）	一般工事						
	鉄骨工事						
	その他工事	家具・書架等 造園装 舗装し 取壊し その他					
	共通仮設費(積上分)						
	現場管理費(積上分)						
	小計						
	発生材処分費						
	合計						
	工事種目			現場管理費(D)			工事原価(E)
				現場管理費率	補正率	現場管理費	
	一般工事						
	鉄骨工事						
	その他工事	家具・書架等 造園装 舗装し 取壊し その他					
	共通仮設費(積上分)						
	現場管理費(積上分)						
小計							
発生材処分費							
合計							

工事番号 七教第19-198号  
 工事名称 平成30年度向洋中学校トイレ改修工事  
 発注者 七ヶ浜町

工 期 \_\_\_\_\_  
 監督員事務所の有無 \_\_\_\_\_ 無し \_\_\_\_\_  
 前払金支出割合による一般管理費の補正 \_\_\_\_\_  
 前払い金支出割合 \_\_\_\_\_  
 契約保証費の有無 \_\_\_\_\_ 有り \_\_\_\_\_  
 消費税 率 \_\_\_\_\_

一般管理費等(F)		
一般管理費等率	補正率	一般管理費
契約保証費(G)		
工事価格(H)=(E)+(F)+(G) (税抜き)		
	改め	
消費税相当額		
工事価格(税込み)		
	(税込み)	

































名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
14	雑工事						
	洗面カウンター	人造大理石 t30 W1700xD450xH800x3ヶ所	2.1	m			
	便所 洗面カウンター	人造大理石 t30 W1800xD450xH800x4ヶ所	7.2	m			
	便所 洗面カウンター	人造大理石 t30 W1840xD450xH800x3ヶ所	5.5	m			
	ライニング甲板	人造大理石 W150xt30	28.6	m			
	ライニング甲板	人造大理石 W300xt30	13.0	m			
	化粧鏡(南側職員)	耐食鏡 t5 300x450	2.0	か所			
	洗面 化粧鏡(北側男子)	耐湿鏡 t5 W1700xH900 SUS枠付	3.0	か所			
	洗面 化粧鏡(南側男女)	耐湿鏡 t5 W1800xH900 SUS枠付	4.0	か所			
	洗面 化粧鏡(北側女子)	耐湿鏡 t5 W1840xH900 SUS枠付	3.0	か所			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
15	撤去工事						
	床 コンクリート撤去	鉄筋切断共,ブレーカー	3.0	m3			
	床 同上カッター入れ	t120 コンクリート面	117.0	m			
	壁 コンクリート撤去	t120 鉄筋切断共,ブレーカー	0.7	m3			
	壁 同上カッター入れ	t120 コンクリート面	11.6	m			
	床既存スラブ 目荒し		15.9	m2			
	ランニング コンクリートブロック撤去	t100 コンクリートブレーカー	5.0	m3			
	壁 コンクリートブロック撤去	t100 コンクリートブレーカー	8.1	m3			
	床 ビニル床シート張撤去	t2.0 集積共	169.0	m2			
	床 モルタル撤去	t30 集積共	23.6	m2			
	床 同上カッター入れ	集積共	117	m			
	床 汚垂石撤去	人造石研出し 集積共	12.4	m2			
	床 同上カッター入れ	汚垂石(人研ぎ) t70 モルタル面同等	21.1	m			
	木製巾木撤去	H75 集積共	3.7	m			
	壁 ビニル床シート張撤去	t2.0 H75 集積共 巾木準用	173.0	m			
	壁 モルタル撤去	集積共 壁モルタル	65.4	m2			
	ランニング壁 タイル張撤去	下地モルタル共 集積共	51.4	m2			
	天井 フレキシブルボード張撤去	t5 集積共	188.0	m2			
	軽鉄天井下地	19形 集積共	188.0	m2			
	天井点検口撤去	アルミ製 450角 集積共	8.0	か所			
	化粧鏡撤去	W300xH400	14.0	か所			
	ライニング甲板撤去	木製 W150xt30	0.9	m			
	ライニング甲板撤去	テラゾーブロック W150xt30	34.8	m			
	ライニング甲板撤去	テラゾーブロック W300xt30	8.9	m			
	洋便器用手摺撤去	ハネ上げ式 (H1870)	2.0	か所			
	トイレブース撤去	メラミン化粧合板 t40	146.0	m2			
	木製建具撤去	W1745xH2000 障子のみ	1.0	か所			
	木製建具撤去	W1745xH2000 枠共	1.0	か所			
	木製建具撤去	W1880xH2000 障子のみ	3.0	か所			
	木製建具撤去	W800xH2000 障子のみ	10.0	か所			
	ガラス撤去	t4 集積共	3.6	m2			

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名称	摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
アルミ建具撤去	W800xH1100障子のみ	18.2	m2			
ガラス撤去	t5.0 集積共	18.2	m2			
撤去機械運転	(コンクリートカッター)	3	日			
撤去機械運転	(空気圧縮機)	3	日			
発生材積込	コンクリート(有筋)	3.7	m3			
発生材積込	木くず	1.1	m3			
発生材積込	混合廃棄物 (CB・タイル・モルタル等)	24.3	m3			
発生材積込	金属類	7.7	m3			
発生材運搬	コンクリート(有筋)	3.7	m3			
発生材運搬	木くず	1.1	m3			
発生材運搬	混合廃棄物 (CB・タイル・モルタル等)	24.3	m3			
発生材運搬	金属類	7.7	m3			
小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(中科目別内訳)

名 称	中科目名称	数 量	単 位	金 額	備 考
				(円)	
B-II 校舎棟廊下工事					
直接工事費					
1 直接仮設工事		1.0	式		
2 木工事		1.0	式		
3 金属工事		1.0	式		
4 左官工事		1.0	式		
5 塗装工事		1.0	式		
6 内装工事		2.0	式		
7 雑工事		1.0	式		
8 撤去工事		1.0	式		
(合計)					

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
B-II-1	校舎棟廊下工事						
1	直接仮設工事						
	脚立足場	H4.0未満 複合改修	40.2	m2			
	養生	複合改修	40.2	m2			
	整理清掃後片付け	複合改修	40.2	m2			
	仮設間仕切	LGS+石膏ボードt9.5(片面)	141.0	m2			
	仮設間仕切扉	木製:片開フラッシュ扉	5.0	か所			
	小計						

名称		摘要	数量	単位	単価	金額	備考
					(円)	(円)	
2	木工事						
	木製巾木	H75	65.3	m			
	壁ガラスブロック窓塞ぎ ボート取付用押縁	木製 15x15	30.9	m			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
3 金属工事						
下り壁 軽量鉄骨天井下地	W19 ジフトーン用 H200 下り壁	11.4	m			
軽量鉄骨天井下地	W19 ジフトーン用 インサート別途	40.2	m <sup>2</sup>			
天井開口補強	天井点検口	5.0	か所			
天井点検口	アルミ製 450x450 額縁タイプ	5.0	か所			
小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
4	左官工事						
	建具廻りモルタル詰		6.2	m			
	小計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
5	塗装工事					
	EP塗	22.9	m2			ボート面 壁 工程B下地調整RB新規
	EP塗替	49.8	m2			既存コンクリート面 壁 下地調整RB種共
	SOP塗	65.3	m			木部 巾木 H75 系尺82
	SOP塗	30.9	m			木部 ボート押縁 系尺30
	ガラスブロック窓 SOP塗替	30.9	m			既存木部 ガラスブロック窓額縁 系尺55 下地調整RB種共
	小計					

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
6	内装工事						
	床 ビニル床シート張	t2.0 既存モルタル下地調整共	25.5	m2			
	下り壁 化粧石膏ボード張	t9.5 H200 下り壁見切縁	11.4	m			
	下り壁 コーナー見切	塩ビ製	11.4	m			
	天井 化粧石膏ボード張	t9.5	40.2	m2			
	天井廻縁	塩ビ製	40.7	m			
	壁ガラスブロック窓塞ぎ 強化石膏ボード張	t15 (固定用押縁:木工事)	11.5	m2			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
				(円)	(円)	
7 雑工事						
廊下 掃除用具入れ	W630xD500xH1800	10.0	か所			
廊下 手洗い流し	W2600xD620xH760	3.0	か所			
廊下 手洗い流し	W2700xD620xH760	2.0	か所			
手洗い流し 化粧鏡	耐湿鏡 t5 W1850xH900 SUS枠付	3.0	か所			
手洗い流し 化粧鏡	耐湿鏡 t5 W2000xH900 SUS枠付	2.0	か所			
便所 ピタサイン	300x300 壁付	10.0	か所			
小計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
8 撤去工事						
床 ビニル床シート張撤去	t2.0 集積共	25.5	m2			
木製巾木	H75 集積共	37.4	m			
天井 化粧石膏ボード張撤去	t9.0 集積共	42.5	m2			
軽鉄天井下地	19形 集積共	42.5	m2			
手洗い流し撤去	W2830xD620xH760	2.0	か所			
手洗い流し撤去	W2680xD620xH760	3.0	か所			
化粧鏡撤去	W1850xH900 枠付 壁面	3.0	か所			
化粧鏡撤去	W2000xH900 枠付 壁面	2.0	か所			
室名札撤去	W300xH100 壁付	6.0	か所			
室名札撤去	W300xH300 壁付	4.0	か所			
発生材積込	木くず	0.3	m3			
発生材積込	混在廃棄物 (化粧石膏ボード・プラスチック等)	6.9	m3			
発生材積込	金属類	1.7	m3			
発生材運搬	木くず	0.3	m3			
発生材運搬	混在廃棄物 (化粧石膏ボード・プラスチック等)	6.9	m3			
発生材運搬	金属類(LGS)	1.7	m3			
小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(中科目別内訳)

名 称	中科目名称	数 量	単 位	金 額	備 考
				(円)	
B-III 屋内運動場トイレ改修工事					
直接工事費					
1 直接仮設工事		1.0	式		
2 コンクリート工事		1.0	式		
3 型枠工事		1.0	式		
4 鉄筋工事		1.0	式		
5 防水工事		1.0	式		
6 タイル工事		2.0	式		
7 金属工事		1.0	式		
8 左官工事		1.0	式		
9 木製建具工事		1.0	式		
10 硝子工事		1.0	式		
11 塗装工事		1.0	式		
12 内装工事		1.0	式		
13 雑工事		1.0	式		
14 撤去工事		1.0	式		
(合計)					

名称		摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
B-Ⅲ-1	屋内運動場トイレ改修工事						
1	直接仮設工事						
	墨出し	複合改修	24.4	m2			
	脚立足場	H4.0未満 複合改修	24.4	m2			
	養生	複合改修	24.4	m2			
	整理清掃後片付け	複合改修	24.4	m2			
	資材運搬用通路床養生	複合改修	21.7	m2			
	資材運搬用通路床 整理清掃後片付け	搬出入路部分	387.0	m2			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
2	コンクリート工事						
	床スラブ 鉄筋コンクリート	Fc21N/mm2 SL18	0.4	m3			
	床スラブ 同上打設手間		0.4	m3			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名称		摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
3	型枠工事						
	床スラブ 普通型枠		2.8	m2			
	床スラブ 運搬		2.8	m2			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
4	鉄筋工事						
	床スラブ 異形鉄筋	SD295A D10	77.6	kg			
	床スラブ 鉄筋運搬		74.6	kg			
	床スラブ 鉄筋加工組立		74.6	kg			
	床スラブ 鉄筋継手	フレア溶接 10d 異形鉄筋:D10+D10	200.0	か所			
小計							

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
5	防水工事						
	ラインゲ甲板取合シーリング	10x10 シリコン系	6.1	m			
	汚垂石取合シーリング	10x10 ポリウレタン系	6.0	m			
	小計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
6	トイレ工事					
	床 汚垂石	W2400xD600xt5.0 (1.44m2) (TOTO:ハイポートセラミックPU)	1.0	か所		
	小計					

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
7	金属工事						
	ライニング壁 軽鉄間仕切下地	W65 @450	6.5	m2			
	天井 軽量鉄骨天井下地	W19 シフトーン用 インサート別途	24.4	m2			
	壁 メタルラス	(スタイロフォーム面)	10.8	m2			
	小計						

名称	摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
8	左官工事					
	床 モルタル金鏝	(張物下地)	2.8	m2		
	床 モルタル塗	(汚垂石下地) t25	2.2	m2		
	壁 モルタル金鏝	t30 ラスコすり共	10.8	m2		
	ライニング壁 複層仕上塗材E	(ホ-ト面)下地調整C-1種	0.8	m2		
	壁 複層仕上塗材E	(モルタル面)下地調整C-1種	10.3	m2		
	壁 複層仕上塗材E替	(既存コンクリ-ト面)下地調整RB種共 下地調整C-1種	45.5	m2		
	小計					

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
9	木製建具工事						
	木製建具						
	WD-1	W800xH2000 (障子のみ) 片開フラッシュドア	2.0	か所			
	トイレブース						
	TB-1	L9000xH1900 片開き扉 W600x3か所	1.0	か所			
	TB-2	L4720xH1900 片開き扉 W600x2か所	1.0	か所			
	TB-3	L1780xH1900 両開き扉 W900x1か所	1.0	か所			
	トイレブース施工費		1	式			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
10	硝子工事						
	型板ガラス	t4.0 2.18m2以下 シーリング・清掃共	0.3	m2			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
11	塗装工事						
	SOP塗替	既存木部 WD-1枠 系尺270 下地調整RB種共	9.6	m			
	SOP塗替	既存木部 サッシ額縁 系尺170 下地調整RB種共	8.6	m			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
12	内装工事						
	床 ビニル床シート張	t2.0 多湿部,熱溶接	2.8	m <sup>2</sup>			
	床 ビニル床シート張	t2.0 既存モルタル下地調整共	21.6	m <sup>2</sup>			
	ビニル巾木	H100	25.6	m			
	ライニング壁 フレキシブルボード張	(仕上塗材面) t6 下地シーリングボード t12.5共	4.6	m <sup>2</sup>			
	壁 スタイロフォーム張	t20	10.8	m <sup>2</sup>			
	天井 化粧石膏ボード張	t9.5	24.4	m <sup>2</sup>			
	天井廻縁	塩ビ製	29.2	m			
	小計						

名称		摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
13	雑工事						
	便所 洗面カウンター	人造大理石 t30 W1340xD430xH800	1.3	m			
	便所 洗面カウンター	人造大理石 t30 W2400xD430xH800	2.4	m			
	便所 ライニング甲板	人造大理石 W150xt30	6.1	m			
	洗面 化粧鏡	耐湿鏡 t5 W1340xH900 SUS枠付	1.0	か所			
	洗面 化粧鏡	耐湿鏡 t5 W2400xH900 SUS枠付	1.0	か所			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
14	撤去工事						
	床 コンクリート撤去	鉄筋切断共,フレーカー	0.4	m3			
	床 同上カッター入れ	t150 コンクリート面	15.0	m			
	床既存スラブ 目荒し	壁 コンクリートフレーカー	2.3	m2			
	ランニング コンクリートブロック撤去	t100	0.7	m3			
	ランニング壁 タイル張撤去	下地モルタル共 集積共	6.9	m2			
	ラインング甲板撤去	テラゾーブロック W150xt30 集積共	6.1	m			
	床 汚垂石撤去	人造石研出し 集積共	1.6	m2			
	床 同上カッター入れ	汚垂石(人研ぎ) t70 モルタル面同等	2.8	m			
	床 モルタル撤去	t30 集積共	2.8	m2			
	床 同上カッター入れ	集積共	15	m			
	壁 モルタル撤去	t30 集積共 壁モルタル	10.8	m2			
	床 ビニル床シート張撤去	t2.0 集積共	23.8	m2			
	巾木 ビニル床シート張撤去	t2.0 H75 集積共 巾木準用	24.5	m			
	壁 スタイロフォーム撤去	t20 集積共	10.8	m2			
	天井 フレキシブルボード張撤去	t5 集積共	23.7	m2			
	天井 軽鉄天井下地	19形 集積共	23.7	m2			
	壁 ラス撤去	(スタイルフォーム面)集積共	10.8	m2			
	化粧鏡撤去	W300xH400	4.0	か所			
	木製建具撤去	W800xH2000 障子のみ	2.0	か所			
	トイレブース撤去	(H1870) マリン化粧合板 t40	20.8	m2			
	ガラス撤去	t4 集積共	0.2	m2			
	撤去機械運転	(コンクリートカッター)	1.0	日			
	撤去機械運転	(空気圧縮機)	1.00	日			
	発生材積込	コンクリート(有筋)	0.4	m3			
	発生材積込	木くず	0.1	m3			
	発生材積込	混合廃棄物(CB・タイル・モルタル)	2.2	m3			
	発生材積込	金属類(LGS)	1.00	m3			
	発生材運搬	コンクリート(有筋)	0.4	m3			
	発生材運搬	木くず	0.1	m3			
	発生材運搬	混合廃棄物(CB・タイル・モルタル)	2.2	m3			

名称	摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
発生材運搬	金属類(LGS)	1.00	m3			
小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(中科目別内訳)

名 称	中科目名称	数 量	単 位	金 額	備 考
				(円)	
B-IV 柔道場トイレ改修工事					
直接工事費					
1 直接仮設工事		1.0	式		
2 コンクリート工事		1.0	式		
3 型枠工事		1.0	式		
4 鉄筋工事		1.0	式		
5 防水工事		1.0	式		
6 タイル工事		2.0	式		
7 金属工事		1.0	式		
8 左官工事		1.0	式		
9 木製建具工事		1.0	式		
10 硝子工事		1.0	式		
11 塗装工事		1.0	式		
12 内装工事		1.0	式		
13 雑工事		1.0	式		
14 撤去工事		1.0	式		
(合計)					

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名称	摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
B-IV-1	柔剣道場トイレ改修工事					
1	直接仮設工事					
	墨出し	15.2	m2			複合改修
	脚立足場	15.2	m2			H4.0未満 複合改修
	養生	15.2	m2			複合改修
	整理清掃後片付け	15.2	m2			複合改修
	資材運搬用通路床養生	27.9	m2			複合改修
	資材運搬用通路床 整理清掃後片付け	27.9	m2			搬出入路部分
小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
2	コンクリート工事						
	床スラブ 鉄筋コンクリート	Fc21N/mm2 SL18	0.3	m3			
	床スラブ 同上打設手間		0.3	m3			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
3	型枠工事						
	床スラブ 普通型枠		1.7	m2			
	床スラブ 運搬		1.7	m2			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
4	鉄筋工事						
	床スラブ 異形鉄筋	SD295A D10	46.6	kg			
	床スラブ 鉄筋加工組立		44.8	kg			
	床スラブ 鉄筋運搬		44.8	kg			
	床スラブ 鉄筋継手	フレア溶接 10d 異形鉄筋:D10+D10	120.0	か所			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
5	防水工事						
	ラインゲ甲板取合シーリング*	10x10 シリコン系	1.9	m			
	汚垂石取合シーリング*	10x10 ポリウレタン系	4.0	m			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
6	トイレ工事						
	床 汚垂石	W1400xD600xt5 (0.84㎡) ハイロセラ 既存下地モルタル調整共	1.0	か所			
	小計						

7	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
	金属工事						
	ライニング壁 軽鉄間仕切下地	W65 @450	1.7	m2			
	壁 軽鉄間仕切下地	W65 @450 下地張りあり	22.2	m2			
	天井 軽量鉄骨天井下地	W19 ジフトーン用 インサート別途	15.2	m2			
	天井 天井点検口	アルミ製 450x450 額縁タイプ	1.0	か所			
	天井 天井開口補強	天井点検口	1.0	か所			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
8	左官工事						
	床 モルタル金鍍	(張物下地)	2.3	m2			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
9	木製建具工事						
	木製建具						
	WD-1	W800xH2000 (障子のみ) 片開フラッシュドア	2.0	か所			
	トイレブース						
	TB-1	L4260xH1900 片開き扉 W600x2か所	1.0	か所			
	TB-2	L1880xH1900 片開き扉 W600x1か所	1.0	か所			
	TB-3	L1160xH1900 片開き扉 W300x1か所	1.0	か所			
	TB-4	L1160xH1900 片開き扉 W300x1か所	1.0	か所			
	仕切板 TB-5	L640xH1900 巾木:ステンレス	1.0	か所			
	トイレブース施工費		1	式			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
10	硝子工事						
	型板ガラス	t4.0 φ300 2か所 シーリング・清掃共	0.1	m <sup>2</sup>			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
11	塗装工事						
	SOP塗替	既存木部 WD-1枠 糸尺175 下地調整RB種共	9.6	m			
	SOP塗替	既存木部 サッシ額縁 糸尺135 下地調整RB種共	14.0	m			
	小計						

名称	摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
12 内装工事						
床 ビニル床シート張	t2.0 多湿部,熱溶接	2.3	m2			
床 ビニル床シート張	t2.0 既存モルタル下地調整共	12.1	m2			
ビニル巾木	H100	21.8	m			
ラインク壁 化粧けい酸カルシウム板張	t6.0下地シーリング石膏ボード t12.5共	1.9	m2			
壁 化粧けい酸カルシウム板張	t6.0下地シーリング石膏ボード t12.5共	48.4	m2			
天井 化粧石膏ボード張	t9.5	15.2	m2			
天井廻縁	塩ビ製	23.4	m			
小計						

名称		摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
13	雑工事						
	便所 洗面カウンター	人造大理石 t30 W950xD430xH800	1.0	m			
	ライニング甲板	人造大理石 W150xt30	1.9	m			
	洗面 化粧鏡	耐湿鏡 t5 W950xH900 SUS枠付	2.0	か所			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
14	撤去工事						
	床 コンクリート撤去	鉄筋切断共,ブレーカー	0.3	m3			
	床 同上カッター入れ	t150 コンクリート面	9.0	m			
	床既存スラブ 目荒し	壁	1.4	m2			
	ライニング コンクリートブロック撤去	t100 コンクリートブレーカー	0.2	m3			
	壁 コンクリートブロック撤去	t150 コンクリートブレーカー	1.7	m3			
	床 モルタル撤去	t30 集積共	1.7	m2			
	床 同上カッター入れ	集積共	9	m			
	ライニング壁 タイル張撤去	下地モルタル共 集積共	1.6	m2			
	壁 タイル張撤去	(撤去フレキシブルボード面) 下地モルタル共 集積共	64.3	m2			
	ライニング甲板撤去	テラゾーブロック W150xt30 集積共	1.3	m			
	軽鉄天井下地	19形 集積共	14.8	m2			
	床 ビニル床シート張撤去	t2.0 集積共	14.8	m2			
	壁 フレキシブルボード張撤去	t12 集積共	49.5	m2			
	天井 石綿セメント板張撤去	t4 集積共	14.8	m2			
	手洗いカウンター撤去	W1450xD510	2.0	か所			
	木製建具撤去	W800xH2000 障子のみ	2.0	か所			
	トイレブース撤去	(H1870) メラミン化粧合板 t40	13.1	m2			
	化粧鏡撤去	W1350xH900	2.0	か所			
	撤去機械運転	(コンクリートカッタ)	1.0	日			
	撤去機械運転	(空気圧縮機)	1.00	日			
	発生材積込	コンクリート(有筋)	0.3	m3			
	発生材積込	木くず	0.1	m3			
	発生材積込	混合廃棄物(CB・タイル・モルタル)	3.5	m3			
	発生材積込	金属類(LGS)	0.60	m3			
	発生材運搬	コンクリート(有筋)	0.3	m3			
	発生材運搬	木くず	0.1	m3			
	発生材積込	混合廃棄物(CB・タイル・モルタル)	3.5	m3			
	発生材運搬	金属類(LGS)	0.60	m3			

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
小計							

名 称		中科目名称	数 量	単 位	金 額	備 考
					(円)	
B-V	柔剣道場玄関改修工事					
	直接工事費					
1	タイル工事		1.0	式		
2	左官工事		1.0	式		
3	撤去工事		1.0	式		
(合計)						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
B-V-1	柔剣道場玄関改修工事						
1	タイル工事						
	玄関床 150角磁器質タイル張		4.6	m <sup>2</sup>			
	玄関階段 150角磁器質タイル張		16.6	m <sup>2</sup>			
	玄関階段 段鼻タイル張	垂れ付	27.5	m			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
2	左官工事						
	モルタル塗	(タイル下地)	26.0	m <sup>2</sup>			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
3	撤去工事						
	玄関床・階段 タイル張撤去	下地モルタル共 集積共	26.0	m2			
	発生材積込	混合廃棄物(タイル・モルタル等)	0.8	m3			
	発生材運搬	混合廃棄物(タイル・モルタル等)	0.8	m3			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(中科目別内訳)

名 称	中科目名称	数 量	単 位	金 額	備 考
				(円)	
B-VI プール棟トイレ改修工事					
直接工事費					
1 直接仮設工事		1.0	式		
2 コンクリート工事		1.0	式		
3 型枠工事		1.0	式		
4 鉄筋工事		1.0	式		
5 防水工事		1.0	式		
6 タイル工事		2.0	式		
7 金属工事		1.0	式		
8 左官工事		1.0	式		
9 木製建具工事		1.0	式		
10 塗装工事		1.0	式		
11 内装工事		1.0	式		
12 雑工事		1.0	式		
13 撤去工事		1.0	式		
(合計)					

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
B-VI-1	プール棟トイレ改修工事						
1	直接仮設工事						
	墨出し	複合改修	29.9	m <sup>2</sup>			
	脚立足場	H4.0未満 複合改修	29.9	m <sup>2</sup>			
	養生	複合改修	29.9	m <sup>2</sup>			
	整理清掃後片付け	複合改修	29.9	m <sup>2</sup>			
	資材運搬用通路床養生		52.3	m <sup>2</sup>			
	資材運搬用通路床 整理清掃後片付け	搬出入路部分	52.3	m <sup>2</sup>			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
2	コンクリート工事						
	床スラブ 鉄筋コンクリート	Fc21N/mm2 SL18	0.4	m3			
	床スラブ 同上打設手間		0.4	m3			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
3	型枠工事						
	床スラブ 普通型枠		3.4	m2			
	床スラブ 型枠運搬		3.4	m2			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
4	鉄筋工事						
	床スラブ 異形鉄筋	SD295A D10	46.6	kg			
	床スラブ 鉄筋加工組立		44.8	kg			
	床スラブ 鉄筋運搬		44.8	kg			
	床スラブ 鉄筋継手	フレア溶接 10d 異形鉄筋:D10+D10	120.0	か所			
	小計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
5	防水工事					
	ライニング甲板取合シーリング	10x10	シリコン系	7.9 m		
	汚垂石取合シーリング	10x10	ポリウレタン系	9.2 m		
	小計					

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
6	トイレ工事						
	床汚垂石	W1600xD600xt5.0 (0.96m2) (TOTO:ハイテックセラミックPU)	1.0	か所			
	床汚垂石	W1810xD600xt5.0 (1.09m2) (TOTO:ハイテックセラミックPU)	1.0	か所			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
7	金属工事						
	フニシング壁 軽鉄間仕切下地	W65 @450	9.7	m <sup>2</sup>			
	壁 軽鉄間仕切下地	W65 @450	5.1	m <sup>2</sup>			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
8	左官工事						
	床 コンクリート金鋳	(塗床材下地)	3.4	m2			
	モルタル塗	(汚垂石下地) t25	2.1	m2			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
9	木製建具工事						
	トイレブース						
	TB-1	L4810xH1900 片開き扉 W600x2か所	1.0	か所			
	TB-2	L1010xH1900 片開き扉 W600x1か所	1.0	か所			
	TB-3	L1070xH1900 片開き扉 W400x1か所	1.0	か所			
	TB-4	L1190xH1900 片開き扉 W600x1か所	1.0	か所			
	TB-5	L3745xH1900 片開き扉 W600x2か所	1.0	か所			
	トイレブース施工費			1 式			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
10	塗装工事						
	天井 VP塗替	ボート面 下地調整RB種共	8.8	m2			
	壁 AEP塗	ボート面	13.1	m2			
	天井 AEP塗替	ボート面 下地調整RB種共	4.2	m2			
	壁 AEP塗替	既存コンクリート面 下地調整RB種共	148.0	m2			
	小計						



名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
12	雑工事						
	ライニング甲板	人造大理石 W150xt30	5.7	m			
	ライニング甲板	人造大理石 W150~230xt30	2.2	m			
	洗面化粧鏡	耐食鏡 t5 300x450	5.0	か所			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名称	摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
13	撤去工事					
床 コンクリート撤去	鉄筋切断共、ブレーカー	0.5	m3			
床 同上カッター入れ	t150 コンクリート面	18.0	m			
床既存スラブ 目荒し		2.3	m2			
ライニング コンクリートブロック撤去	t100 コンクリートブレーカー	1.0	m3			
壁 コンクリートブロック撤去	t100 コンクリートブレーカー	0.5	m3			
ライニング壁 タイル張撤去	下地モルタル共 集積共	10.0	m2			
壁 タイル張撤去	下地モルタル共 集積共	4.8	m2			
床 塗床撤去		29.9	m2			
巾木 塗床撤去	H100	48.2	m			
ライニング甲板撤去	木製 W150～230xt25 集積共	1.5	m			
ライニング甲板撤去	木製 W150xt25 集積共	6.5	m			
トイレベース撤去	(H1870) メラミン化粧合板 t40	17.0	m2			
撤去機械運転	(コンクリートカッター)	1	日			
撤去機械運転	(空気圧縮機)	1	日			
発生材積込	コンクリート(有筋)	0.5	m3			
発生材積込	木くず	0.04	m3			
発生材積込	混合廃棄物(CB・タイル・モルタル)	2.7	m3			
発生材運搬	コンクリート(有筋)	0.5	m3			
発生材運搬	木くず	0.04	m3			
発生材運搬	混合廃棄物(CB・タイル・モルタル)	2.7	m3			
小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
C-I	発生材処分費						
	<校舎棟トイレ改修工事>						
	発生材処分	コンクリート(有筋)	5.5	t	5,500	30,250	宮城県土木単価表
	発生材処分	木くず	0.6	t	21,000	12,600	宮城県土木単価表
	発生材処分	混合廃棄物 (CB・タイル・モルタル等)	35.8	t	18,000	644,400	宮城県土木単価表
	発生材処分	金属類	0.9	t	18,000	16,200	宮城県土木単価表
	<校舎棟廊下工事>						
	発生材処分	木くず(巾木)	0.2	t	21,000	4,200	宮城県土木単価表
	発生材処分	混合廃棄物 (プラスチック・ガラス等)	10.2	t	18,000	183,600	宮城県土木単価表
	発生材処分	金属類	0.2	t	18,000	3,600	宮城県土木単価表
	<屋内運動場トイレ改修工事>						
	発生材処分	コンクリート(有筋)	0.6	t	5,500	3,300	宮城県土木単価表
	発生材処分	木くず(木製建具)	0.1	t	21,000	2,100	宮城県土木単価表
	発生材処分	混合廃棄物(CB・タイル・モルタル等)	3.3	t	18,000	59,400	宮城県土木単価表
	発生材処分	金属類(LGS)	0.1	t	18,000	1,800	宮城県土木単価表
	<柔剣道場トイレ改修工事>						
	発生材処分	コンクリート(有筋)	0.4	t	5,500	2,200	宮城県土木単価表
	発生材処分	木くず(木製建具)	0.1	t	21,000	2,100	宮城県土木単価表
	発生材処分	混合廃棄物(CB・タイル・モルタル等)	5.2	t	18,000	93,600	宮城県土木単価表
	発生材処分	金属類(LGS)	0.1	t	18,000	1,800	宮城県土木単価表
	<柔剣道場玄関改修工事>						
	発生材処分	混合廃棄物(タイル・モルタル)	1.2	t	18,000	21,600	宮城県土木単価表
	<プール棟トイレ改修工事>						
	発生材処分	コンクリート(有筋)	0.7	t	5,500	3,850	宮城県土木単価表
	発生材処分	混合廃棄物 (CB・タイル・モルタル等)	4.0	t	18,000	72,000	宮城県土木単価表
	小計					1,158,600	



名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
I 【トイレ改修工事】						
I-A 校舎棟トイレ改修工事						
	(電灯・コンセント設備)					
EM-IE	3.5° 管内	5.0	m			
EM-EEF	1.6 - 3C 管内	1.0	m			
EM-EEF	1.6 - 3C ビット・天井	164.0	m			
EM-EEF	1.6 - 3C PF管内	14.0	m			
EM-EEF	2.0 - 2C 管内	14.0	m			
EM-EEF	2.0 - 2C ビット・天井	105.0	m			
EM-EEF	2.0 - 3C 管内	84.0	m			
EM-EEF	2.0 - 3C ビット・天井	225.0	m			
EM-EEF	2.0 - 3C PF管内	19.0	m			
EM-CE	8° - 3C 管内	3.0	m			
電線管	(PF22) 隠蔽	19.0	m			
電線管	(MMA) 露出	85.0	m			
電線管	(MMB) 露出	9.0	m			
アウトレットボックス	樹脂製	36.0	個			
スイッチボックス	(MMA用)	39.0	個			
ジョイントボックス	(MMB用)	5.0	個			
コーナーボックス	(MMA用)	39.0	個			
コーナーボックス	(MMB用)	5.0	個			
埋込スイッチ	1P15A×1+1P15A(L)×1 金属プレート	13.0	個			
埋込コンセント	2P15A×1(接地端子) 金属プレート	45.0	個			
露出コンセント	2P15A×1(接地端子)	1.0	個			
ノズルプレート	金属製	12.0	個			
照明器具 A1	LSS9-3200LM	13.0	台			
照明器具 A2	LSS9-4900LM	3.0	台			
照明器具 D1	LRS1-400LM-1	6.0	台			
照明器具 D2	LRS1-850LM	45.0	台			
1L-2-1盤	主MCB3P 40A 岐ELB2P 20×4	1.0	面			

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
ブレーカー	(ELCB 2P 50/20AT)	9.0	個			
換気扇接続		15.0	ヶ所			
パネルヒーター接続		12.0	ヶ所			
壁貫通	50φ	24.0	ヶ所			
壁ハツリ	W50×D50	1.0	m			
撤去 電線管	(MMA) 露出	2.0	m			
撤去 VVF	1.6 - 2C ビット・天井	59.0	m			
撤去 VVF	1.6 - 2C PF管内	29.0	m			
撤去 VVF	1.6 - 3C ビット・天井	48.0	m			
撤去 VVF	2.0 - 3C 管内	2.0	m			
撤去 VVF	2.0 - 3C ビット・天井	3.0	m			
撤去 埋込スイッチ	1P15A×2+PL 金属プレート	12.0	個			
撤去 埋込コンセント	2P15A×1 金属プレート	1.0	個			
撤去 ノスルプレート		12.0	個			
撤去 露出ボックス	MMA用	1.0	個			
撤去 照明器具	FSS9-321 露出型	22.0	台			
撤去 MCCB1P 50/20A		7.0	個			
収集運搬費	3t	1.0	回			
(小計)						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
(弱電設備)						
EM-AE	0.9 - 2C 管内	4.0	m			
EM-AE	0.9 - 2C ビット・天井	7.0	m			
EM-AE	0.9 - 3C 管内	1.0	m			
EM-AE	0.9 - 3C ビット・天井	5.0	m			
EM-AE	0.9 - 3C PF管内	7.0	m			
電線管	(PF16) 隠蔽	7.0	m			
電線管	(MMA) 露出	3.0	m			
スイッチボックス	(MMA用)	1.0	個			
コーナーボックス	(MMA用)	2.0	個			
3個用スイッチボックス	(MMA用)	1.0	個			
表示器		1.0	個			
表示灯		1.0	個			
呼出ボタン	(ひも付)	2.0	個			
電源アダプター		1.0	個			
樹脂板		1.0	枚			
壁貫通 50φ		1.0	ヶ所			
(小計)						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
(自火報設備)						
EM-AE	0.9 - 2C ヒット・天井	20.0	m			
アウトレットボックス	樹脂製	1.0	個			
定温式スポット型感知器	1種 露出防水型	9.0	個			
壁貫通	50φ	3.0	ヶ所			
撤去 AE	0.9 - 2C PF管内	19.0	m			
撤去 感知器	(定温式)	9.0	個			
(小計)						
(合計)						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
I-B	屋内運動場トイレ改修工事					
	(電灯・コンセント設備)					
EM-EEF	1.6 - 3C 管内	2.0	m			
EM-EEF	1.6 - 3C ヒット・天井	18.0	m			
EM-EEF	2.0 - 3C 管内	14.0	m			
EM-EEF	2.0 - 3C ヒット・天井	28.0	m			
電線管	(MMB) 露出	2.0	m			
電線管	(MMA) 露出	11.0	m			
アウトレットボックス	樹脂製	4.0	個			
スイッチボックス	(MMA用)	5.0	個			
埋込スイッチ	1P15A×1+1P15A(L)×1 金属プレート	2.0	個			
埋込コンセント	2P15A×1(接地端子) 金属プレート	5.0	個			
ノズルプレート	金属製	2.0	個			
コーナーボックス	(MMA用)	5.0	個			
ジョイントボックス	(MMB用)	1.0	個			
コーナーボックス	(MMB用)	1.0	個			
照明器具 A1	LSS9-3200LM	4.0	台			
照明器具 A3	LSS9-1550LM-2	1.0	台			
照明器具 D1	LRS1-400LM-1	1.0	台			
ブレーカー	ELCB1P 50/20AT	2.0	個			
換気扇接続		2.0	ヶ所			
パネルヒーター接続		2.0	ヶ所			
壁貫通	50φ	3.0	ヶ所			
壁ハツリ	W50×D50	1.0	m			

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
撤去 電線管	(19) 隠蔽	12.0	m			
撤去 IV	1.6 管内	54.0	m			
撤去 埋込スイッチ	1P15A×2+PL 金属プレート	2.0	個			
撤去 ノズルプレート		2.0	個			
撤去 MCCB1P 50/20A		2.0	個			
撤去 照明器具	FSS9-321 露出型	4.0	台			
(小計)						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
(自火報設備)						
EM-AE	0.9 - 2C ヒット・天井	4.0	m			
定温式スポット型感知器	1種 露出防水型	2.0	個			
撤去 AE	0.9 - 2C 管内	4.0	m			
撤去 電線管	(19) 隠蔽	4.0	m			
撤去 感知器	(定温式)	2.0	個			
(小計)						
(合計)						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
I-C	柔剣道場トイレ改修工事					
	(電灯・コンセント設備)					
	EM-EEF	1.6 - 3C ビット・天井	22.0	m		
	EM-EEF	1.6 - 3C PF管内	2.0	m		
	EM-EEF	2.0 - 3C 管内	3.0	m		
	EM-EEF	2.0 - 3C ビット・天井	18.0	m		
	EM-EEF	2.0 - 3C PF管内	18.0	m		
	電線管	(PF22) 隠蔽	20.0	m		
	電線管	(MMB) 露出	2.0	m		
	アウトレットボックス	樹脂製	8.0	個		
	埋込スイッチ	1P15A×1+1P15A(L)×1 金属プレート	1.0	個		
	埋込コンセント	2P15A×1(接地端子) 金属プレート	3.0	個		
	ノズルプレート	金属製	2.0	個		
	ジョイントボックス	(MMB用)	1.0	個		
	コーナーボックス	(MMB用)	1.0	個		
	照明器具 D1	LRS1-400LM-1	2.0	台		
	照明器具 D2	LRS1-850LM	8.0	台		
	ブレーカー	ELCB1P 50/20AT	1.0	個		
	換気扇接続		2.0	ヶ所		
	パネルヒーター接続		2.0	ヶ所		
	壁ハツリ	W50×D50	1.0	m		

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
撤去 電線管	(19) 隠蔽	19.0	m			
撤去 IV	1.6 管内	48.0	m			
撤去 IV	2.0 管内	38.0	m			
撤去 埋込スイッチ	1P15A×3+PL 金属プレート	2.0	個			
撤去 ノズルプレート		2.0	個			
撤去 位置ボックス		6.0	個			
撤去 照明器具	FSS9-321	2.0	台			
撤去 照明器具	FL32W-1 壁付露出型 アクリルカバー付	2.0	台			
撤去 MCCB1P 50/20A		1.0	個			
(小計)						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
(自火報設備)						
EM-AE	0.9 - 2C ヒット・天井	2.0	m			
定温式スポット型感知器	1種 露出防水型	2.0	個			
差動式スポット型感知器	2種 露出型	1.0	個			
撤去 AE	0.9 - 2C 管内	2.0	m			
撤去 電線管	(19) 隠蔽	2.0	m			
撤去 感知器	(定温式)	2.0	個			
撤去 感知器	(差動式)	1.0	個			
(小計)						
(合計)						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
I-D プールトイレ改修工事						
(電灯・コンセント設備)						
EM-IE	1.6 PF管内	44.0	m			
埋込スイッチ	1P15A×1+1P15A(L)×1 防雨プレート	2.0	個			
埋込コンセント	2P15A×1(接地端子) 金属プレート	2.0	個			
カバープレート	金属製	1.0	個			
照明器具 A1WP	LSS9MP/RP-3000LM	2.0	台			
照明器具 A2WP	LSS9MP/RP-6450LM	1.0	台			
撤去 IV	1.6 PF管内	51.0	m			
撤去 埋込スイッチ	1P15A×2+PL 金属プレート	2.0	個			
撤去 埋込コンセント	2P15A×1 金属プレート	2.0	個			
撤去 照明器具	FSS9-321 露出型	2.0	台			
撤去 照明器具	FL32W-1 壁付露出型 アクリルカバー付	2.0	台			
(合計)						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
I-E プール外トイレ改修工事						
(電灯・コンセント設備)						
EM-IE	1.6 PF管内	57.0	m			
埋込スイッチ	1P15A×1+1P15A(L)×1 金属プレート	2.0	個			
埋込コンセント	2P15A×1(接地端子) 金属プレート	2.0	個			
照明器具 A1	LSS9-3200LM	1.0	台			
照明器具 B1	LBF3MP/RP-2000LM	1.0	台			
照明器具 B2	LBF3MP/RP-650LM-2	1.0	台			
照明器具 C1	LBS5-2400LM	1.0	台			
撤去 IV	1.6 PF管内	60.0	m			
撤去 埋込スイッチ	1P15A×2+PL 金属プレート	2.0	個			
撤去 埋込コンセント	2P15A×1 金属プレート	2.0	個			
撤去 照明器具	FSS9-321 露出型	1.0	台			
撤去 照明器具	FBS5-321 露出型(方反射)	1.0	台			
撤去 照明器具	FL32W-1 壁付露出型 アクリルカバー付	1.0	台			
撤去 照明器具	FL20W-1 壁付露出型 アクリルカバー付	1.0	台			
(合計)						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
Ⅱ 【その他工事】						
Ⅱ-A 校舎棟その他改修工事						
(電灯・コンセント設備)						
EM-EEF	1.6 - 3C ビット・天井	6.0	m			
EM-EEF	1.6 - 3C PF管内	3.0	m			
埋込スイッチ	1P15A×1 金属プレート	3.0	個			
照明器具 B1	LBF3MP/RP-2000LM	6.0	台			
撤去 VVF	1.6 - 3C ビット・天井	6.0	m			
撤去 VVF	1.6 - 3C PF内	3.0	m			
撤去 埋込スイッチ	1P15A×1 金属プレート	3.0	個			
撤去 照明器具	FL32W-1 壁付露出型 アクリルカバー付	6.0	台			
収集運搬費		1	回			
(小計)						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
(弱電設備)						
EM-HP	1.2 - 3C 管内	1.0	m			
EM-HP	1.2 - 3C ビット・天井	50.0	m			
電線管	(MMA) 露出	1.0	m			
天井埋込型スピーカ	ATT付 (SC4i-V3)	5.0	個			
壁貫通	50φ	3.0	ヶ所			
取外し再取付	天井埋込型スピーカ	3.0	個			
取外し再取付	両面露出型スピーカ	2.0	個			
(小計)						
(合計)						



名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
Ⅲ【処分費】						
処分費						
(産業廃棄物処分費)						
発生材処分費	混合廃棄物	1.0	式			
(合計)					0	

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(科目別内訳書)

項 目	名 称	金 額 (円)	摘 要
E	機械設備工事費		
I	校舎棟トイレ改修工事		
II	校舎棟廊下工事		
III	屋内運動場トイレ改修工事		
IV	柔剣道場トイレ改修工事		
V	プール棟トイレ改修工事		
	計		
VI	発生材処分費		
	(合計)		

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(中科目別内訳)

名 称	中科目名称	数 量	単 位	金 額	備 考
				(円)	
E-I 校舎棟トイレ改修工事					
直接工事費					
I-1 (校舎棟 南)					
1-1 空調設備工事		1.0	式		
1-2 換気設備工事		1.0	式		
1-3 衛生器具設備工事		1.0	式		
1-4 給水設備工事		1.0	式		
1-5 排水設備工事		1.0	式		
1-6 撤去工事		1.0	式		
(小計)					
I-2 (校舎棟 北)					
2-1 空調設備工事		1.0	式		
2-2 換気設備工事		1.0	式		
2-3 衛生器具設備工事		1.0	式		
2-4 給水設備工事		1.0	式		
2-5 排水設備工事		1.0	式		
2-6 撤去工事		1.0	式		
(小計)					
(合計)					

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
E-I	校舎棟トイレ改修工事						
	直接工事費						
	(校舎棟 南)						
1-1	空調設備工事						
	PH-1 パネルヒーター	ステンレス製 壁掛け サーモ スイッチカバー 保護ガード	6.0	台			
	小計						







平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名称	摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
1-5 排水設備工事						
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	40A 機械室・便所	10.0	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	50A 機械室・便所	19.0	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	65A 機械室・便所	10.0	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	75A 機械室・便所	29.0	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	100A 機械室・便所	20.0	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	40A 機械室・便所	9.0	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	50A 機械室・便所	13.0	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	75A 機械室・便所	30.0	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	100A 機械室・便所	21.0	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	40A 機械室・便所	11.0	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	50A 機械室・便所	25.0	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	65A 機械室・便所	9.0	m			
床上掃除口(非防水形)	50A	2.0	個			
床上掃除口(非防水形)	65A	2.0	個			
床上掃除口(非防水形)	80A	5.0	個			
床上掃除口(非防水形)	100A	10.0	個			
通気用ベントキャップ	100φ	1.0	個			
排水管 配管接続費		1.0	式			
排水管 はつり補修費		1.0	式			
小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
1-6	撤去工事					
	PH-01 パネルヒーター 撤去	壁掛け 0.5kW	6.0	台		
	EF-01 天井埋込換気扇 撤去	500m3/h	2.0	台		
	EF-02 天井埋込換気扇 撤去	380m3/h	4.0	台		
	EF-03 天井埋込換気扇 撤去	260m3/h	2.0	台		
	スパイラルダクト 撤去	150φ	24.0	m		
	洋風大便器 撤去	FV式 洗浄便座	1.0	組		
	洋風大便器 撤去	FV式 普通便座	4.0	組		
	和風大便器 撤去	FV式	13.0	組		
	小便器 撤去	床置き FV式	10.0	組		
	壁掛け洗面器 撤去	単水栓	10.0	組		
	掃除用流し 撤去		2.0	組		
	給水管 撤去	VB20A 機械室・便所	24.0	m		
	給水管 撤去	VB25A 機械室・便所	48.0	m		
	給水管 撤去	VB32A 機械室・便所	10.0	m		
	給水管 撤去	VB40A 機械室・便所	19.0	m		
	給水管 撤去	VB50A 機械室・便所	6.0	m		
	給水管 撤去	VB65A 機械室・便所	2.0	m		
	給水管 撤去	VB80A 機械室・便所	2.0	m		
	給水管保温 撤去		1.0	式		
	排水管 撤去	LP 50A 機械室・便所	15.0	m		
	排水管 撤去	LP 65A 機械室・便所	4.0	m		
	排水管 撤去	LP 75A 機械室・便所	27.0	m		
	排水管 撤去	CIP 75A 機械室・便所	9.0	m		
	排水管 撤去	CIP 100A 機械室・便所	29.0	m		
	排水管 撤去	SGP 40A 機械室・便所	24.0	m		
	排水管 撤去	SGP 50A 機械室・便所	28.0	m		
	排水管 撤去	SGP 65A 機械室・便所	20.0	m		
	排水管 撤去	SGP 80A 機械室・便所	14.0	m		



平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
	(校舎棟 北)						
2-1	空調設備工事						
	PH-1 パネルヒーター	ステンレス製 壁掛け サーモ スイッチカバー 保護ガード	6.0	台			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
2-2	換気設備工事						
	EF-01 天井埋込換気扇	低騒音 150*500m3/h*100Pa	6.0	台			
	スパイラルダケ	150φ	7.0	m			
	スパイラルダケ 保温		1.0	式			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名称		摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
2-3	衛生器具設備工事						
	洋風大便器	FV式 暖房便座 紙巻器	16.0	組			
	洋風大便器	FV式(低圧損) 暖房便座 紙巻器	8.0	組			
	小便器	壁掛け 大形 押釦FV式	12.0	組			
	カウンター洗面器	はめ込み角形 単水栓 水石鹸入れ	12.0	組			
	小計						

名称	摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
2-4 給水設備工事						
給水・一般配管用ステンレス鋼管 改修	20SU 拡管式 機械室・便所	31.0	m			
給水・一般配管用ステンレス鋼管 改修	25SU 拡管式 機械室・便所	52.0	m			
給水・一般配管用ステンレス鋼管 改修	40SU 拡管式 機械室・便所	22.0	m			
給水・一般配管用ステンレス鋼管 改修	50SU 拡管式 機械室・便所	17.0	m			
給水・一般配管用ステンレス鋼管 改修	60SU 拡管式 機械室・便所	2.0	m			
給水管 保温工事		1.0	式			
給水管 配管接続費		1.0	式			
給水管 はつり補修費		1.0	式			
水質検査費		1.0	回			
小計						



平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
2-6	撤去工事						
	PH-01 パネルヒーター 撤去	壁掛け 0.5kW	6.0	台			
	EF-01 天井埋込換気扇 撤去	500m3/h	6.0	台			
	スパイラルダクト 撤去	150φ	7.0	m			
	洋風大便器 撤去	FV式 普通便座	6.0	組			
	和風大便器 撤去	FV式	18.0	組			
	小便器 撤去	床置き FV式	12.0	組			
	壁掛け洗面器 撤去	単水栓	12.0	組			
	給水管 撤去	VB20A 機械室・便所	31.0	m			
	給水管 撤去	VB25A 機械室・便所	52.0	m			
	給水管 撤去	VB32A 機械室・便所	6.0	m			
	給水管 撤去	VB40A 機械室・便所	16.0	m			
	給水管 撤去	VB50A 機械室・便所	17.0	m			
	給水管 撤去	VB65A 機械室・便所	2.0	m			
	給水管保温 撤去		1.0	式			
	排水管 撤去	LP 50A 機械室・便所	19.0	m			
	排水管 撤去	LP 75A 機械室・便所	36.0	m			
	排水管 撤去	CIP 75A 機械室・便所	8.0	m			
	排水管 撤去	CIP 100A 機械室・便所	40.0	m			
	排水管 撤去	SGP 40A 機械室・便所	30.0	m			
	排水管 撤去	SGP 50A 機械室・便所	16.0	m			
	排水管 撤去	SGP 65A 機械室・便所	22.0	m			
	排水管 撤去	SGP 80A 機械室・便所	12.0	m			
	排水管 撤去	SGP 100A 機械室・便所	14.0	m			
	排水管保温 撤去		1.0	式			
	排水管 配管切断費		1.0	式			
	排水金物 撤去		1.0	式			
	ピット排水・清掃		1.0	式			
	収集運搬費	2tダンプ 片道25km	1.0	回			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(中科目別内訳)

名 称		中科目名称	数 量	単 位	金 額	備 考
					(円)	
E-II	校舎棟廊下工事					
	直接工事費					
II-1	(校舎棟 南)					
1-1	給水設備工事		1.0	式		
1-2	排水設備工事		1.0	式		
1-3	撤去工事		1.0	式		
	(小計)					
II-2	(校舎棟 北)					
2-1	給水設備工事		1.0	式		
2-2	排水設備工事		1.0	式		
2-3	撤去工事		1.0	式		
	(小計)					
	(合計)					



平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
1-2 排水設備工事						
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	50A 機械室・便所	4.0	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	65A 機械室・便所	1.0	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	75A 機械室・便所	2.0	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	50A 機械室・便所	4.0	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	40A 機械室・便所	1.0	m			
床上掃除口(非防水形)	80A	1.0	個			
流しトラップ	T14AA 50A	4.0	個			
排水管 配管接続費		1.0	式			
排水管 はつり補修費		1.0	式			
小計						



平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
				(円)	(円)	
(校舎棟 北)						
2-1 給水設備工事						
横水栓	F713	15.0	個			
給水・一般配管用ステンレス鋼管 改修	20SU 拡管式 機械室・便所	4.0	m			
給水・一般配管用ステンレス鋼管 改修	25SU 拡管式 機械室・便所	6.0	m			
給水管 保温工事		1.0	式			
給水管 配管接続費		1.0	式			
給水管 はつり補修費		1.0	式			
小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2-2 排水設備工事						
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	50A 機械室・便所	4.0	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	75A 機械室・便所	1.0	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	50A 機械室・便所	8.0	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管(VP)改修	65A 機械室・便所	1.0	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	40A 機械室・便所	3.0	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	50A 機械室・便所	2.0	m			
流しトラップ	T14AA 50A	6.0	個			
排水管 はつり補修費		1.0	式			
小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2-3 撤去工事						
横水栓 撤去	13A	15.0	個			
給水管 撤去	VB20A 機械室・便所	4.0	m			
給水管 撤去	VB25A 機械室・便所	6.0	m			
給水管保温 撤去		1.0	式			
排水管 撤去	SGP 40A 機械室・便所	3.0	m			
排水管 撤去	SGP 50A 機械室・便所	14.0	m			
排水管 撤去	SGP 65A 機械室・便所	1.0	m			
排水管 撤去	SGP 80A 機械室・便所	1.0	m			
排水管保温 撤去		1.0	式			
排水金物 撤去		1.0	式			
小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(中科目別内訳)

名 称		中科目名称	数 量	単 位	金 額 (円)	備 考
E-III	屋内運動場トイレ改修工事					
	直接工事費					
1	空調設備工事		1.0	式		
2	換気設備工事		1.0	式		
3	衛生器具設備工事		1.0	式		
4	給水設備工事		1.0	式		
5	排水設備工事		1.0	式		
6	撤去工事		1.0	式		
	(合計)					



名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
2	換気設備工事						
	EF-01 天井埋込換気扇	低騒音 150*380m3/h*70Pa	2.0	台			
	スパイラルダクト	150φ	3.0	m			
	スパイラルダクト 保温		1.0	式			
	小計						

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
3	衛生器具設備工事						
	洋風大便器	FV式 暖房便座 紙巻器	5.0	組			
	小便器	壁掛け 大形 押釦FV式	3.0	組			
	カウンター洗面器	はめ込み角形 単水栓 水石鹸入れ	4.0	組			
	小計						



平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名称		摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
5	排水設備工事						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	40A 機械室・便所	8.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	50A 機械室・便所	5.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	65A 機械室・便所	5.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	75A 機械室・便所	16.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	100A 機械室・便所	6.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	40A 機械室・便所	4.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	50A 機械室・便所	3.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	65A 機械室・便所	3.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	75A 機械室・便所	4.0				
	床上掃除口(非防水形)	65A	1.0	個			
	床上掃除口(非防水形)	100A	2.0	個			
	排水管 配管接続費		1.0	式			
	排水管 はつり補修費		1.0	式			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
6	撤去工事						
	PH-01 パネルヒーター 撤去	壁掛け 0.5kW	2.0	台			
	EF-01 天井埋込換気扇 撤去	380m3/h	2.0	台			
	スパイラルダクト 撤去	150φ	3.0	m			
	洋風大便器 撤去	FV式 普通便座	2.0	組			
	和風大便器 撤去	FV式	3.0	組			
	小便器 撤去	床置き FV式	3.0	組			
	壁掛け洗面器 撤去	単水栓	4.0	組			
	給水管 撤去	VB20A 機械室・便所	11.0	m			
	給水管 撤去	VB25A 機械室・便所	14.0	m			
	給水管 撤去	VB32A 機械室・便所	3.0	m			
	給水管 撤去	VB40A 機械室・便所	2.0	m			
	給水管 撤去	VB50A 機械室・便所	3.0	m			
	給水管 撤去	VB65A 機械室・便所	1.0	m			
	仕切り弁 撤去	65A	1.0	個			
	給水管保温 撤去		1.0	式			
	排水管 撤去	LP 30A 機械室・便所	6.0	m			
	排水管 撤去	LP 50A 機械室・便所	5.0	m			
	排水管 撤去	LP 75A 機械室・便所	7.0	m			
	排水管 撤去	CIP 75A 機械室・便所	3.0	m			
	排水管 撤去	CIP 100A 機械室・便所	5.0	m			
	排水管 撤去	SGP 40A 機械室・便所	6.0	m			
	排水管 撤去	SGP 50A 機械室・便所	3.0	m			
	排水管 撤去	SGP 65A 機械室・便所	9.0	m			
	排水管 撤去	SGP 80A 機械室・便所	9.0	m			
	排水管 撤去	SGP 100A 機械室・便所	2.0	m			
	排水金物 撤去		1.0	式			
	ピット排水・清掃		1.0	式			
	収集運搬費	2tタンク 片道25km	1.0	回			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(中科目別内訳)

名 称	中科目名称	数 量	単 位	金 額	備 考
				(円)	
E-IV 柔道場トイレ改修工事					
直接工事費					
1 空調設備工事		1.0	式		
2 換気設備工事		1.0	式		
3 衛生器具設備工事		1.0	式		
4 給水設備工事		1.0	式		
5 排水設備工事		1.0	式		
6 撤去工事		1.0	式		
(合計)					

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
E-IV	柔剣道場トイレ改修工事						
1	空調設備工事						
	PH-1 パネルヒーター	ステンレス製 壁掛け サーモ スイッチカバー 保護ガード	2.0	台			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
2	換気設備工事						
	EF-01 天井埋込換気扇	低騒音 150*270m3/h*50Pa	2.0	台			
	スパイラルダクト	150φ	1.0	m			
	スパイラルダクト 保温		1.0	式			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
3	衛生器具設備工事						
	洋風大便器	LT式 暖房便座 紙巻器	3.0	組			
	小便器	壁掛け 大形 押釦FV式	2.0	組			
	カウンター洗面器	はめ込み角形 単水栓 水石鹼入れ	4.0	組			
	小計						



平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名称	摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
5	排水設備工事					
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)改修	50A	機械室・便所	8.0	m	
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)改修	75A	機械室・便所	14.0	m	
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)改修	100A	機械室・便所	6.0	m	
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)改修	50A	機械室・便所	13.0	m	
	床上掃除口(非防水形)	80A		2.0	個	
	床上掃除口(非防水形)	100A		2.0	個	
	排水管 配管接続費			1.0	式	
	排水管 はつり補修費			1.0	式	
	小計					

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
6	撤去工事						
	PH-01 パネルヒーター 撤去	壁掛け 0.5kW	2.0	台			
	EF-01 天井埋込換気扇 撤去	270m3/h	2.0	台			
	スパイラルダクト 撤去	150φ	1.0	m			
	洋風大便器 撤去	LT式 普通便座	1.0	組			
	和風大便器 撤去	LT式	2.0	組			
	小便器 撤去	床置き FV式	2.0	組			
	カウンター洗面器 撤去	単水栓	4.0	組			
	給水管 撤去	VB20A 機械室・便所	20.0	m			
	給水管 撤去	VB25A 機械室・便所	1.0	m			
	給水管 撤去	VB32A 機械室・便所	2.0	m			
	給水管保温 撤去		1.0	式			
	排水管 撤去	LP 50A 機械室・便所	9.0	m			
	排水管 撤去	LP 75A 機械室・便所	2.0	m			
	排水管 撤去	VP 50A 機械室・便所	18.0	m			
	排水管 撤去	VP 75A 機械室・便所	12.0	m			
	排水管 撤去	VP 100A 機械室・便所	7.0	m			
	排水金物 撤去		1.0	式			
	ピット排水・清掃		1.0	式			
	収集運搬費	2tダンプ 片道25km	1.0	回			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(中科目別内訳)

名 称		中科目名称	数 量	単 位	金 額	備 考
					(円)	
E-V	プール棟トイレ改修工事					
	直接工事費					
V-1	(屋内トイレ)					
1-1	換気設備工事		1.0	式		
1-2	衛生器具設備工事		1.0	式		
1-3	給水設備工事		1.0	式		
1-4	排水設備工事		1.0	式		
1-5	撤去工事		1.0	式		
	(小計)					
V-2	(屋外トイレ)					
2-1	換気設備工事		1.0	式		
2-2	衛生器具設備工事		1.0	式		
2-3	給水設備工事		1.0	式		
2-4	排水設備工事		1.0	式		
2-5	撤去工事		1.0	式		
	(小計)					
	(合計)					

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
E-V	プール棟トイレ改修工事						
	直接仮設工事						
V-1	(屋内トイレ)						
1-1	換気設備工事						
	F-01 標準換気扇	格子タイプ 連動シャッター 20cm 300m3/h	2	台			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名称		摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
1-2	衛生器具設備工事						
	洋風大便器	LT式 普通便座 紙巻器	3.0	組			
	小便器	壁掛け 大形 押釦FV式	2.0	組			
	洗面器	壁掛け 単水栓 水石鹸入れ	2.0	組			
	小計						

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名称		摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
1-3	給水設備工事						
	給水・一般配管用ステンレス鋼管改修	20SU 拡管式 機械室・便所	16.0	m			
	給水・一般配管用ステンレス鋼管改修	25SU 拡管式 機械室・便所	5.0	m			
	給水管 保温工事		1.0	式			
	給水管 配管接続費		1.0	式			
	給水管 はつり補修費		1.0	式			
	水質検査費		1.0	回			
	小計						



平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名称	摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
1-5 撤去工事						
F-01 標準換気扇 撤去	20cm	2.0	台			
和風大便器 撤去	LT式	3.0	組			
小便器 撤去	床置き FV式	2.0	組			
壁掛け洗面器 撤去	単水栓	4.0	組			
給水管 撤去	VB20A 機械室・便所	17.0	m			
給水管 撤去	VB25A 機械室・便所	5.0	m			
給水管保温 撤去		1.0	式			
排水管 撤去	LP 40A 機械室・便所	6.0	m			
排水管 撤去	LP 50A 機械室・便所	3.0	m			
排水管 撤去	LP 75A 機械室・便所	4.0	m			
排水管 撤去	CIP 75A 機械室・便所	3.0	m			
排水管 撤去	CIP 100A 機械室・便所	6.0	m			
排水管 撤去	SGP 40A 機械室・便所	3.0	m			
排水管 撤去	SGP 50A 機械室・便所	22.0	m			
排水管 撤去	SGP 65A 機械室・便所	5.0	m			
排水管 撤去	SGP 80A 機械室・便所	1.0	m			
排水管 撤去	SGP 100A 機械室・便所	2.0	m			
排水金物 撤去		1.0	式			
ピット排水・清掃		1.0	式			
収集運搬費	2tダンブ 片道25km	1.0	回			
小計						

名称		摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
V-2	(屋外トイレ)						
2-1	換気設備工事						
F-01	標準換気扇	格子タイプ 連動シャッター 20cm 300m3/h	2	台			
	小計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
2-2	衛生器具設備工事					
	洋風大便器	LT式 普通便座 紙巻器	3.0	組		
	小便器	壁掛け 大形 押釦FV式	2.0	組		
	洗面器	壁掛け 単水栓 水石鹸入れ	3.0	組		
	掃除用流し		1.0	組		
	小計					

平成30年度向洋中学校トイレ改修工事

(細目別内訳)

名称	摘要	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	備考
2-3 給水設備工事						
給水・一般配管用ステンレス鋼管改修	20SU 拡管式 機械室・便所	15.0	m			
給水・一般配管用ステンレス鋼管改修	25SU 拡管式 機械室・便所	6.0	m			
給水管 保温工事		1.0	式			
給水管 配管接続費		1.0	式			
給水管 はつり補修費		1.0	式			
水質検査費		1.0	回			
小計						





名 称		摘 要	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
VI	発生材処分費						
	発生材処分			1 式			
	小計						

# 平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事

意匠図						電気設備図			機械設備図		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-1	図面リスト	—	A-26	1階天井伏図【校舎棟】	S=1:200	E-1	電気設備改修工事特記仕様書	—	M-1	機械設備工事改修特記仕様書	—
A-2	建築改修工事特記仕様書(1)	—	A-27	2階天井伏図【校舎棟】	S=1:200	E-2	器具姿図	—	M-2	配置図・案内図・工事概要	S=1:600
A-3	建築改修工事特記仕様書(2)	—	A-28	3階天井伏図【校舎棟】	S=1:200	E-3	コンセント設備 1階平面図【校舎棟】	S=1:200	M-3	機器表(改修前・後)【校舎棟】	—
A-4	建築改修工事特記仕様書(3)	—	A-29	建具表(1)【校舎棟】	S=1:50	E-4	コンセント設備 2階平面図【校舎棟】	S=1:200	M-4	器具表(改修後)【校舎棟】	—
A-5	建築改修工事特記仕様書(4)	—	A-30	建具表(2)【校舎棟】	S=1:50	E-5	コンセント設備 3階平面図【校舎棟】	S=1:200	M-5	器具表(改修前)【校舎棟】	—
A-6	建築改修工事特記仕様書(5)	—	A-31	建具表(3)【校舎棟】	S=1:50	E-6	電灯・コンセント設備 1階平面詳細図【校舎棟 南側】	S=1:50	M-6	1階平面図	S=1:200
A-7	配置図・案内図(仮設計画図)	S=1:600	A-32	仕上表・平面図・天井伏図【屋内運動場】	S=1:200	E-7	電灯・コンセント設備 2階平面詳細図【校舎棟 南側】	S=1:50	M-7	2階平面図	S=1:200
A-8	仕上表【校舎棟】	—	A-33	便所 平面詳細図【屋内運動場】	S=1:50	E-8	電灯・コンセント設備 1階平面詳細図【校舎棟 南側 職員便所】	S=1:50	M-8	3階平面図	S=1:200
A-9	1階平面図【校舎棟】	S=1:200	A-34	女子便所 展開図【屋内運動場】	S=1:50	E-9	電灯・コンセント設備 各階平面詳細図【校舎棟 北側】	S=1:50	M-9	R階平面図	S=1:200
A-10	2階平面図【校舎棟】	S=1:200	A-35	男子便所 展開図【屋内運動場】	S=1:50	E-10	弱電設備 1階平面図【校舎棟】	S=1:200	M-10	南棟職員用便所 平面詳細図【校舎棟】	S=1:50
A-11	3階平面図【校舎棟】	S=1:200	A-36	建具表【屋内運動場】	S=1:50	E-11	弱電設備 2階平面図【校舎棟】	S=1:200	M-11	南棟便所 1階平面詳細図【校舎棟】	S=1:50
A-12	北棟便所 平面詳細図【校舎棟】	S=1:50	A-37	仕上表・平面図・天井伏図【柔剣道場】	S=1:200	E-12	弱電設備 3階平面図【校舎棟】	S=1:200	M-12	南棟便所 2階平面詳細図【校舎棟】	S=1:50
A-13	北棟女子便所 展開図【校舎棟】	S=1:50	A-38	便所 平面詳細図【柔剣道場】	S=1:50	E-13	自火報設備 1階平面詳細図【校舎棟 南側】	S=1:50	M-13	北棟便所 1階平面詳細図【校舎棟】	S=1:50
A-14	北棟男子便所 展開図【校舎棟】	S=1:50	A-39	女子便所 展開図【柔剣道場】	S=1:50	E-14	自火報設備 2階平面詳細図【校舎棟 南側】	S=1:50	M-14	北棟便所 2・3階平面詳細図【校舎棟】	S=1:50
A-15	北棟便所前廊下 展開図【校舎棟】	S=1:50	A-40	男子便所 展開図【柔剣道場】	S=1:50	E-15	自火報設備 1階平面詳細図【校舎棟 南側 職員便所】	S=1:50	M-15	機器表・器具表(改修前・後)【屋内運動場】	—
A-16	南棟便所 1階平面詳細図【校舎棟】	S=1:50	A-41	建具表【柔剣道場】	S=1:50	E-16	自火報設備 各階平面詳細図【校舎棟 北側】	S=1:50	M-16	平面図【屋内運動場】	S=1:100
A-17	南棟便所 2階平面詳細図【校舎棟】	S=1:50	A-42	仕上表・平面図・天井伏図【プール棟】	S=1:200	E-17	電灯・コンセント設備 平面詳細図【屋内運動場】	S=1:50	M-17	便所 平面詳細図【屋内運動場】	S=1:50
A-18	南棟女子便所 1階展開図【校舎棟】	S=1:50	A-43	便所 平面詳細図【プール棟】	S=1:50	E-18	自火報設備 各階平面詳細図【屋内運動場】	S=1:50	M-18	機器表・器具表(改修前・後)【柔剣道場】	—
A-19	南棟女子便所 2階展開図【校舎棟】	S=1:50	A-44	女子便所 展開図【プール棟】	S=1:50	E-19	電灯・コンセント設備 平面詳細図【柔剣道場】	S=1:50	M-19	平面図【柔剣道場】	S=1:100
A-20	南棟男子便所 展開図【校舎棟】	S=1:50	A-45	男子便所 展開図【プール棟】	S=1:50	E-20	自火報設備 各階平面詳細図【柔剣道場】	S=1:50	M-20	便所 平面詳細図【柔剣道場】	S=1:50
A-21	南棟車椅子便所 展開図【校舎棟】	S=1:50	A-46	外便所 平面詳細図【プール棟】	S=1:50	E-21	電灯・コンセント設備 平面詳細図【プール棟】	S=1:50	M-21	機器表・器具表(改修前・後)【プール棟】	—
A-22	南棟便所前廊下 展開図【校舎棟】	S=1:50	A-47	女子外便所 展開図【プール棟】	S=1:50				M-22	平面図【プール棟】	S=1:100
A-23	南棟職員便所 平面詳細図【校舎棟】	S=1:50	A-48	男子外便所 展開図【プール棟】	S=1:50				M-23	内便所 平面詳細図【プール棟】	S=1:50
A-24	南棟職員女子便所 展開図【校舎棟】	S=1:50	A-49	建具表【プール棟】	S=1:50				M-24	外便所 平面詳細図【プール棟】	S=1:50
A-25	南棟職員男子便所 展開図【校舎棟】	S=1:50	A-50	雑詳細図	S=1:20・30						

		平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図	図面名 図面リスト	図面種別 A
			縮尺 [A2:原版 A3:71%縮小]	図面番号 1

〈平成27年4月版 建築改修工事特記仕様書 宮城県土木部営繕課〉				
設計審査	営繕課長	技術補佐(総括)	班長	班員
宮城県土木部営繕課 平成 年 月				
特記仕様書				
I 工事概要				
1 工事名	向洋中学校トイレ改修工事			
2 工事場所	宮城県宮城郡七ヶ浜町遠山一丁目9-18 地内			
3 用途地域	都市計画区域 〇 内 ・ 外 用途地域 ( 第二種中高層住居専用地域 )			
4 主要用途	中学校			
5 敷地面積	21,317 m <sup>2</sup>			
6 工事の概要	トイレ改修工事：【校舎棟】(北棟) 男・女便所 (南棟) 男・女便所 (南棟) 車椅子便所 (南棟) 男・女職員便所 【屋内運動場】 男・女便所 【柔剣道場】 男・女便所 【プール棟】 男・女便所			
II 建築工事仕様				
1. 共通仕様	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(平成25年版) [平成26年3月改定]」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(平成25年版) [平成26年3月改定]」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。			
2. 特記仕様	1) 項目は、番号に〇印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、〇印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。◎印と※印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の< >、( ) 及び [ ] 内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。			

項目	特記事項
6 電気保安	
7 事故報告	
8 建築材料等	
9 室内の空気中の化学物質濃度の測定	
10 特別な材料の工法	

項目	特記事項
11 建築基準法による風圧力等の指定	
12 設計GL	
13 施工調査	
14 技能士	
15 完成図等	
16 完成写真	
17 設備工事との取合い	
18 火災保険等	
19 仮囲い	
20 交通誘導員	

項目	特記事項
3 揚重機械器具	
4 工事表示板	
5 足場その他	
6 養生	
7 仮設間仕切り	
8 監督職員事務所	
9 工事用水	
10 工事用電力	
11 工事用通路	
12 その他の仮設	
3 1. アスファルト防水	
3 2. 伸縮調整目地	
3 3. 改質アスファルトシート防水	
4. 合成高分子ルーフィングシート防水	
5. 塗膜防水	
6. シーリング材料の種類及び施工箇所	
7. シーリング改修工法	
8. と い	

章	項目	特記事項
1	① 一般事項	
1	② 適用基準等	
3	③ 概成工期	
4	④ 工事実績情報(CORINS)の登録	
5	⑤ 発生材の処理等	

種 類	受入施設名	所在地 (Km)	備 考
・ コンクリート塊			
・ アスファルト			
・ コンクリート塊			
・ 建設発生木材			
・ コンクリートから成る建設資材			
・ その他の廃棄物 (安定型)			
種 類	受入施設名	所在地 (Km)	備 考

種 類	受入施設名	所在地 (Km)	備 考

材 種	防 露
・ 配管用鋼管 (SGP)	※ <表3.8.3~4>により行う
・ 硬質塩化ビニル管 (VVP)	
・	
・	
特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。	
鋼管製といの防露巻き	※ <表3.8.5>による。

縮 尺	図面番号
[A2:原版 A3:71%縮小]	2

図面名	図面種別
建築改修工事特記仕様書(1)	A
	図面番号
	2

縮 尺	図面番号
[A2:原版 A3:71%縮小]	2

縮 尺	図面番号
[A2:原版 A3:71%縮小]	2

3 防 水 改 修 工 事	9. ルーフ ドレイン	※ 鋳鉄製 ※ 縦型 ・ 横型	<3.8.2><表3.8.2>	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ モルタル塗り仕上げ	<4.4.4><4.4.8~15>				
	10. アルミニウム 製笠木	部材の種類 ・ 押出 250形 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 ・ 板材折曲げ形 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。	<3.9.2><表3.9.1>			工 法	1箇所 の面積 (㎡)	浮き代 (mm)	アンカーピン (本/㎡)	注入口 (箇/㎡)	延べ面積 (㎡)
11. 防水保証	表面処理	※ B-1種 ・ B-2種	<3.9.2><表5.2.2>	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25 未満	※16 ・ ※25	※12 ・ ※20	※12 ・ ※20	
	11. 防水保証	アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。 塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。	<3.9.2><表5.2.2>			・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 以下	※13 ・ ※20	※12 ・ ※20	※12 ・ ※20
4 外 壁 改 修 工 事	1. ひび割れ部 改修	・ コンクリート打放し仕上げ 工 法	<4.3.4~6>	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 以下	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	
	※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2未満			・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 を 越える	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16
2. 欠損部改修	※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ 注入口付アンカーピン ニング全面ポリマー セメントスラリー 注入工法	0.25 未満	1.0 以下	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	
	※ Uカットシール 材充てん工法	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満			・ 注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法	0.25 未満	1.0 以下	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16
2. 欠損部改修	※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ 充填工法	0.25 未満				
	※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満			・ モルタル塗替え工法					
2. 欠損部改修	※ Uカットシール 材充てん工法	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ タイル張り仕上げ	<4.4.5~7>				
	・ シーリング材PU-2 ・ 可とう性エポキシ樹脂	1.0~1.5未満 1.5~2.0未満 ~	・ タイル張り仕上げ 工 法			<4.4.5~7>	工 法	材料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)	
2. 欠損部改修	・ モルタル塗り仕上げ 工 法	材料	<4.4.5~7>	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25 未満	1.0 以下	※16 ・ ※25	※12 ・ ※20	
	※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2未満			・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 を 越える	※13 ・ ※20	※12 ・ ※20	※12 ・ ※20
2. 欠損部改修	※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 を 越える	※13 ・ ※20	※12 ・ ※20	
	※ Uカットシール 材充てん工法	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満			・ 注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法	0.25 未満	1.0 以下	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16
2. 欠損部改修	・ タイル部分 張替え工法	・ ポリマーセメント モルタル ・ エポキシ樹脂		4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ 注入口付アンカーピン ニング全面ポリマー セメントスラリー 注入工法	0.25 未満	1.0 以上	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	
	・ 目地ひび割れ 改修工法	※ 既装調合目地材				・ 注入口付アンカーピン ニング全面エポキシ 樹脂注入工法	0.25 未満	1.0 を 越える	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16
2. 欠損部改修	・ 樹脂注入工法		<4.3.4(c)>	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ タイル部分張替え工法	0.25 未満	1.0 以上	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	
	ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0以下				・ タイル部分張替え工法	0.25 未満	1.0 を 越える	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16
2. 欠損部改修	ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0以下		4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ アンカーピン固定用エポキシ樹脂 注入用エポキシ樹脂	0.25 未満	1.0 以上	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	
	注 入 量 (cc/m)	200程度 300程度 300程度				・ アンカーピン固定用エポキシ樹脂 注入用エポキシ樹脂	0.25 未満	1.0 以上	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16
2. 欠損部改修	コアの抜取り検査	・ 行う	※ 行わない	<4.3.4(f)>	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ タイル張り仕上げ	<4.4.5~7>			
	・ コンクリート打放し仕上げ 工 法	材料	平均深さ (mm)	延べ面積 (㎡)			・ タイル張り仕上げ 工 法	材料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)	
2. 欠損部改修	※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 を 越える	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	
	・ ポリマーセメント モルタル	5~10未満 10~15未満 15~20未満				・ 注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法	0.25 未満	1.0 以下	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16
2. 欠損部改修	・ モルタル塗り仕上げ 工 法	材料	平均深さ (mm)	延べ面積 (㎡)	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ タイル張り仕上げ	<4.4.5~7>			
	※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満				・ タイル張り仕上げ 工 法	材料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)	
2. 欠損部改修	・ ポリマーセメント モルタル	5~10未満 10~15未満 15~20未満		4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ 充填工法	0.25 未満	1.0 以上	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	
	・ モルタル塗替え工法	・ <表4.4.1>による ・ ポリマーセメント モルタル	20程度 刃下地25程度			・ 注入口付アンカーピン ニング全面エポキシ 樹脂注入工法	0.25 未満	1.0 以下	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16
2. 欠損部改修	・ タイル張り仕上げ 工 法	材料	平均深さ (mm)	延べ面積 (㎡)	4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ タイル張り仕上げ	<4.4.5~7>			
	※ タイル部分 張替え工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満				・ タイル張り仕上げ 工 法	材料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)	
2. 欠損部改修	・ ポリマーセメント モルタル	5~10未満 10~15未満 15~20未満		4 外 壁 改 修 工 事	3. 浮き部改修	・ 充填工法	0.25 未満	1.0 以上	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	
	・ タイル張替え工法	・ <表4.4.1>による ・ ポリマーセメント モルタル	20程度 刃下地25程度			・ 注入口付アンカーピン ニング全面エポキシ 樹脂注入工法	0.25 未満	1.0 以下	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16	※9 ・ ※16

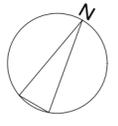
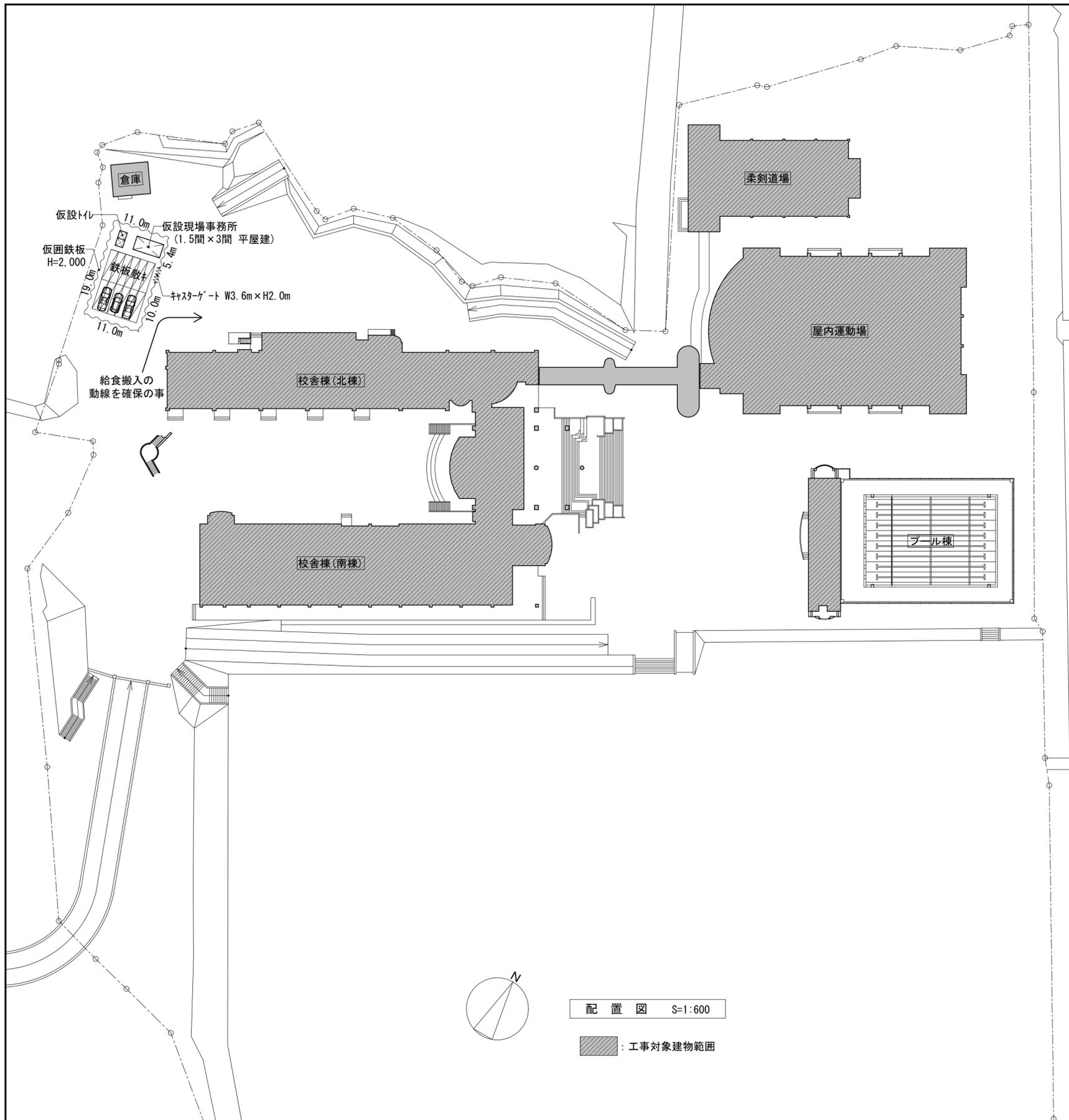
平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図		図面名 建築改修工事特記仕様書(2)	図面種別 A
		縮尺 [A2:原版 A3:71%縮小]	図面番号 3

5	14	ガラス	ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガスケット (可動アルミ製建具に限る) 防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラスの溝幅については、<表5.13.1>による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。 複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。	6 内装 改修 工事	14. ビニル床 タイル・ビニル 床シートの 特殊機能 <6.8.2>	帯電防止 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2~3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023)3kV以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 <sup>10</sup> オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 <sup>7</sup> オーム未満	6 内装 改修 工事	22. 遮音シール材 <6.13.2> 23. 壁紙張り <6.14.2>	・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド <6.13.2> 施工箇所 品 質 防 火 種 別 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ その他 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ その他 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ その他 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ その他	8 1 2 耐震 改修 工事 ( コン クリ ート 工 事 )	8. 無筋 コンクリート <6.14.1> 9. グラウト材 <8.2.11> 10. 柱底等の 均しモルタル <8.2.11> 11. 型 枠 <8.2.7> 12. コンクリート の打込み工法 <8.19.8><8.21.5> 13. 既存部分の 撤去 <8.19.2>	適用箇所は(6.14.1)によるほか、下記による。 適 用 箇 所 <8.2.11> 無収縮グラウト材は、製造所で調査された材料を使用する。 圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> ) : 30以上 コンステンシー J <sub>14</sub> : ロート値(秒) 6~10 乾燥収縮 (×10 <sup>-4</sup> ) : 0 無収縮モルタル材 ・ 使用する ・ 使用しない せき板の種類 ※ 12mm合板 ・ せき板の塗料 ※ 有 ・ 有 ※ 流込み工法 ・ 圧入工法 既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ・
			15. ガラス ブロック (中空) <5.13.5>		表面形状 (JIS A5212) モジュール呼び寸法 による区分 (長さ×高さ) 厚さによる区分 正方形 ・ 125×125 ・ 160×160 ・ 80 ・ 200×200 ・ 320×320 ・ 95 長方形 ・ 250×125 ・ 320×160 ・ 125 品質等 ガラスの種類 柄 目地色 金 属 枠 耐火性能 ・ 一般ガラス ・ 無 ・ 白 ・ アルミニウム製 (表面処理) ・ 規定しない ・ 乳白ガラス ・ 有 ・ グレー ・ ステンレス製 ( 有 分間) ・ カラーガラス ・ ステンレス製 (表面仕上) ・ 熱線反射ガラス	15. 視覚障害者用 床タイル <6.8.2>	24. タイル張り <6.16.3> 25. セルフレベ リング材塗り <6.17.2~3>	タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品 <6.16.3> 施工箇所 形状寸法(mm) うわぐすり 役物 色 再生材 備 考 施 無 有 無 標準注文 利用 考 用 有 無 有 無 有 無 有 無 内装タイルの工法 ・ 改良積上げ張り 施工箇所 ( ) ・ 接着剤張り 施工箇所 ( ) 種別 ・ 石こう系 ・ セメント系 塗厚 ※ 10mm	8 1 3 耐震 改修 工事 ( あ と 施 工 ア ン カ ー 工 事 )	1. あと施工 アンカー <8.2.4> 2. あと施工 アンカーの 試験 <8.2.4> <8.11.5> 3. 埋込配管等 の探査 <8.11.2>		
6	1	改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ○ 図示の範囲	6 内装 改修 工事	19. フローリング 張り <6.11.2~6><6.11.1~6>	1. 防火材料 <7.1.3> 2. 錆止め 塗料塗り <7.3.2~3><表7.2.2~3><表7.3.1~4> 3. 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) <7.2.2~4><7.4.2~5><表7.2.1~3><表7.4.1~3> 4. 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP) <7.2.5~7><7.10.2><表7.2.4~7><表7.10.1>	7 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100	1. 鉄骨製作工場 <8.1.5> 2. 鋼材の種類 <8.2.8><表8.2.7> 3. 高力ボルト <8.2.9> 4. 溶接部の試験 <8.14.11><8.14.12> 5. 錆び止め塗装 <8.16.3> 6. 耐火被覆 <8.17.2><8.17.4~7> 7. アンカー ボルト (7.2.4) 8. 既存部分の 撤去 <8.20.2>				
6	1	改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ○ 図示の範囲	6 内装 改修 工事	19. フローリング 張り <6.11.2~6><6.11.1~6>	1. 鉄骨の種類 <8.2.1><表8.2.1> 2. 溶接金網 <8.2.2> 3. 鉄筋の継手 <8.3.4> 4. 柱の帯筋 <8.3.8> 5. 圧接完了後の 抜取試験 <8.3.8>	8 1 2 耐震 改修 工事 ( 鉄 骨 工 事 )	1. 工 法 <8.21.5> 2. 既存部分の 撤去 <8.21.2>				
6	1	改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ○ 図示の範囲 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ○ 図示の範囲	6 内装 改修 工事	19. フローリング 張り <6.11.2~6><6.11.1~6>	1. 鉄筋の種類 <8.2.1><表8.2.1> 2. 溶接金網 <8.2.2> 3. 鉄筋の継手 <8.3.4> 4. 柱の帯筋 <8.3.8> 5. 圧接完了後の 抜取試験 <8.3.8>	8 1 2 耐震 改修 工事 ( 鉄 骨 工 事 )	1. 工 法 <8.21.5> 2. 既存部分の 撤去 <8.21.2>				

図面名	建築改修工事特記仕様書(3)	図面種別	A
縮尺	[A2:原画 A3:71%縮小]	図面番号	4

911 (環境配慮含改有建材工事の処理工事)	1. 一般事項 石綿等の取扱については、大気汚染防止法(昭和43年6月10日法律第97号)(以下、「大防法」という。)及び石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。)を遵守すること。 (9.1.1(d)) 施工調査 行わない ※ 行う (大防法第18条の17により、同法の特定工事に該当するか事前調査を行うこと。調査結果は、図面等に記録し、書面により発注者に説明の上、提出すること。特定工事に該当する場合、受注者は大防法第18条の15による届出書の案を作成し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。) 調査事項 ※ アスベスト含有建材等の使用部位 ※ アスベスト含有建材等の種類、厚さ、面積 ※ 施工範囲と工事範囲区分 ※ 排出等作業の方法 調査結果を公衆に見やすいよう掲示すること。 ※ 事業場の名称 ※ 調査結果 ※ 建築物等の種類 ※ 調査者及び所属 ※ 調査方法 ※ 調査終了年月日 ※ 発注者からの通知 アスベスト含有分析 行わない ※ 行う(分析結果は監督職員に提出する。) 調査箇所 ※ 図示 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。 材 料 名 定性分析 定量分析 アスベスト粉じん濃度測定 行わない。 ※ 行う(測定する時期・場所等は下表による) 「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部-光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (各施工箇所ごと) 室 名 等 測定1 処理作業前 処理作業室内 (注1) ※2点 点 測定2 施工区画周辺又は敷地境界 ※2点 点 測定3 処理作業中 処理作業室内 (注1) ※2点 点 測定4 セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認) ※1点 点 測定5 負圧・粉じん装置の排出吹出口 (除じん装置の性能確認) ※1点 点 測定6 施工区画周辺又は敷地境界 ※2点 点 測定7 処理作業後シート 処理作業室内 ※2点 点 測定8 撤去前 施工区画周辺又は敷地境界 ※2点 点 測定9 処理作業後シート撤去後 処理作業室内 ※2点 点 測定点総計 点 注1:周囲状況により上記にいがたい場合は、監督職員と協議する。 (例)アスベスト粉じん濃度測定方法 測定3 測定1, 2, 4, 6, 7, 8 測定5 数計機器 位相差・分散顕微鏡 2.5mm 4.7mm メンブレンフィルタの直径 2.5mm 4.7mm 試料の吸引流量 1 L/min 5 L/min 10 L/min 試料の吸引時間 5min 12.0min 24.0min 試料の透明化 アセトン固定一有機物灰化一屈折率浸液法 計数条件 総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野 計数アスベスト 幅3μm未満、長さ5μm以上、アスペクト比(長さ/幅)3以上 定量限界 50本/L 0.47本/L 0.3本/L 記録する項目 ア. 測定結果 イ. 測定時間 ウ. 測定位置(測定高さとともに図面に記載する。) エ. サンプリング条件(メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ. マウンティング法 カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ. 測定時(各測定場所ごと)の天候、温度、湿度、外気の風速及び風量 測定機関 (9.1.1(e)) 都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関 施工記録報告書の提出 1. 施工計画書 2. 工事記録及び工事写真 3. 産業廃棄物処理記録(廃石綿) 4. 施工調査等記録(条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等) 5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録 6. その他必要事項 提出部数 3部作成	2. 除去工事共通事項 専門工事業者 (9.1.2(a)) アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督職員に提出する。 作業主任者の選出 (9.1.2(b)) 石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。 除去作業者の教育 (9.1.2(c)) 作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けた者とする。 また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。 特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 (9.1.2(d)) 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。 ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。 表示及び掲示 (9.1.2(f)) 更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。 ※ アスベスト作業主任者名と職務内容 ※ 関係者以外立入禁止 ※ 喫煙・飲食の禁止 ※ 「アスベスト除去作業中」の表示 ※ アスベストの有害性 ※ 取り扱い上の注意事項 ※ 使用するべき保護具 周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。 ※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、曝露防止措置等)」 保護具、保護衣 (9.1.2(g)) 作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。 除去したアスベスト含有物の保管、運搬等 (9.1.3(c)) ※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管 ※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形板を運搬する場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 ※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。 アスベスト含有吹き付け材の除去工事 (9.1.3(b)) ※ 行う(適用範囲・図示) ※ 行わない 作業場等の隔離等 (9.1.3(a)) ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。 隔離シートの性能 (9.1.3(a)) ※ 床面 ※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重 ※ 壁面 ※ 0.08mm以上のプラスチックシート等 ただし、(一財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督職員の承諾を得ること。 セキュリティゾーンの設置 (9.1.3(a)) ※ 下表による 適用 室名 状態 ※ 更衣室 ※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗顔、うがい設備 ※ 洗浄室 負圧 ※ エアシャワー(温水シャワー) ※ 前室 負圧 ※ 高性能真空掃除機 ※ 使用済み保護衣保管かご ただし、(一財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督職員の承諾を得ること。 除去物及び汚染等 (9.1.3(b)) 処理方法 ※ 密封処理(二重袋梱包) ※ 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。 セメント固化 (9.1.3(b)) アスベスト含有保温材の除去工事 (9.1.4) ※ 行う(適用範囲・図示) ※ 行わない 養生等 (9.1.4(b)) ※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。 掻き落とし、破碎、切断による除去方法 (9.1.4(b)) ※ 行わない ※ 行う (9.1.3)「アスベスト含有吹き付け材の除去」による) 除去工法 (9.1.4(c)) ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ※ 除去物については(9.1.3(b))により、密封処理とする。	5. アスベスト含有成形板の処理 (9.1.5) アスベスト含有成形板の除去工事 ※ 行う(適用範囲・図示) ※ 行わない 養生 (9.1.5(a)) ※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。 除去工法 (9.1.5(b)) ※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。 ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。 ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破碎されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。 912 (環境配慮含改有建材工事) 1. 断熱材 (9.5.2~3) 断熱材の打込み及び現場発泡工法 ※ ポリスチレンフォーム(発泡プラスチック保温材) ※ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種 b ※ A種押出法 3種 b (スキム層付き) ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ A種 1 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ 硬質ウレタンフォーム保温材 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ フェノールフォーム保温材 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材 ※ A種 1 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。 上記以外に用いる断熱材 ※ JISA発泡プラスチック保温材 ※ A種ビーズ法 ※ A種押出法 2種 b ※ A種押出法 3種 b (スキム層付き) ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ A種 ※ グラスウール保温材 ※ 100 ※ 24K品 ※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 ※ 防湿層ポリエチレンフィルム(t.0.15)張り(重ね100)	12 舗装 1. 再生材 (22.1.3) ※ 使用する ※ 使用しない 2. 盛土材料 路床の盛土材料 ※ A種 ※ B種 ※ C種 ※ D種 (22.2.3) 3. 遮断層及び凍上抑制層用材料 遮断層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂 (22.2.3) ※ 再生クラッシャー 切込砂利又は切込砕石材料 4. 路床土の支持力比(CBR)試験 (22.2.5) ※ 行わない ※ 行う(※ 乱した土 ※ 乱さない土) 5. 路床締固め度の試験 (22.2.5) ※ 行わない ※ 行う(箇所:埋戻し及び盛土部) 6. 路盤材料 (22.3.3)(表22.3.3) ※ 再生クラッシャー RC-40(透水性舗装の場合を除く) ※ クラッシャー C-40 ※ クラッシャーラダグ CS-40 7. 路盤の締固め度の試験 (22.3.5) ※ 行う 8. アスファルト舗装 (22.4.2)(22.4.4)(表22.4.5) 加熱アスファルト混合物の種類 表層 ※ 再生密粒度アスファルト混合物(13) ※ 密粒度アスファルト混合物(13) ※ 細粒度アスファルト混合物(13) ※ 再生粗粒度アスファルト混合物(20) ※ 粗粒度アスファルト混合物(20) 舗装の厚さは図示による アスファルト混合物等の抽出試験 ※ 行わない ※ 行う (22.4.6) 9. コンクリート舗装 (22.5.3) 早強セメント ※ 使用する ※ 使用しない ※ あり ※ なし ※ なし ※ なし 10. ブロック系舗装 (22.9.2)(表22.9.1) ※ 砂目地 ※ モルタル目地 ※ インターロッキングブロック舗装 ※ コンクリート舗装 ※ アスファルト舗装 ※ 舗石舗装 ※ 基礎 ※ コンクリート舗装 ※ アスファルト舗装 11. 縁石及び側溝 地業の材料 ※ 再生クラッシャー (21.4.2) 12. 砂利敷き ※ A種(通路) ※ B種(建物周辺) (22.10.2) 13. 区画線 ※ JIS K 5665 3種1号 (20.2.2) ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 の 工 事 1. フリーアクセスフロア (20.2.2) 施工場所 工法 仕上り高(mm) 適用地震時水平力(Ks) 耐荷重性能(N) 表面仕上げ ※ 溝工法(置敷工法) ※ 1.0G ※ 0.6G ※ 3,000 ※ 5,000 ※ 帯電防止床タイル ※ タイルカーペット ※ 支柱一体型パネル工法(置敷工法) ※ 支柱分離型パネル工法(独立支柱工法) ボアダー部 ※ 一般部分の仕様にする ※ 図示による 床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。 配線取出し用切り欠きパネルは1枚/m以上とする。 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ※ なし ※ 有り(※固定式 ※ 可変式) ※ 有り ※ 可変式 ※ 有り(※固定式 ※ 可変式) ※ 有り ※ 可変式 ※ 有り(※固定式 ※ 可変式) ※ 有り ※ 可変式 2. 可動間仕切(パーティション) 構造形式による種類 スタッド式(内蔵) (20.2.3) 構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系 パネル表面材 焼付塗装鋼板(標準色) t=0.5以上 遮音性 3.6dB/500Hz以上 防火性能 不燃 取り付け用あと施工アンカー 仕様による 3. 移動間仕切(スライディングドア) パネルの操作による種類 規定しない (20.2.4) パネル表面材の材質及び仕上げ 製造所仕様の化粧鋼板(標準色) t=0.5以上 パネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式 遮音性 3.6dB/500Hz以上 防火性能 不燃 材質、寸法等は図示又は製造所の仕様による ④ トイレブース 表面材 メラミン化粧板(標準色) (20.2.5) 幅木 フレーム アルミ製 ステンレス製 H=60 扉 厚400中心吊りアルミ製エッジ、帽子掛け戸当たり付き 5. 階段滑り止め(ノンスリップ) 材 種 ステンレス(SUS304) (20.2.6) ビニールタイヤ入り(幅約35mm) ※ 接着工法 ※ 埋込み工法 6. 床目地棒 ステンレスFB(SUS304) t5~6×H12 (20.2.7) (床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。) ⑦ 鏡 耐湿鏡 t=5 ステンレスフレーム付き (20.2.9) 8. 表示 衝突防止表示 ステンレス製 H.L.仕上げ Φ30程度 市販品 (20.2.10) 誘導標識 市販品 室名札 アクリル板 ⑨ 点検口 施工箇所 材 種 寸 法 形 式 (20.2.10) 天 井 ※ アルミニウム製 ※ 450×450 ※ 600×600 ※ 目地タイプ ※ 縁縁タイプ ※ 一般型貼付用 ※ 一般型充填用 床 ※ アルミニウム製 ※ 450×450 ※ 600×600 ※ 目地タイプ ※ 縁縁タイプ ※ 一般型貼付用 ※ 一般型充填用 10. 視覚障害者用誘導ブロック 屋 外 ※ コンクリート製 ※ 磁器質タイル(※100角 ※ 150角)
平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図 図面名 建築改修工事特記仕様書(4) 図面種別 A 縮尺 [A2:原図 A3:71%縮小] 図面番号 5				

14 総揮発性有機化合物(TVOC)測定仕様書	1. 一般事項	試料採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚生省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。																																																						
	2. 測定対象化学物質	測定対象化学物質は、下記4 1)、2)の区分に従い、表の①から⑭の14物質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及びTVOCとする。																																																						
	3. 測定方法	1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。 2) トルエン換算で2.0μg/m <sup>3</sup> 未満のピークは測定の対象としない。 3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。																																																						
		<table border="1"> <caption>表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値</caption> <thead> <tr> <th>化学物質名</th> <th colspan="2">室内濃度指針値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①ホルムアルデヒド</td> <td>100 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0.08 ppm</td> </tr> <tr> <td>②トルエン</td> <td>260 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0.07 ppm</td> </tr> <tr> <td>③キシレン</td> <td>870 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0.20 ppm</td> </tr> <tr> <td>④エチルベンゼン</td> <td>3,800 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0.88 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑤ステレン</td> <td>220 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0.05 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑥パラジクロロベンゼン</td> <td>240 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0.04 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑦テトラデカン</td> <td>330 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0.04 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑧アセトアルデヒド</td> <td>48 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0.03 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑨ノナナール</td> <td>(暫定)41 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0.007 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑩フタル酸ジ-n-ブチル</td> <td>220 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0.02 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル</td> <td>120 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0.0076 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑫クロルピリホス</td> <td>1 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0.00007 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑬ダイアジノン</td> <td>0.29 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0.00002 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑭フェノフルアルブ</td> <td>33 μg/m<sup>3</sup></td> <td>0.0038 ppm</td> </tr> <tr> <td>⑮総揮発性有機化合物(TVOC)</td> <td>400 μg/m<sup>3</sup></td> <td>(暫定目標値)</td> </tr> </tbody> </table>	化学物質名	室内濃度指針値		①ホルムアルデヒド	100 μg/m <sup>3</sup>	0.08 ppm	②トルエン	260 μg/m <sup>3</sup>	0.07 ppm	③キシレン	870 μg/m <sup>3</sup>	0.20 ppm	④エチルベンゼン	3,800 μg/m <sup>3</sup>	0.88 ppm	⑤ステレン	220 μg/m <sup>3</sup>	0.05 ppm	⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m <sup>3</sup>	0.04 ppm	⑦テトラデカン	330 μg/m <sup>3</sup>	0.04 ppm	⑧アセトアルデヒド	48 μg/m <sup>3</sup>	0.03 ppm	⑨ノナナール	(暫定)41 μg/m <sup>3</sup>	0.007 ppm	⑩フタル酸ジ-n-ブチル	220 μg/m <sup>3</sup>	0.02 ppm	⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120 μg/m <sup>3</sup>	0.0076 ppm	⑫クロルピリホス	1 μg/m <sup>3</sup>	0.00007 ppm	⑬ダイアジノン	0.29 μg/m <sup>3</sup>	0.00002 ppm	⑭フェノフルアルブ	33 μg/m <sup>3</sup>	0.0038 ppm	⑮総揮発性有機化合物(TVOC)	400 μg/m <sup>3</sup>	(暫定目標値)						
	化学物質名	室内濃度指針値																																																						
	①ホルムアルデヒド	100 μg/m <sup>3</sup>	0.08 ppm																																																					
②トルエン	260 μg/m <sup>3</sup>	0.07 ppm																																																						
③キシレン	870 μg/m <sup>3</sup>	0.20 ppm																																																						
④エチルベンゼン	3,800 μg/m <sup>3</sup>	0.88 ppm																																																						
⑤ステレン	220 μg/m <sup>3</sup>	0.05 ppm																																																						
⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m <sup>3</sup>	0.04 ppm																																																						
⑦テトラデカン	330 μg/m <sup>3</sup>	0.04 ppm																																																						
⑧アセトアルデヒド	48 μg/m <sup>3</sup>	0.03 ppm																																																						
⑨ノナナール	(暫定)41 μg/m <sup>3</sup>	0.007 ppm																																																						
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	220 μg/m <sup>3</sup>	0.02 ppm																																																						
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120 μg/m <sup>3</sup>	0.0076 ppm																																																						
⑫クロルピリホス	1 μg/m <sup>3</sup>	0.00007 ppm																																																						
⑬ダイアジノン	0.29 μg/m <sup>3</sup>	0.00002 ppm																																																						
⑭フェノフルアルブ	33 μg/m <sup>3</sup>	0.0038 ppm																																																						
⑮総揮発性有機化合物(TVOC)	400 μg/m <sup>3</sup>	(暫定目標値)																																																						
4. 測定する室	1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等 ・ 室名：  2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室 ・ 室名：  ・ 屋外(周囲の建物から離れた場所1か所)																																																							
5. 測定結果等報告書の提出	次の事項を記載した報告書を2部提出する。 1) 測定結果(アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚生省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。) 2) 試料採取時の状況(気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数) 3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し																																																							
6. その他	表の化学物質①から⑮のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。 TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。																																																							



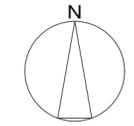
配置図 S=1:600

■ : 工事対象建物範囲



工事場所：宮城県宮城郡七ヶ浜町遠山一丁目9-18 地内 向洋中学校

案内図



特記事項

1. 仮囲い、仮設ゲートは工事進捗に伴い、監督員との協議の上、1回程度の盛り替えは見込むこと。
2. 工所用仮設事務所及び工事関係者用駐車場を北側敷地の一部を借用する。  
防犯対策として、ガードフェンスを設置し安全管理に努めること。  
また、車の出入があるため鉄板を敷きとし、工事完了後必要に応じて整地すること。
3. 搬入経路内の樹木については、原則伐採は行わないこと。施工上支障のある樹木については、監督員と協議の上、必要に応じて枝落とし等行うこと。



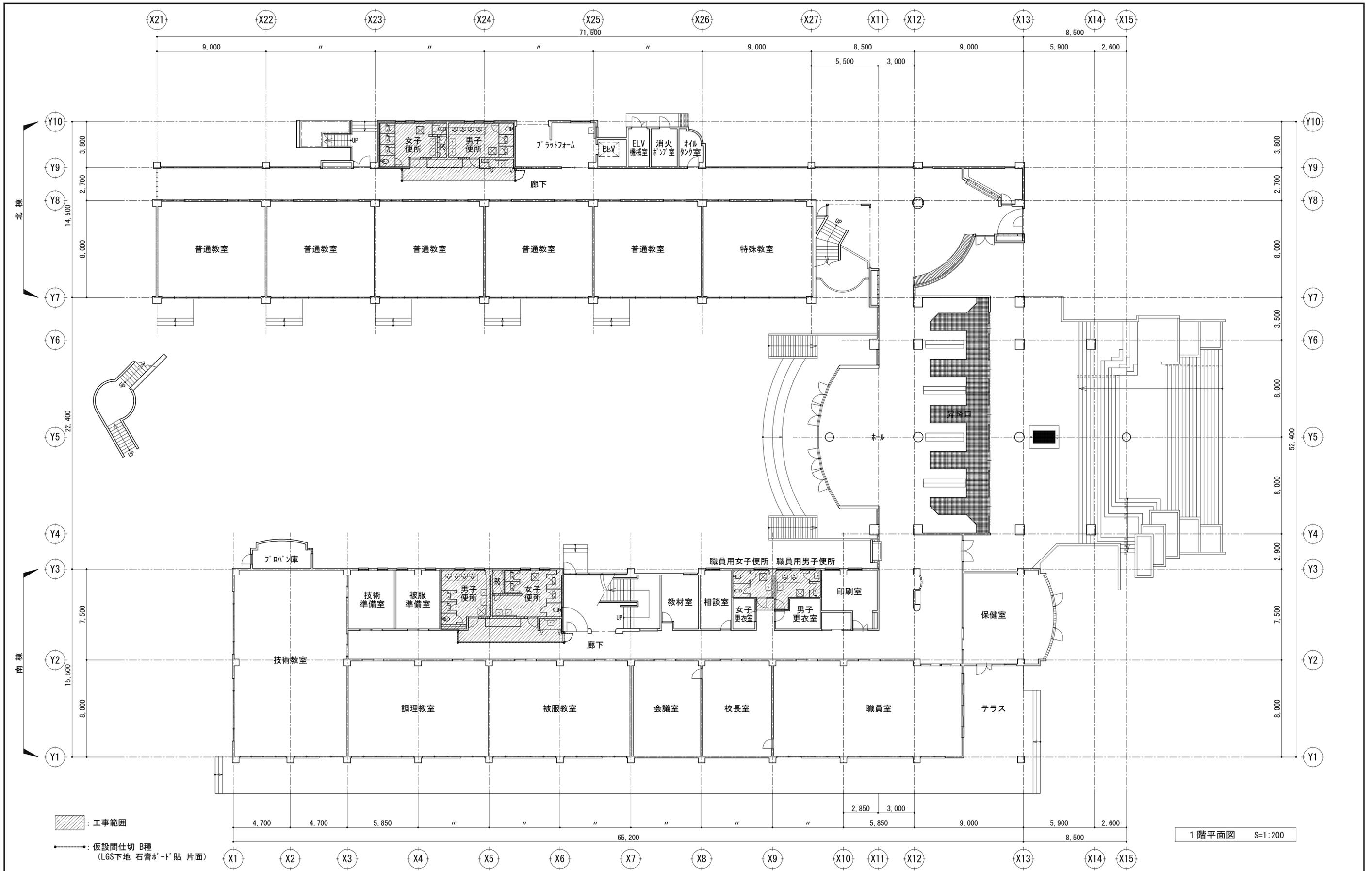
平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図
-------------------------

図面名 配置図・案内図 (仮設計画図)
縮尺 [A2:原画 A3:71%縮小]

図面種別 A
図面番号 7

内部仕上表

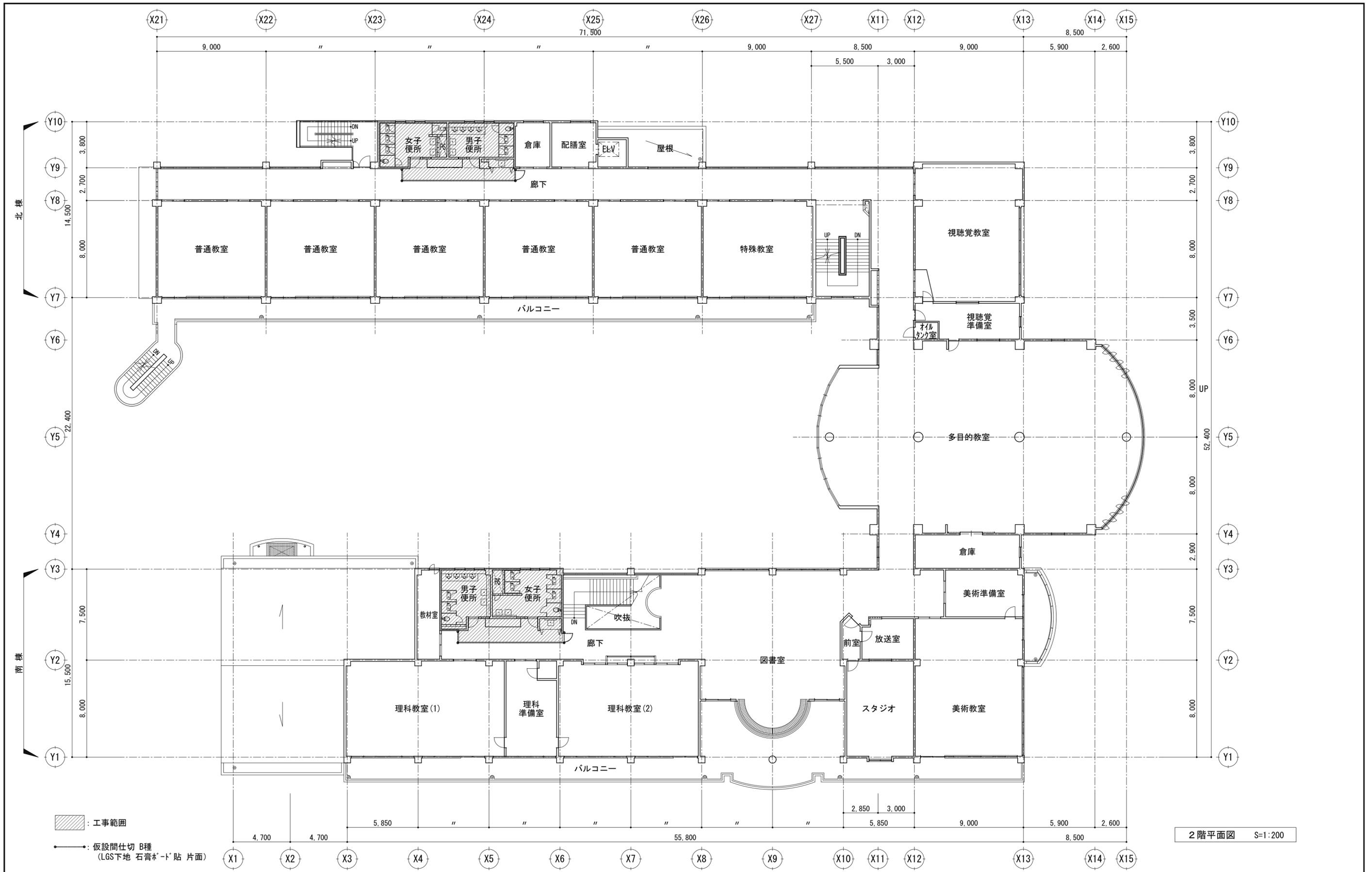
棟	階	室名	床	巾木			壁	天井			廻り縁	備考	
				仕上	H	塗装		仕上	下地	H			
校舎棟(北棟)	1~3階	女子便所	改修前	モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0 撤去(仕上/ミ) 一部 躯体共撤去	ビニル床シート 巻上げ	75	コンクリート打放シ 吹付タイル 一部 ラスモルタル下地 吹付タイル	フレキシブルボード t=5.0 目透シ貼 VP塗 撤去	LGS下地 一部撤去	2,500	塩ビ製 一部撤去	床下点検口:7R製 600角 残置、天井点検口:7R製 450角 撤去、 ライニング甲板:テラゾーブロック t=30 撤去、ライニング:CB t=100 モルタル下地 100角タイル貼 撤去	
			改修後	下地調整 ビニル床シート張り t=2.0 一部 コンクリート打設 モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0	ビニル巾木	100	下地調整 複層仕上塗材 E	化粧石膏ボード 貼 t=9.5	LGS下地	2,500	塩ビ製	天井点検口:7R製 450角 新設、ライニング甲板:人造大理石 t=30 ライニング:LGS(W=65)下地 シーリング石膏ボード t=12.5 フレキシブルボード t=6.0 複層仕上塗材 E 手洗イカケ:-:人造大理石 t=30、化粧鏡 1,840×900	
		男子便所	改修前	モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0 撤去(仕上/ミ) 一部 躯体共撤去	ビニル床シート 巻上げ	75	コンクリート打放シ 吹付タイル 一部 ラスモルタル下地 吹付タイル	フレキシブルボード t=5.0 目透シ貼 VP塗 撤去	LGS下地 一部撤去	2,500	塩ビ製 一部撤去	床下点検口:7R製 600角 残置、天井点検口:7R製 450角 撤去、 ライニング甲板:テラゾーブロック t=30 撤去、ライニング:CB t=100 モルタル下地 100角タイル貼 撤去	
			改修後	下地調整 ビニル床シート張り t=2.0 一部 コンクリート打設 モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0	ビニル巾木	100	下地調整 複層仕上塗材 E	化粧石膏ボード 貼 t=9.5	LGS下地	2,500	塩ビ製	天井点検口:7R製 450角 新設、ライニング甲板:人造大理石 t=30 ライニング:LGS(W=65)下地 シーリング石膏ボード t=12.5 フレキシブルボード t=6.0 複層仕上塗材 E 手洗イカケ:-:人造大理石 t=30、化粧鏡 1,700×900、汚垂石 t=5.0 3,200×600	
		廊下 (便所前)	改修前	モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0 一部撤去(仕上/ミ)	木製 一部撤去	75	SOP塗	コンクリート打放シ AEP塗	化粧石膏ボード 貼 t=9.0 一部撤去	LGS下地 一部撤去	2,700	塩ビ製 一部撤去	手洗イ流シ:W2,770×H760×D620 撤去
			改修後	下地調整 ビニル床シート張り t=2.0	木製	75	SOP塗	下地調整 AEP塗	化粧石膏ボード 貼 t=9.5	LGS下地	2,700	塩ビ製	手洗イ流シ:W2,770×H760×D620 新設、掃除用具入 W630×H1,800×D500 新設 天井点検口:7R製 450角 新設、化粧鏡 1,850×900
		改修前											
		改修後											
校舎棟(南棟)	1~2階	女子便所	改修前	モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0 撤去(仕上/ミ) 一部 躯体共撤去	ビニル床シート 巻上げ	75	コンクリート打放シ 吹付タイル 一部 ラスモルタル下地 吹付タイル	フレキシブルボード t=5.0 目透シ貼 VP塗 撤去	LGS下地 一部撤去	2,500	塩ビ製 一部撤去	床下点検口:7R製 600角 残置、天井点検口:7R製 450角 撤去、 ライニング甲板:テラゾーブロック t=30 撤去、ライニング:CB t=100 モルタル下地 100角タイル貼 撤去	
			改修後	下地調整 ビニル床シート張り t=2.0 一部 コンクリート打設 モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0	ビニル巾木	100	下地調整 複層仕上塗材 E 一部 LGS(W=65)下地 シーリング石膏ボード t=12.5 フレキシブルボード t=6.0 複層仕上塗材 E	化粧石膏ボード 貼 t=9.5	LGS下地	2,500	塩ビ製	天井点検口:7R製 450角 新設、ライニング甲板:人造大理石 t=30 ライニング:LGS(W=65)下地 シーリング石膏ボード t=12.5 フレキシブルボード t=6.0 複層仕上塗材 E 手洗イカケ:-:人造大理石 t=30、化粧鏡 1,800×900	
		車椅子便所	改修後	下地調整 ビニル床シート張り t=2.0 一部 コンクリート打設 モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0	ビニル巾木	100	下地調整 複層仕上塗材 E 一部 LGS(W=65)下地 シーリング石膏ボード t=12.5 フレキシブルボード t=6.0 複層仕上塗材 E	化粧石膏ボード 貼 t=9.5	LGS下地	2,500	塩ビ製		
		男子便所	改修前	モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0 撤去(仕上/ミ) 一部 躯体共撤去	ビニル床シート 巻上げ	75	コンクリート打放シ 吹付タイル 一部 ラスモルタル下地 吹付タイル	フレキシブルボード t=5.0 目透シ貼 VP塗 撤去	LGS下地 一部撤去	2,500	塩ビ製 一部撤去	床下点検口:7R製 600角 残置 ライニング甲板:テラゾーブロック t=30 撤去、ライニング:CB t=100 モルタル下地 100角タイル貼 撤去	
			改修後	下地調整 ビニル床シート張り t=2.0 一部 コンクリート打設 モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0	ビニル巾木	100	下地調整 複層仕上塗材 E	化粧石膏ボード 貼 t=9.5	LGS下地	2,500	塩ビ製	ライニング甲板:人造大理石 t=30 ライニング:LGS(W=65)下地 シーリング石膏ボード t=12.5 フレキシブルボード t=6.0 複層仕上塗材 E 手洗イカケ:-:人造大理石 t=30、化粧鏡 1,800×900、汚垂石 t=5.0 3,750×600	
		廊下 (便所前)	改修前	モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0 一部撤去(仕上/ミ)	木製 一部撤去	75	SOP塗	コンクリート打放シ AEP塗	化粧石膏ボード 貼 t=9.0 一部撤去	LGS下地 一部撤去	2,500	塩ビ製 一部撤去	手洗イ:W2,830×H760×D620 撤去
	改修後		下地調整 ビニル床シート張り t=2.0	木製	75	SOP塗	下地調整 AEP塗	化粧石膏ボード 貼 t=9.5	LGS下地	2,500	塩ビ製	手洗イ:W2,830×H760×D620 新設、掃除用具入 W630×H1,800×D500 新設 天井点検口:7R製 450角 新設、化粧鏡 2,000×900	
	1階	職員女子便所	改修前	モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0 撤去(仕上/ミ) 一部 躯体共撤去	ビニル床シート 巻上げ	75	コンクリート打放シ 吹付タイル 一部 ラスモルタル下地 吹付タイル	フレキシブルボード t=5.0 目透シ貼 VP塗 撤去	LGS下地 一部撤去	2,500	塩ビ製 一部撤去	床下点検口:7R製 600角 残置 ライニング甲板:テラゾーブロック t=30 撤去、ライニング:CB t=100 モルタル下地 100角タイル貼 撤去	
			改修後	下地調整 ビニル床シート張り t=2.0 一部 コンクリート打設 モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0	ビニル巾木	100	下地調整 複層仕上塗材 E	化粧石膏ボード 貼 t=9.5	LGS下地	2,500	塩ビ製	ライニング:LGS(W=65)下地 シーリング石膏ボード t=12.5 フレキシブルボード t=6.0 複層仕上塗材 E ライニング甲板:人造大理石 t=30、化粧鏡 300×450	
		職員男子便所	改修前	モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0 撤去(仕上/ミ) 一部 躯体共撤去	ビニル床シート 巻上げ	75	コンクリート打放シ 吹付タイル 一部 ラスモルタル下地 吹付タイル	フレキシブルボード t=5.0 目透シ貼 VP塗 撤去	LGS下地 一部撤去	2,500	塩ビ製 一部撤去	床下点検口:7R製 600角 残置 ライニング甲板:テラゾーブロック t=30 撤去、ライニング:CB t=100 モルタル下地 100角タイル貼 撤去	
			改修後	下地調整 ビニル床シート張り t=2.0 一部 コンクリート打設 モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0	ビニル巾木	100	下地調整 複層仕上塗材 E	化粧石膏ボード 貼 t=9.5	LGS下地	2,500	塩ビ製	ライニング:LGS(W=65)下地 シーリング石膏ボード t=12.5 フレキシブルボード t=6.0 複層仕上塗材 E ライニング甲板:人造大理石 t=30、化粧鏡 300×450、汚垂石 t=5.0 2,600×600	
			改修前										
		改修後											




平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

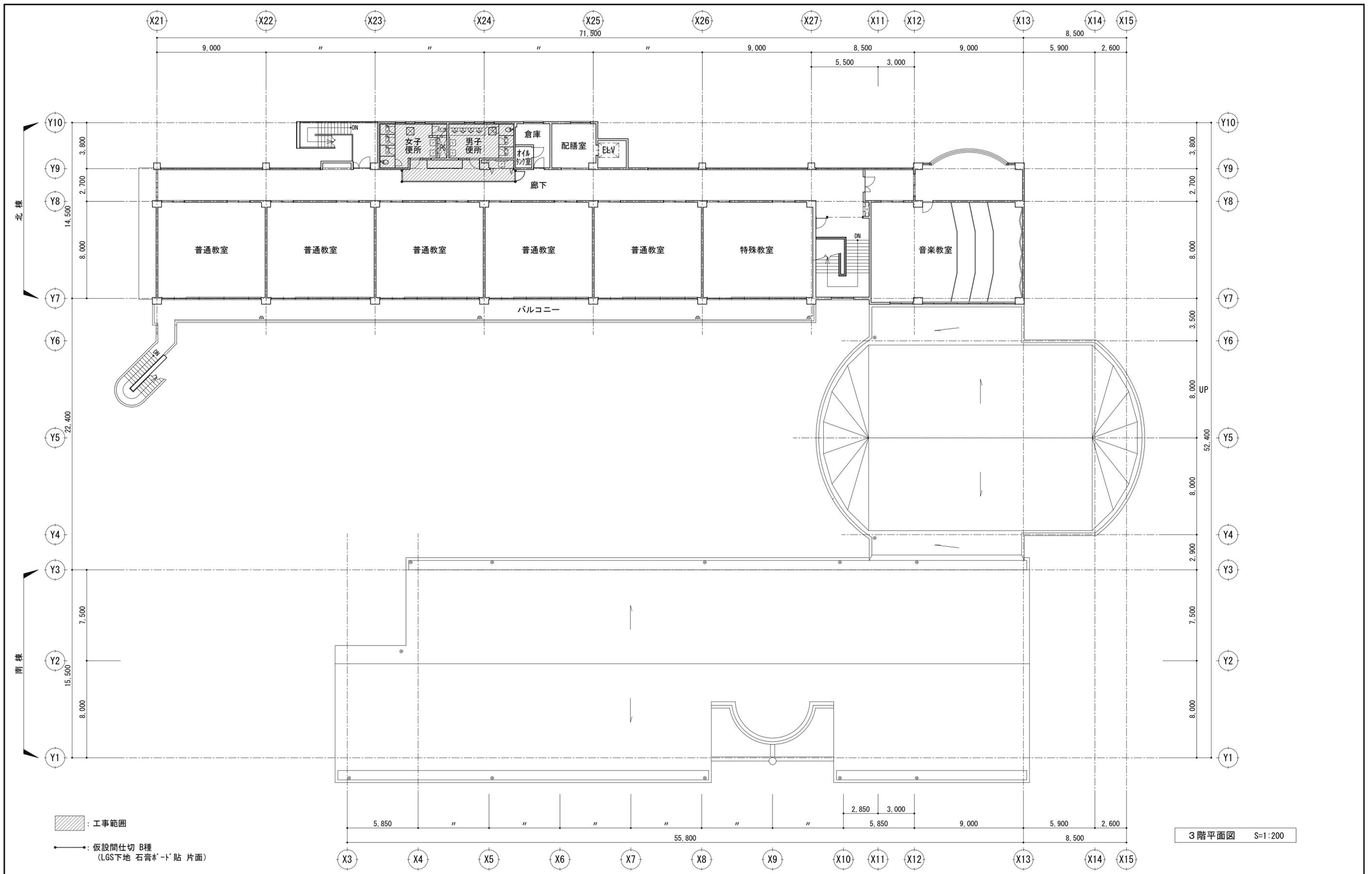
図面名 1階平面図 【校舎棟】
縮尺 S=1:200 [A2:原版 A3:71%縮小]

図面種別 A
図面番号 9




平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

図面名	2階平面図 【校舎棟】	図面種別	A
縮尺	S=1:200	図面番号	10
	[A2:原版 A3:71%縮小]		





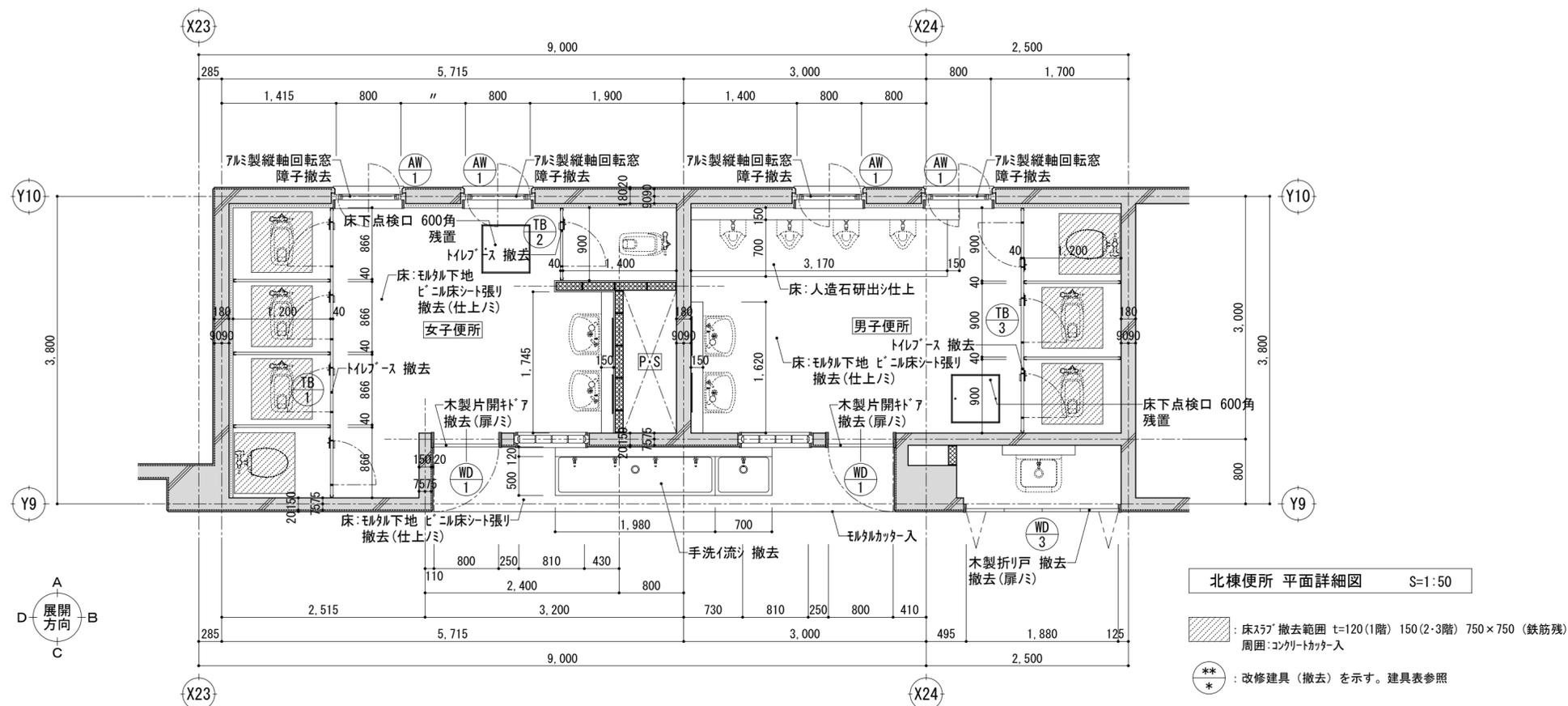
平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

図面名  
3階平面図  
【校舎棟】

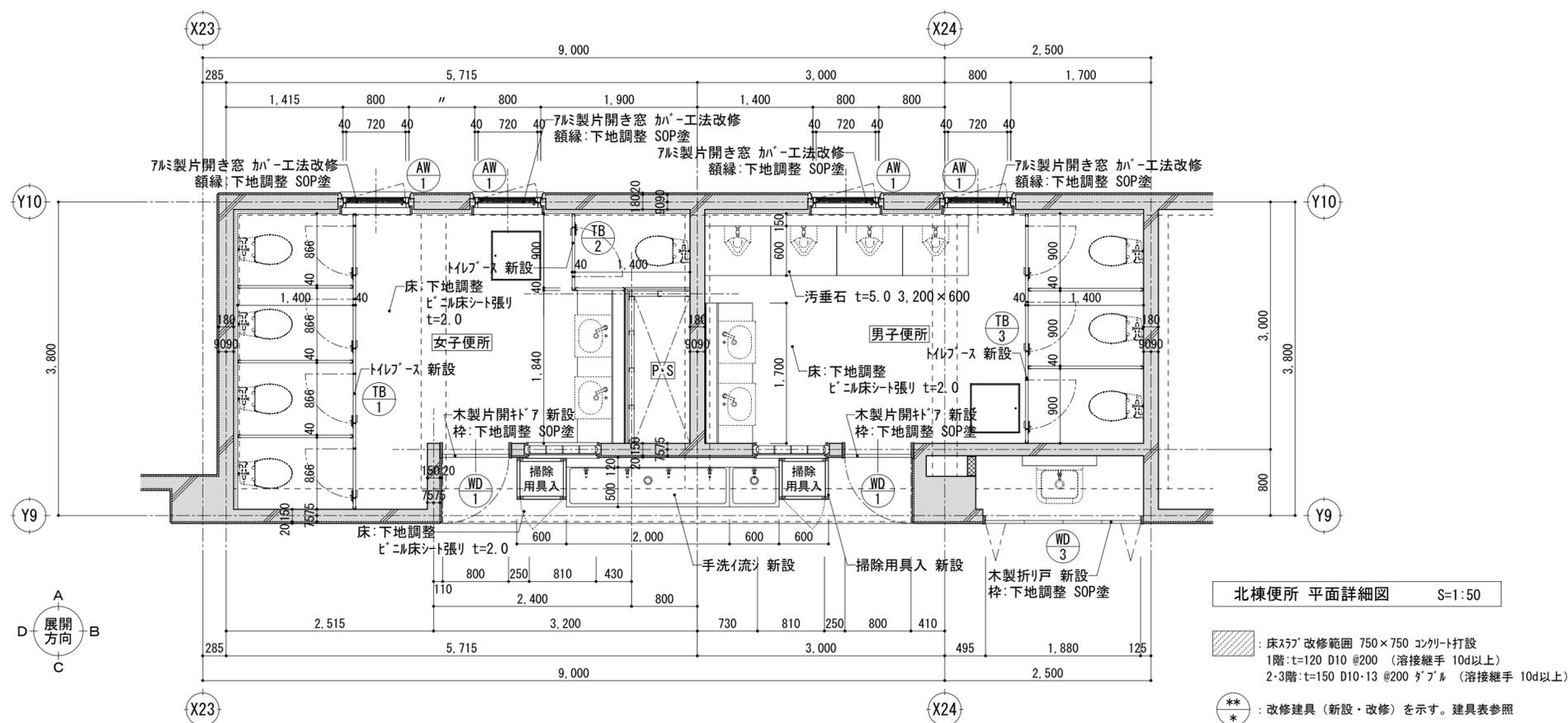
縮尺 S=1:200 [A2:原版 A3:71%縮小]

図面種別
A
図面番号
11

改修前



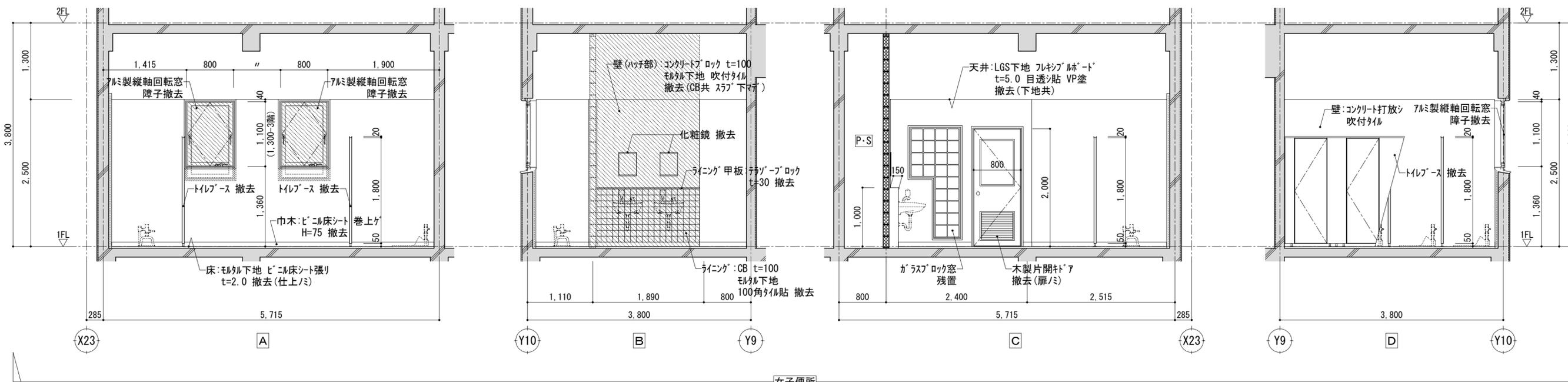
改修後



平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

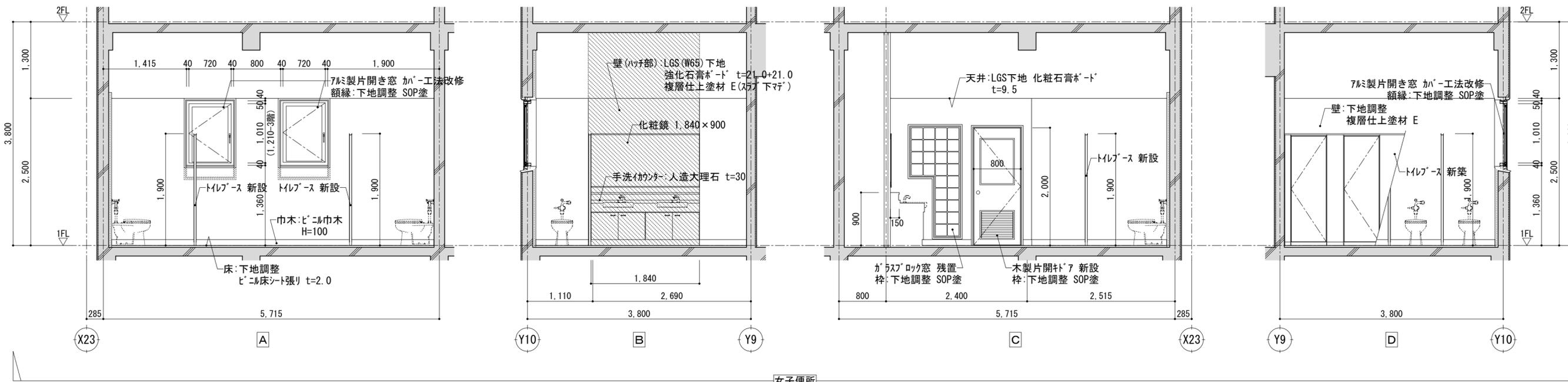
図面名	北棟便所 平面詳細図 【校舎棟】	図面種別	A
縮尺	S=1:50	図面番号	12
	[A2:原版 A3:71%縮小]		

改修前



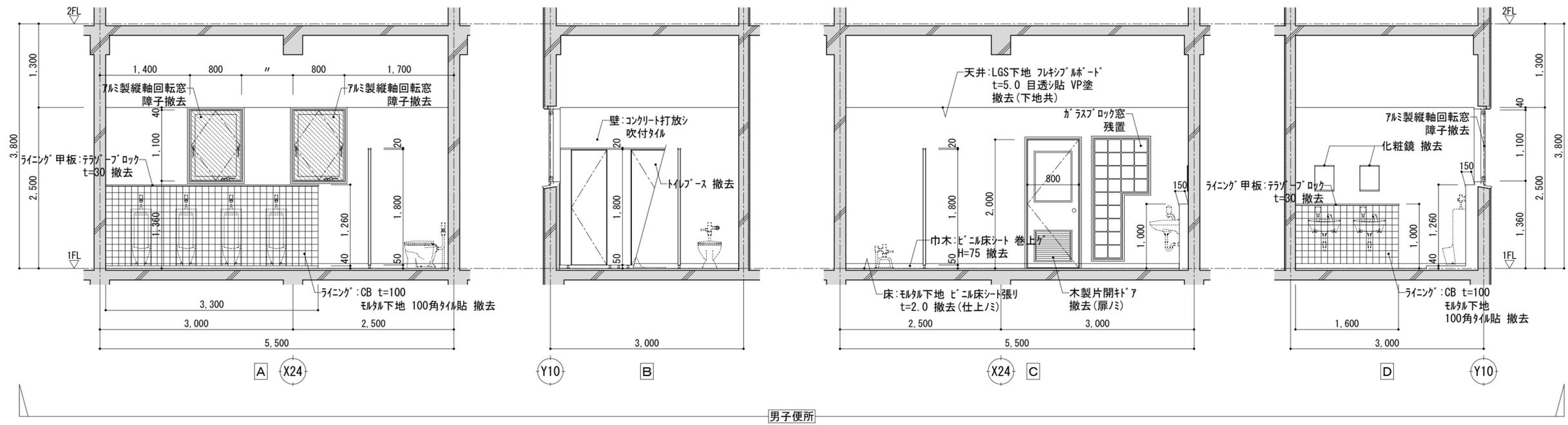
女子便所

改修後

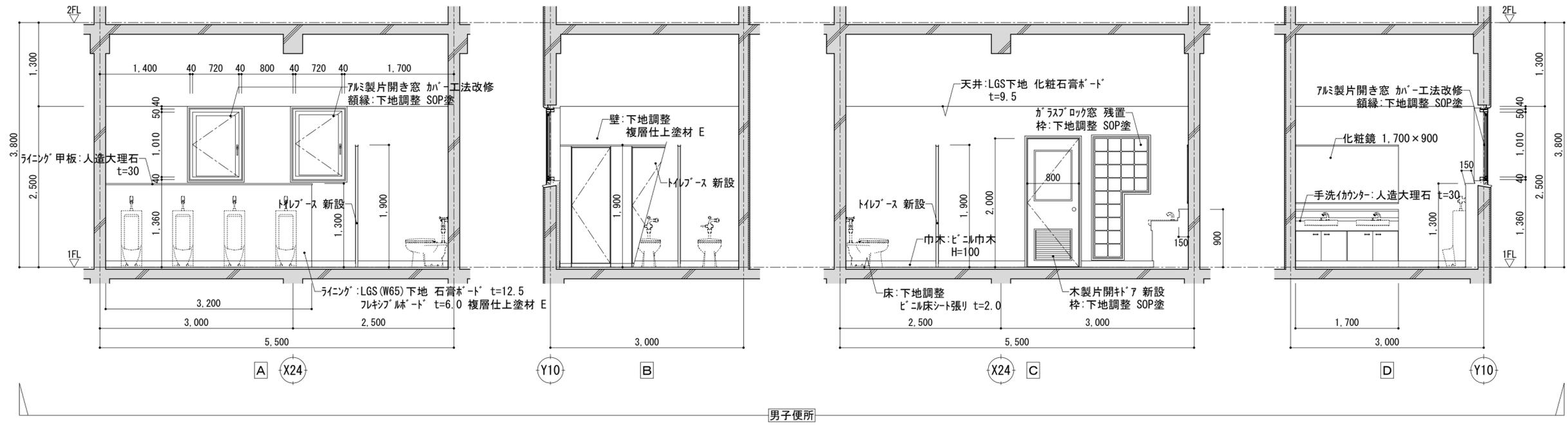


女子便所

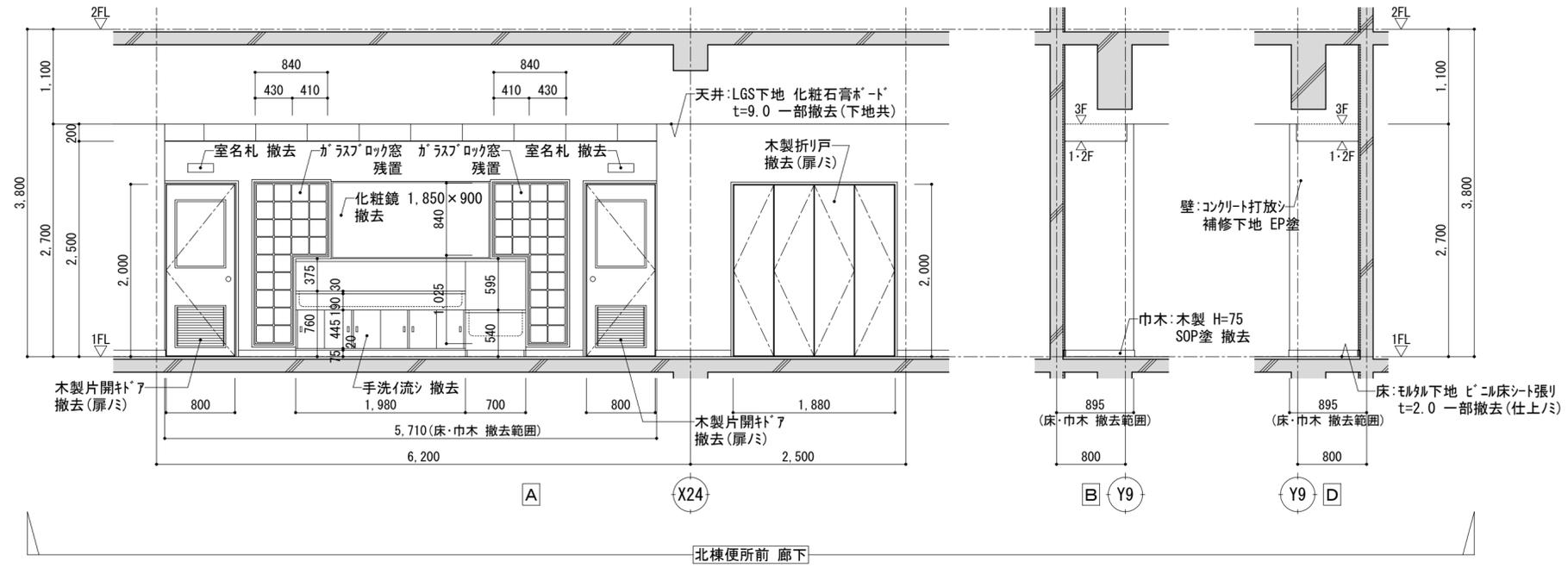
改修前



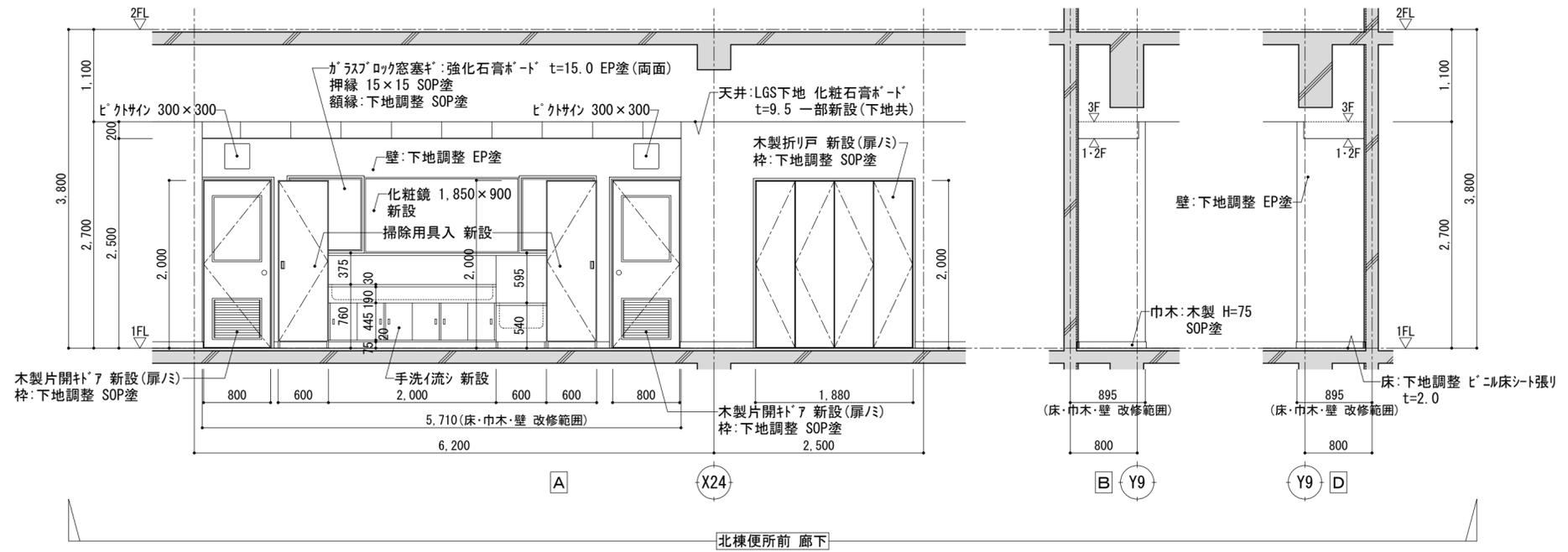
改修後



改修前

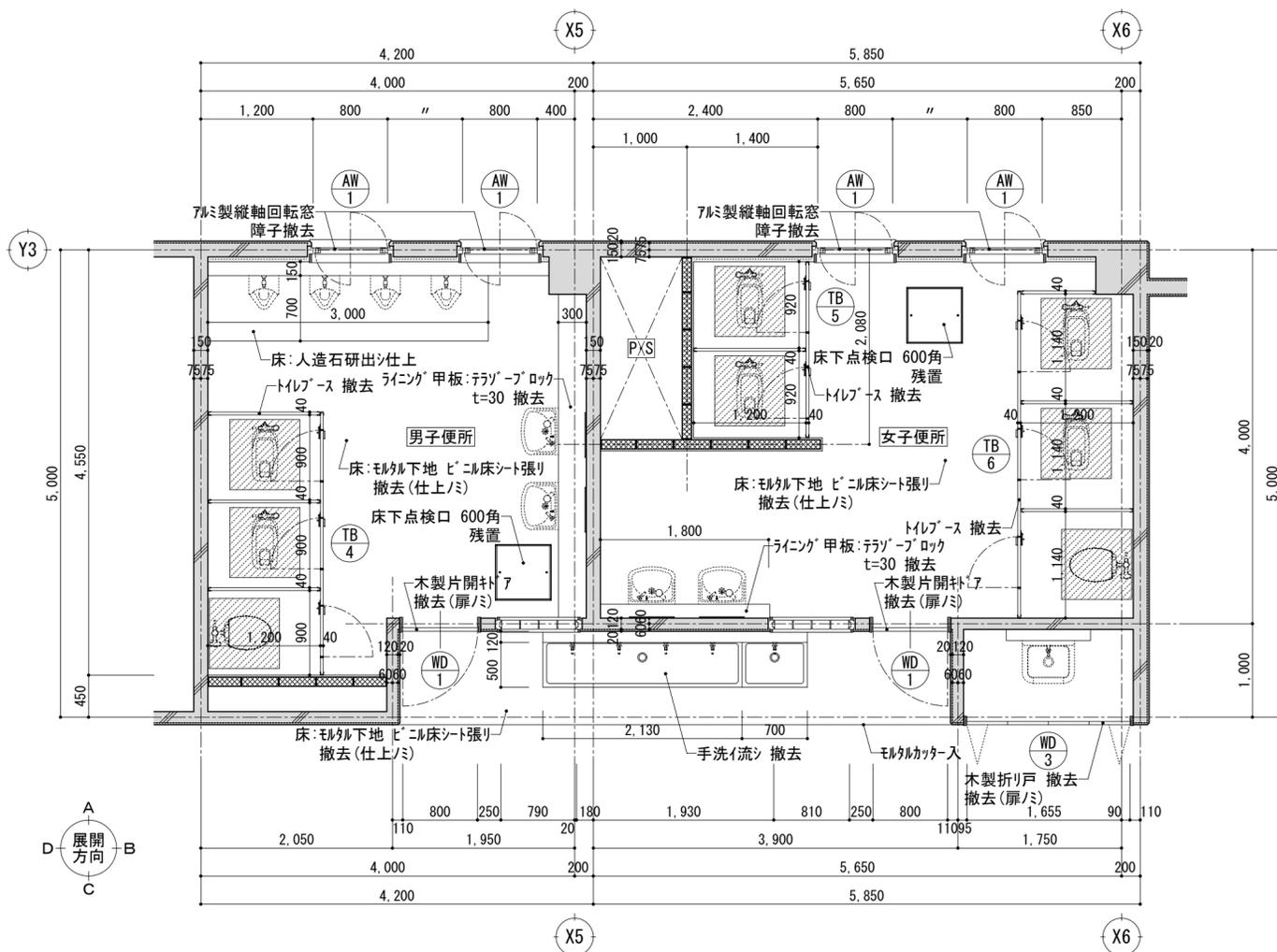


改修後



		<p>平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図</p>	<p>図面名 北棟便所前廊下 展開図 【校舎棟】</p> <p>縮尺 S=1:50 [A2:原版 A3:71%縮小]</p>	<p>図面種別 A 図面番号 15</p>
--	--	--------------------------------	--	-----------------------------------

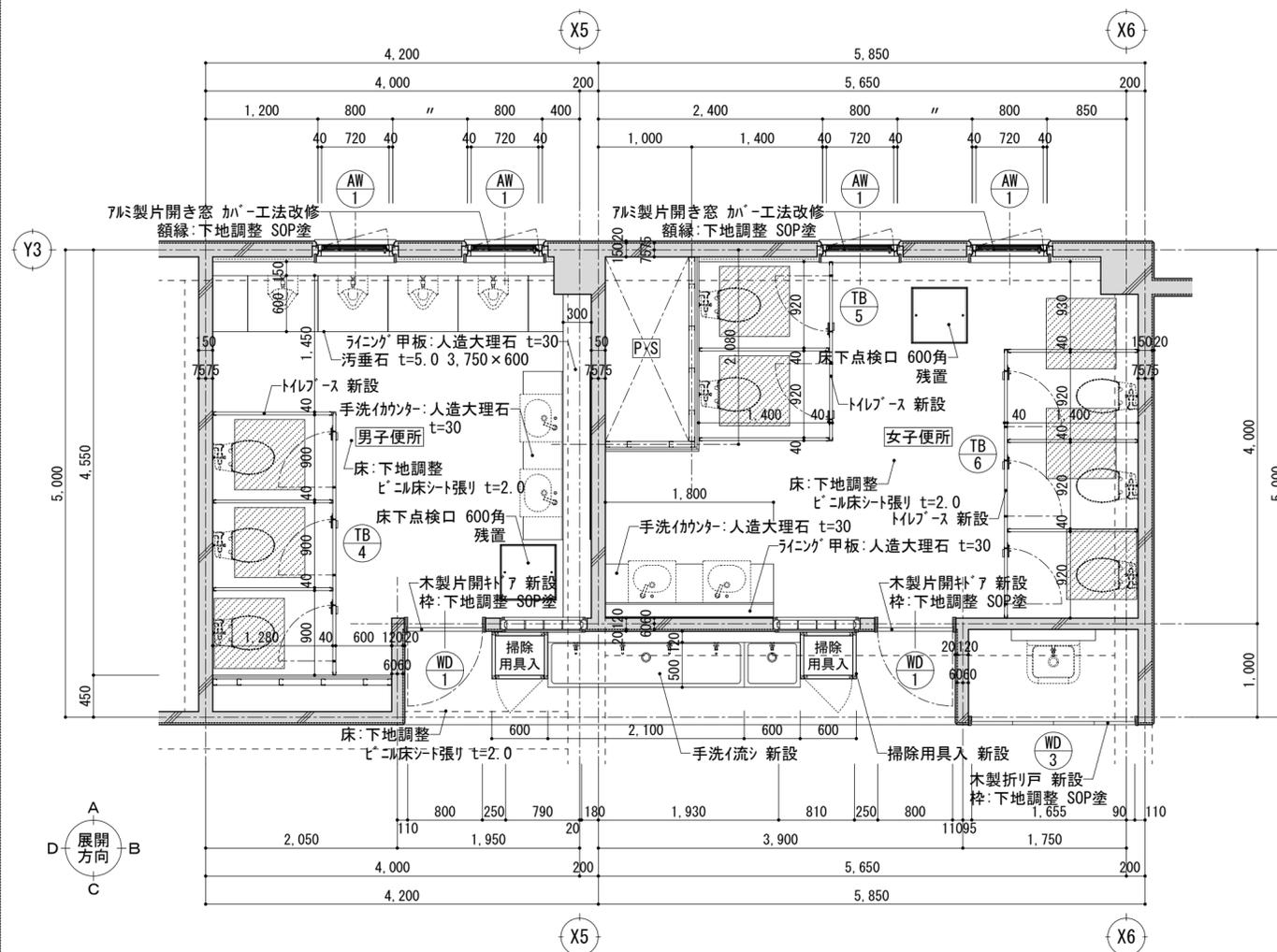
改修前



南棟便所 1階平面詳細図 S=1:50

- : 床スラブ 撤去範囲 t=120 750×750 (鉄筋残) 周囲:コンクリートカッター
- : 改修建具 (撤去) を示す。建具表参照

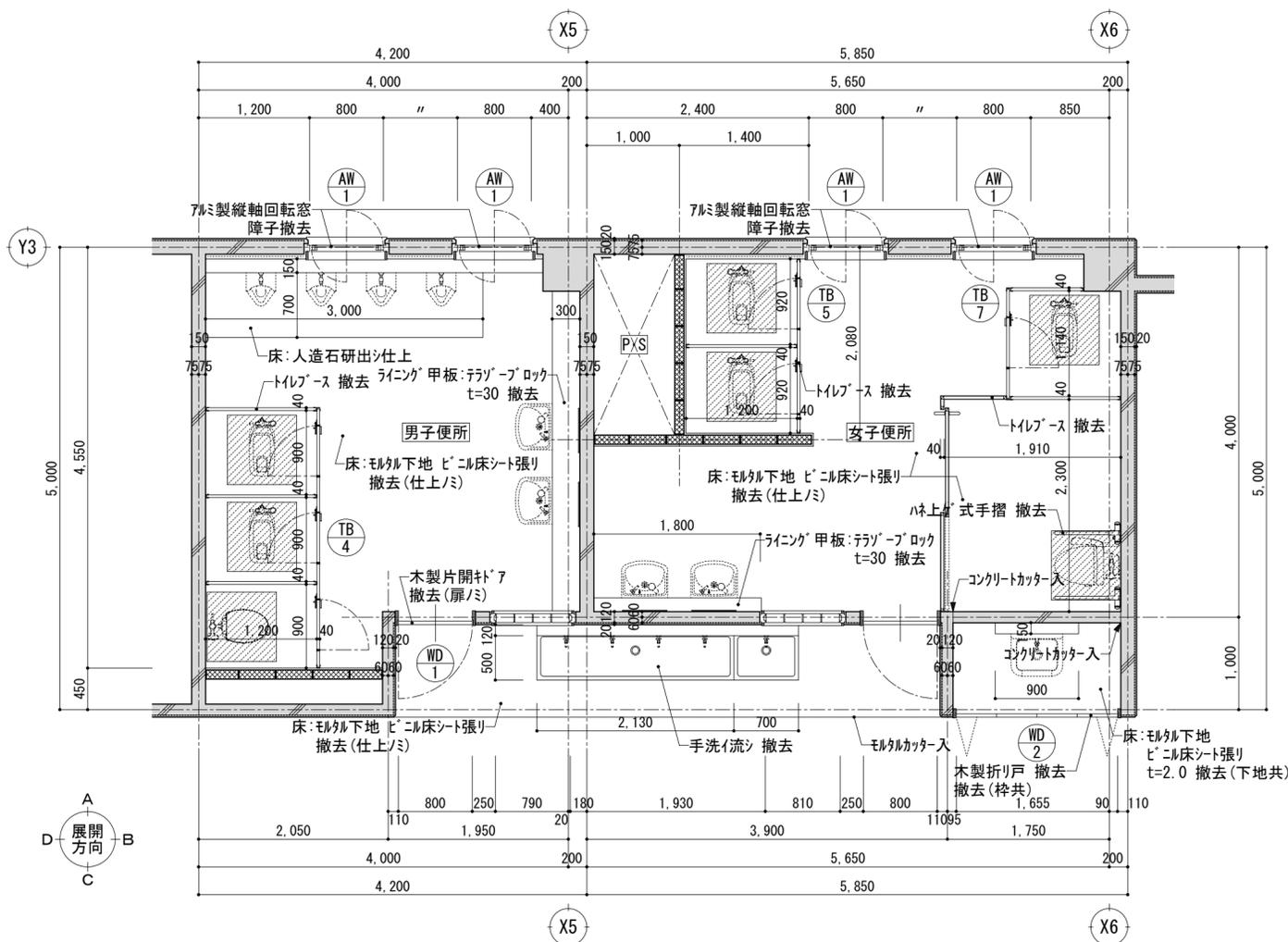
改修後



南棟便所 1階平面詳細図 S=1:50

- : 床スラブ 改修範囲 t=120 750×750 コンクリート打設 D10 @200 (溶接継手 10d以上)
- : 改修建具 (新設・改修) を示す。建具表参照

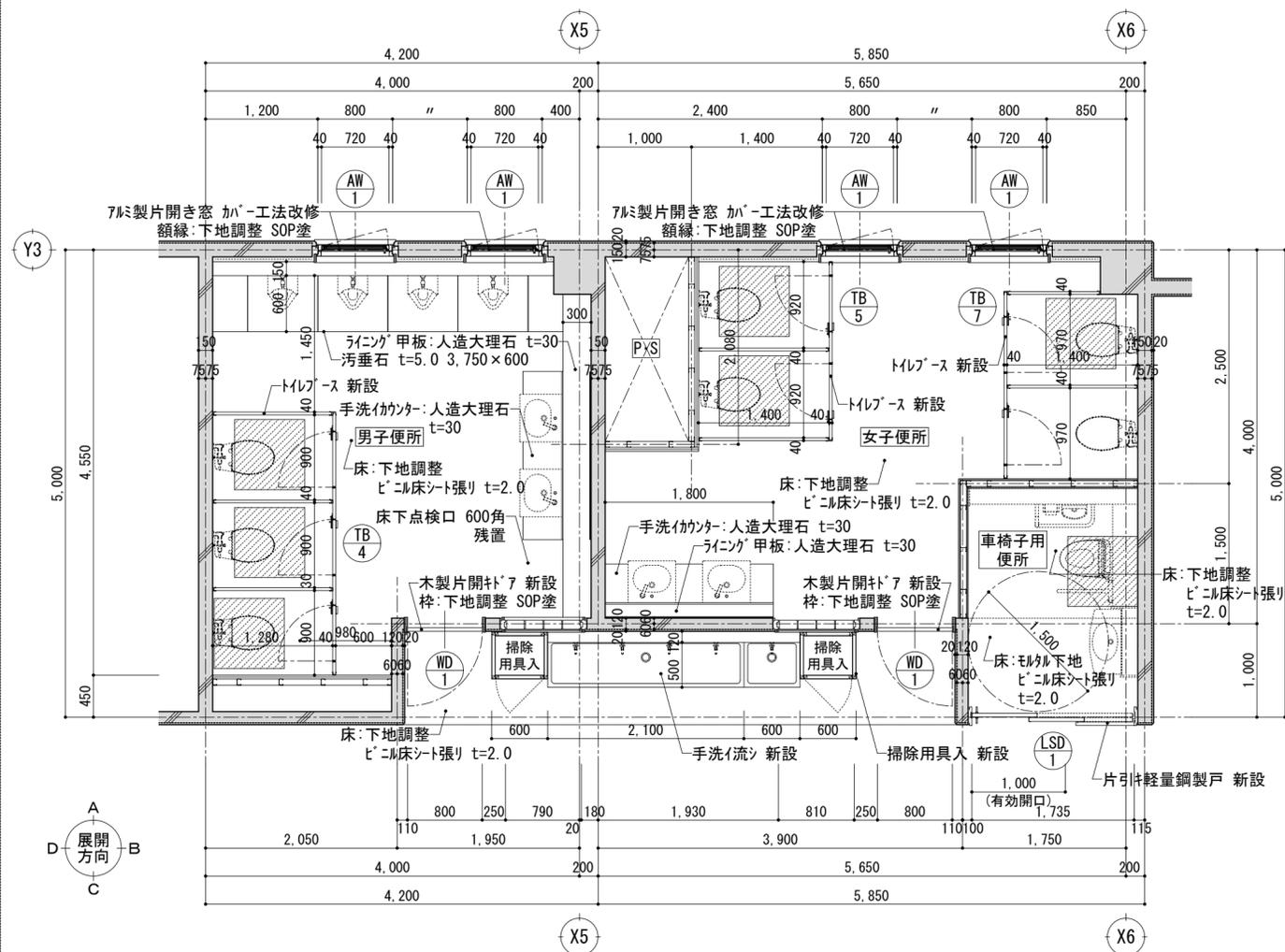
改修前



南棟便所 2階平面詳細図 S=1:50

- : 床スラブ 撤去範囲 t=150 750×750 (鉄筋残) 周囲:コンクリートカッター入
- : 改修建具 (撤去) を示す。建具表参照

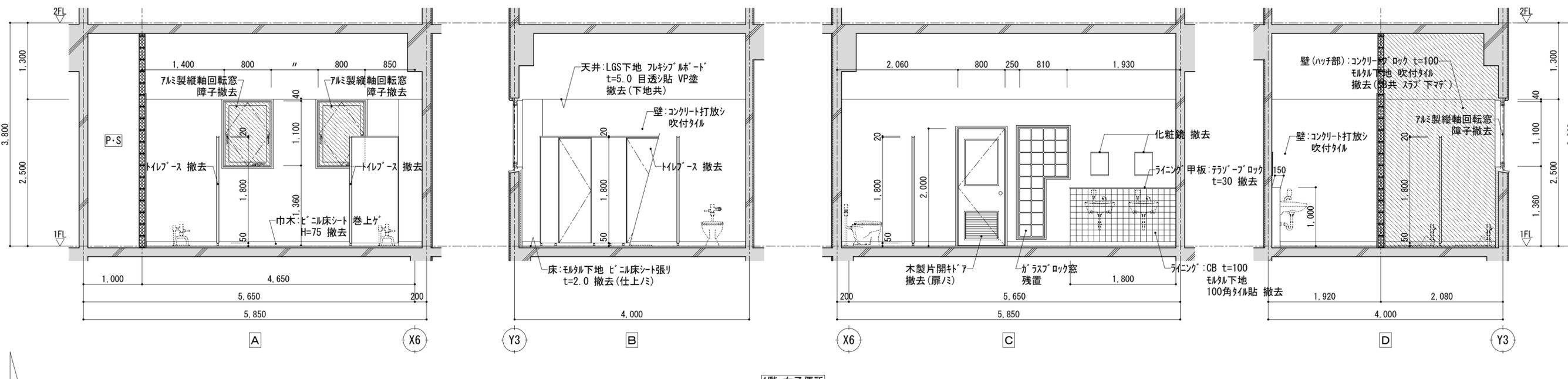
改修後



南棟便所 2階平面詳細図 S=1:50

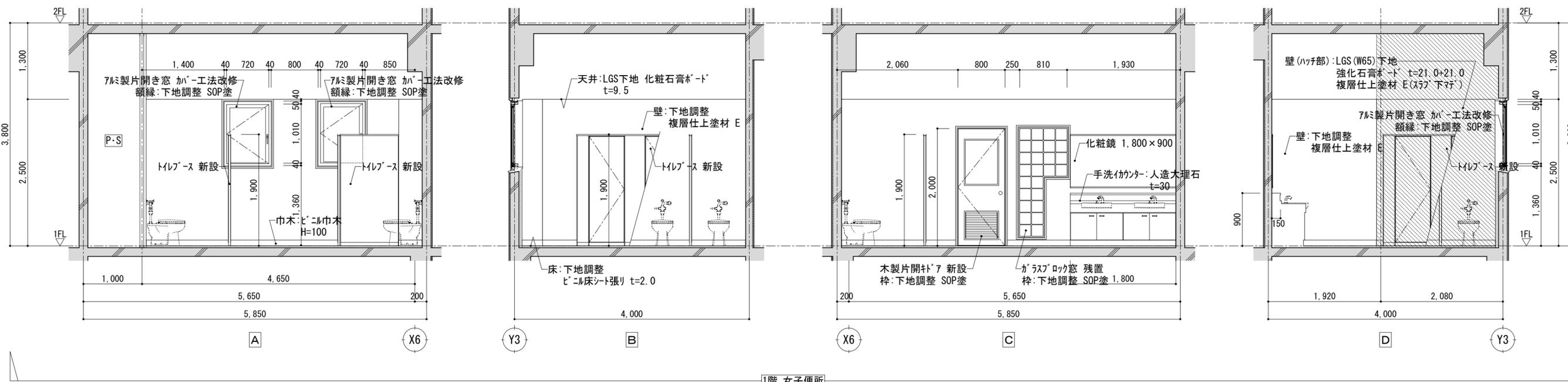
- : 床スラブ 改修範囲 t=150 750×750 コンクリート打設 D10・13 @200 グラブル (溶接継手 10d以上)
- : 改修建具 (新設・改修) を示す。建具表参照

改修前



1階 女子便所

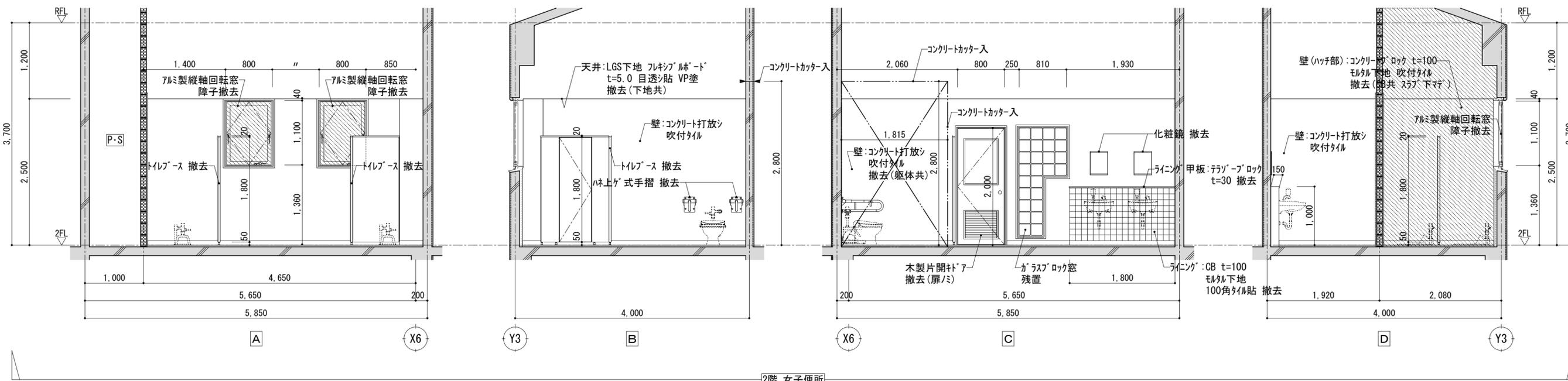
改修後



1階 女子便所

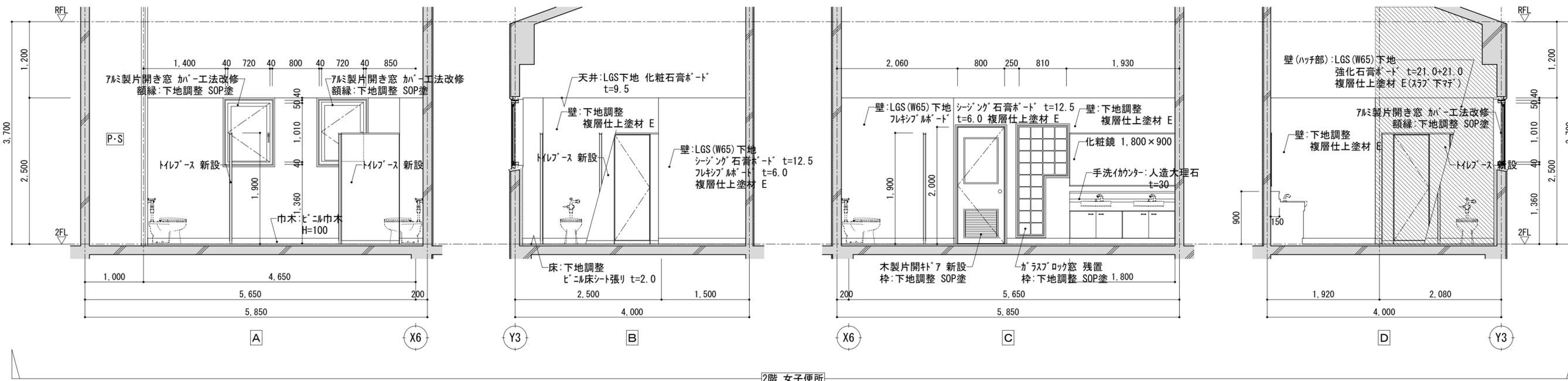
		図面名 南棟女子便所 1階展開図 【校舎棟】	図面種別 A
		平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図	図面番号 18
		縮尺 S=1:50 [A2:原版 A3:71%縮小]	

改修前



2階 女子便所

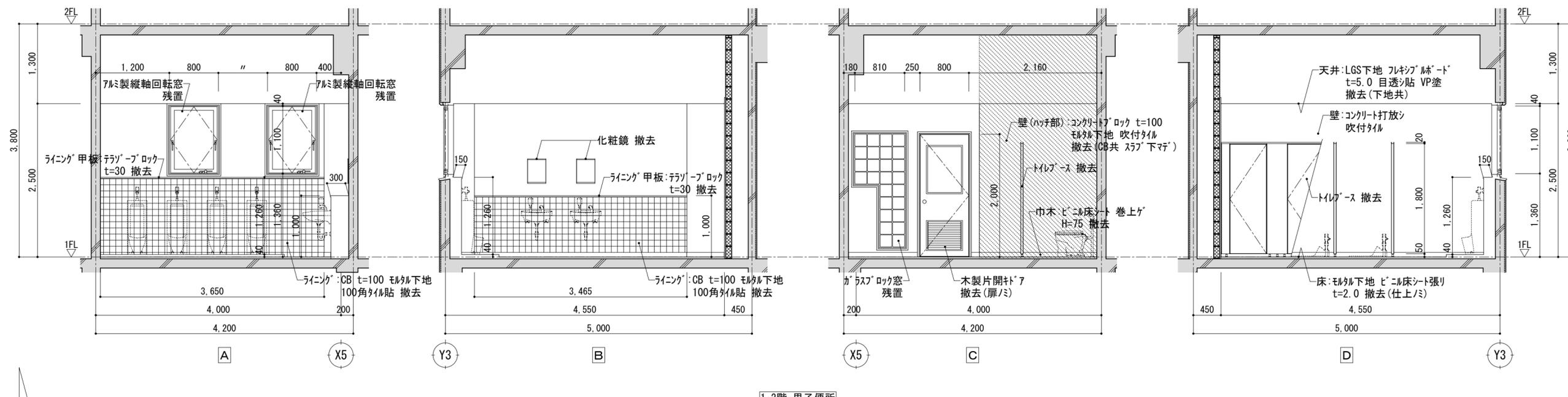
改修後



2階 女子便所

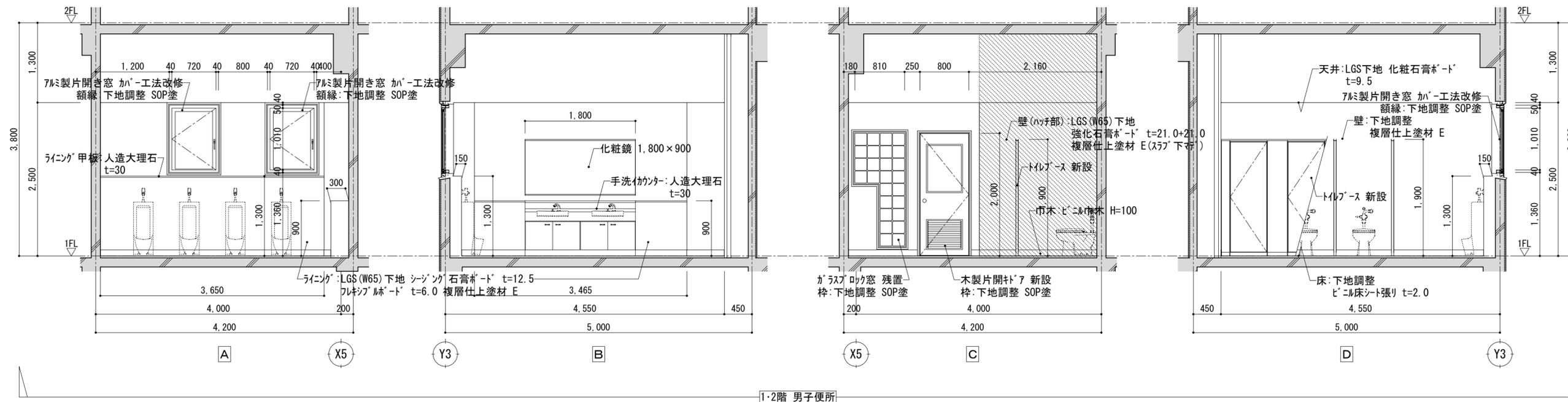
		平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図		図面名 南棟女子便所 2階展開図 【校舎棟】	図面種別 A
				縮尺 S=1:50 [A2:原版 A3:71%縮小]	図面番号 19

改修前



1・2階 男子便所

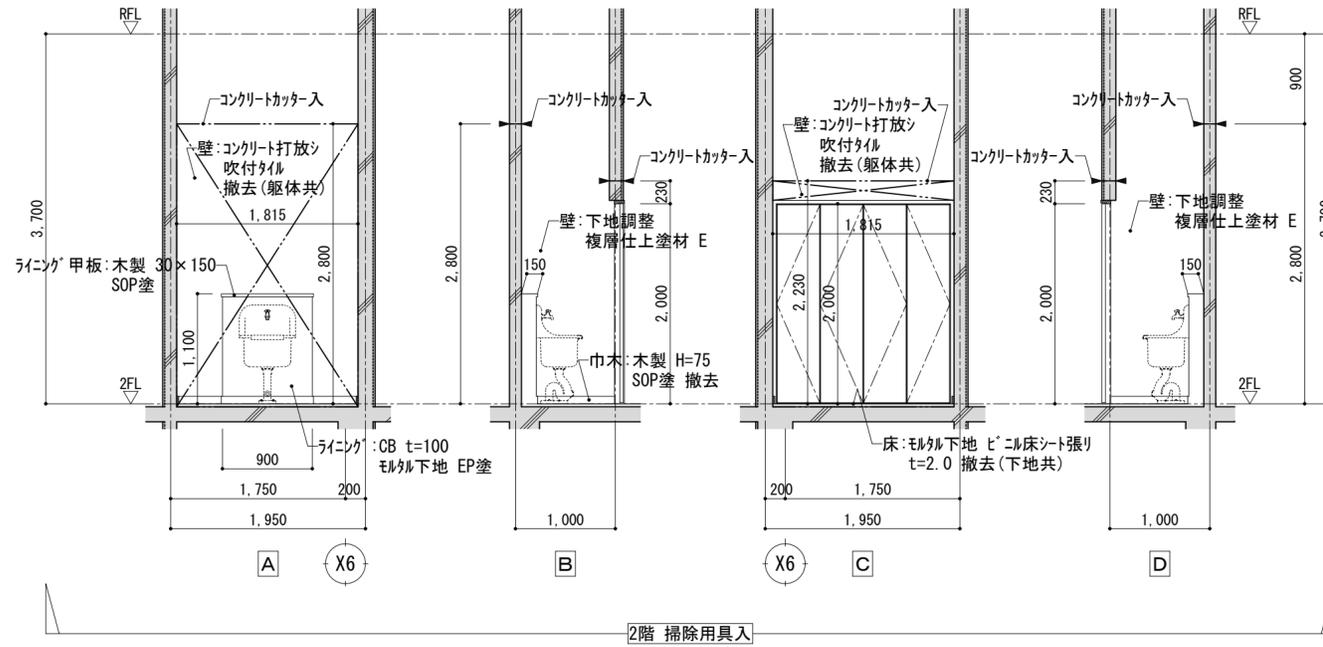
改修後



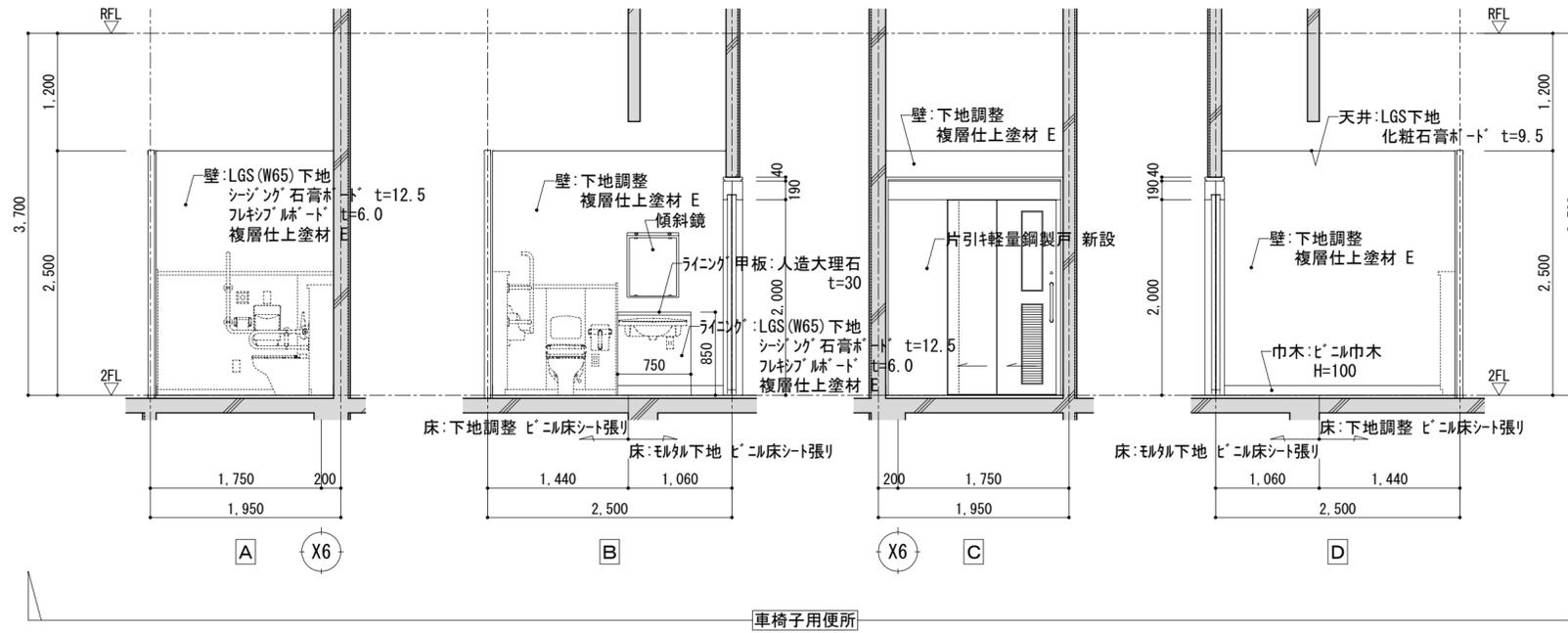
1・2階 男子便所

		平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図		図面名 南棟男子便所 展開図 【校舎棟】	図面種別 A
				縮尺 S=1:50 [A2:原版 A3:71%縮小]	図面番号 20

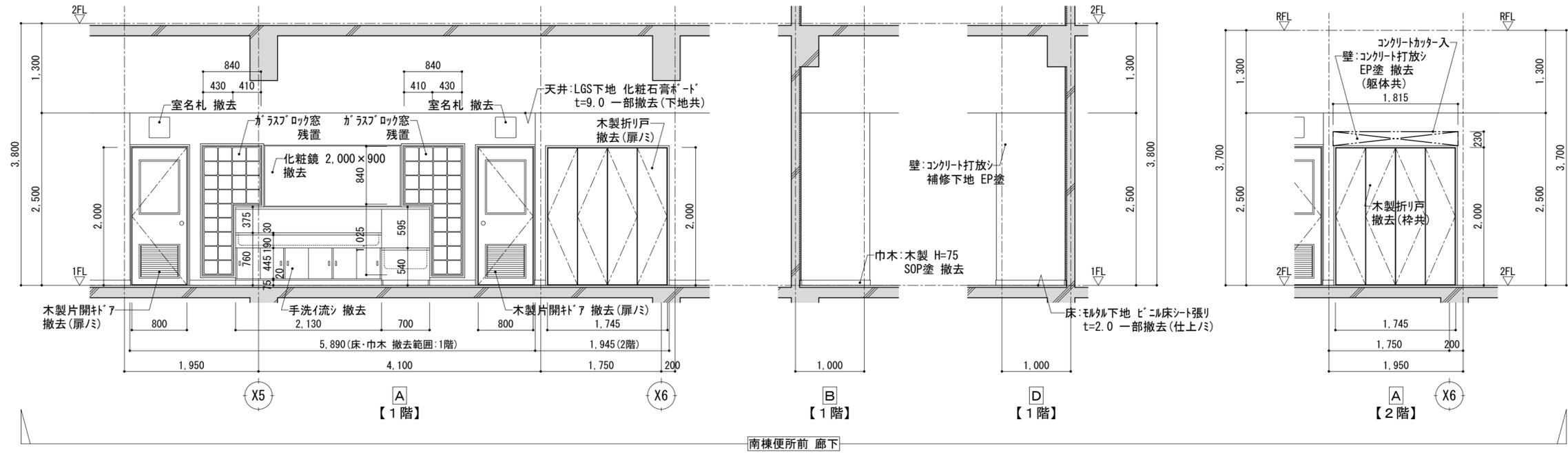
改修前



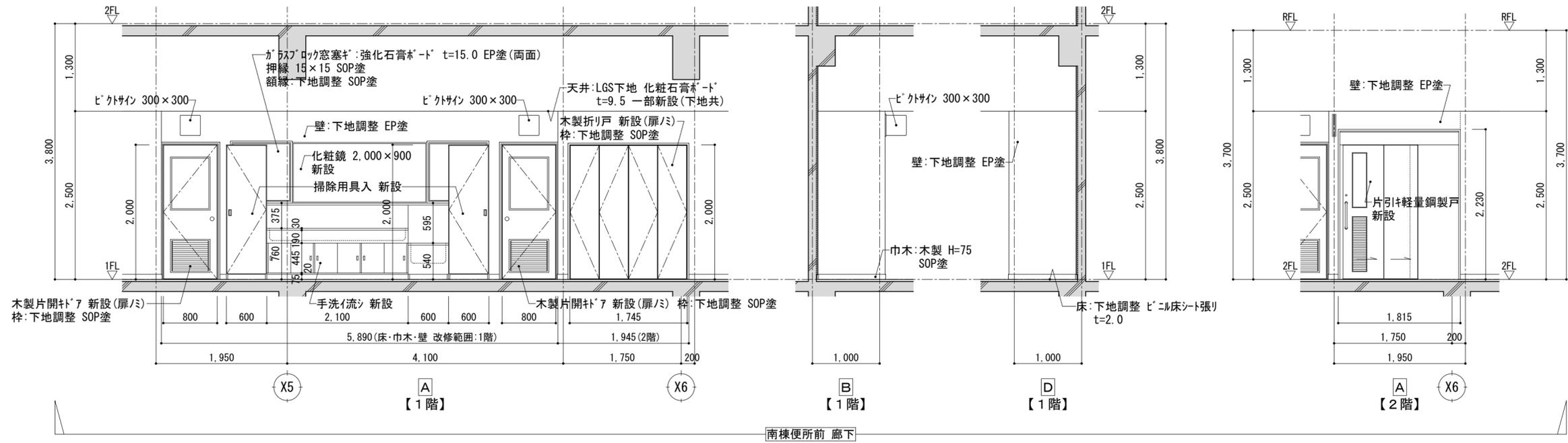
改修後



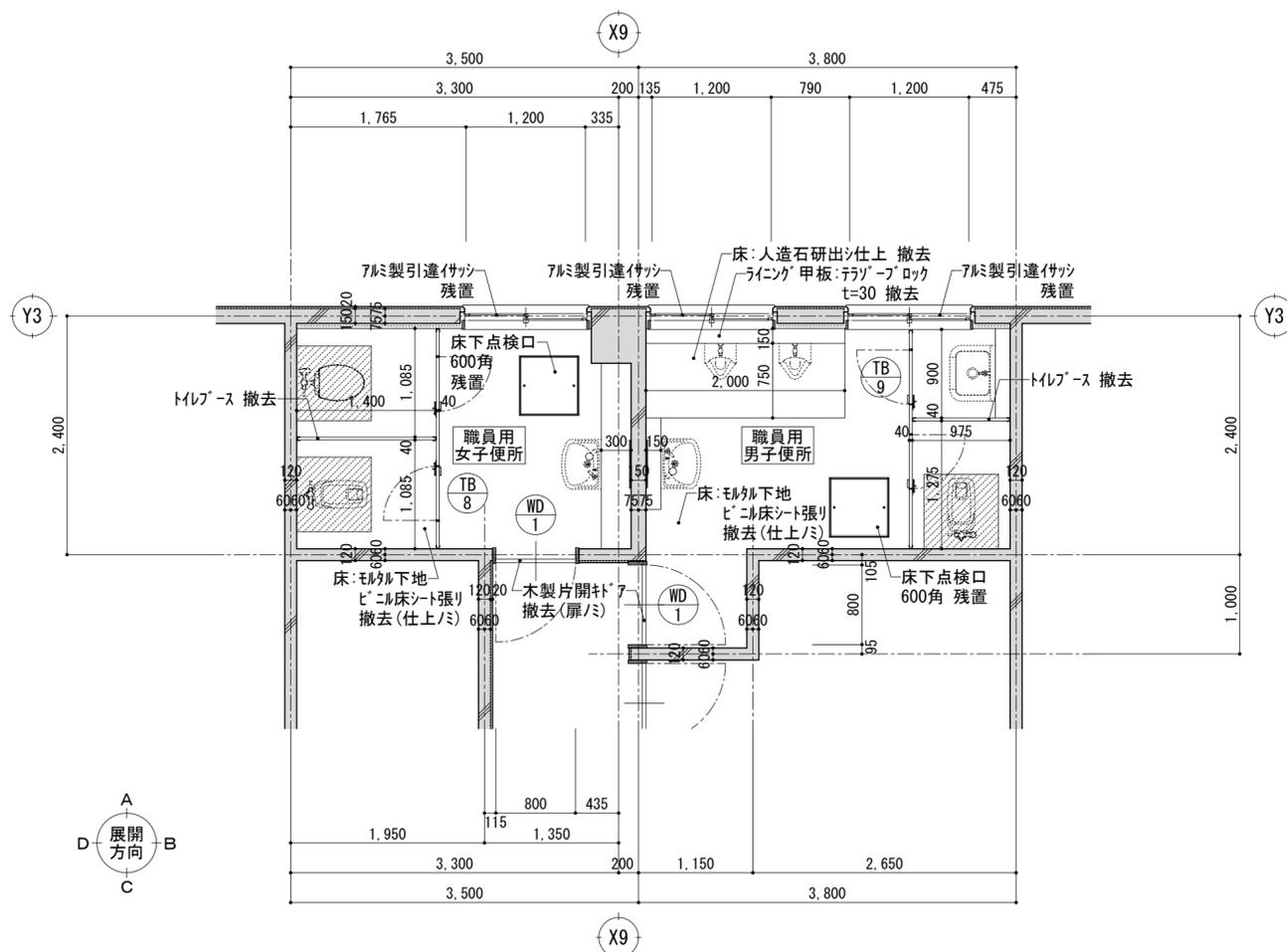
改修前



改修後



改修前

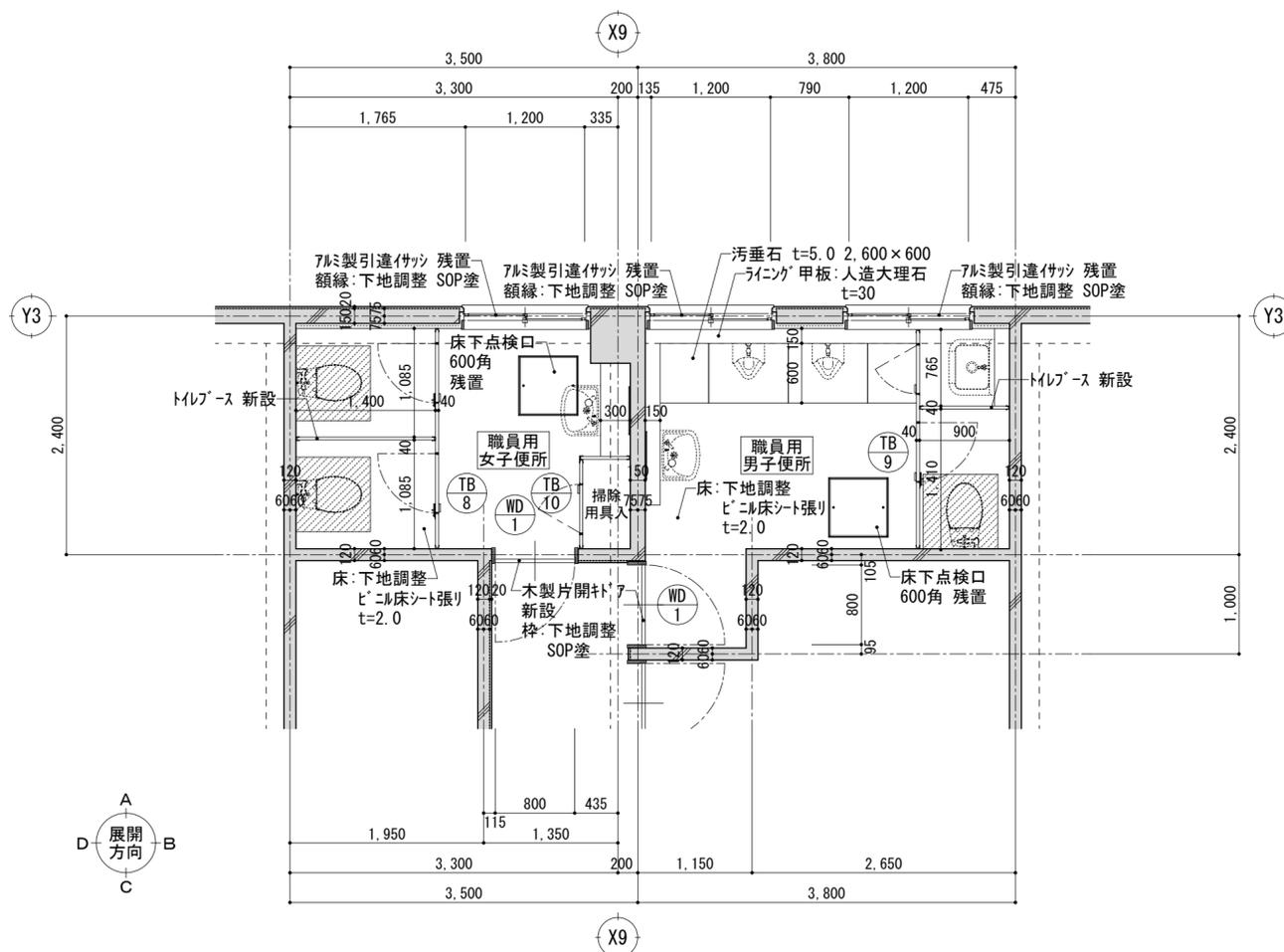


職員用便所 平面詳細図 S=1:50

床スラブ 撤去範囲 t=120(1階) 150(2・3階) 750×750 (鉄筋床)  
周囲:コンクリートカー入

\*\*\*  
\* : 改修建具 (撤去) を示す。建具表参照

改修後

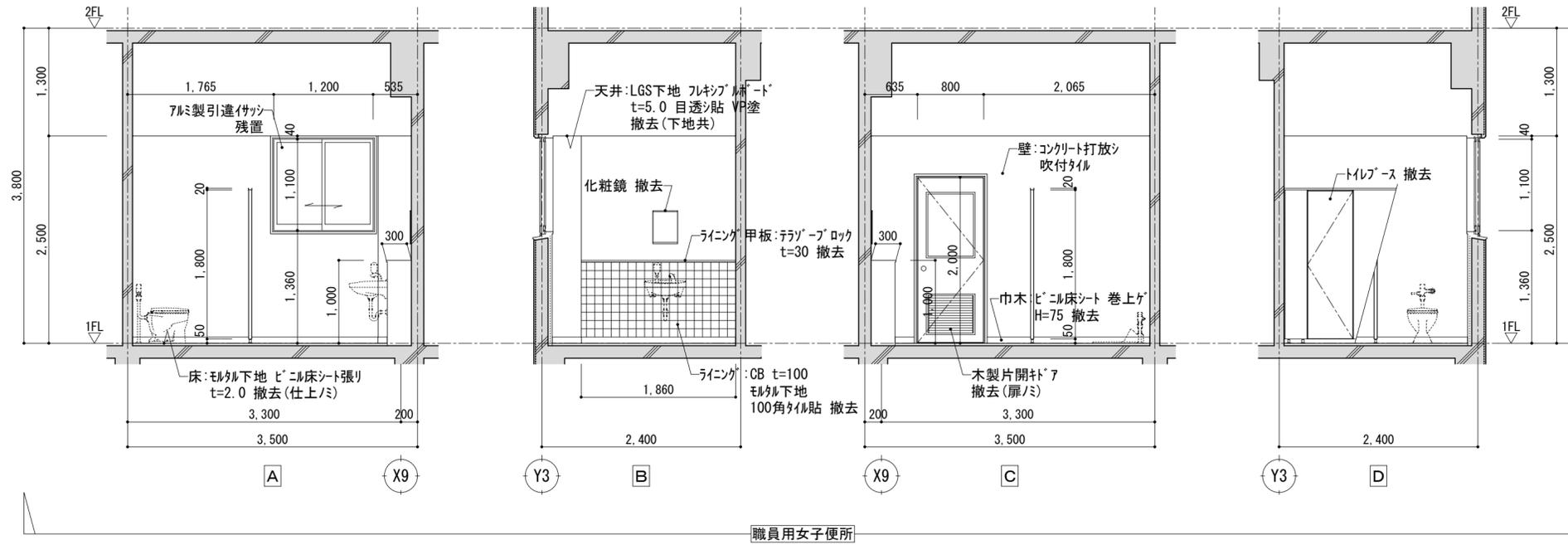


職員用便所 平面詳細図 S=1:50

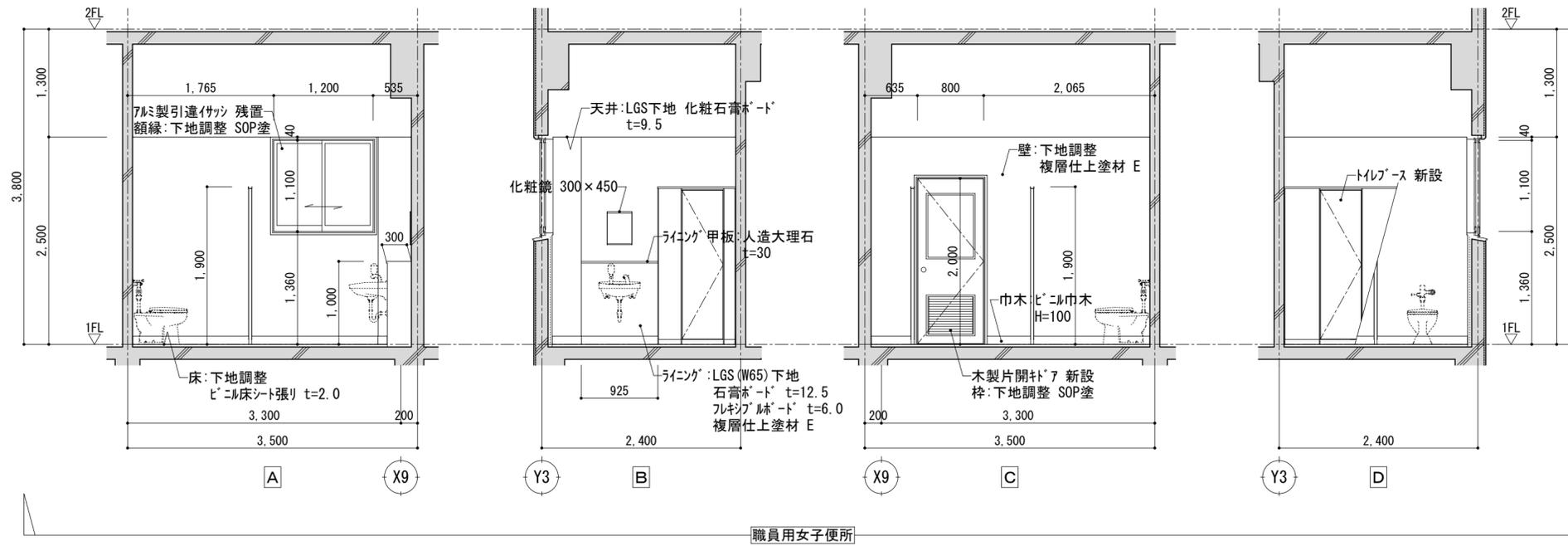
床スラブ 改修範囲 t=120 750×750 コンクリート打設  
D10 @200 (溶接継手 10d以上)

\*\*\*  
\* : 改修建具 (新設) を示す。建具表参照

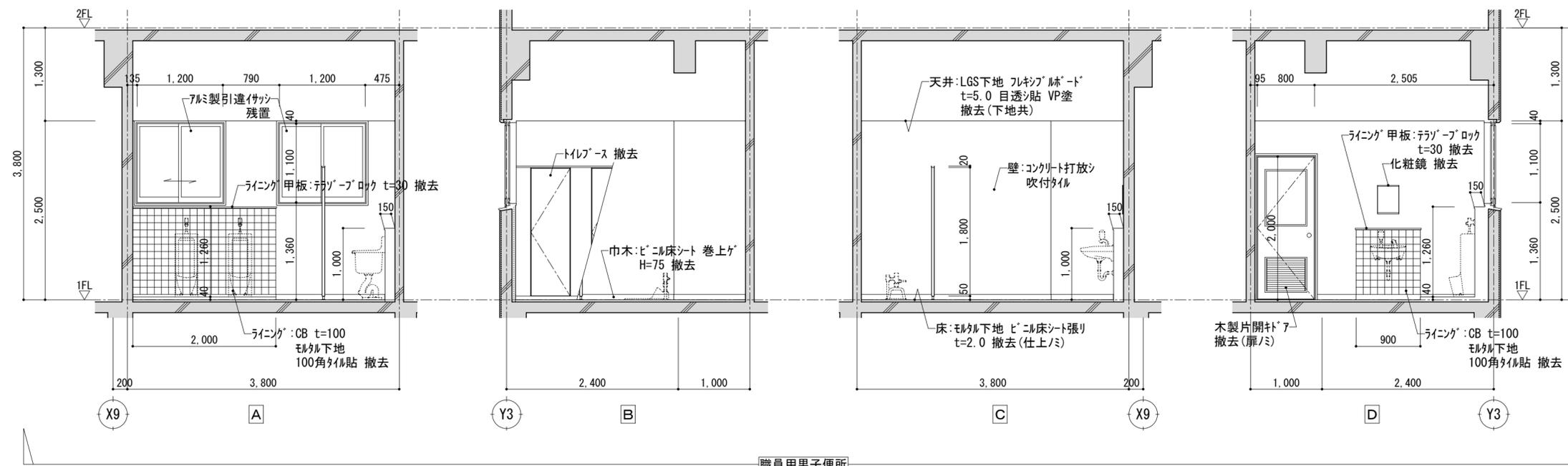
改修前



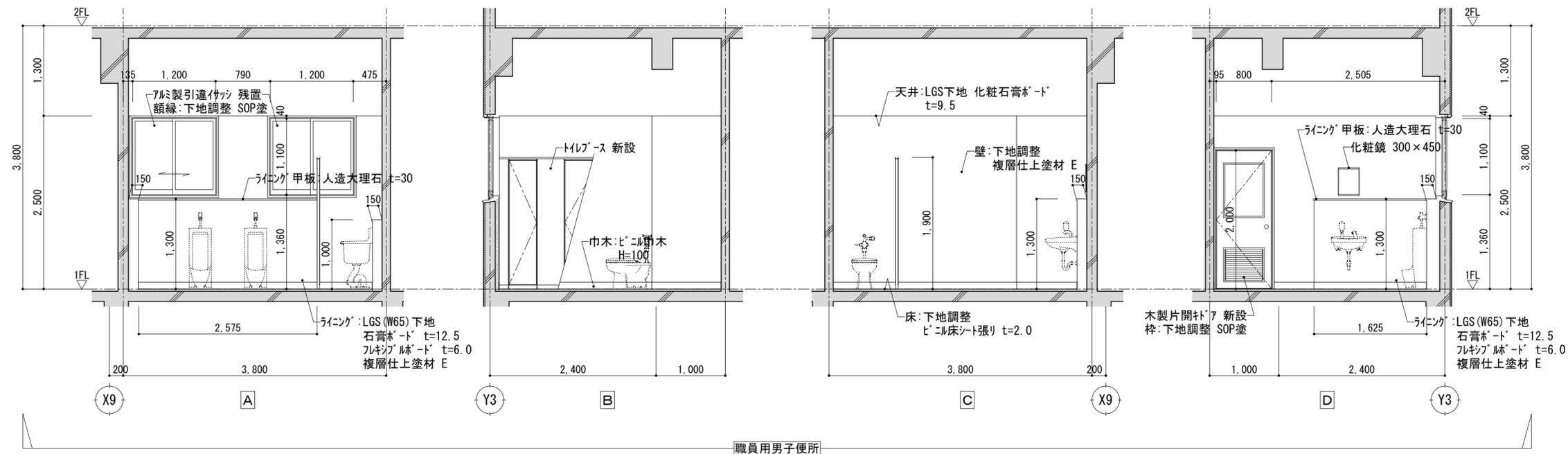
改修後



改修前

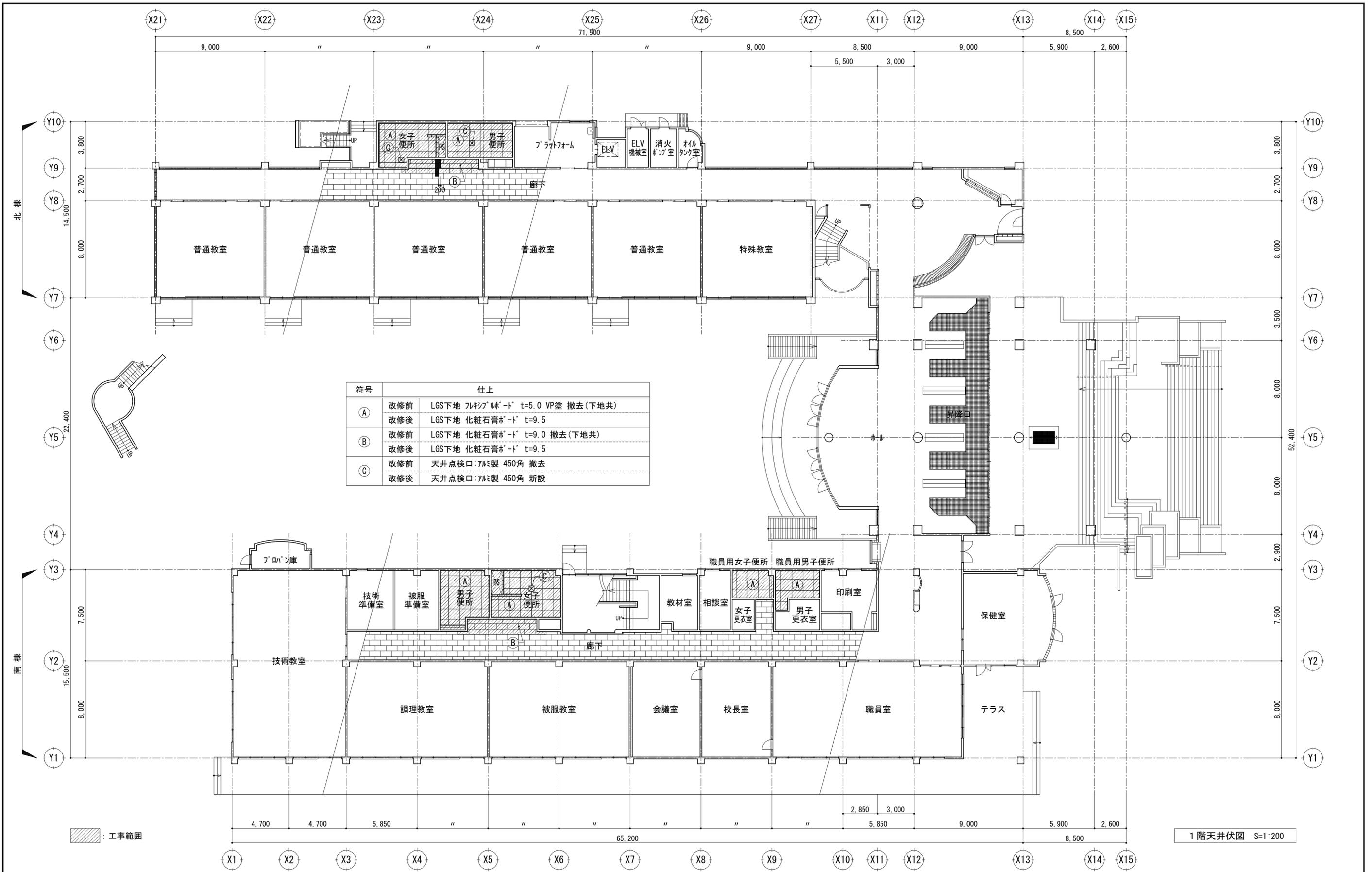


改修後



平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

図面名	南棟職員用男子便所 展開図 【校舎棟】	図面種別	A
縮尺	S=1:50 [A2:原版 A3:71%縮小]	図面番号	25

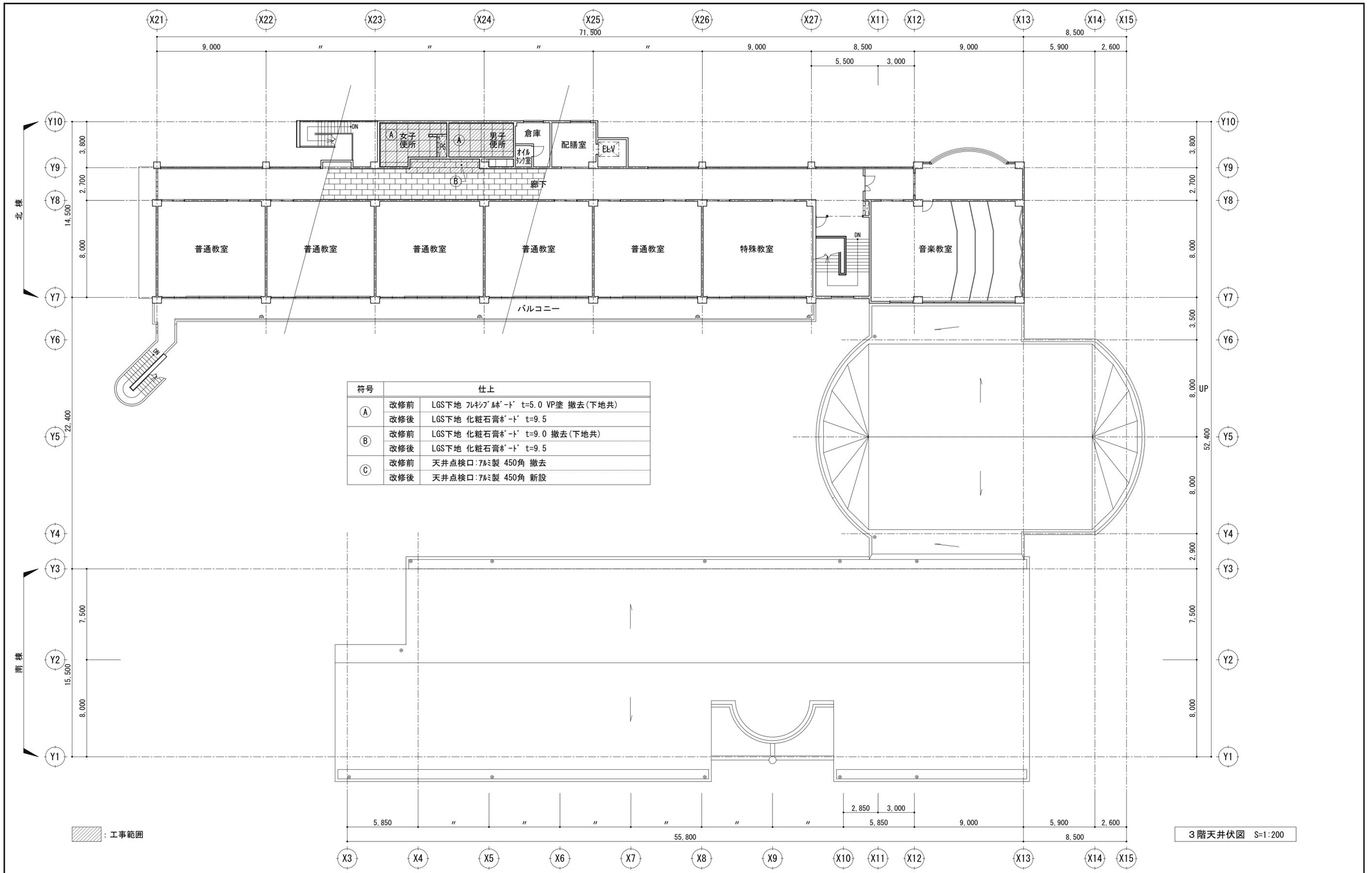


1階天井伏図 S=1:200



：工事範囲

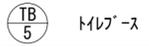
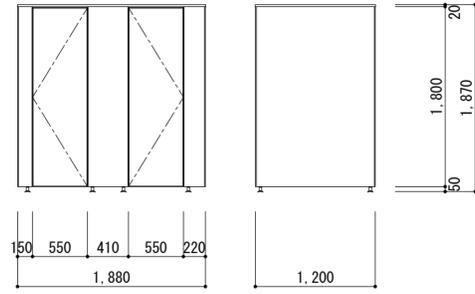
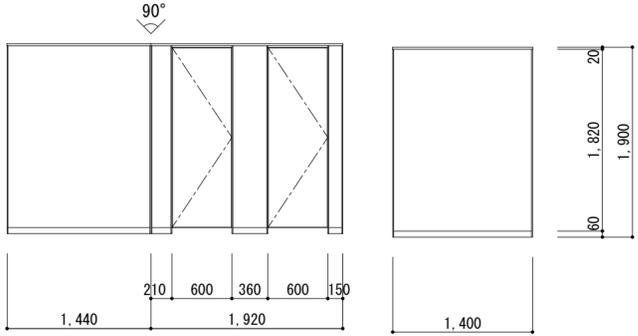
2階天井伏図 S=1:200

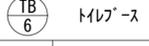
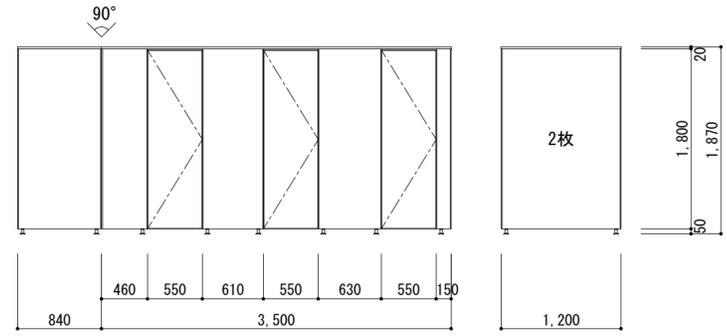
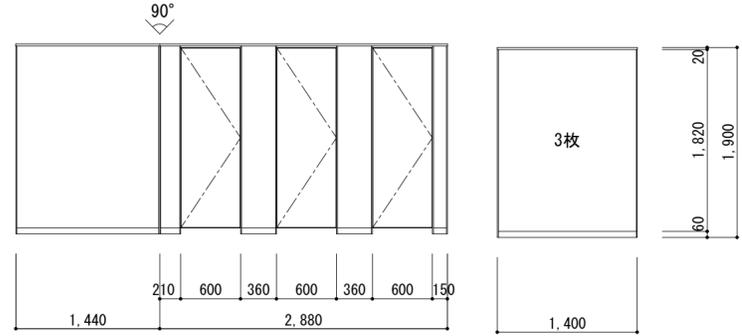


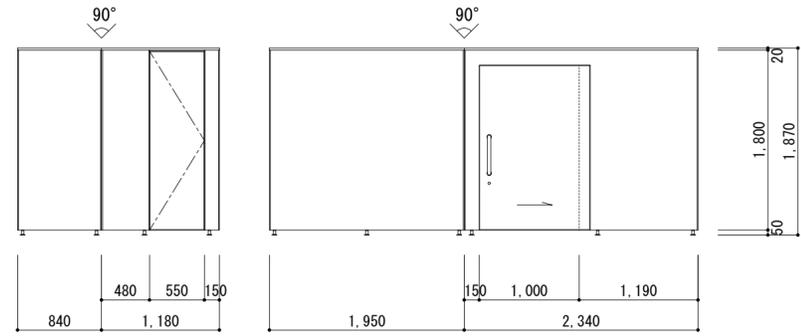
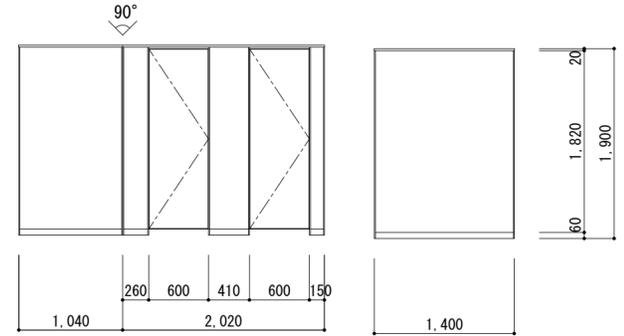
：工事範囲

3階天井伏図 S=1:200

符号・名称	AW1 7ルミ製縦軸回転窓	AW1 7ルミ製片開き窓	TB1 トイレース	
姿 図	撤去 	改修 	撤去 	新設 
位置・数量	1～3階 北棟 男女便所 12ヶ所 1～2階 南棟 男女便所 8ヶ所	1～3階 北棟 男女便所 12ヶ所 1～2階 南棟 男女便所 8ヶ所	1～3階 北棟 女子便所 3ヶ所	1～3階 北棟 女子便所 3ヶ所
仕上・見込	7ルミ製 70	7ルミ製 70	メラミン化粧板 40	メラミン樹脂化粧板(ﾊﾞｰﾊﾟｰｺﾌﾞ) 40
硝子	型板ガラス t5	型板ガラス t5		
金物	附属金物一式	ハンドル、あおり止め、丁番、附属金物一式	附属金物一式	表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式
備考	枠のみ残置	ｶﾞｰ工法改修	撤去	巾木(ｽﾃﾝﾚｽ)ﾀｲﾌﾟ、笠木:ｱﾙﾐｱﾙﾐｯﾄ仕上
符号・名称	TB2 トイレース		TB3 トイレース	
姿 図	撤去 	新設 	撤去 	新設 
位置・数量	1～3階 北棟 女子便所 3ヶ所	1～3階 北棟 女子便所 3ヶ所	1～3階 北棟 男子便所 3ヶ所	1～3階 北棟 男子便所 3ヶ所
仕上・見込	メラミン化粧板 40	メラミン樹脂化粧板(ﾊﾞｰﾊﾟｰｺﾌﾞ) 40	メラミン化粧板 40	メラミン樹脂化粧板(ﾊﾞｰﾊﾟｰｺﾌﾞ) 40
硝子				
金物	附属金物一式	表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式	附属金物一式	表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式
備考	撤去	巾木(ｽﾃﾝﾚｽ)ﾀｲﾌﾟ、笠木:ｱﾙﾐｱﾙﾐｯﾄ仕上	撤去	巾木(ｽﾃﾝﾚｽ)ﾀｲﾌﾟ、笠木:ｱﾙﾐｱﾙﾐｯﾄ仕上
符号・名称	TB4 トイレース			
姿 図	撤去 	新設 		
位置・数量	1～2階 南棟 男子便所 2ヶ所	1～2階 南棟 男子便所 2ヶ所		
仕上・見込	メラミン化粧板 40	メラミン樹脂化粧板(ﾊﾞｰﾊﾟｰｺﾌﾞ) 40		
硝子				
金物	附属金物一式	表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式		
備考	撤去	巾木(ｽﾃﾝﾚｽ)ﾀｲﾌﾟ、笠木:ｱﾙﾐｱﾙﾐｯﾄ仕上		
平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図				図面名 建具表(1) 【校舎棟】
				図面種別 A
				図面番号 29
				縮尺 S=1:50 [A2:原版 A3:71%縮小]

符号・名称		
姿 図	<b>撤去</b> 	<b>新設</b> 
位置・数量	1～2階 南棟 女子便所 2ヶ所	1～2階 南棟 女子便所 2ヶ所
仕上・見込	マリン化粧合板 40	マリン樹脂化粧合板(ペーパコア) 40
硝子		
金物	附属金物一式	表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式
備考	撤去	巾木(ステンレス)タイプ、笠木:アルミマイト仕上

符号・名称		
姿 図	<b>撤去</b> 	<b>新設</b> 
位置・数量	1階 南棟 女子便所 1ヶ所	1階 南棟 女子便所 1ヶ所
仕上・見込	マリン化粧合板 40	マリン樹脂化粧合板(ペーパコア) 40
硝子		
金物	附属金物一式	表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式
備考	撤去	巾木(ステンレス)タイプ、笠木:アルミマイト仕上

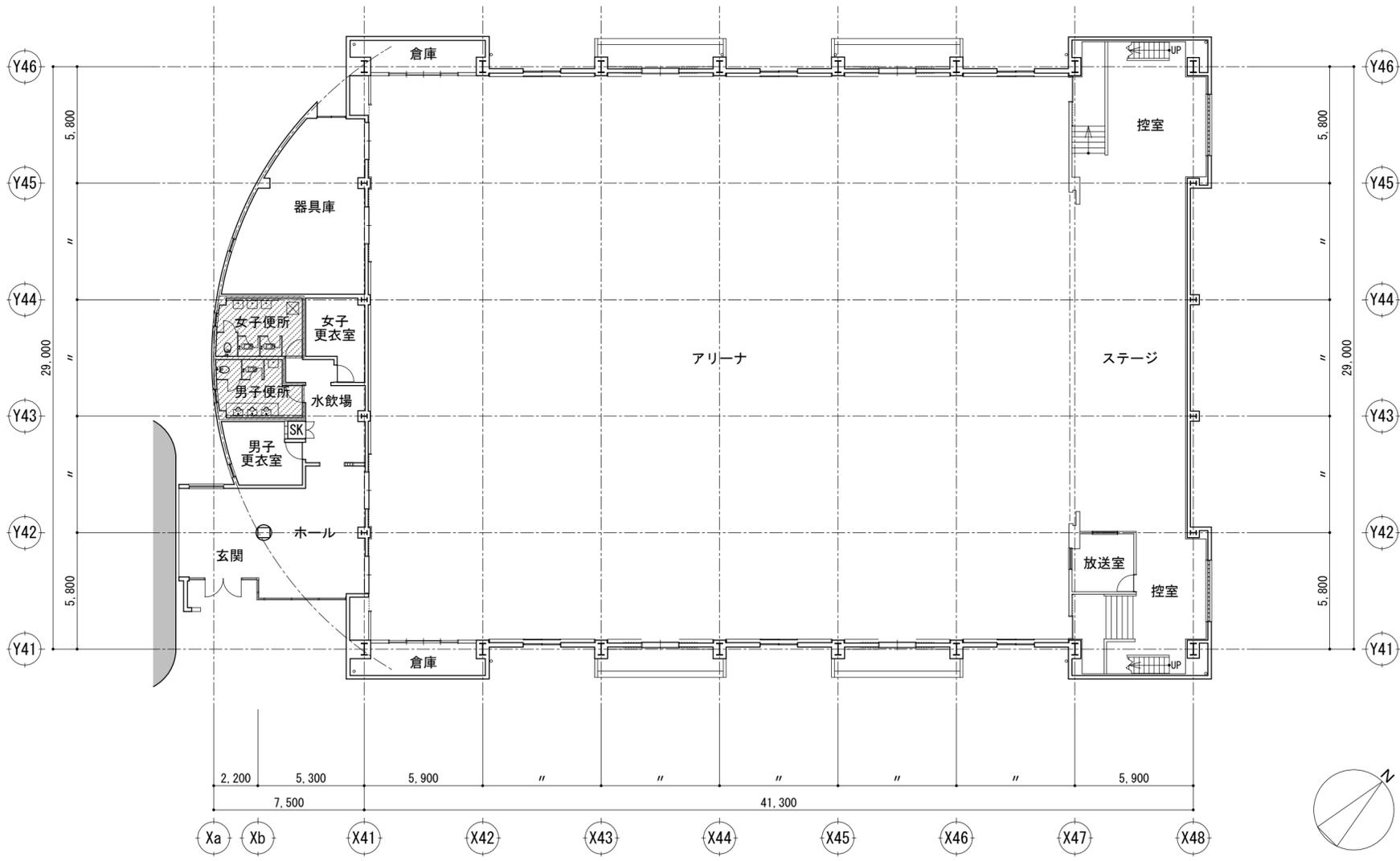
符号・名称		
姿 図	<b>撤去</b> 	<b>新設</b> 
位置・数量	2階 南棟 女子便所 1ヶ所	2階 南棟 女子便所 1ヶ所
仕上・見込	マリン化粧合板 40	マリン樹脂化粧合板(ペーパコア) 40
硝子		
金物	附属金物一式	表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式
備考	撤去	巾木(ステンレス)タイプ、笠木:アルミマイト仕上

		平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図		図面名 建具表(2) 【校舎棟】	図面種別 A
				縮尺 S=1:50 [A2:原版 A3:71%縮小]	図面番号 30

符号・名称	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">TB 8</span> トイレース				<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">TB 10</span> トイレース			
姿 図	撤去 	新設 			新設 			
位置・数量	1階 南棟 女子職員便所 1ヶ所		1階 南棟 女子職員便所 1ヶ所		1階 南棟 女子職員便所 1ヶ所			
仕上・見込	マニ化化粧板 40		マニ樹脂化粧板(ハ-ハ-コ7) 40		マニ樹脂化粧板(ハ-ハ-コ7) 40			
硝子								
金物	附属金物一式		表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式		表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式			
備考	撤去		巾木(ステンレス)タイプ、笠木:アルミマイト仕上		巾木(ステンレス)タイプ、笠木:アルミマイト仕上			
符号・名称	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">TB 9</span> トイレース				<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">WD 1</span> 木製片開キフラッシュドア(額・ガラリ付)			
姿 図	撤去 	新設 			撤去 	新設 		
位置・数量	1階 南棟 男子職員便所 1ヶ所		1階 南棟 男子職員便所 1ヶ所		1～3階 男子・女子便所 12ヶ所		1～3階 男子・女子便所 12ヶ所	
仕上・見込	マニ化化粧板 40		マニ樹脂化粧板(ハ-ハ-コ7) 40		SOP塗 36		マニ樹脂化粧板 36	
硝子					型板ガラス t=4.0		型板ガラス t=4.0	
金物	附属金物一式		表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式		附属金物一式		空錠、丁番、ドアチェック その他附属金物一式	
備考	撤去		巾木(ステンレス)タイプ、笠木:アルミマイト仕上		扉/撤去(枠:残置)		枠:下地調整 SOP塗	
符号・名称	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">WD 2</span> 木製フラッシュ折戸		<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">LSD 1</span> 片引軽量鋼製戸(額・ガラリ付)		<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">WD 3</span> 木製フラッシュ折戸			
姿 図	撤去 	新設 			撤去 	新設 		
位置・数量	2階 南棟便所前 廊下 1ヶ所		2階 南棟 車椅子便所 1ヶ所		1～3階 便所前 廊下 4ヶ所		1～3階 便所前 廊下 4ヶ所	
仕上・見込	SOP塗 36		溶融亜鉛メッキ鋼板(ハ-ハ-コ7) 40		SOP塗 36		マニ樹脂化粧板 36	
硝子			型板ガラス t=4.0					
金物	附属金物一式		引手、表示錠、戸当り その他附属金物一式		附属金物一式		引手 その他附属金物一式	
備考	撤去(枠共)		二重引タイプ		扉/撤去(枠:残置)		枠:下地調整 SOP塗	

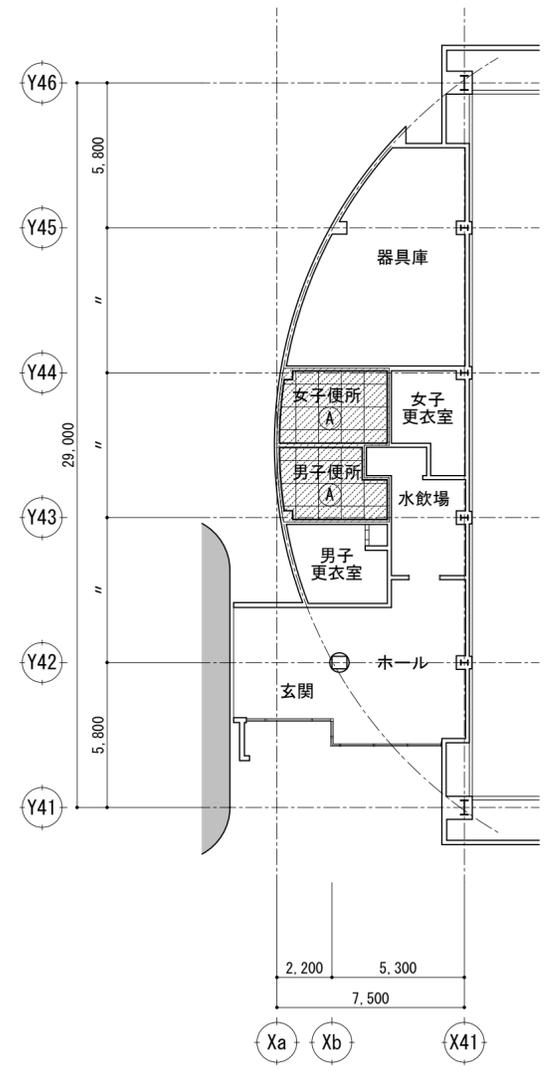
内部仕上表

室名	床	巾木			壁	天井			廻り縁	備考
		仕上	H	塗装		仕上	下地	H		
女子便所	改修前	モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0 撤去(仕上/ミ) 一部 躯体共撤去	ビニル床シート 巻上ゲ	75	コンクリート打放し補修下地 吹付タイル 外壁面:スタイロフォーム t=20 ラスモルタル下地 吹付タイル 撤去(下地共)	フレスコ'ル'ト' t=5.0 目透シ貼 VP塗 撤去	LGS下地 撤去	2,500	塩ビ'製 撤去	床下点検口:7mm製 600角 残置、化粧鏡 撤去 ライニング'甲板:テラゾ'-'フロク t=25 撤去、ライニング':CB t=100 モルタル下地 100角タイル貼 撤去
	改修後	下地調整 ビニル床シート張り t=2.0 一部 コンクリート打設 モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0	ビニル巾木	100	下地調整 複層仕上塗材 E 外壁面:スタイロフォーム t=20 ラスモルタル下地 複層仕上塗材 E	化粧石膏ボ'-'ト' t=9.5	LGS下地	2,500	塩ビ'製	ライニング'甲板:人造大理石 t=30、化粧鏡 2,400×900 ライニング':LGS(W=65)下地 シーリング'石膏ボ'-'ト' t=12.5 フレスコ'ル'ト' t=6.0 複層仕上塗材 E 手洗イカ'ン'テ:人造大理石 t=30 2,400×430
男子便所	改修前	モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0 撤去(仕上/ミ) 一部 躯体共撤去	ビニル床シート 巻上ゲ	75	コンクリート打放し補修下地 吹付タイル 外壁面:スタイロフォーム t=20 ラスモルタル下地 吹付タイル 撤去(下地共)	フレスコ'ル'ト' t=5.0 目透シ貼 VP塗 撤去	LGS下地 撤去	2,500	塩ビ'製 撤去	化粧鏡 撤去、小便器前床:人造石研出シ仕上 撤去 ライニング'甲板:テラゾ'-'フロク t=25 撤去、ライニング':CB t=100 モルタル下地 100角タイル貼 撤去
	改修後	下地調整 ビニル床シート張り t=2.0 一部 コンクリート打設 モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0	ビニル巾木	100	下地調整 複層仕上塗材 E 外壁面:スタイロフォーム t=20 ラスモルタル下地 複層仕上塗材 E	化粧石膏ボ'-'ト' t=9.5	LGS下地	2,500	塩ビ'製	ライニング'甲板:人造大理石 t=30、化粧鏡 1,340×900 ライニング':LGS(W=65)下地 シーリング'石膏ボ'-'ト' t=12.5 フレスコ'ル'ト' t=6.0 複層仕上塗材 E 汚垂石 t=5.0 2,400×600、手洗イカ'ン'テ:人造大理石 t=30 1,340×430



1階平面図 S=1:200

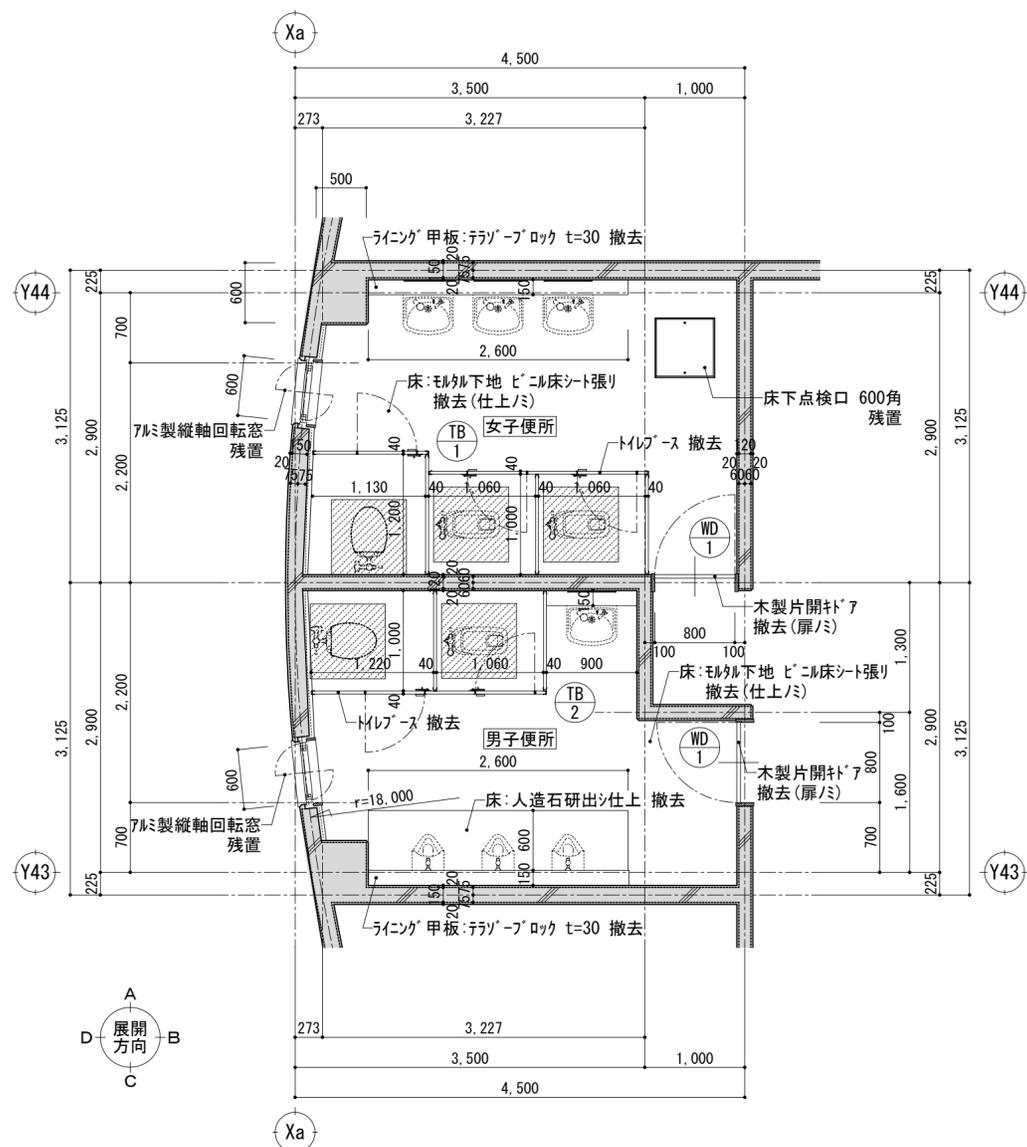
▨ : 工事範囲



1階天井伏図 S=1:200

符号	仕上	
A	改修前	LGS下地 フレスコ'ル'ト' t=5.0 VP塗 撤去(下地共)
	改修後	LGS下地 フレスコ'ル'ト' t=5.0 VP塗

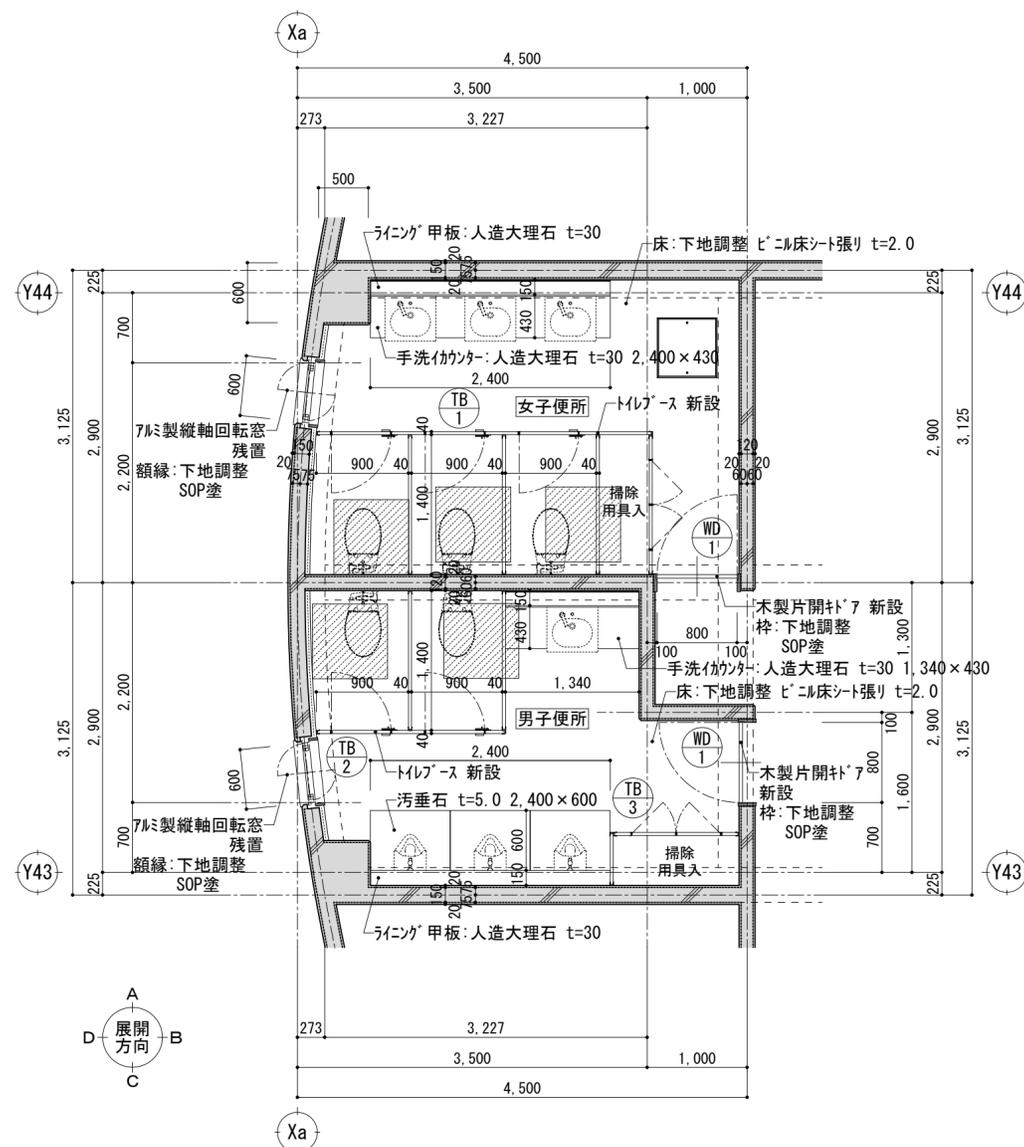
改修前



屋内運動場便所 平面詳細図 S=1:50

- : 床スラブ 撤去範囲 t=150 750×750 (鉄筋残) 周囲:コンクリートカッター入
- : 改修建具 (撤去) を示す。建具表参照

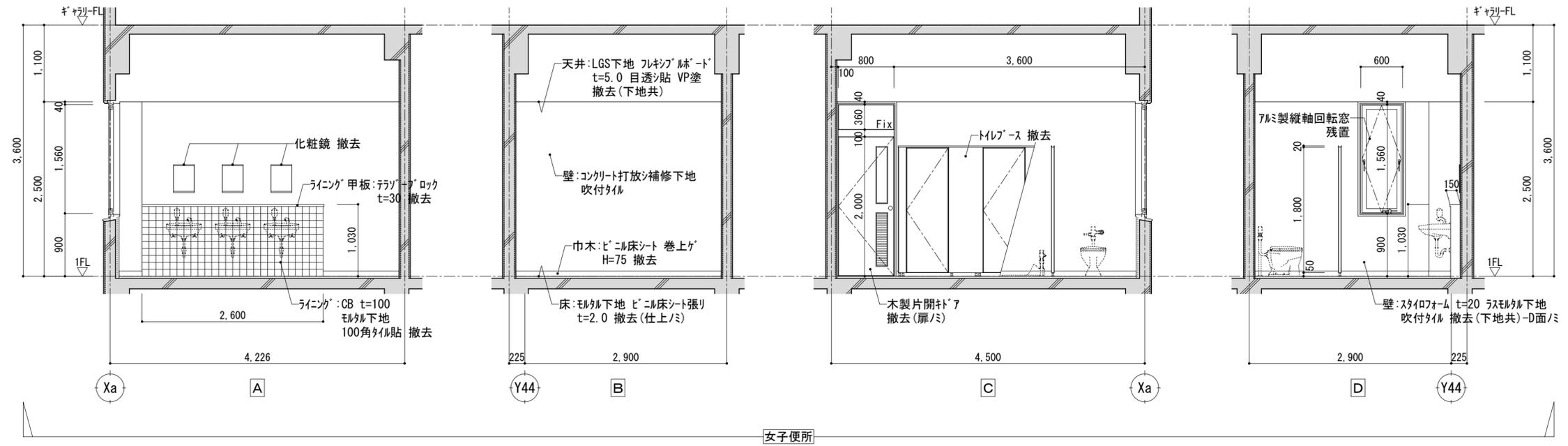
改修後



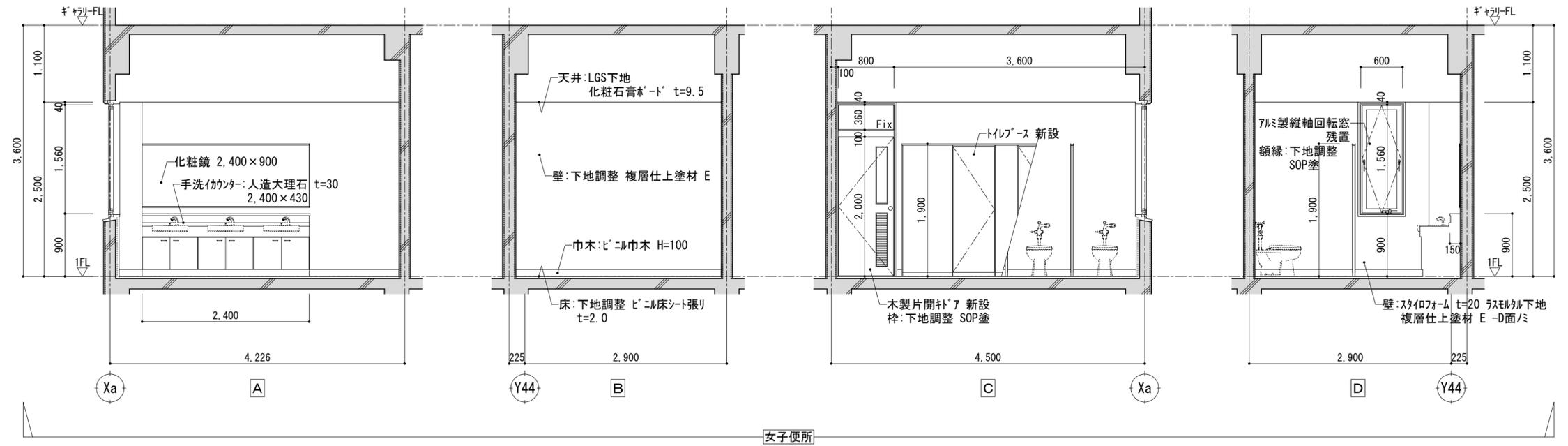
屋内運動場便所 平面詳細図 S=1:50

- : 床スラブ 改修範囲 t=150 750×750 コンクリート打設 D10・13 @200 タブル (溶接継手 10d以上)
- : 改修建具 (新設) を示す。建具表参照

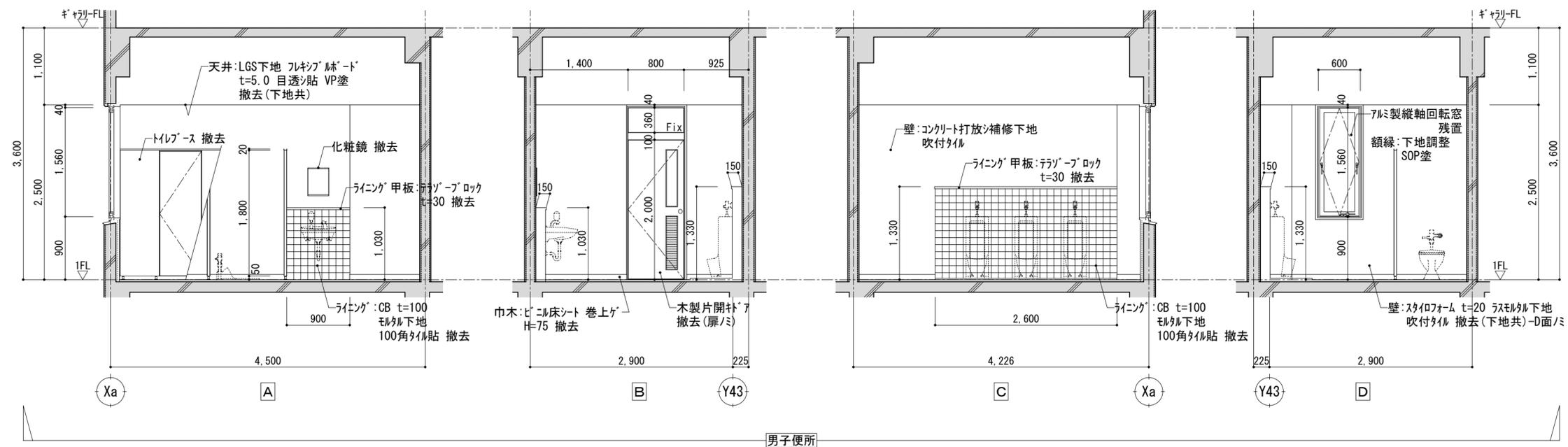
改修前



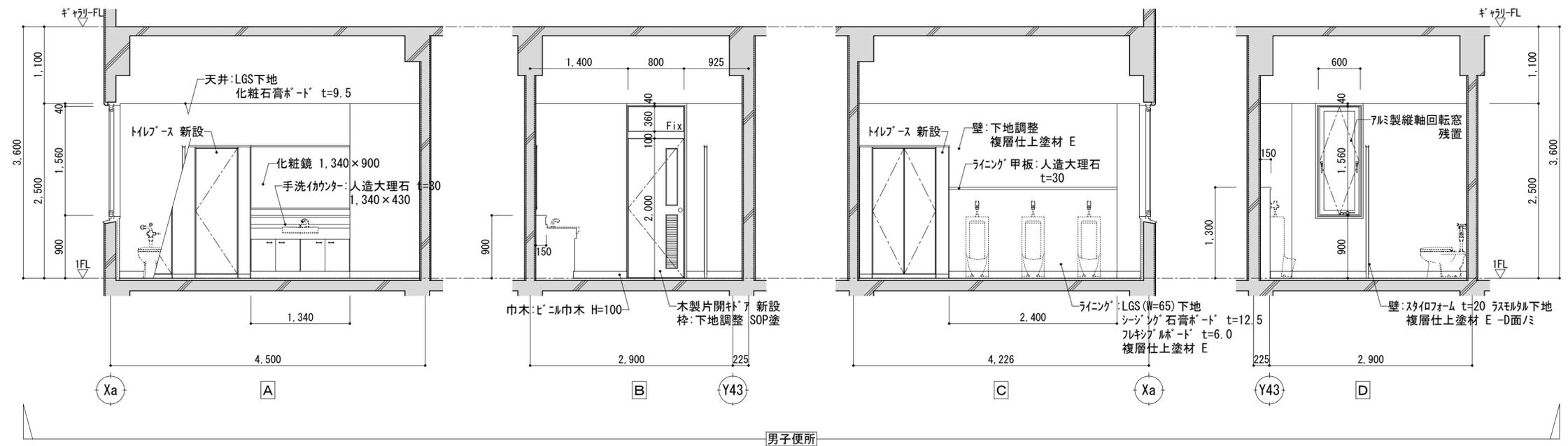
改修後



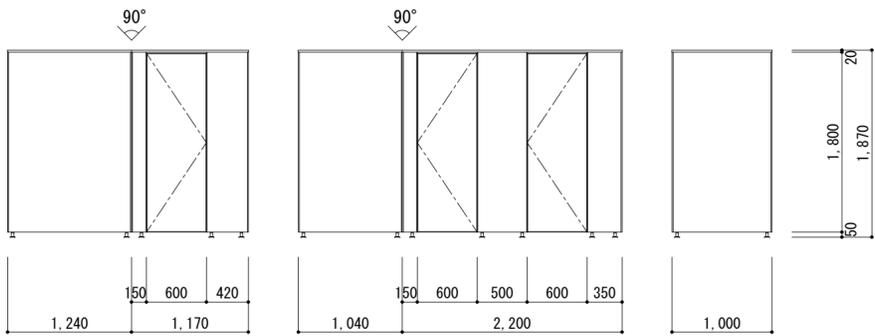
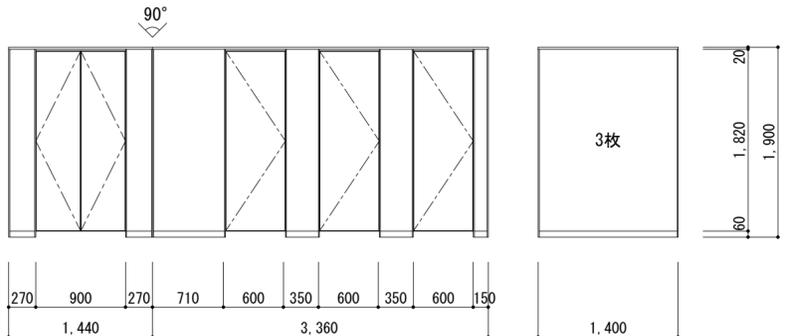
改修前

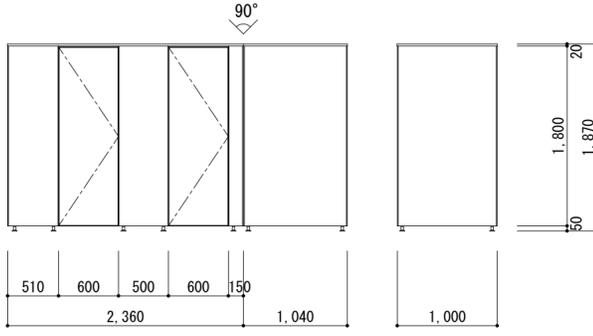
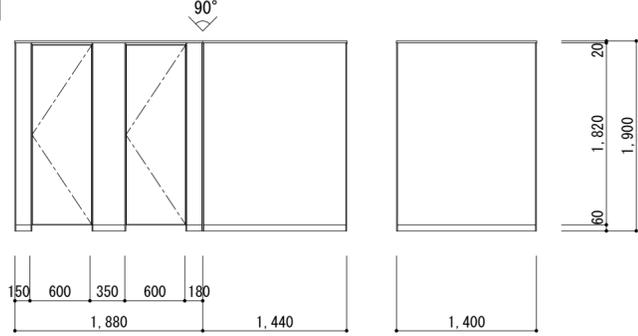
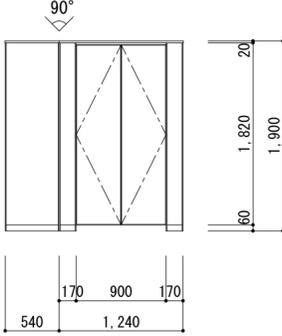


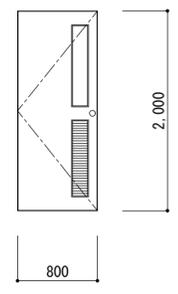
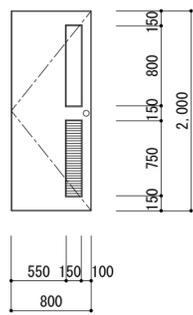
改修後



		平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図		図面名 屋内運動場男子便所 展開図 【屋内運動場】	図面種別 A
				縮尺 S=1:50 [A2:原版 A3:71%縮小]	図面番号 35

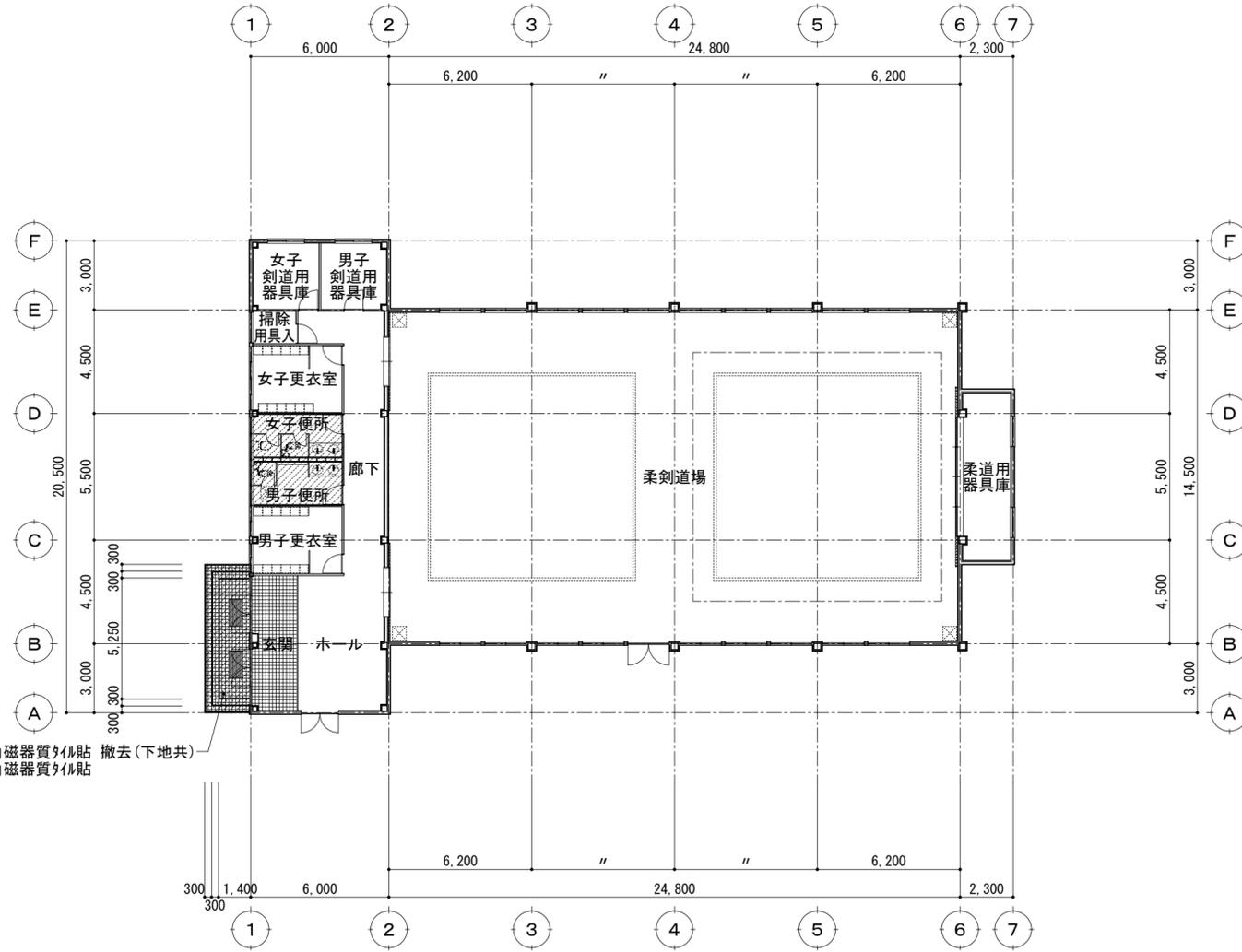
符号・名称	 トイレース	
姿 図	撤去	
	新設	
位置・数量	女子便所	1ヶ所
仕上・見込	メラミン化粧板	40
硝子		
金物	附属金物一式	
備考	撤去	
位置・数量	女子便所	1ヶ所
仕上・見込	メラミン樹脂化粧板 (ハーフコート)	40
硝子		
金物	表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式	
備考	巾木(ステンレス)タイプ、笠木:アルミマイト仕上	

符号・名称	 トイレース		 トイレース			
姿 図	撤去		新設		新設	
	位置・数量	男子便所	1ヶ所	男子便所	1ヶ所	男子便所
仕上・見込	メラミン化粧板	40	メラミン樹脂化粧板 (ハーフコート)	40	メラミン樹脂化粧板 (ハーフコート)	40
硝子						
金物	附属金物一式		表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式		表示錠、ヒンジ、戸当り 他 附属金物一式	
備考	撤去		巾木(ステンレス)タイプ、笠木:アルミマイト仕上		巾木(ステンレス)タイプ、笠木:アルミマイト仕上	

符号・名称	 木製片開キラッシュドア (額・ガラリ付)			
姿 図	撤去		新設	
	位置・数量	男子・女子便所	2ヶ所	男子・女子便所
仕上・見込	SOP塗	40	メラミン樹脂化粧板	40
硝子	型板ガラス t=4.0		型板ガラス t=4.0	
金物	附属金物一式		空錠、丁番、ドアフェック その他附属金物一式	
備考	扉は撤去(枠:残置)		枠:下地調整 SOP塗	

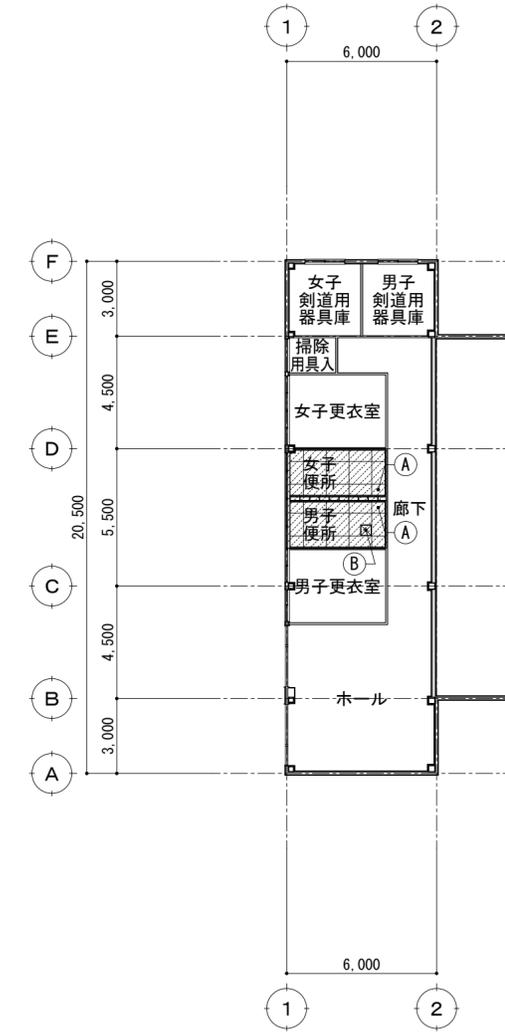
# 内部仕上表

室名	床	巾木			壁	天井			廻り縁	備考
		仕上	H	塗装		仕上	下地	H		
女子便所	改修前	モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0 撤去(仕上/ミ) 一部 躯体共撤去	-	-	フレスコ床 t=12.0 下地 (一部 モルタル下地) 100角磁器質タイル貼 撤去 (下地共)	石綿タイル板 t=4.0 VP塗 撤去	LGS下地 撤去	2,400	塩ビ製 撤去	手洗いカウンター 撤去、化粧鏡 撤去
	改修後	下地調整 ビニル床シート張り t=2.0 一部 コンクリート打設 モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0	ビニル巾木	100	シーリング石膏ボード t=12.5 下地 化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0 継目処理:アルミシヨイテ	化粧石膏ボード t=9.5	LGS下地	2,400	塩ビ製	ラインング 甲板:人造大理石 t=30、化粧鏡 950×900 ラインング:LGS(W=65)下地 シーリング石膏ボード t=12.5 化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0 手洗いカウンター:人造大理石 t=30 950×430
男子便所	改修前	モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0 撤去(仕上/ミ) 一部 躯体共撤去	-	-	フレスコ床 t=12.0 下地 (一部 モルタル下地) 100角磁器質タイル貼 撤去 (下地共)	石綿タイル板 t=4.0 VP塗 撤去	LGS下地 撤去	2,400	塩ビ製 撤去	床下点検口:7M製 600角 残置、天井点検口:7M製 450角 撤去、手洗いカウンター 撤去、化粧鏡 撤去 ラインング 甲板:セラミック ロック t=25 撤去、ラインング:CB t=100 モルタル下地 100角タイル貼 撤去
	改修後	下地調整 ビニル床シート張り t=2.0 一部 コンクリート打設 モルタル下地 ビニル床シート張り t=2.0	ビニル巾木	100	シーリング石膏ボード t=12.5 下地 化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0 継目処理:アルミシヨイテ	化粧石膏ボード t=9.5	LGS下地	2,400	塩ビ製	天井点検口:7M製 450角 新設、ラインング 甲板:人造大理石 t=30、化粧鏡 950×900 ラインング:LGS(W=65)下地 シーリング石膏ボード t=12.5 化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0 汚垂石 t=5.0 1,400×600、手洗いカウンター:人造大理石 t=30 950×430



1階平面図 S=1:200

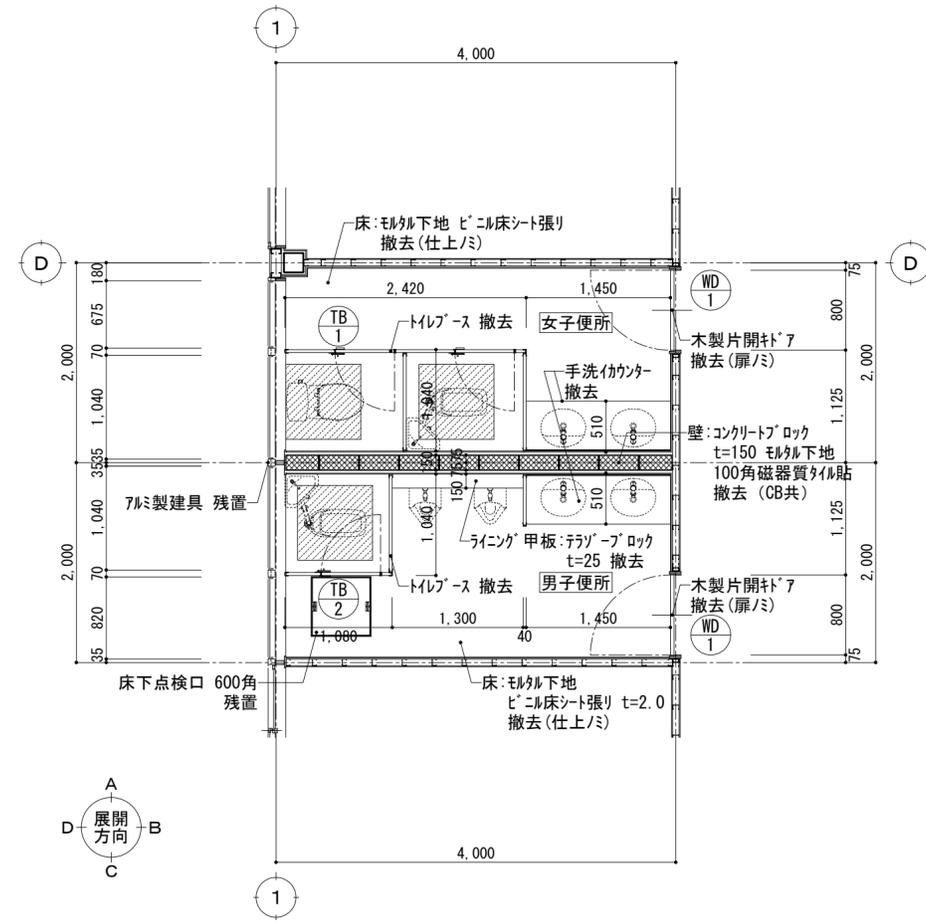
：工事範囲



天井伏図 S=1:200

符号	仕上	
A	改修前	LGS下地 フレスコ床 t=4.0 VP塗 撤去(下地共)
	改修後	LGS下地 フレスコ床 t=4.0 VP塗
B	改修前	天井点検口:7M製 450角 撤去
	改修後	天井点検口:7M製 450角 新設

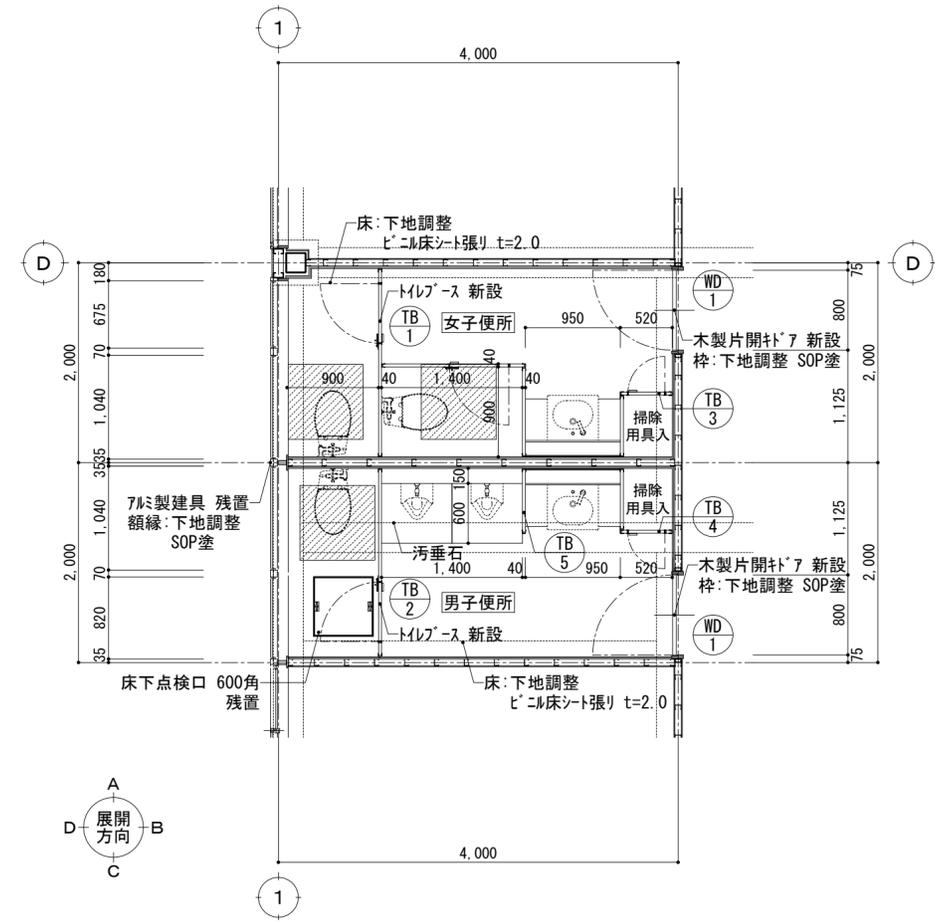
改修前



柔剣道場便所 平面詳細図 S=1:50

- : 床スラブ 撤去範囲 t=150 750×750 (鉄筋残) 周囲:コンクリートカー入
- : 改修建具 (撤去) を示す。建具表参照

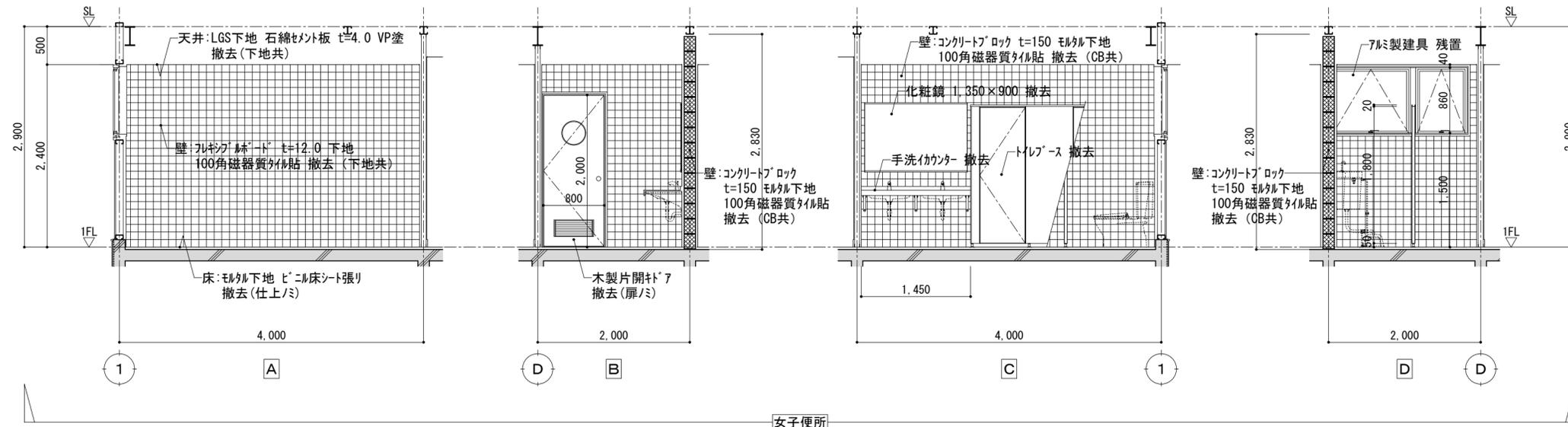
改修後



柔剣道場便所 平面詳細図 S=1:50

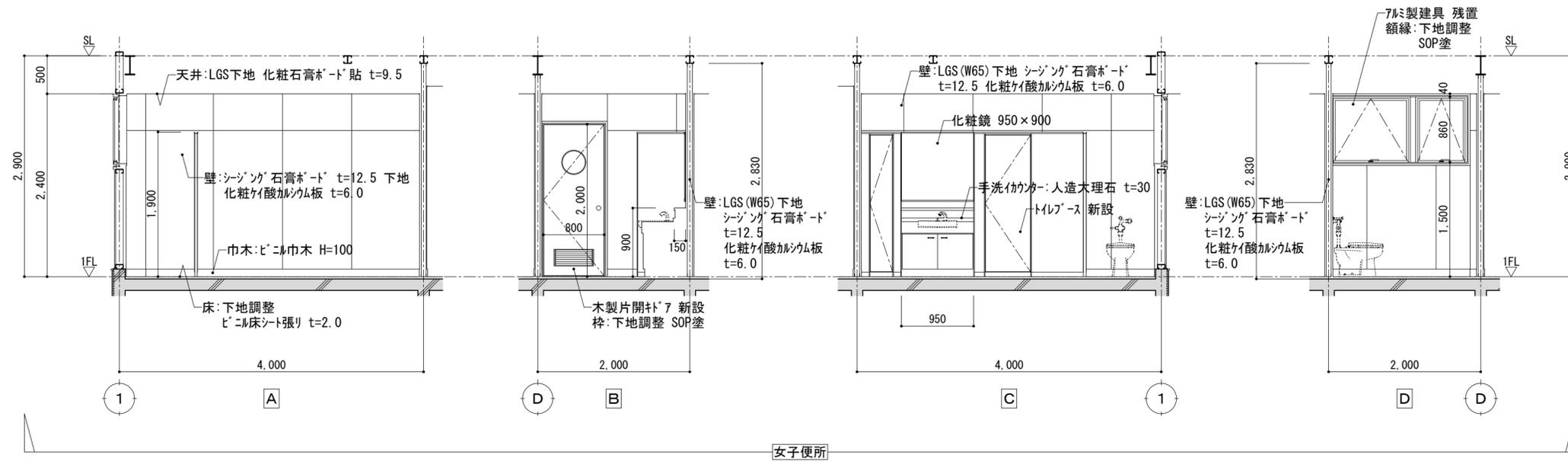
- : 床スラブ 改修範囲 t=150 750×750 コンクリート打設 D10-13 @200 タプル (溶接継手 10d以上)
- : 改修建具 (新設) を示す。建具表参照

改修前



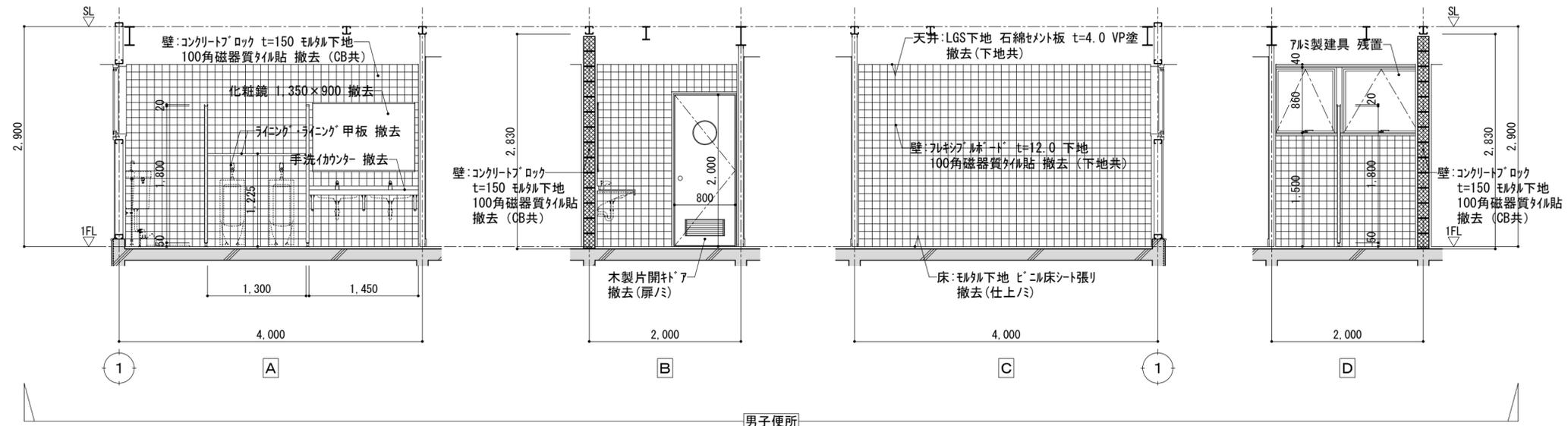
※ 壁下地 (A・B・D面):LGS (W65) 下地 残置  
(C面):コンクリートブロック t=150 撤去

改修後



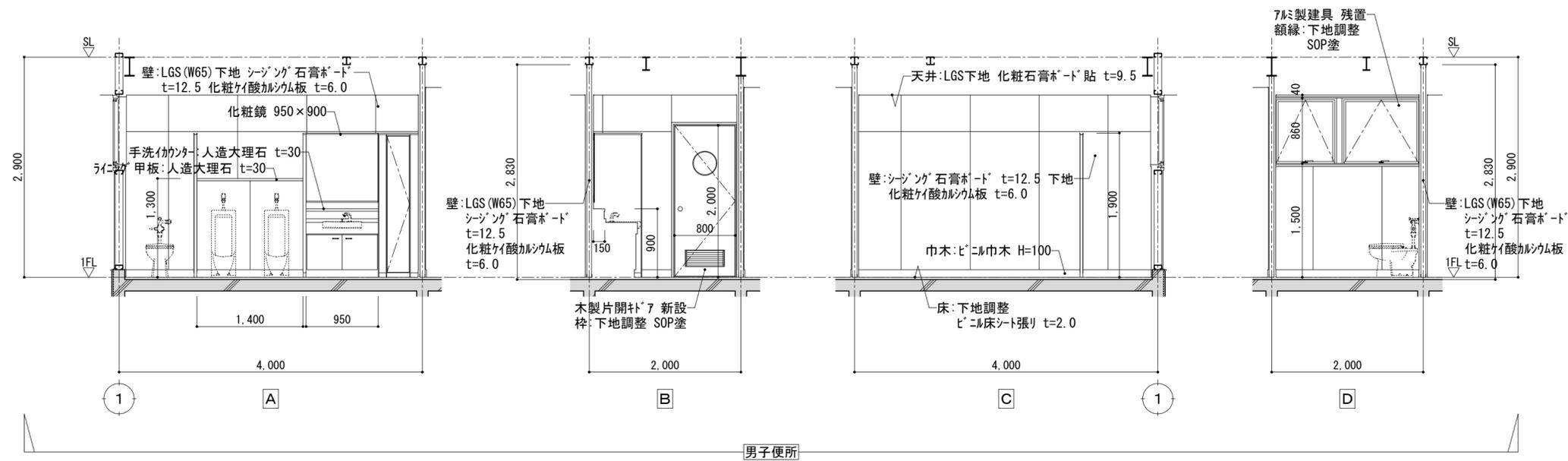
※ 壁下地 (A・B・D面):LGS (W65) 下地 既存  
(C面):LGS (W65) 下地 新設

改修前

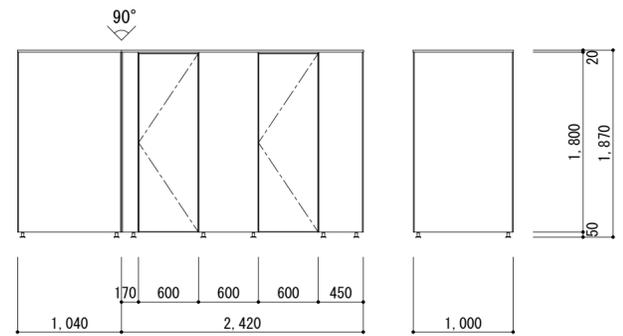
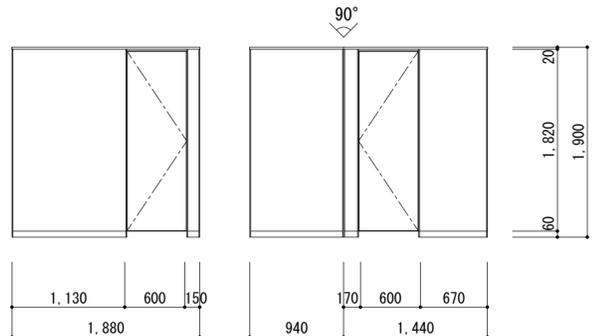


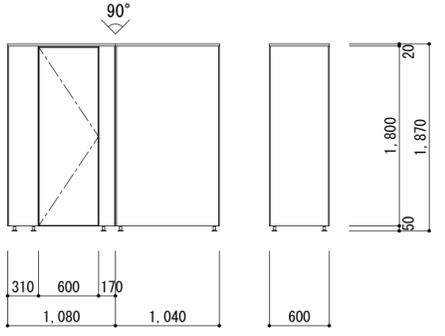
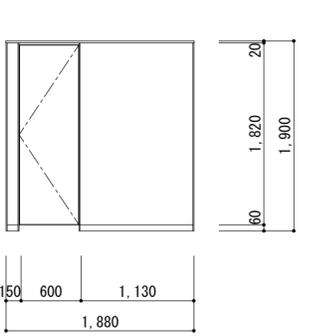
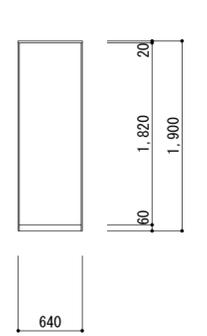
※ 壁下地 (B・C・D面):LGS (W65) 下地 残置  
(A面):コンクリートブロック t=150 撤去

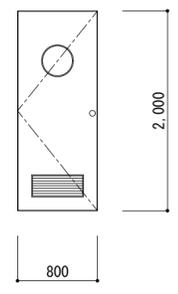
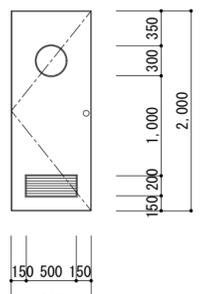
改修後



※ 壁下地 (B・C・D面):LGS (W65) 下地 既存  
(A面):LGS (W65) 下地 新設

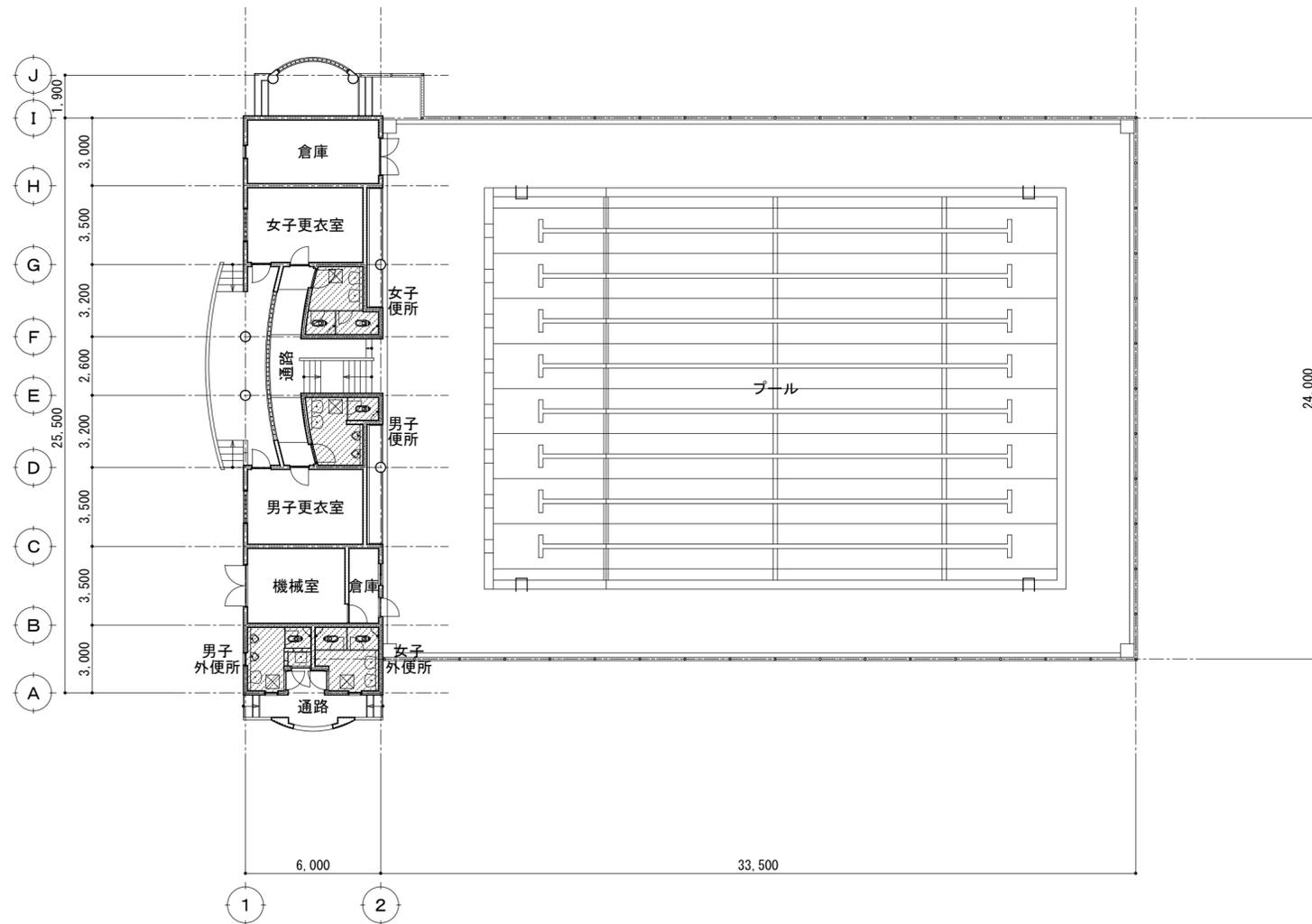
符号・名称	 トイレース 撤去		 トイレース 新設	
姿 図				
位置・数量	女子便所 1ヶ所		女子便所 1ヶ所	
仕上・見込	マリン化粧板 40		マリン樹脂化粧板(ペーパ-コア) 40	
硝子				
金物	附属金物一式		表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式	
備考	撤去		巾木(ステンレス)タイプ、笠木:アルミマイト仕上	

符号・名称	 トイレース 撤去		 トイレース 新設		 仕切板 新設	
姿 図						
位置・数量	男子便所 1ヶ所		男子便所 1ヶ所		男子便所 1ヶ所	
仕上・見込	マリン化粧板 40		マリン樹脂化粧板(ペーパ-コア) 40		マリン樹脂化粧板(ペーパ-コア) 40	
硝子						
金物	附属金物一式		表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式		附属金物一式	
備考	撤去		巾木(ステンレス)タイプ、笠木:アルミマイト仕上		巾木(ステンレス)タイプ、笠木:アルミマイト仕上	

符号・名称	 木製片開キラッシュドア(額・ガラリ付) 撤去		 木製片開キラッシュドア(額・ガラリ付) 新設	
姿 図				
位置・数量	男子・女子便所 2ヶ所		男子・女子便所 2ヶ所	
仕上・見込	SOP塗 40		マリン樹脂化粧板 40	
硝子	型板ガラス t=4.0		型板ガラス t=4.0	
金物	附属金物一式		空錠、丁番、ドアフェック その他附属金物一式	
備考	扉/撤去(枠:残置)		枠:下地調整 SOP塗	

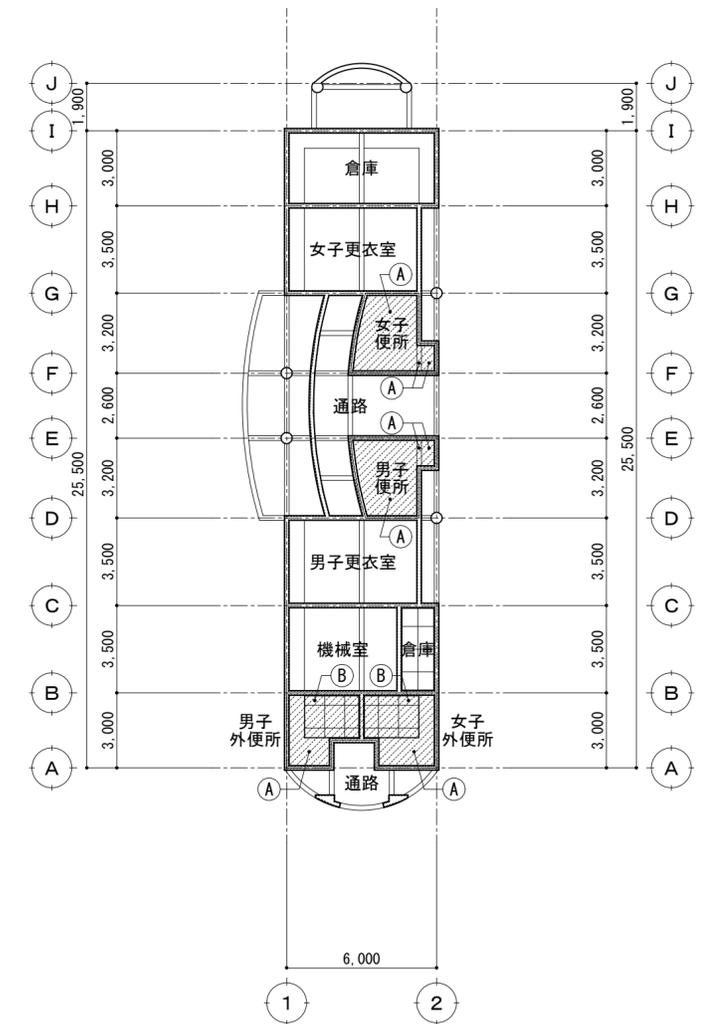
# 内部仕上表

室名	床	巾木			壁	天井			廻り縁	備考	
		仕上	H	塗装		仕上	下地	H			
男・女子便所	改修前	コンクリート打放シ ノスリッパ 塗床 撤去(仕上/ミ)	ノスリッパ 塗床 撤去	100		コンクリート打放シ補修下地 AEP塗	コンクリート打放シ補修下地 AEP塗	-	2,720	-	ライニング 甲板:木製 W=25×150 SOP塗 撤去、ライニング:CB t=100 珪藻土下地 AEP塗 撤去、化粧鏡 撤去
	改修後	下地調整 ウレタン系塗床 t=1.3 一部 コンクリート打設 金コ下地 ウレタン系塗床 t=1.3	ウレタン系塗床	100		下地調整 AEP塗	下地調整 AEP塗			2,720	
男・女子外便所	改修前	コンクリート打放シ ノスリッパ 塗床 撤去(仕上/ミ)	ノスリッパ 塗床 撤去	100		コンクリート打放シ補修下地 AEP塗 一部 コンクリートブロック t=100 珪藻土下地 AEP塗 撤去(CB共)	コンクリート打放シ補修下地 AEP塗 一部 フレキシブルボード t=5.0 目透シ貼 VP塗	木下地	3,000~ 4,400	塩ビ製	ライニング 甲板:木製 W=25×150 SOP塗 撤去、ライニング:CB t=100 珪藻土下地 AEP塗 撤去、化粧鏡 撤去
	改修後	下地調整 ウレタン系塗床 t=1.3 一部 コンクリート打設 金コ下地 ウレタン系塗床 t=1.3	ウレタン系塗床	100		下地調整 AEP塗 一部 LGS(W65)下地 フレキシブルボード t=6.0 石膏ボード t=12.5 AEP塗	コンクリート面:下地調整 AEP塗 ボード面:下地調整 VP塗	既存/ママ	3,000~ 4,400	既存/ママ	



1階平面図 S=1:200

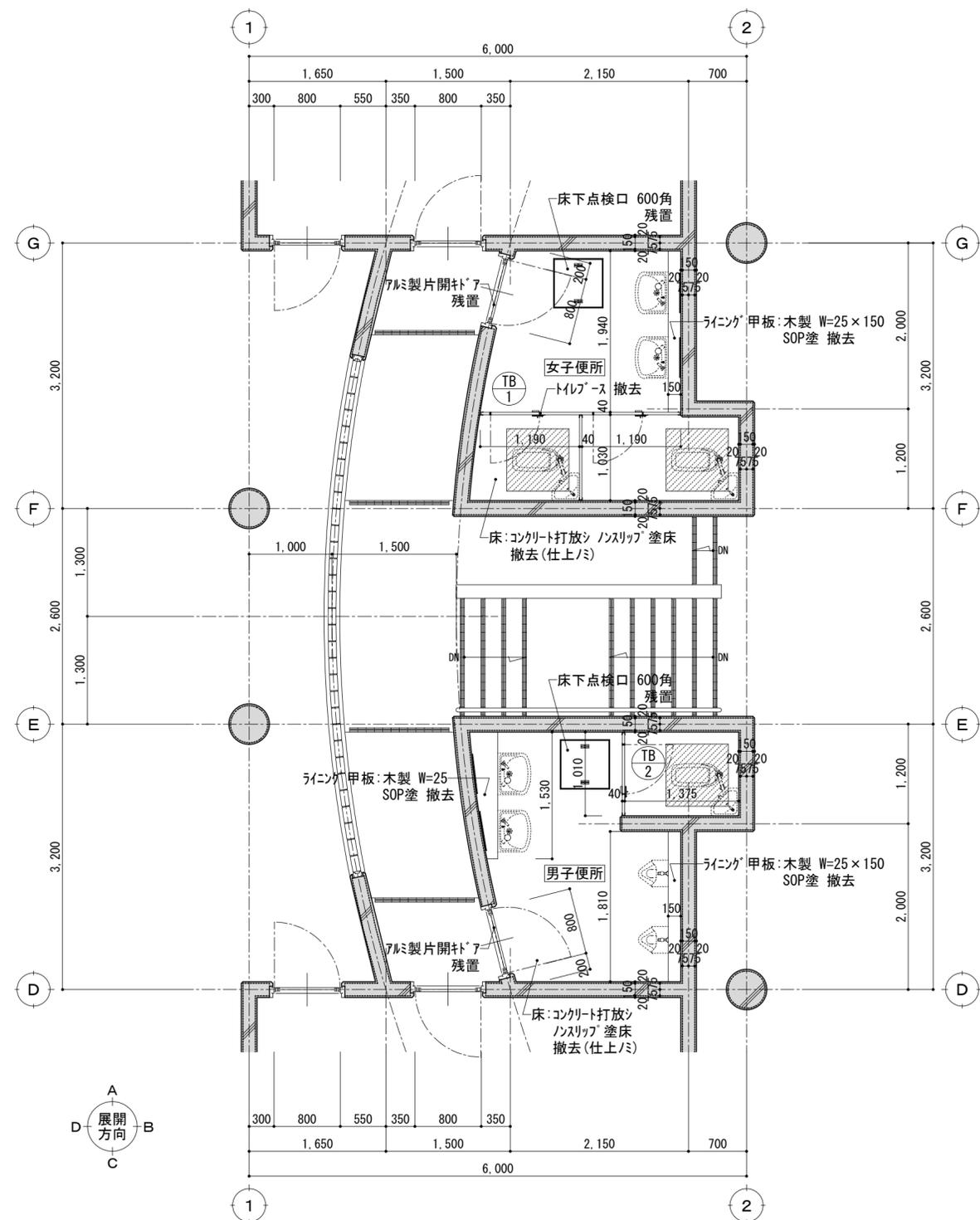
■: 工事範囲



天井伏図 S=1:200

符号	仕上	
①	改修前	コンクリート打放シ補修下地 AEP塗
	改修後	下地調整 AEP塗
②	改修前	木下地 フレキシブルボード t=5.0 VP塗
	改修後	下地調整 VP塗

改修前

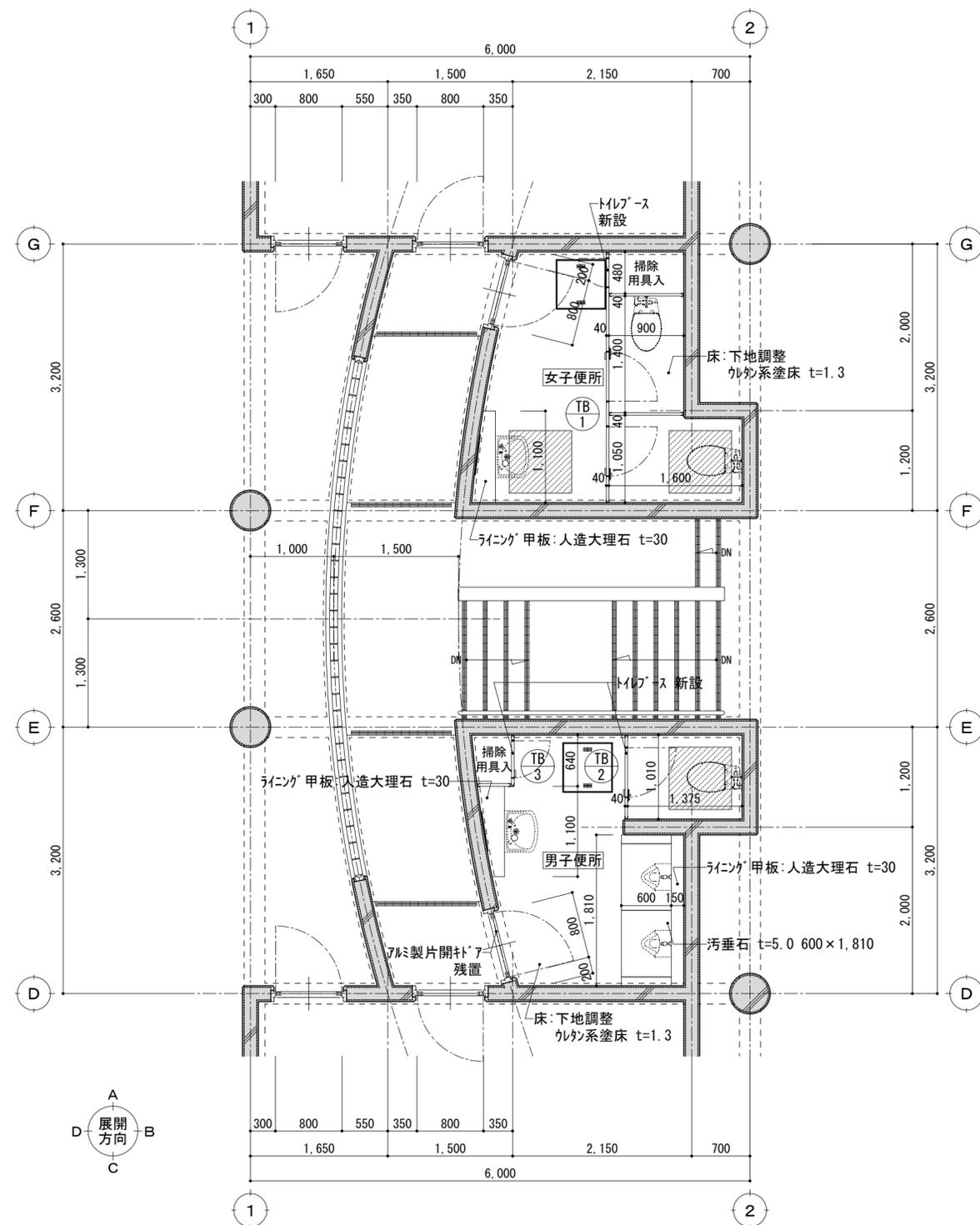


便所 平面詳細図 S=1:50

: 床スラブ 撤去範囲 t=150 750×750 (鉄筋残)  
 周囲:コンクリートカッター入

: 改修建具 (撤去) を示す。建具表参照

改修後

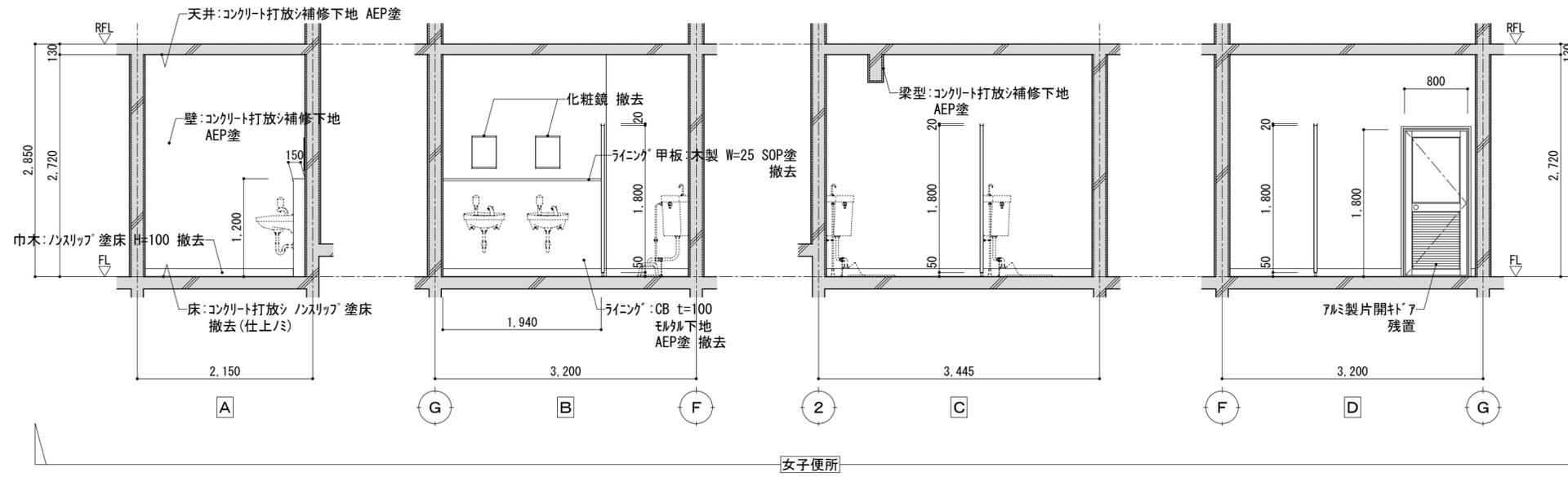


便所 平面詳細図 S=1:50

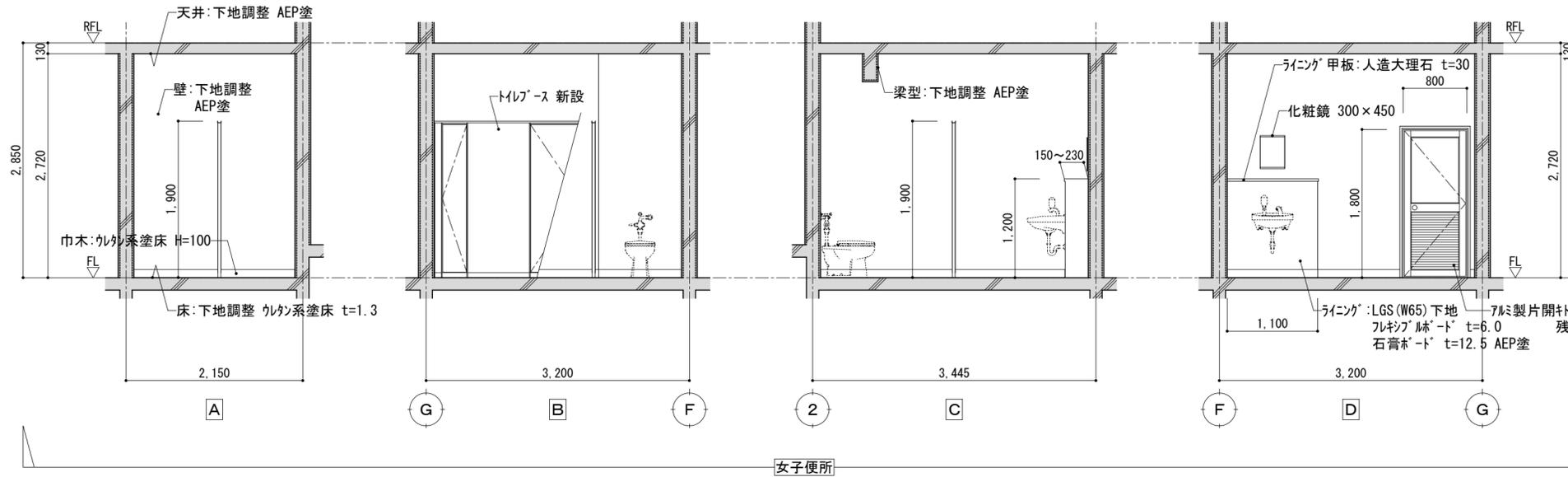
: 床スラブ 改修範囲 t=130 750×750 土間コンクリート打設  
 D10 @200 (溶接継手 10d以上)

: 改修建具 (新設) を示す。建具表参照

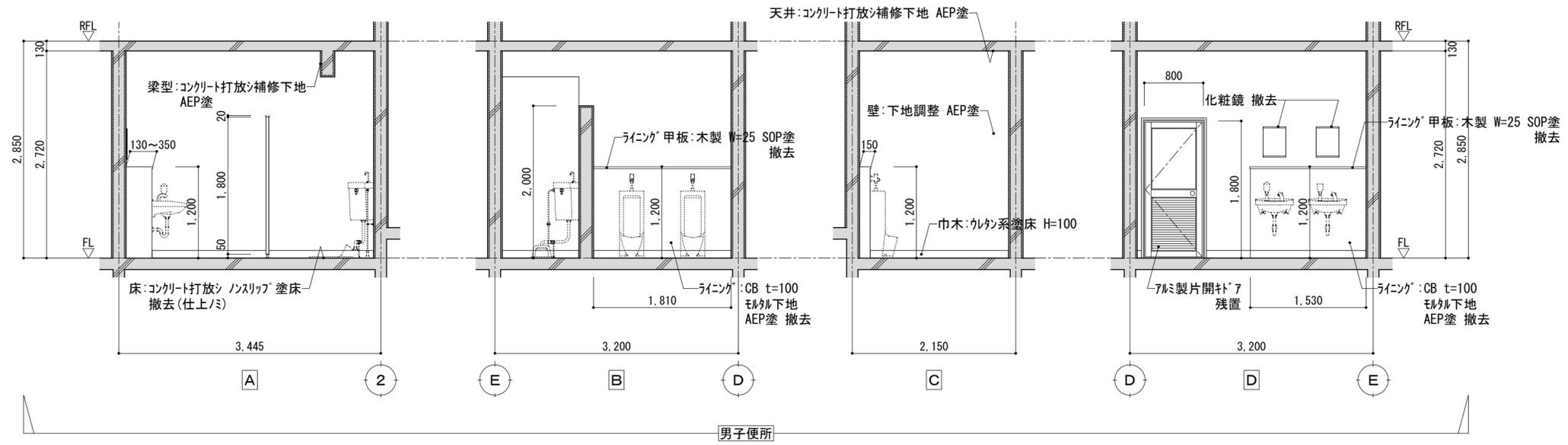
改修前



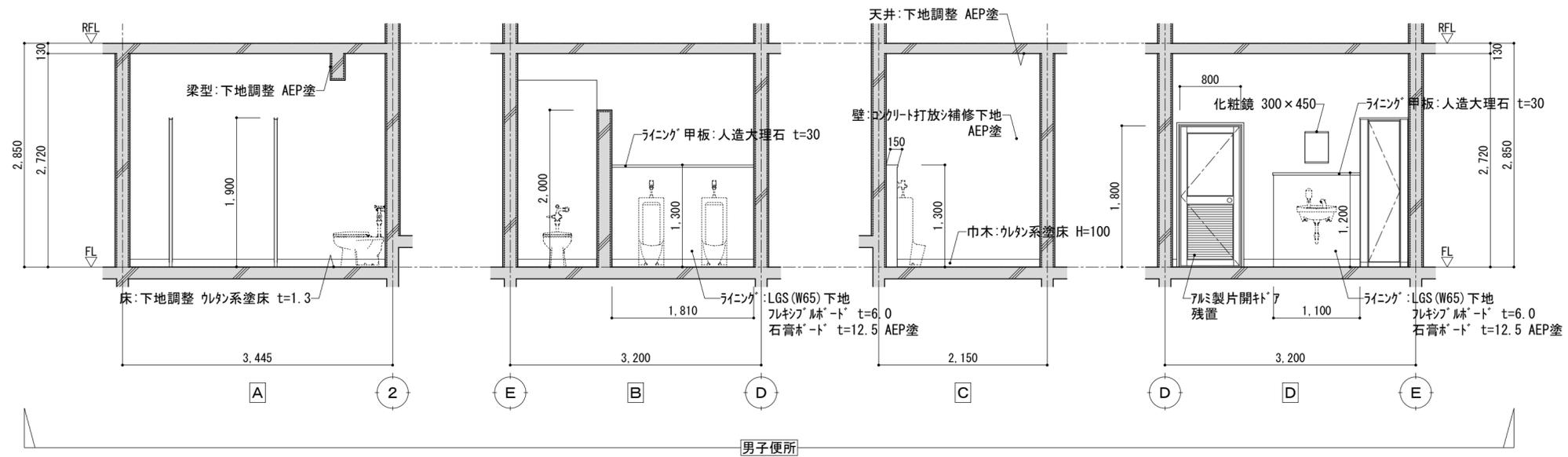
改修後



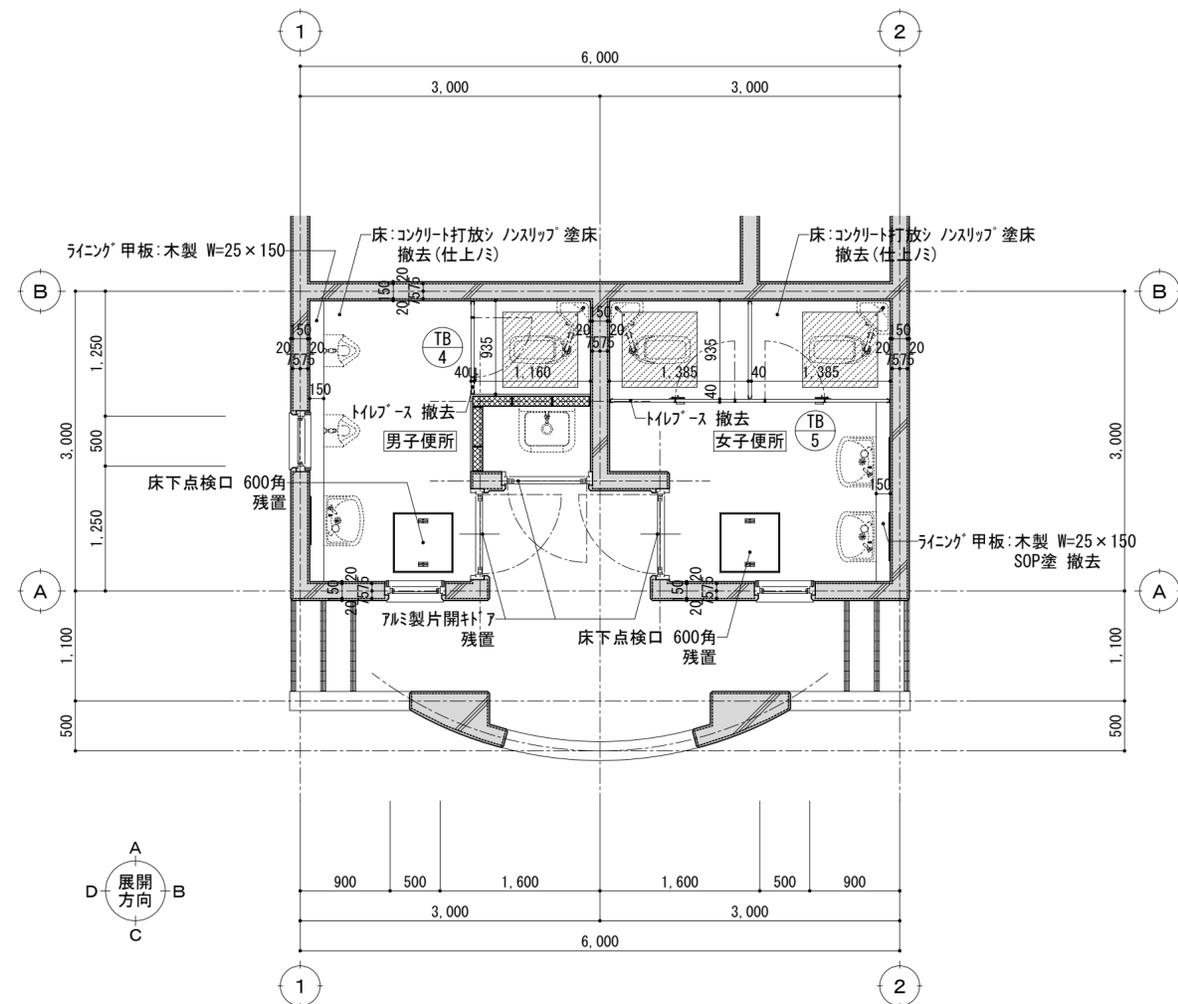
改修前



改修後



改修前

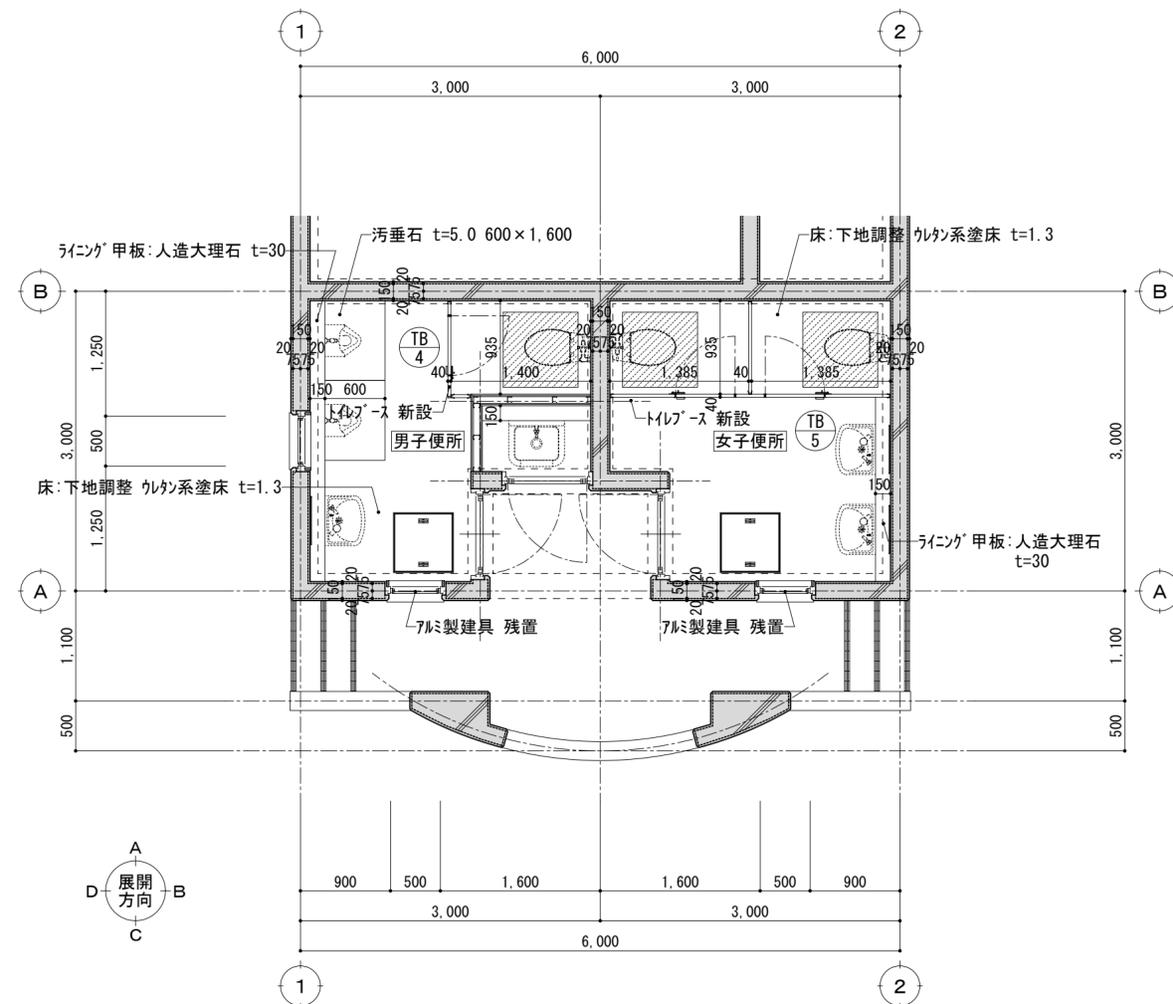


外便所 平面詳細図 S=1:50

床スラブ 撤去範囲 t=150 750×750 (鉄筋残)  
周囲:コンクリートカッター入

\*\*  
\*: 改修建具 (撤去) を示す。建具表参照

改修後

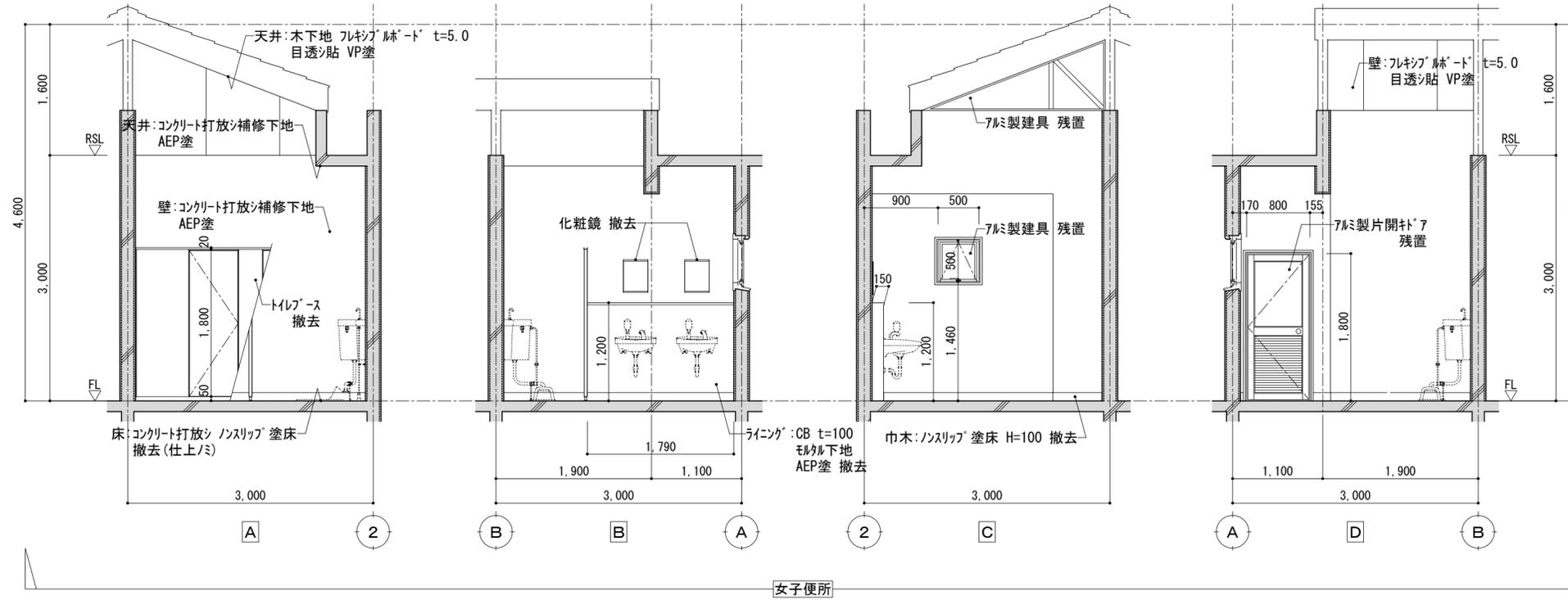


外便所 平面詳細図 S=1:50

床スラブ 改修範囲 t=130 750×750 土間コンクリート打設  
D10 @200 (溶接継手 10d以上)

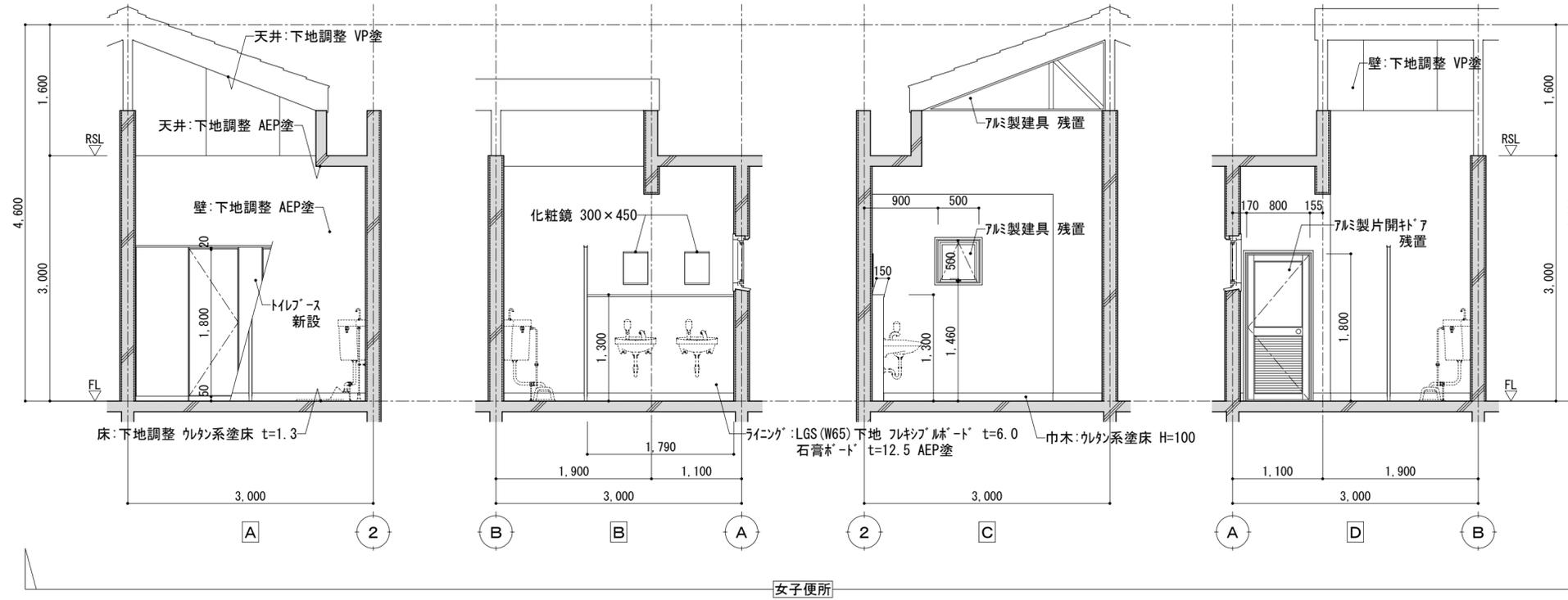
\*\*  
\*: 改修建具 (新設) を示す。建具表参照

改修前



女子便所

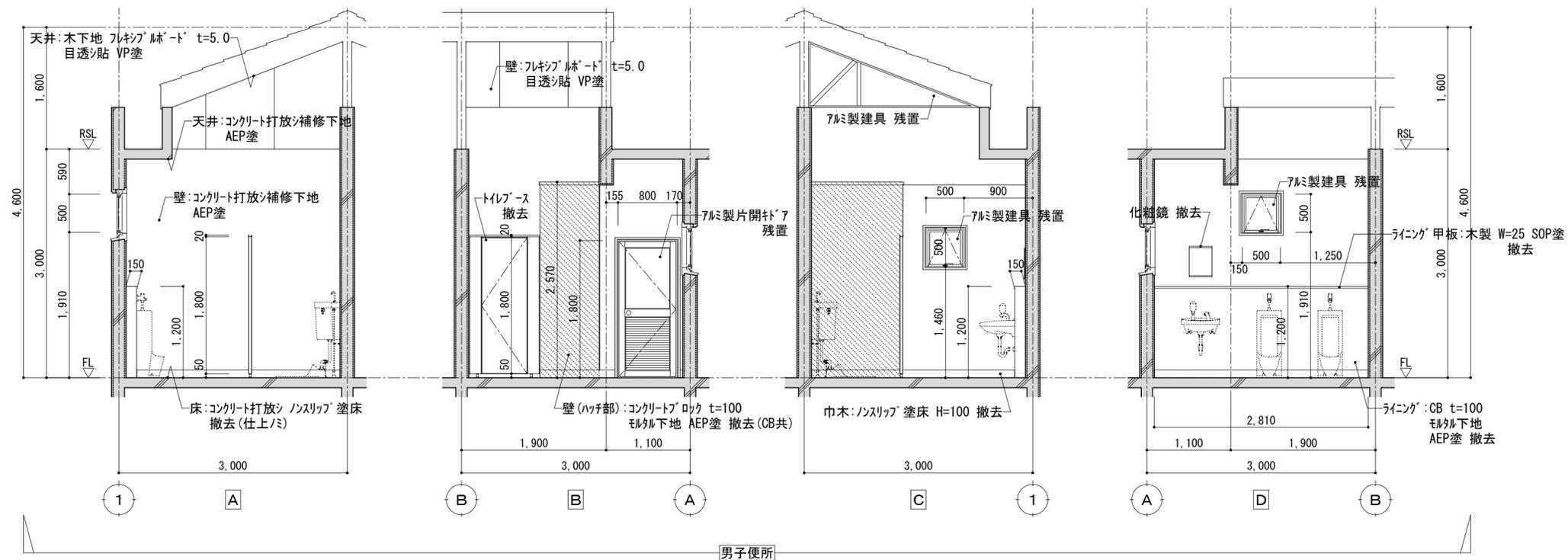
改修後



女子便所

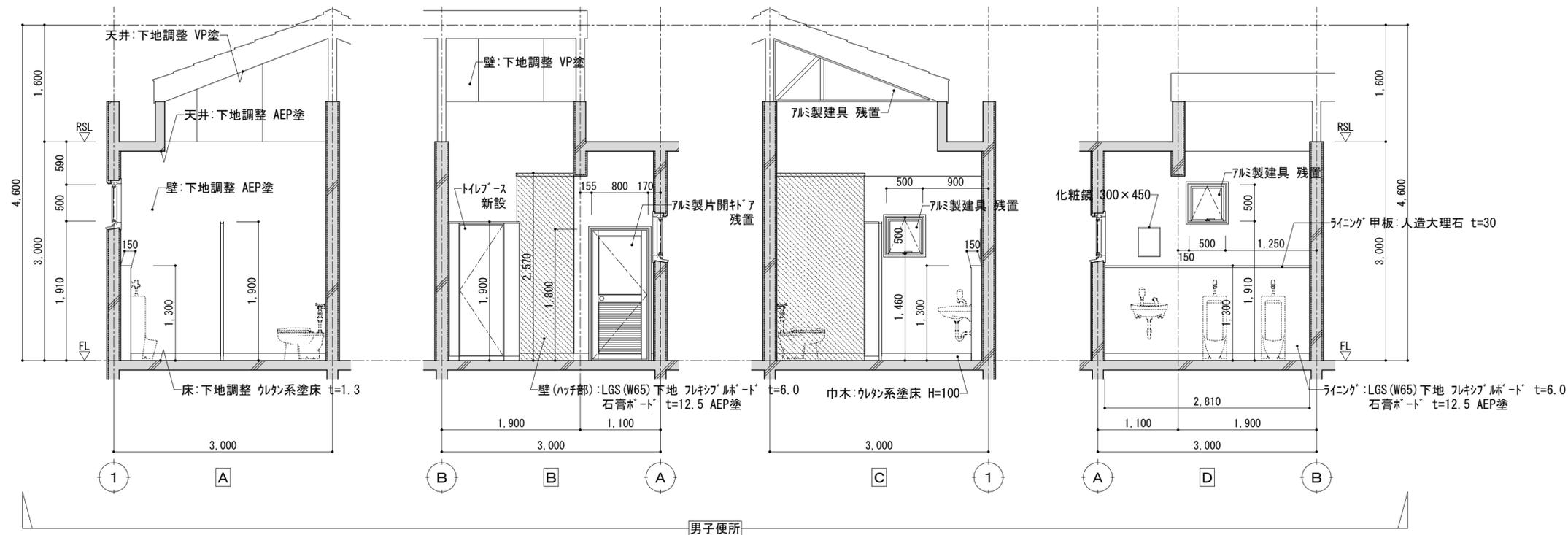
		平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図		図面名 女子外便所 展開図 【プール棟】	図面種別 A
				縮尺 S=1:50 [A2:原版 A3:71%縮小]	図面番号 47

改修前



男子便所

改修後



男子便所

平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

図面名  
男子外便所 展開図  
【プール棟】

縮尺 S=1:50

[A2:原版 A3:71%縮小]

図面種別

A

図面番号

48

符号・名称	① トイレース	② トイレース	③ トイレース	④ トイレース
姿 図	撤去 	新設 	撤去 	新設 
位置・数量	女子便所 1ヶ所	女子便所 1ヶ所	男子便所 1ヶ所	男子便所 1ヶ所
仕上・見込	FRPパネル 40	メラミン樹脂化粧合板(発泡性ホリスフレ) 40	FRPパネル 40	メラミン樹脂化粧合板(発泡性ホリスフレ) 40
硝子				
金物	附属金物一式	表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式	附属金物一式	表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式
備考	撤去	巾木(ステンレスタイプ)、笠木:7ミリメートル仕上	撤去	巾木(ステンレスタイプ)、笠木:7ミリメートル仕上

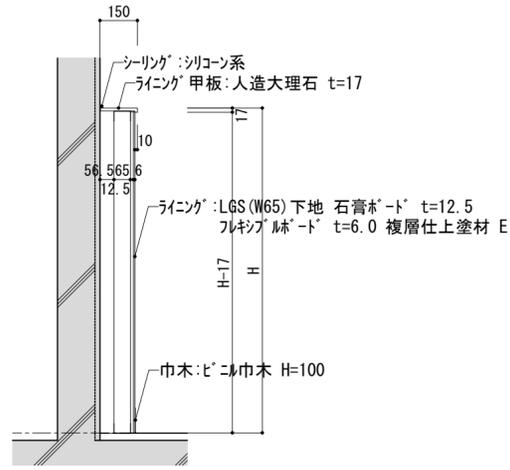
符号・名称	③ トイレース	④ トイレース	⑤ トイレース	⑥ トイレース	
姿 図	新設 	撤去 	新設 	撤去 	新設 
位置・数量	男子便所 1ヶ所	男子外便所 1ヶ所	男子外便所 1ヶ所	女子外便所 1ヶ所	女子外便所 1ヶ所
仕上・見込	メラミン樹脂化粧合板(発泡性ホリスフレ) 40	FRPパネル 40	メラミン樹脂化粧合板(発泡性ホリスフレ) 40	FRPパネル 40	メラミン樹脂化粧合板(発泡性ホリスフレ) 40
硝子					
金物	表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式	附属金物一式	表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式	附属金物一式	表示錠、ヒンジ、戸当り その他附属金物一式
備考	巾木(ステンレスタイプ)、笠木:7ミリメートル仕上	撤去	巾木(ステンレスタイプ)、笠木:7ミリメートル仕上	撤去	巾木(ステンレスタイプ)、笠木:7ミリメートル仕上

符号・名称	
姿 図	
位置・数量	
仕上・見込	
硝子	
金物	
備考	

図面名	建具表 【プール棟】	図面種別	A
縮尺	S=1:50	図面番号	49
			[A2:原版 A3:71%縮小]

ラインク詳細図【共通】

S=1:20

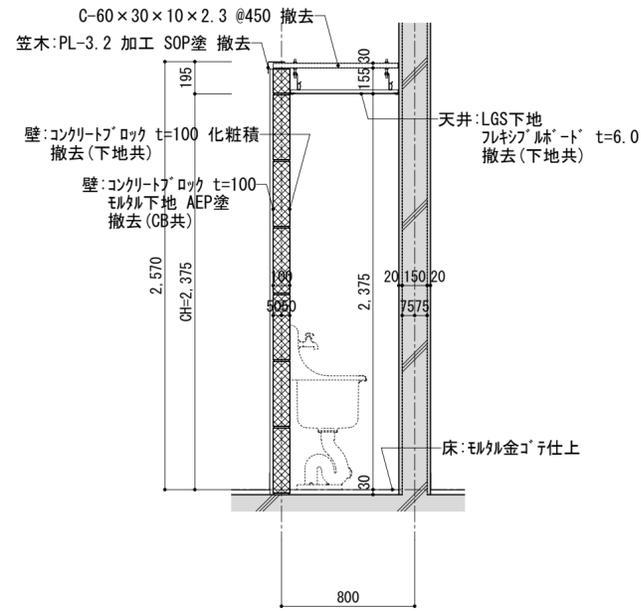


ラインク詳細図 S=1:20

SKラインク詳細図【プール棟外便所】

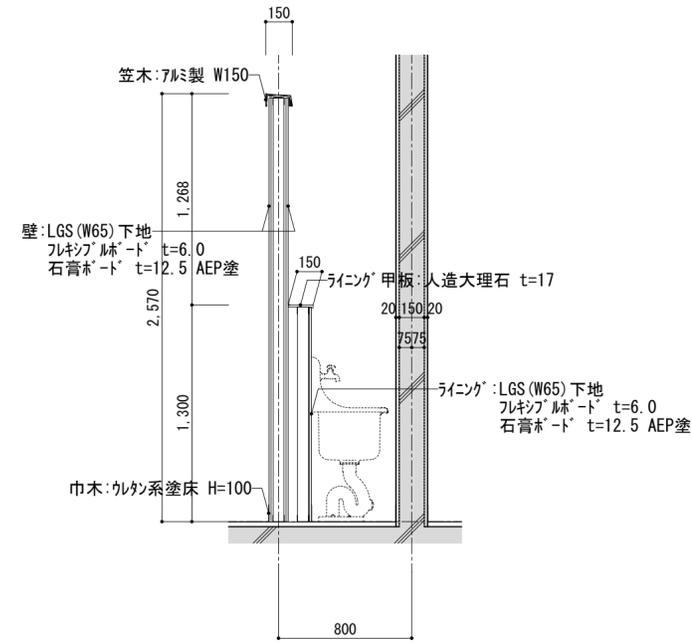
S=1:30

改修前



SKラインク詳細図 S=1:30

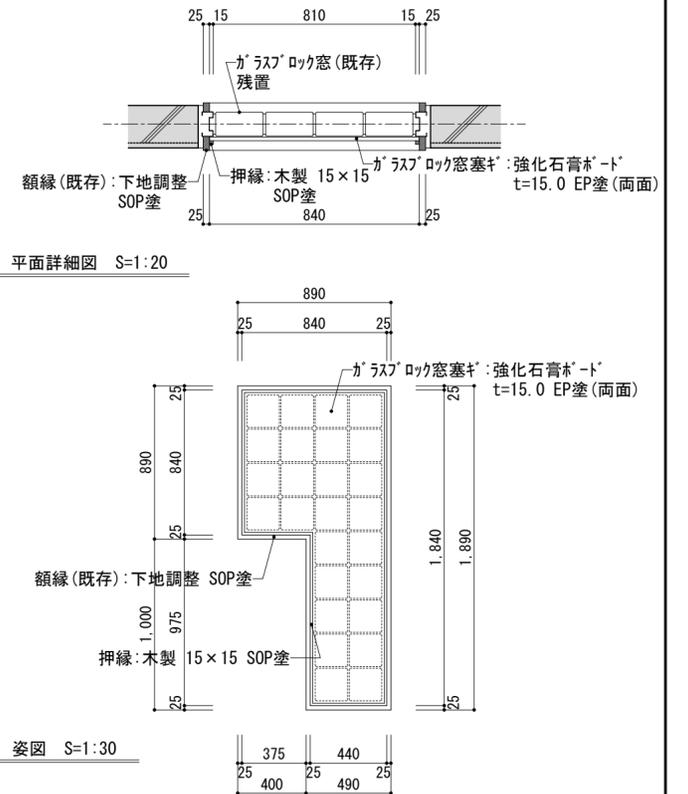
改修後



SKラインク詳細図 S=1:30

ガラスロック窓塞ぎ詳細図【廊下】

S=1:20・30



平面詳細図 S=1:20

姿図 S=1:30

図面名  
雑詳細図

図面種別

A

図面番号

50

平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

縮尺 S=1:20・30

[A2:原版 A3:71%縮小]

電気設備改修工事特記仕様書

1. 工事概要
1. 工事名 平成30年度向洋中学校トイレ改修工事
2. 工事場所 宮城県宮城郡七ヶ浜町遠山一丁目9番10号
3. 建物概要
4. 工事概要 (このついでにものを適用する。)

22. 他工事との工事区分
24. 保護, 結露防止
25. 電線類
26. 合成樹脂製可とう管
27. 二重金属製可とう管
28. 電線本数, 管径など
29. インサート
30. 呼び線
31. フラッシュプレート
32. フロアプレート/ベース
33. ハンドホール蓋
34. 支持金物, 固定金物
35. あと施工アンカー
36. 接地種の種別・表示等
37. 総合調整
38. 塗装工事
39. 山留め
40. 舗装工事
41. はつり
42. 再使用機器
43. 撤去後の補修等
44. アスベスト
45. 有害物質の取り扱い

他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。
外部に露する壁, 天井でF.P.板(スタイロホーム等)打込み箇所に取り付ける位置ボックスなどは, 保護, 結露防止処理を行う。
本工事では環境配慮の観点から, 原則としてEMケーブルを使用するものとする。
合成樹脂製可とう管は, P.F管(一言管)とし, 温度による分類はタイプ-25とする。
露出箇所: ビル板被覆あり, ビル板被覆なし
施工方法: 接着系 (※有機系), 接着剤
性能・施工確認: ※本機打込式, ※行わない
接地種は図面に特記なき場合, 下表による。
接地抵抗は図面に特記なき場合, 下記による。
接地抵抗の測定方法はJIS C 4306-2013適合品

1. 工事範囲
2. 受電部
3. 避雷導線
4. 接地種
5. 測定用補助接地種
6. 電気方式
7. 引込ケーブル
8. 配電盤
9. 主遮断装置
10. 高圧機器類
11. 変圧器
12. 連絡用コンデンサ
13. リアクトル
14. 自動力率制御装置
15. 測定用補助接地種
16. 直流電源装置
17. 交流無停電電源装置
18. 工事範囲
19. 形式
20. 発電機
21. 原動機
22. 燃料
23. 太陽光発電装置
24. 系統連系
25. 工事範囲及び施工方法
26. 情報表示設備
27. 映像・音響設備
28. 拡声装置
29. 録音支援設備
30. テレビ共同受信設備
31. テレビ電波障害防除
32. 非常用照明器具
33. 照度測定
34. ハイテンションアクトレレット
35. 人感センサプレート
36. 予備配管
37. 防犯・入入室管理設備
38. 機器類
39. 非正常警報装置
40. 自動閉鎖装置
41. ガス漏れ火災警報装置
42. 火災警報装置
43. 非常警報装置
44. 自動閉鎖装置
45. ガス漏れ火災警報装置
46. 火災警報装置

1. 工事範囲
2. 監視制御対象設備
3. 表示操作装置
4. 監視制御装置
5. 工事範囲
6. 電気方式
7. 布設方法
8. 柱上機器
9. 高圧ケーブルの結束処理
10. その他
11. 外灯設備
12. 低下対策
13. 構内シート
14. 予備配管
15. 工事範囲
16. 用途
17. 施工方法
18. 構内シート
19. 機器類
20. 動力設備
21. 受変電設備
22. 発電設備
23. 火災検知設備
24. 監視制御装置
25. 監視制御装置
26. 監視制御装置
27. 監視制御装置
28. 監視制御装置
29. 監視制御装置
30. 監視制御装置
31. 監視制御装置
32. 監視制御装置
33. 監視制御装置
34. 監視制御装置
35. 監視制御装置
36. 監視制御装置
37. 監視制御装置
38. 監視制御装置
39. 監視制御装置
40. 監視制御装置
41. 監視制御装置
42. 監視制御装置
43. 監視制御装置
44. 監視制御装置
45. 監視制御装置
46. 監視制御装置
47. 監視制御装置
48. 監視制御装置
49. 監視制御装置
50. 監視制御装置

表2「機器取付高さ」図面に特記なき場合は下表による。ただし, これによりがたい場合は監督員と協議する。
表1「完成書類」引き渡し時には下記の書類を提出する。

1 完成図書
2 完成図書
3 完成図書
4 完成図書
5 完成図書
6 完成図書
7 完成図書
8 完成図書
9 完成図書
10 完成図書
11 完成図書
12 完成図書
13 完成図書
14 完成図書
15 完成図書
16 完成図書
17 完成図書
18 完成図書
19 完成図書
20 完成図書
21 完成図書
22 完成図書
23 完成図書
24 完成図書
25 完成図書
26 完成図書
27 完成図書
28 完成図書
29 完成図書
30 完成図書

注記: 機器参考図について
本図面に, 機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法図や種子を参照して記載している。
これらのものについては, その品質・性能が図面と同等級もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

電気設備改修工事特記仕様書

平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

A 1	公共施設型番 LSS9-3200LM	A 1WP	公共施設型番 LSS9MP/RP-3000LM	B 1	公共施設型番 LBF3MP/RP-2000LM
A 2	公共施設型番 LSS9-4900LM	A 2WP	公共施設型番 LSS9MP/RP-6450LM	B 2	公共施設型番 LBF3MP/RP-650LM-2
A 3	公共施設型番 LSS9-1550LM-2			B 3	公共施設型番 LBF3MP/RP-1300LM-2
C 1	公共施設型番 LBS5-2400LM	D 1	公共施設型番 LRS1-400LM-1		
		D 2	公共施設型番 LRS1-850LM		

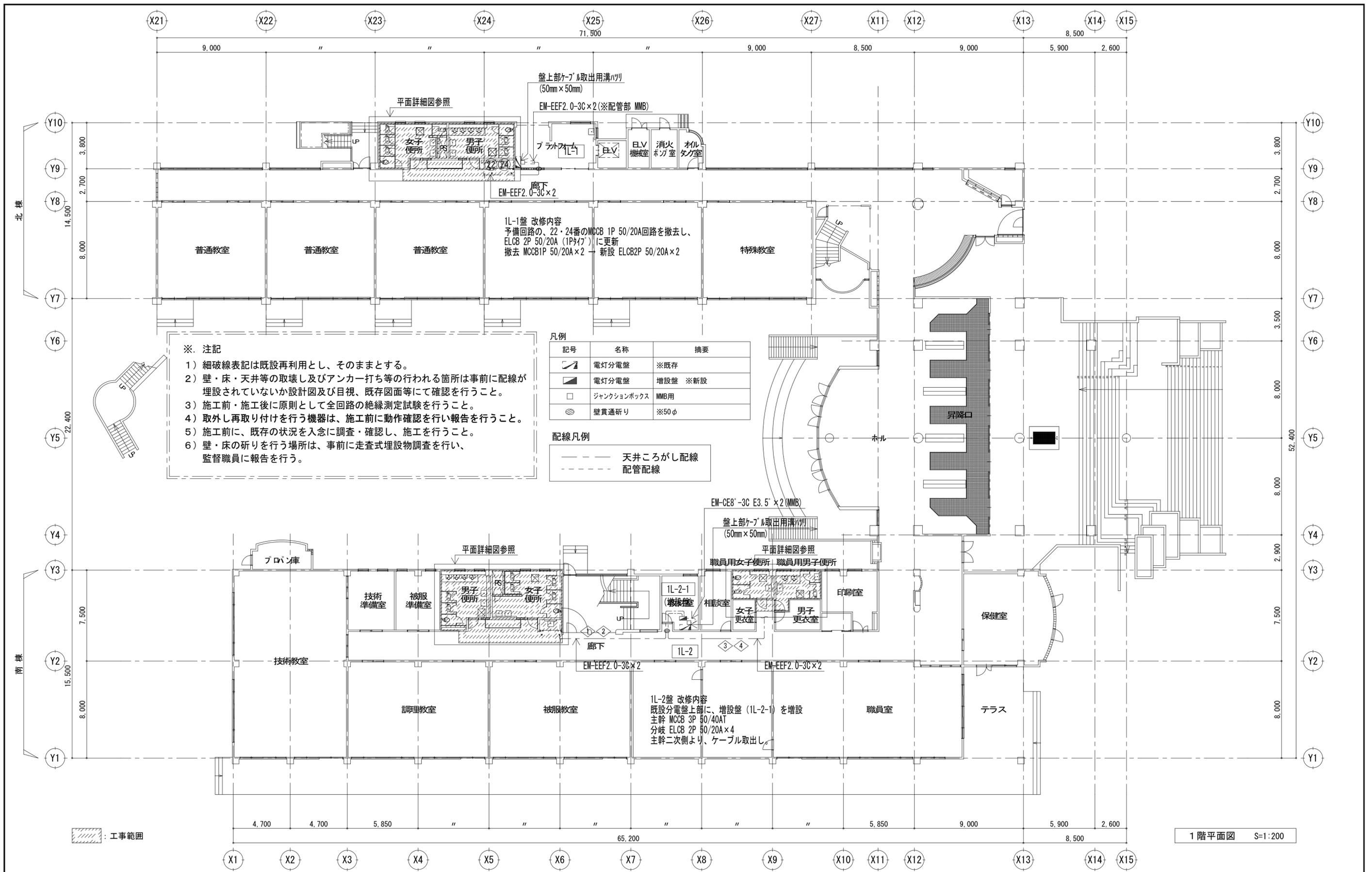
NC	埋込形表示器	●	呼出ボタン(引きひも付)	◎	表示灯																						
<table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>DC12V (電源アダプタから供給)</td></tr> <tr><td>形状</td><td>埋込形 (JIS3個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>ステンレス</td></tr> <tr><td>窓数</td><td>1窓</td></tr> <tr><td>表示方式</td><td>断続ブザー音と表示窓点灯</td></tr> </table>		電源電圧	DC12V (電源アダプタから供給)	形状	埋込形 (JIS3個用スイッチボックス)	材質	ステンレス	窓数	1窓	表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯	<table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr> <tr><td>備考</td><td>引きひも式、押ボタン式両用 点字案内文有</td></tr> </table>		形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)	材質	自己消火性樹脂	備考	引きひも式、押ボタン式両用 点字案内文有	<table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>パネル部: 自己消火性樹脂 ランプカバー: ポリカーボネート</td></tr> <tr><td>備考</td><td>LED方式 (赤色)</td></tr> </table>		形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)	材質	パネル部: 自己消火性樹脂 ランプカバー: ポリカーボネート	備考	LED方式 (赤色)
電源電圧	DC12V (電源アダプタから供給)																										
形状	埋込形 (JIS3個用スイッチボックス)																										
材質	ステンレス																										
窓数	1窓																										
表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯																										
形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)																										
材質	自己消火性樹脂																										
備考	引きひも式、押ボタン式両用 点字案内文有																										
形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)																										
材質	パネル部: 自己消火性樹脂 ランプカバー: ポリカーボネート																										
備考	LED方式 (赤色)																										



平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

図面名 器具姿図  
縮尺 S=N:S [A2:原版 A3:71%縮小]

図面種別
E
図面番号
02

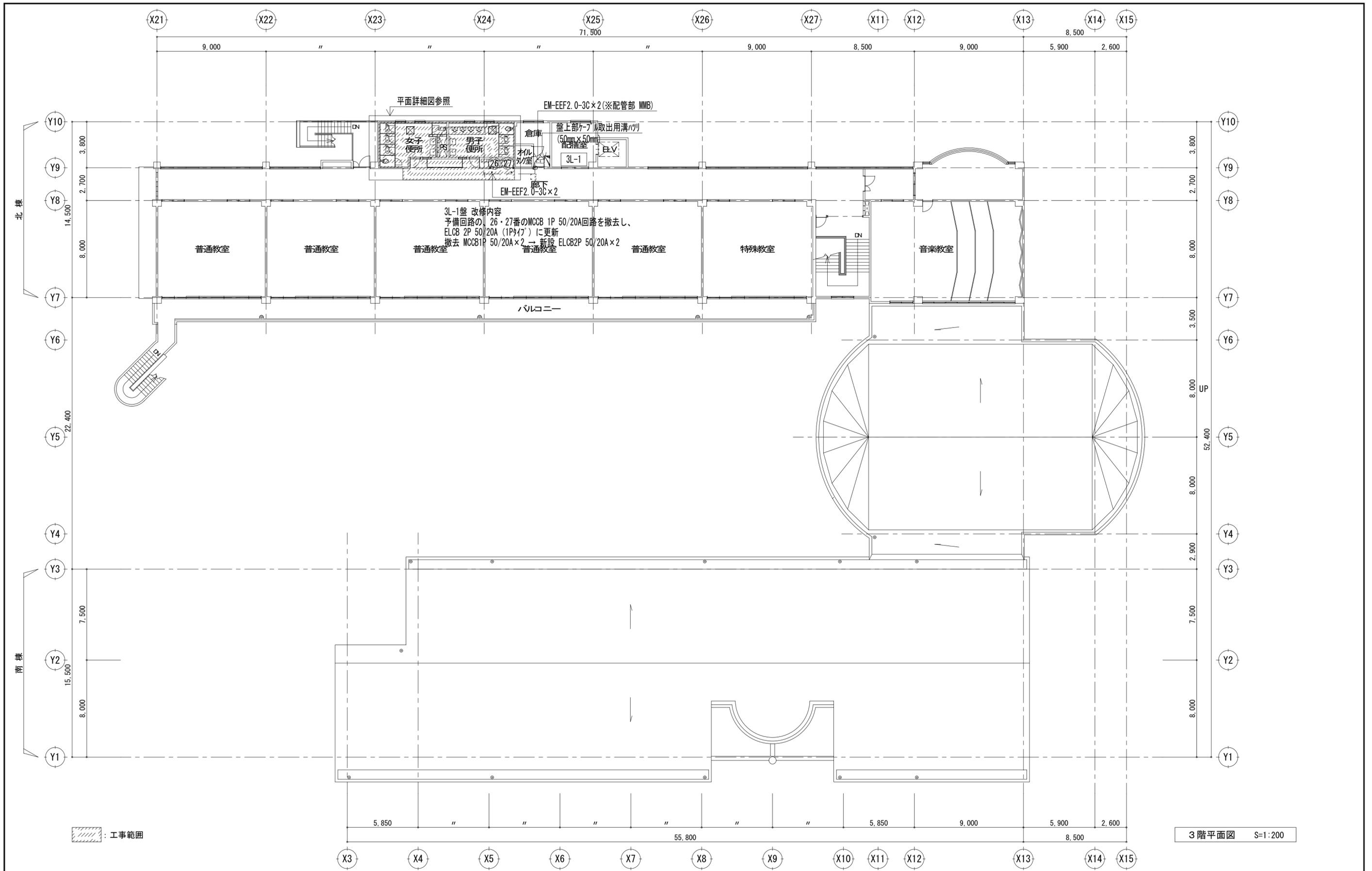


	図面名	コンセント設備 1階平面図 【校舎棟】	図面種別	E
	縮尺	S=1:200	図面番号	03

平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

縮尺 S=1:200 [A2:原版 A3:71%縮小]



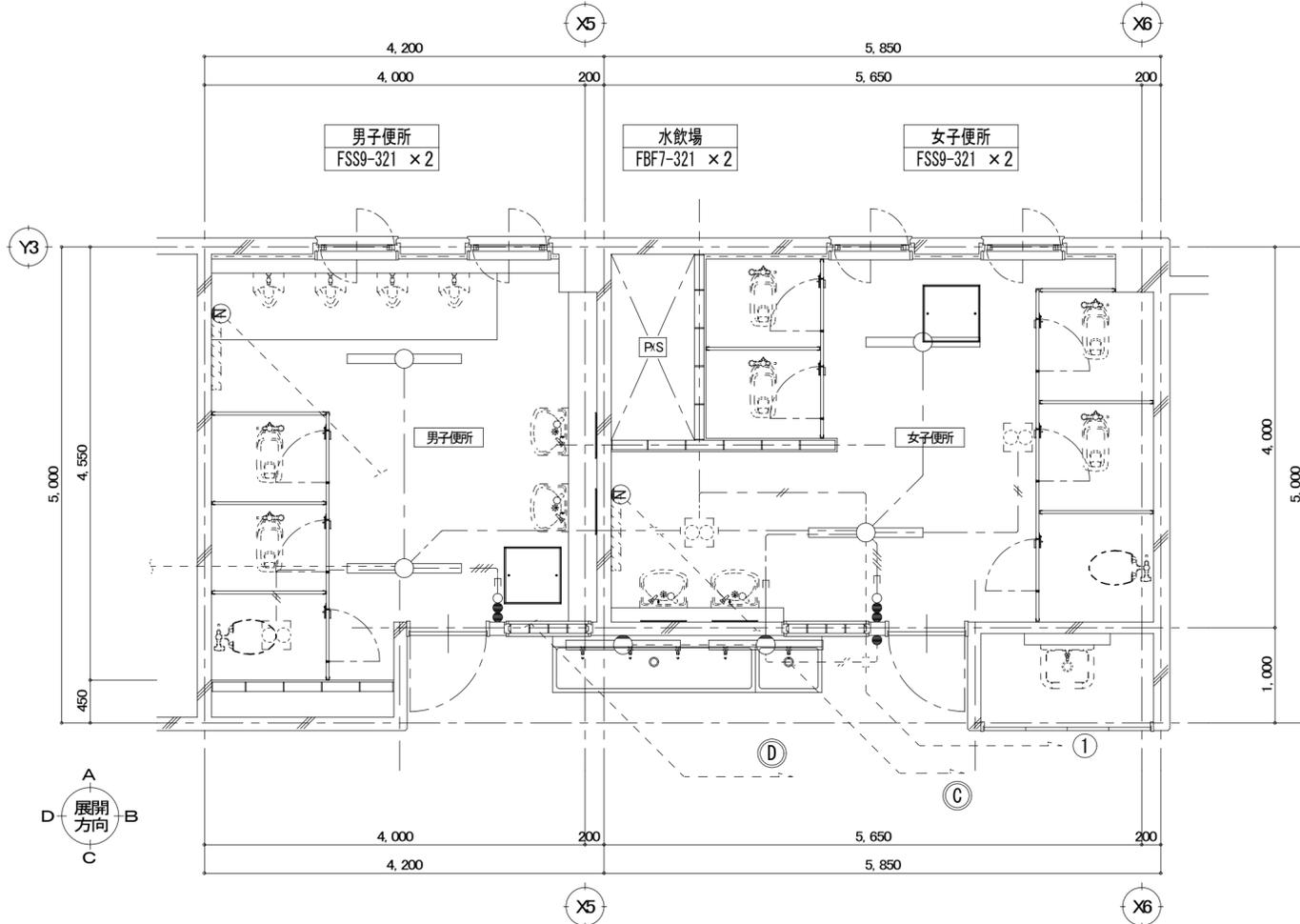


		平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図		図面名 コンセント設備 3階平面図 【校舎棟】		図面種別 E	
				縮尺 S=1:200 [A2:原版 A3:71%縮小]		図面番号 05	

改修前

※ 注記

- 1) 特記なき配線器具、配線配管は、撤去とする。  
ただし、打込配管は配線のみ撤去とする。
- 2) 細破線表記は既設再利用とし、そのままとする。
- 3) 壁・床・天井等の取壊し及びアンカー打ち等の行われる箇所は事前に配線が埋設されていないか設計図及び目視、既存図面等にて確認を行うこと。
- 4) 施工前・施工後に原則として全回路の絶縁測定試験を行うこと。
- 5) 天井解体箇所の既設転がし配線はケーブルが落下しない様に吊ボルト等に支持すること。
- 6) 施工前に、既存の状況を入念に調査・確認し、施工を行うこと。
- 7) 壁・床の削りを行う場所は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。

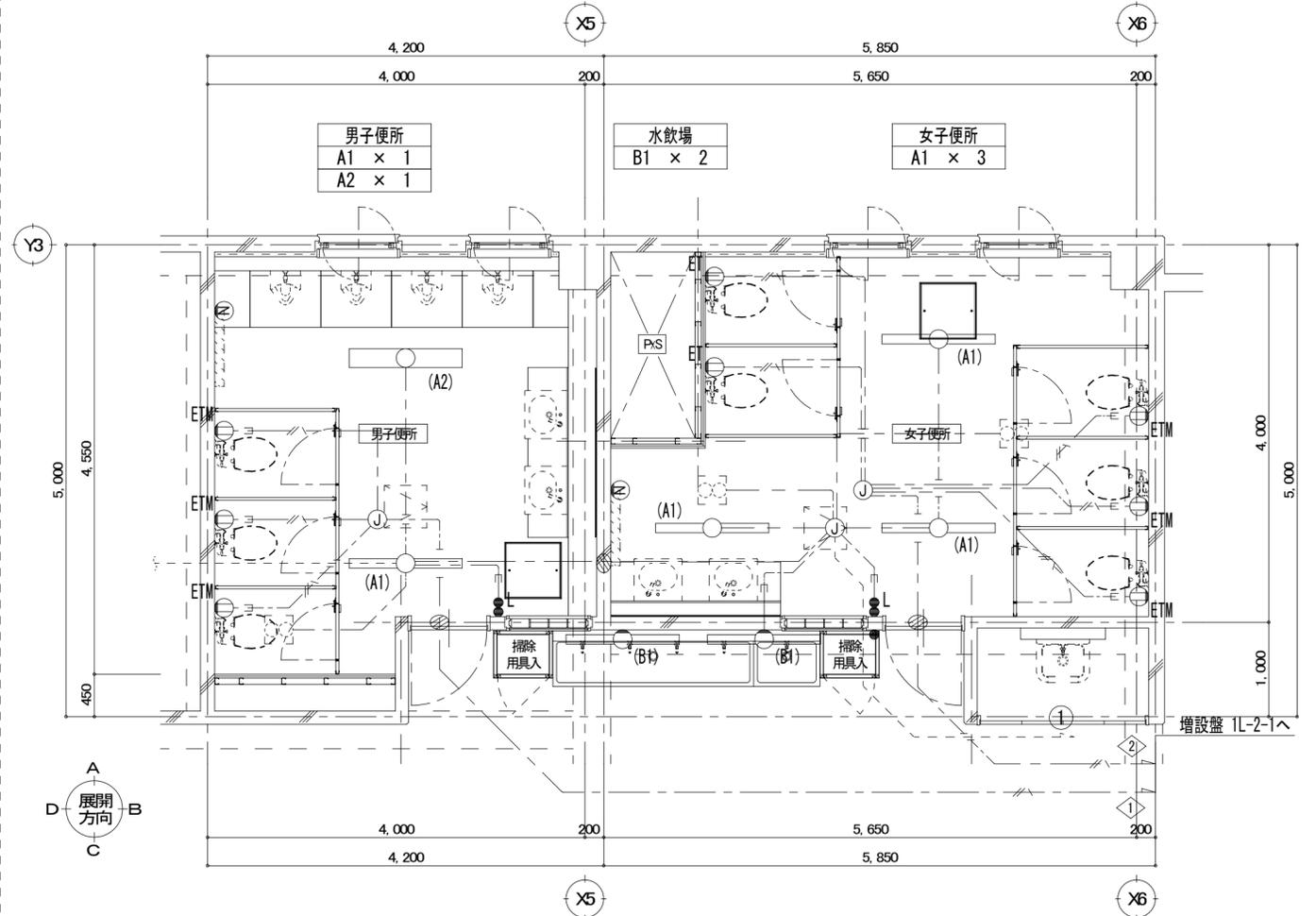


南棟便所 1階平面詳細図 S=1:50

改修後

凡例 (新設)

記号	名称	摘要	記号	名称	摘要
⚡	電灯分電盤	※既存分電盤改修	Ⓜ	埋込コンセント	2P15A×1 (接地端子付) 金属プレート
Ⓜ	照明器具	姿図参照	Ⓜ	埋込コンセント	2P15A×1 (接地端子付) 金属プレート ※第一種金属線び用 2P15A×1 (接地端子付) 金属プレート
Ⓜ	照明器具	姿図参照	Ⓜ	ノズルプレート	金属製
Ⓜ	照明器具	姿図参照	Ⓜ	アウトレットボックス	樹脂製
○	照明器具	姿図参照	Ⓜ	壁貫通所	※傍記無きものは50φとする。
●	埋込スイッチ	1P15A×1 金属プレート	🔥	パネルヒーター	※電源接続 (機器は別途機械工事)
● L	埋込スイッチ	1P15A×1+1P15A(L)×1 金属プレート	🌀	壁換気扇	※別途工事



南棟便所 1階平面詳細図 S=1:50

凡例 (撤去)

記号	名称	摘要
Ⓜ	照明器具	※機器表参照
Ⓜ	照明器具	※機器表参照
●	埋込スイッチ	2P15A×2+PL 金属プレート
Ⓜ	埋込コンセント	2P15A×1 金属プレート
Ⓜ	ノズルプレート	金属製
🌀	壁換気扇	※別途工事
🔥	パネルヒーター	※配線切離し (機器は別途機械工事)

1. 特記なき配管配線は下記による。  
(撤去工事)

- / — VVF1.6-2C
- — — VVF1.6-3C
- / / — VVF1.6-2C+2C
- — — VVF1.6-3C (CD22)
- — — VVF1.6-3C (配管部 CD22)
- / / — VVF1.6-2C+2C (配管部 CD22)

※打込配管は配線のみ撤去とする

1. 特記なき配管配線は下記による。

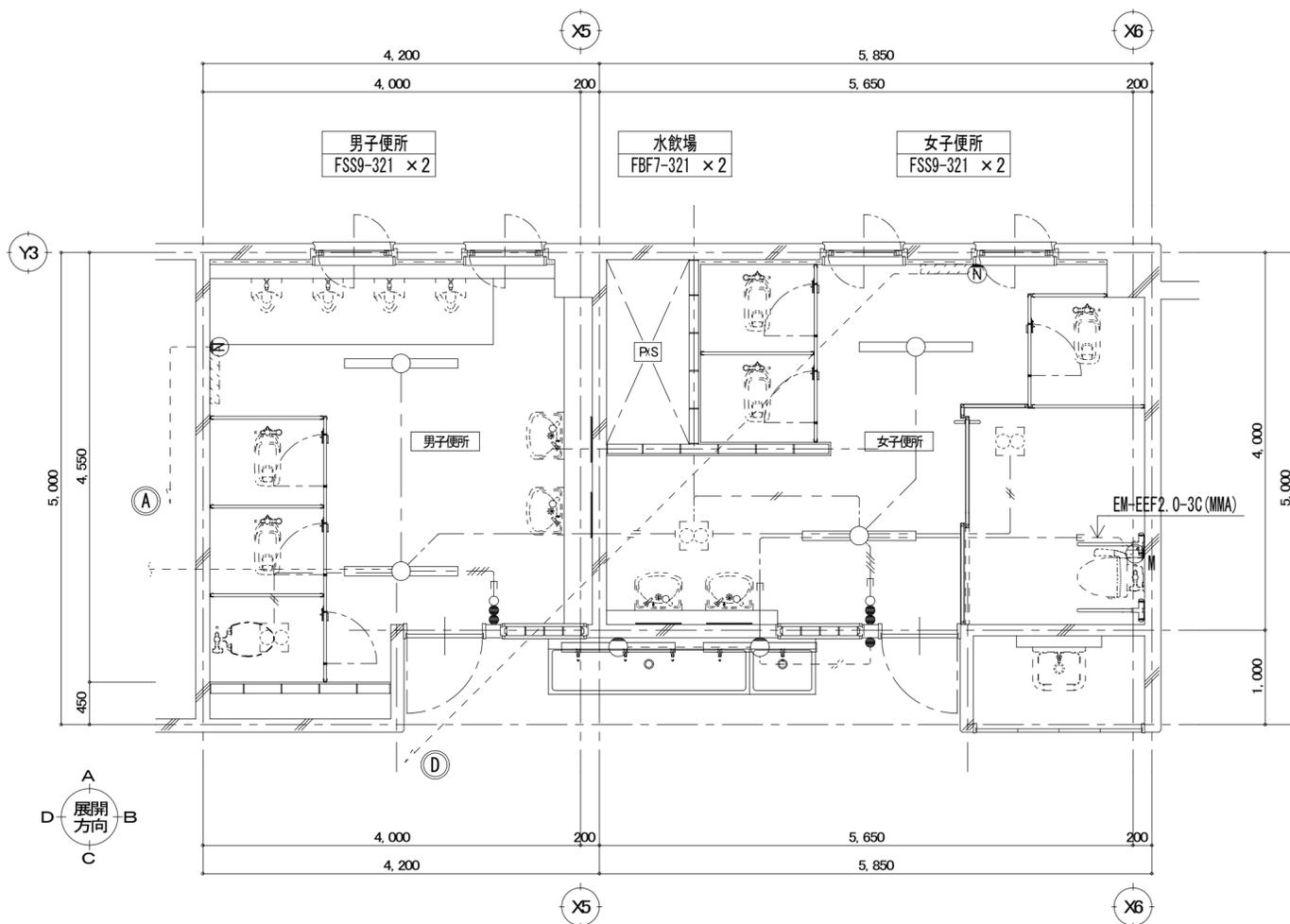
- / — EM-EEF2.0-3C (保護管 ※PF22)
- — — EM-EEF1.6-3C (保護管 ※PF22)
- / / — EM-EEF2.0-3C (配管MMA)
- — — EM-EEF1.6-3C (配管MMA)
- / / — EM-EEF2.0-3C (配管部 MMA)
- — — EM-EEF1.6-3C (配管部 MMA)
- / / — EM-EEF2.0-3C (配管部 既設配管使用)
- — — EM-EEF1.6-3C (配管部 既設配管使用)

2. ケーブル配線において壁内の引下げ及び立上げ配線は、保護管(※部分)を敷設すること。

配線凡例

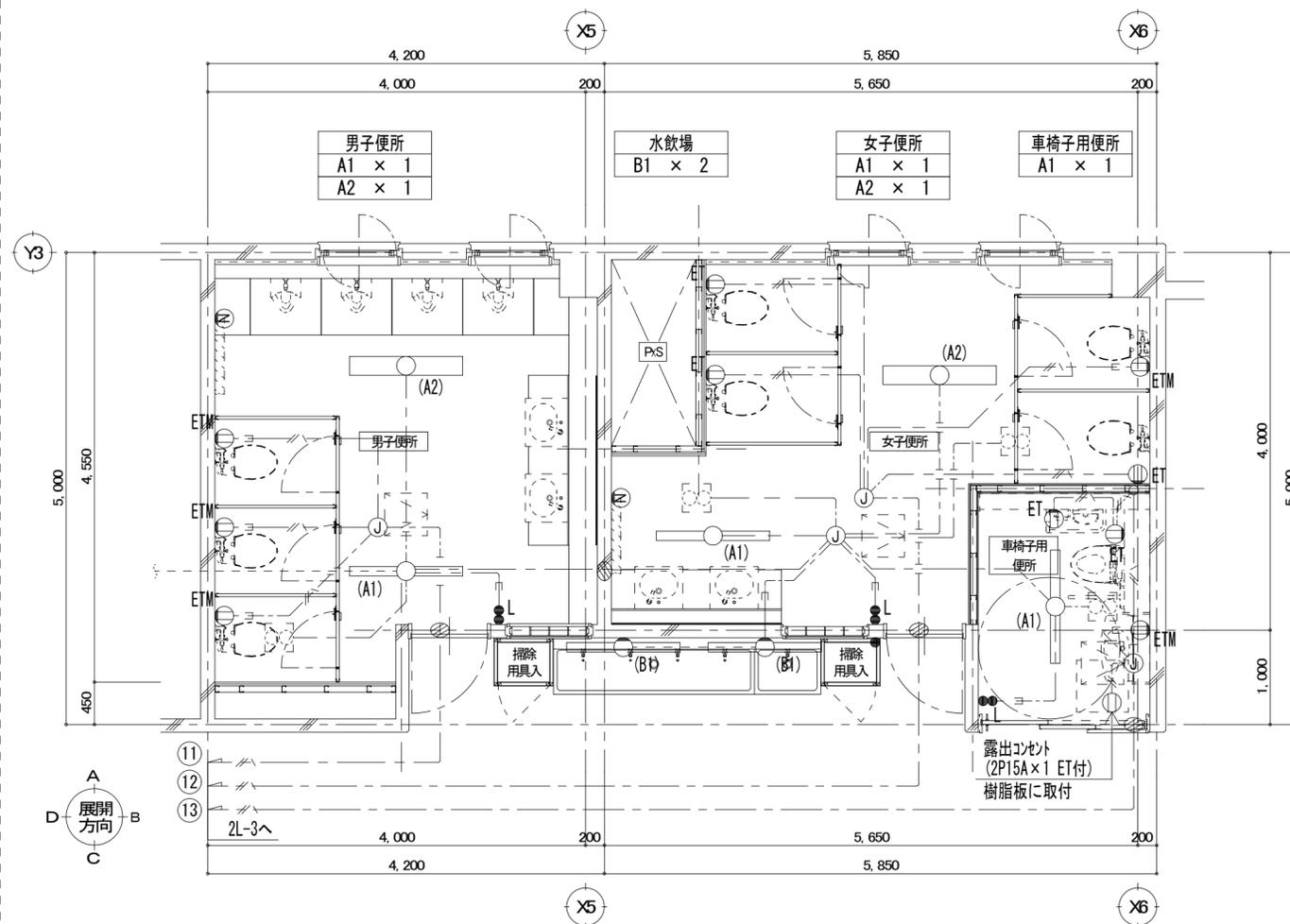
- / — 天井ころがし配線
- — — 配管配線
- — — 既設打込配管配線

改修前



南棟便所 2階平面詳細図 S=1:50

改修後



南棟便所 2階平面詳細図 S=1:50

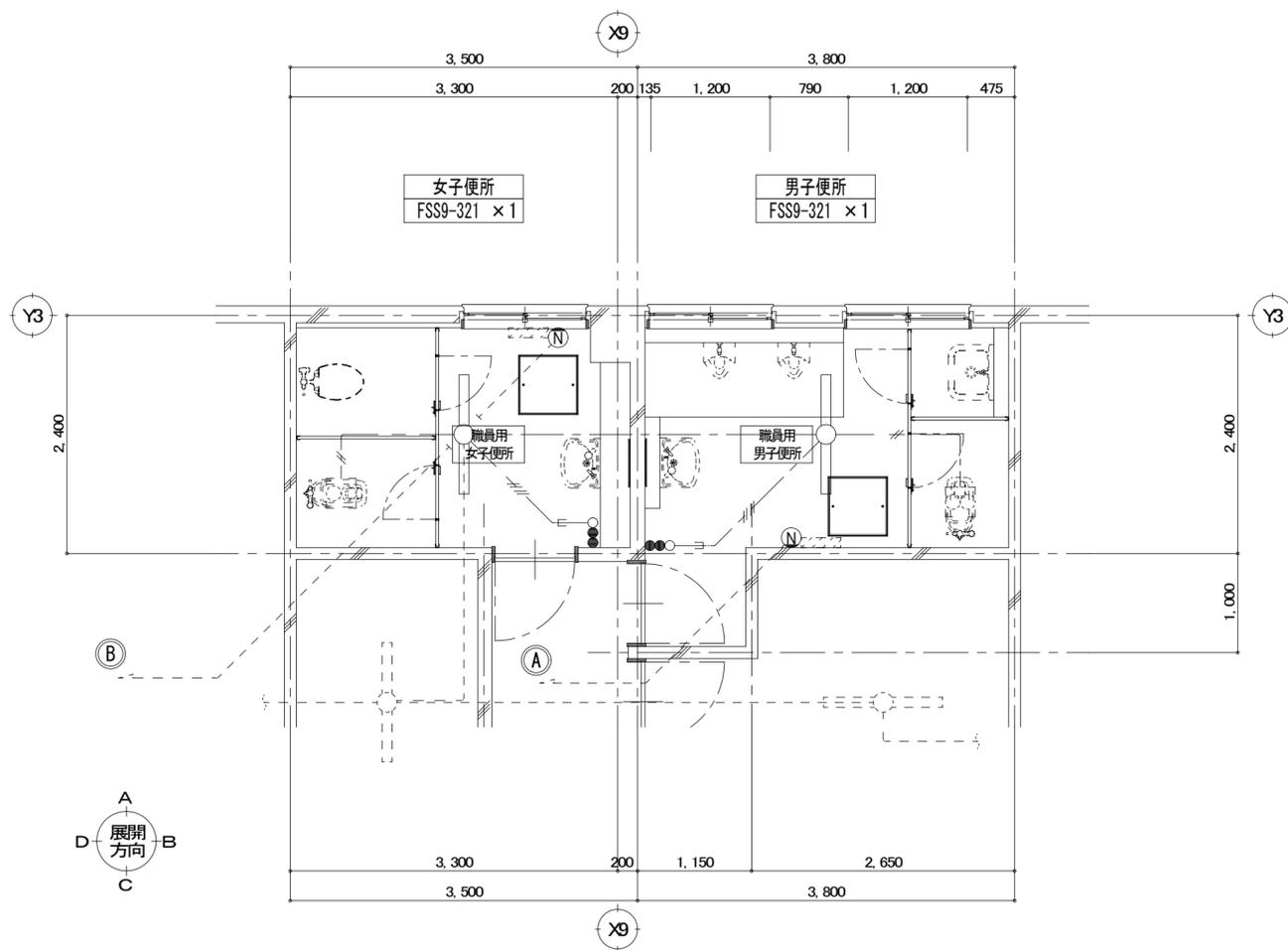
平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

図面名  
電灯・コンセント設備 2階平面詳細図  
(改修前・後)  
【校舎棟 南側】

縮尺 S=1:50 [A2:原版 A3:71%縮小]

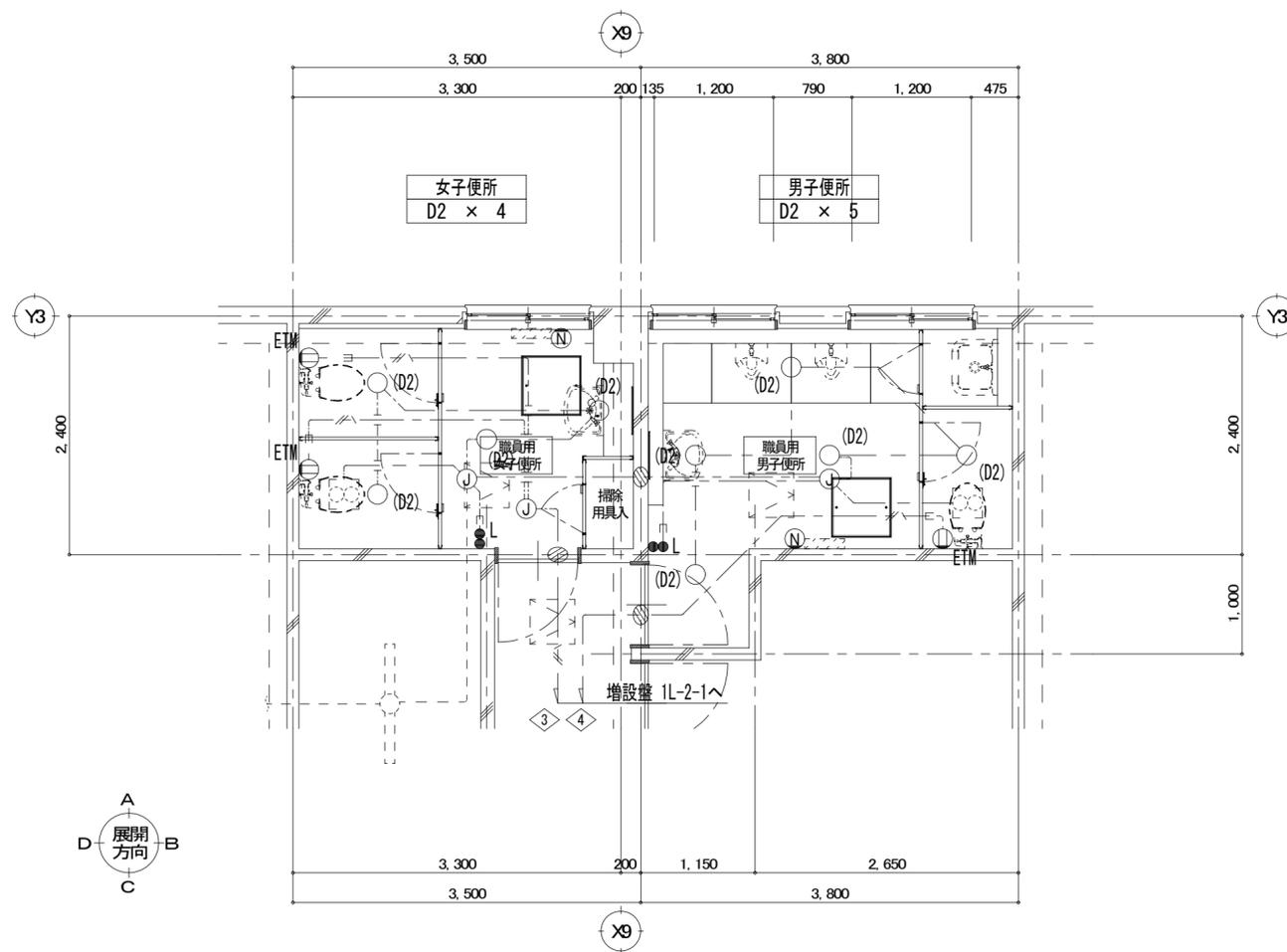
図面種別  
E  
図面番号  
07

改修前



職員用便所 平面詳細図 S=1:50

改修後



職員用便所 平面詳細図 S=1:50

平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

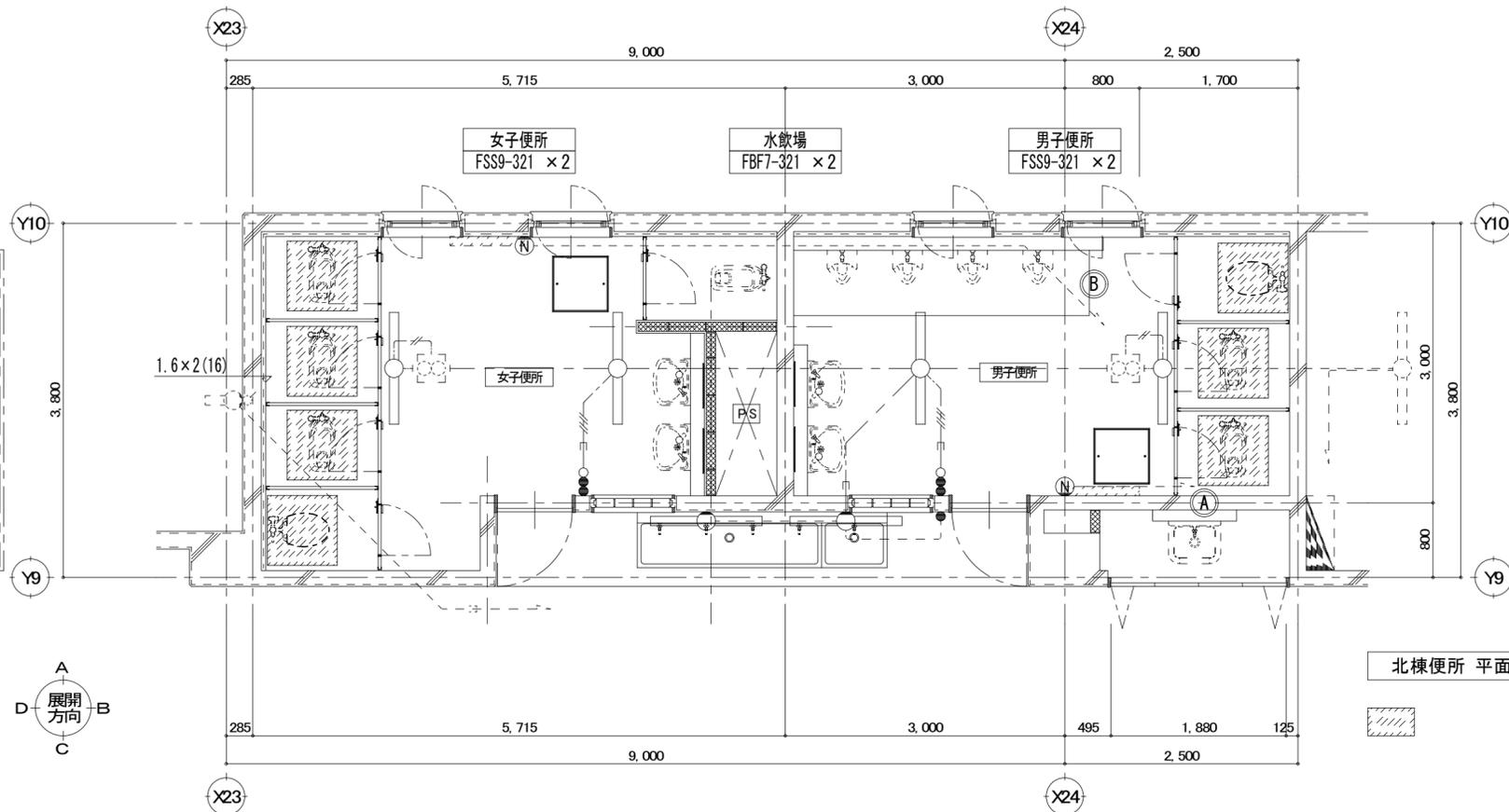
図面名  
電灯・コンセント設備 1階平面詳細図  
(改修前・後)  
【校舎棟 南側 職員便所】

縮尺 S=1:50 [A2:原版 A3:71%縮小]

図面種別  
E  
図面番号  
08

改修前

- ※ 注記
- 1) 特記なき配線器具、配線配管は、撤去とする。  
ただし、打込配管は配線のみ撤去とする。
  - 2) 細破線表記は既設再利用とし、そのままとする。
  - 3) 壁・床・天井等の取壊し及びアンカー打ち等の行われる箇所は事前に配線が埋設されていないか設計図及び目視、既存図面等にて確認を行うこと。
  - 4) 施工前・施工後に原則として全回路の絶縁測定試験を行うこと。
  - 5) 天井解体箇所の既設転がし配線はケーブルが落下しない様に吊ボルト等に支持すること。
  - 6) 施工前に、既存の状況を入念に調査・確認し、施工を行うこと。
  - 7) 壁・床の折りを行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。



凡例 (撤去)

記号	名称	摘要
○	照明器具	※機器表参照
○	照明器具	※機器表参照
●	埋込スイッチ	2P15A×2+PL 金属プレート
⓪	埋込コンセント	2P15A×1 金属プレート
Ⓜ	ノズルプレート	金属製
Ⓜ	壁換気扇	※別途工事
ヒーター	パネルヒーター	※配線切離し (機器は別途機械工事)

1. 特記なき配管配線は下記による。  
(撤去工事)

- # — VWF1.6-2C
- — VWF1.6-3C
- // — VWF1.6-2C+2C
- — VWF1.6-3C (CD22)
- — VWF1.6-3C (配管部 CD22)
- // — VWF1.6-2C+2C (配管部 CD22)

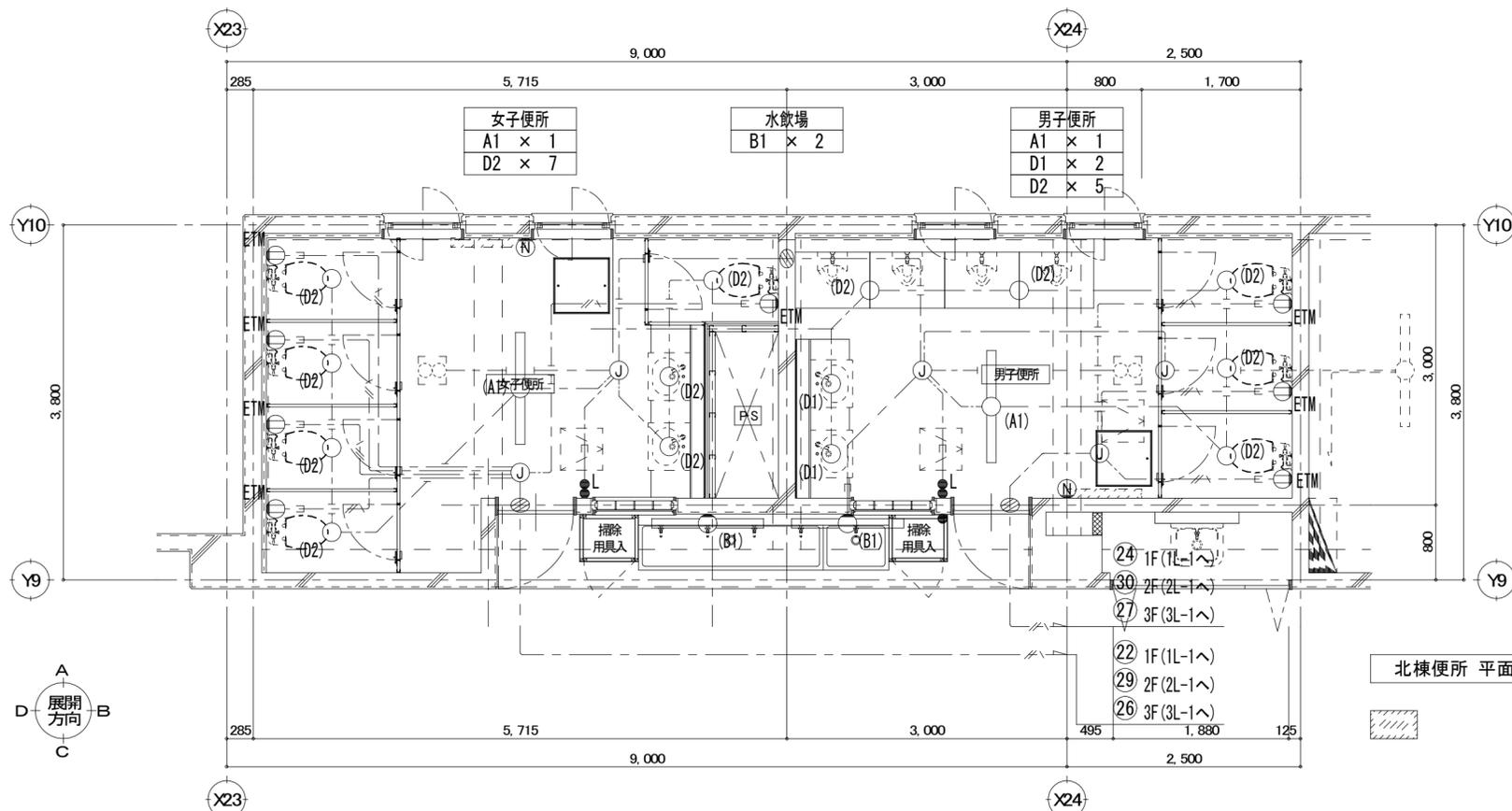
※打込配管は配線のみ撤去とする

北棟便所 平面詳細図 S=1:50

改修後

凡例 (新設)

記号	名称	摘要
電灯分電盤	電灯分電盤	※既存分電盤改修
○	照明器具	姿図参照
●	埋込スイッチ	1P15A×1 金属プレート
● L	埋込スイッチ	1P15A×1+1P15A(L)×1 金属プレート
⓪ ET	埋込コンセント	2P15A×1 (接地端子付) 金属プレート
⓪ ETM	埋込コンセント	2P15A×1 (接地端子付) 金属プレート ※第一種金属線び用 スリット付 かつらに取付
Ⓜ	ノズルプレート	金属製
⓪	アウトレットボックス	樹脂製
Ⓜ	壁貫通断り	※傍記無きものは50φとする。
ヒーター	パネルヒーター	※電源接続 (機器は別途機械工事)
Ⓜ	壁換気扇	※別途工事



1. 特記なき配管配線は下記による。

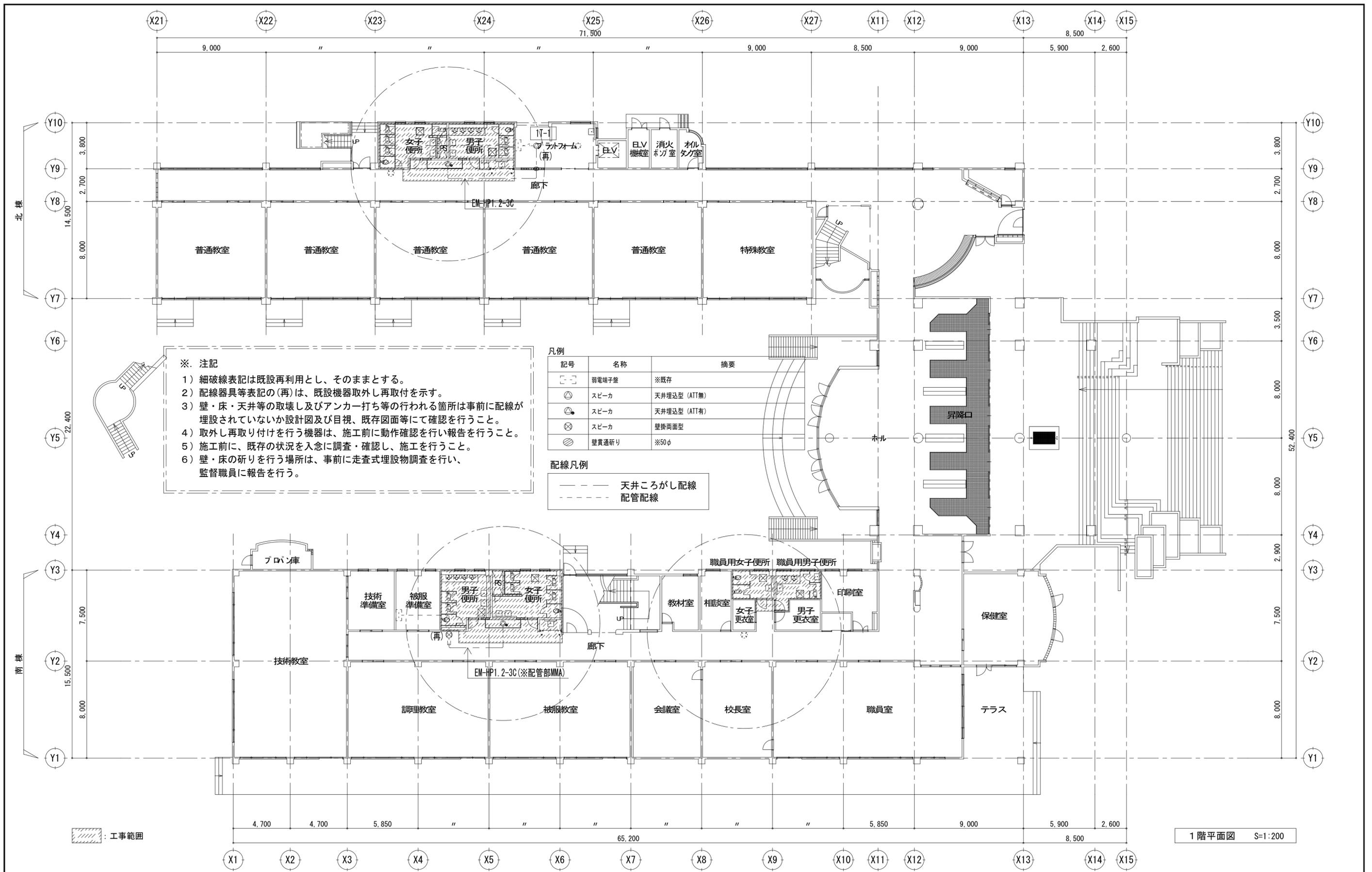
- # — EM-EEF2.0-3C (保護管 ※PF22)
- — EM-EEF1.6-3C (保護管 ※PF22)
- // — EM-EEF2.0-3C (配管MMA)
- — EM-EEF1.6-3C (配管MMA)
- # — EM-EEF2.0-3C (配管部 MMA)
- — EM-EEF1.6-3C (配管部 MMA)
- // — EM-EEF2.0-3C (配管部 既設配管使用)
- — EM-EEF1.6-3C (配管部 既設配管使用)

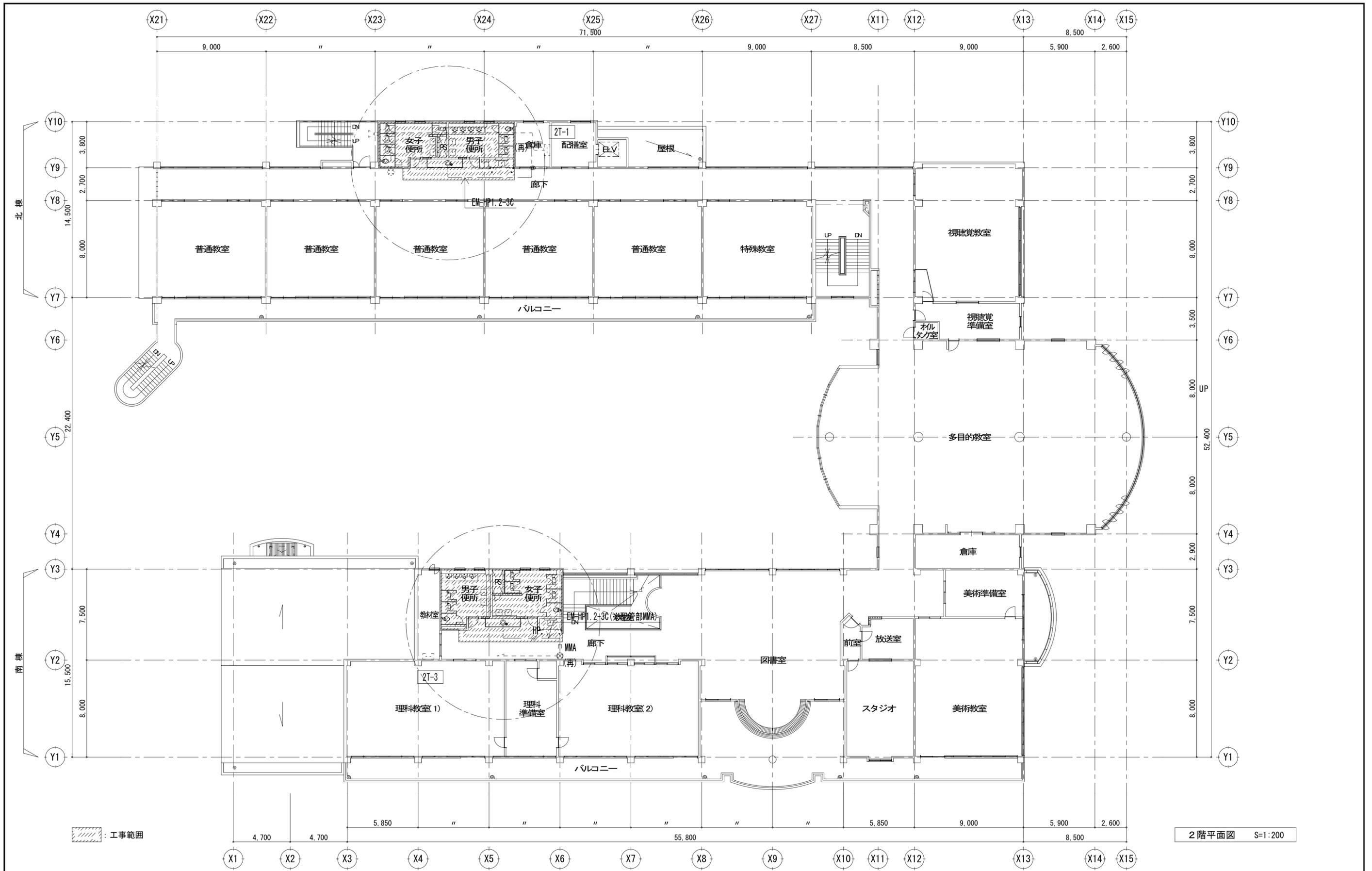
2. ケーブル配線において壁内の引下げ及び立上げ配線は、保護管(※部分)を敷設すること。

配線凡例

- — 天井ろがし配線
- — 配管配線
- — 既設打込配管配線

北棟便所 平面詳細図 S=1:50

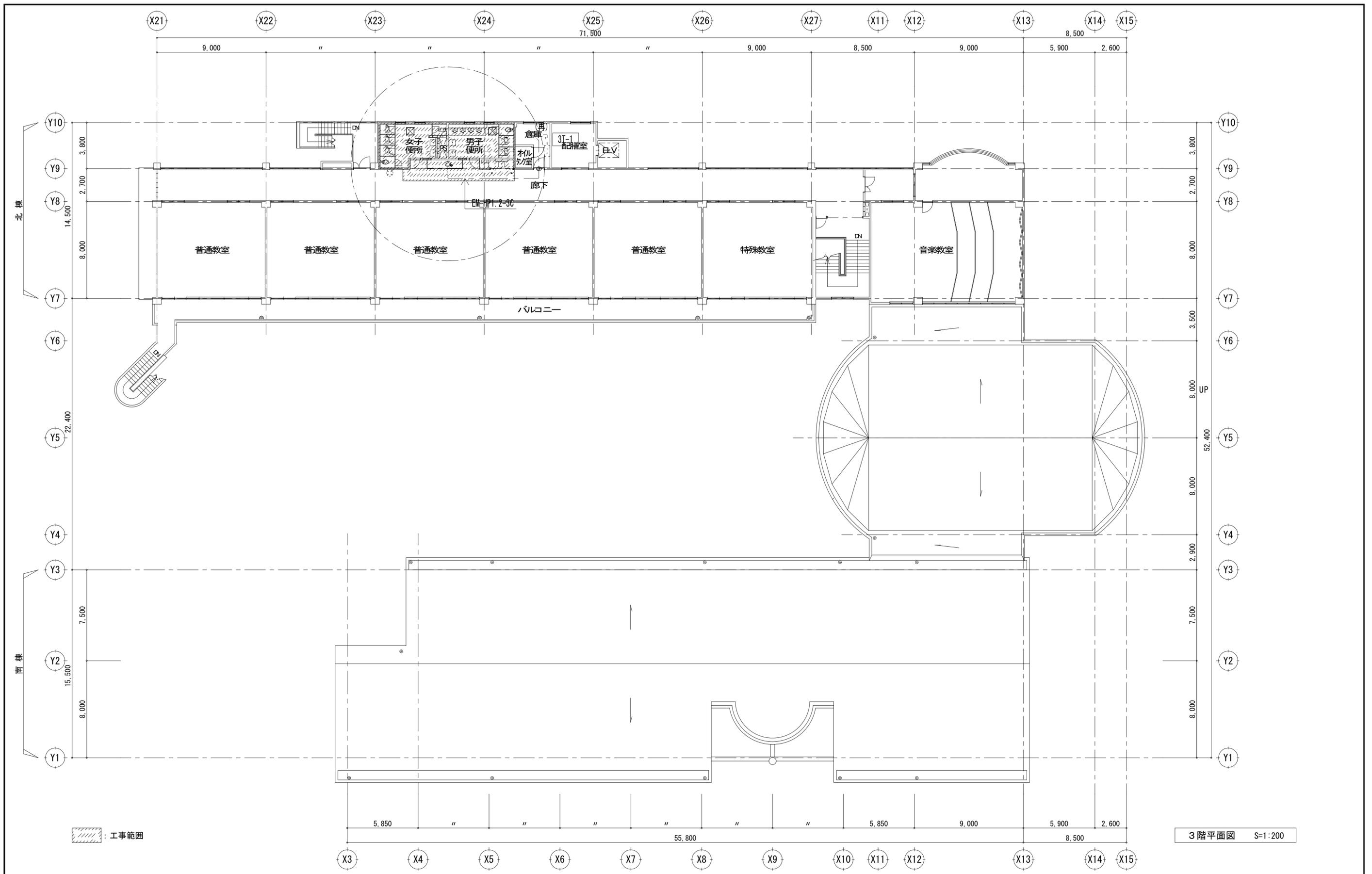






平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事	設計図
---------------------	-----

図面名 弱電設備 2階平面図 【校舎棟】	図面種別 E
縮尺 S=1:200 [A2:原版 A3:71%縮小]	図面番号 11

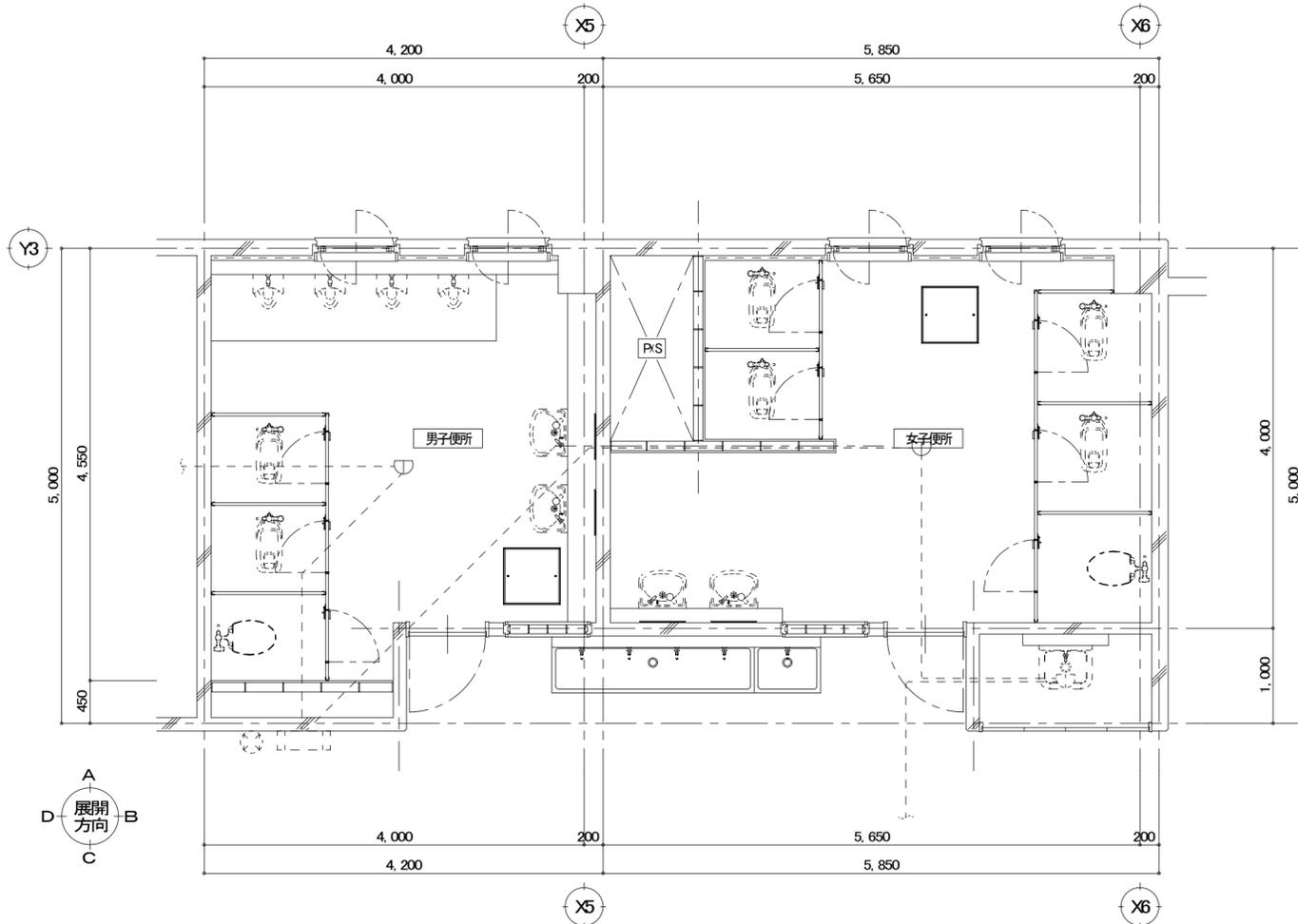



		<p>平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図</p>	<p>図面名 弱電設備 3階平面図 【校舎棟】</p> <p>縮尺 S=1:200 [A2:原版 A3:71%縮小]</p>	<p>図面種別 E 図面番号 12</p>
--	--	--------------------------------	--	-----------------------------------

改修前

※ 注記

- 1) 特記なき配線器具、配線配管は、撤去とする。  
ただし、打込配管は配線のみ撤去とする。
- 2) 細破線表記は既設再利用とし、そのままとする。
- 3) 壁・床・天井等の取壊し及びアンカー打ち等の行われる箇所は事前に配線が埋設されていないか設計図及び目視、既存図面等にて確認を行うこと。
- 4) 施工前・施工後に原則として全回路の絶縁測定試験を行うこと。
- 5) 天井解体箇所の既設転がし配線はケーブルが落下しない様に吊ボルト等に支持すること。
- 6) 施工前に、既存の状況を入念に調査・確認し、施工を行うこと。
- 7) 壁・床の研りを行う場所は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。



南棟便所 1階平面詳細図 S=1:50

凡例 (撤去)

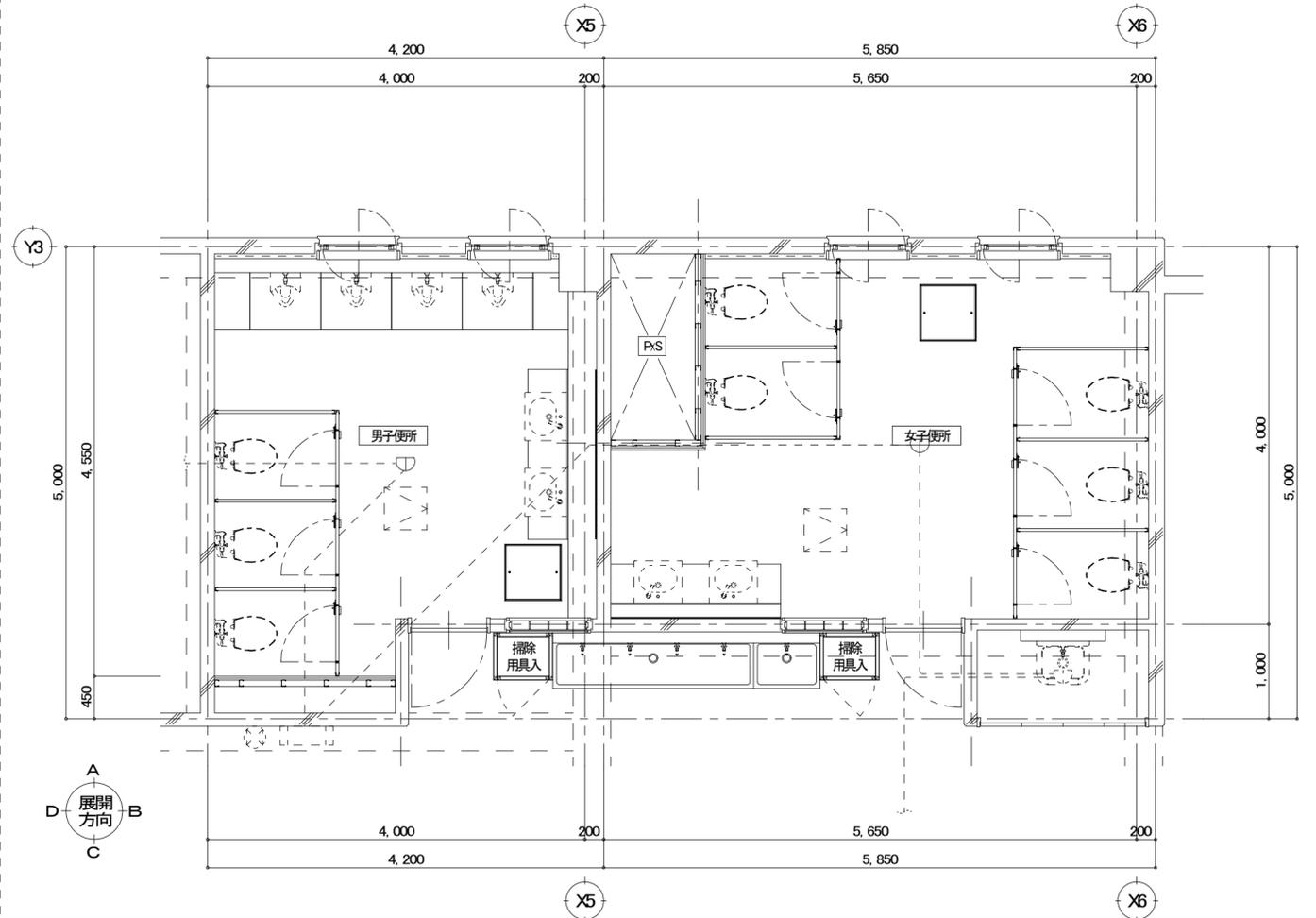
記号	名称	摘要
▽	感知器	定温式スポット型 1種 防水 露出型
▽	感知器	差動式スポット型 2種 露出型

1. 特記なき配管配線は下記による。

- AE // — AEO. 9-2C (CD16)
- AE /// — AEO. 9-4C (CD16)

※打込配管は配線のみ撤去とする

改修後



南棟便所 1階平面詳細図 S=1:50

凡例 (新設)

記号	名称	摘要
□ □ □	機器収容箱	屋内消火栓組込型
▽	感知器	定温式スポット型 1種 防水 露出型
▽	感知器	差動式スポット型 2種 露出型
[NC]	表示器	姿図参照 ※MMA用3個用スリッパに取付
■	呼出ボタン	姿図参照
◎	表示灯	姿図参照 ※MMA用1個用スリッパに取付
⓪	アウトレットボックス	樹脂製
⊘	壁貫通研り	※傍記無きものは50φとする。

1. 特記なき配管配線は下記による。

- AE // — EM-AEO. 9-2C (保護管 ※PF16)
- AE // — EM-AEO. 9-3C (保護管 ※PF16)
- AE /// — EM-AEO. 9-4C (保護管 ※PF16)
- AE // — EM-AEO. 9-2C (配管部 MMA)
- AE // — EM-AEO. 9-3C (配管部 MMA)

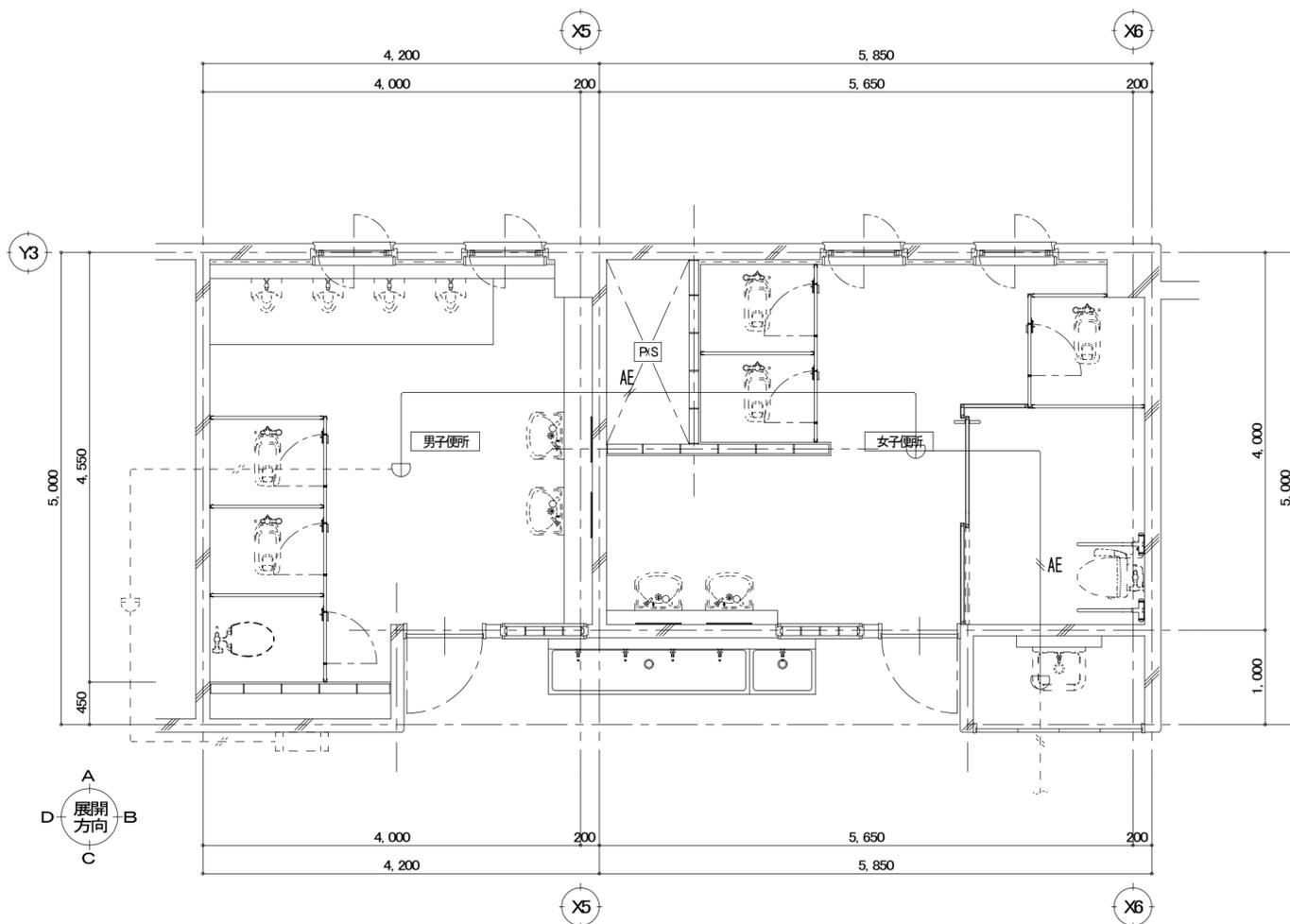
2. ケーブル配線において壁内の引下げ及び立上げ配線は、保護管(※部分)を敷設すること。

配線凡例

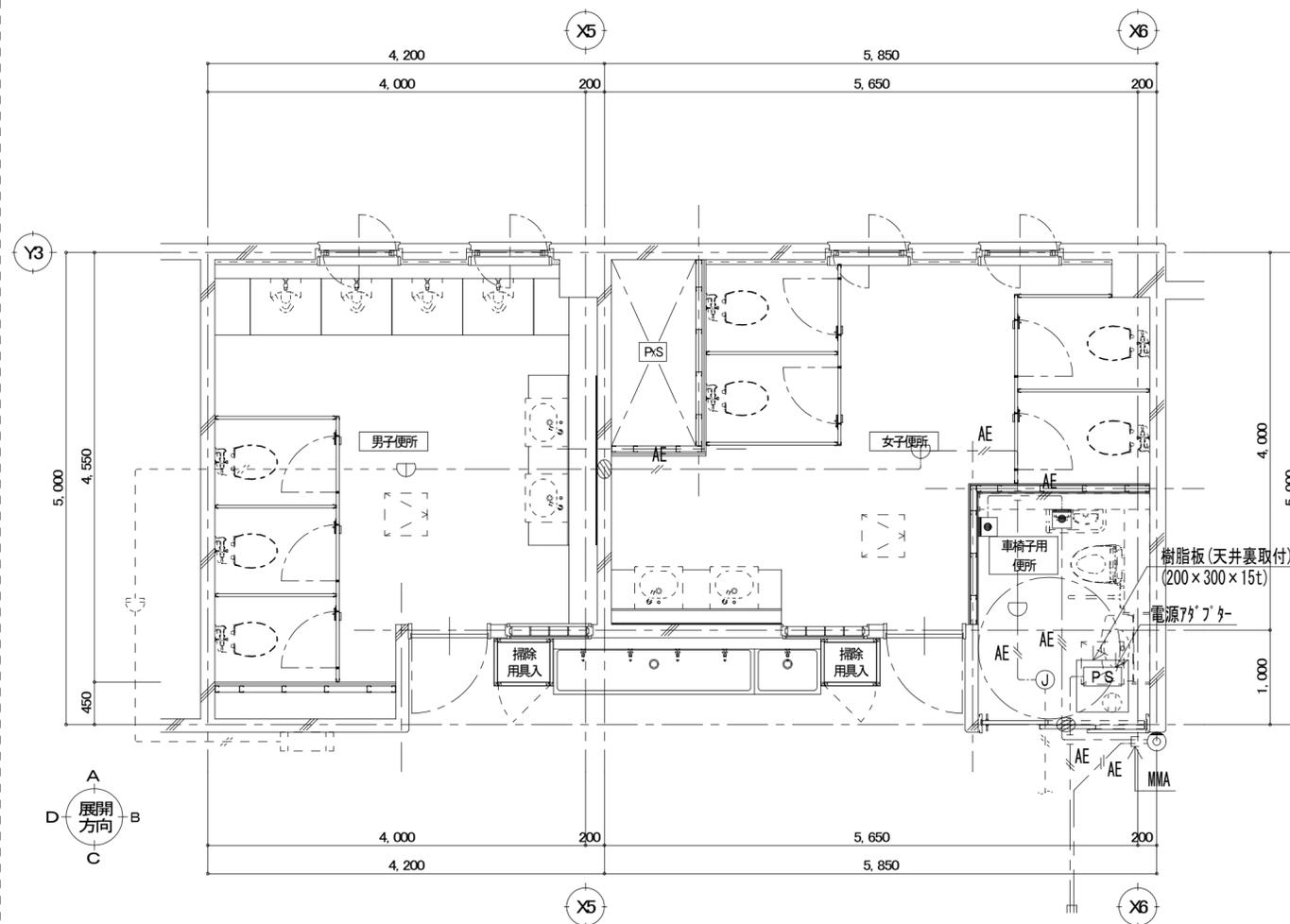
- 天井ころがし配線
- - - 配管配線

改修前

改修後



南棟便所 2階平面詳細図 S=1:50



南棟便所 2階平面詳細図 S=1:50

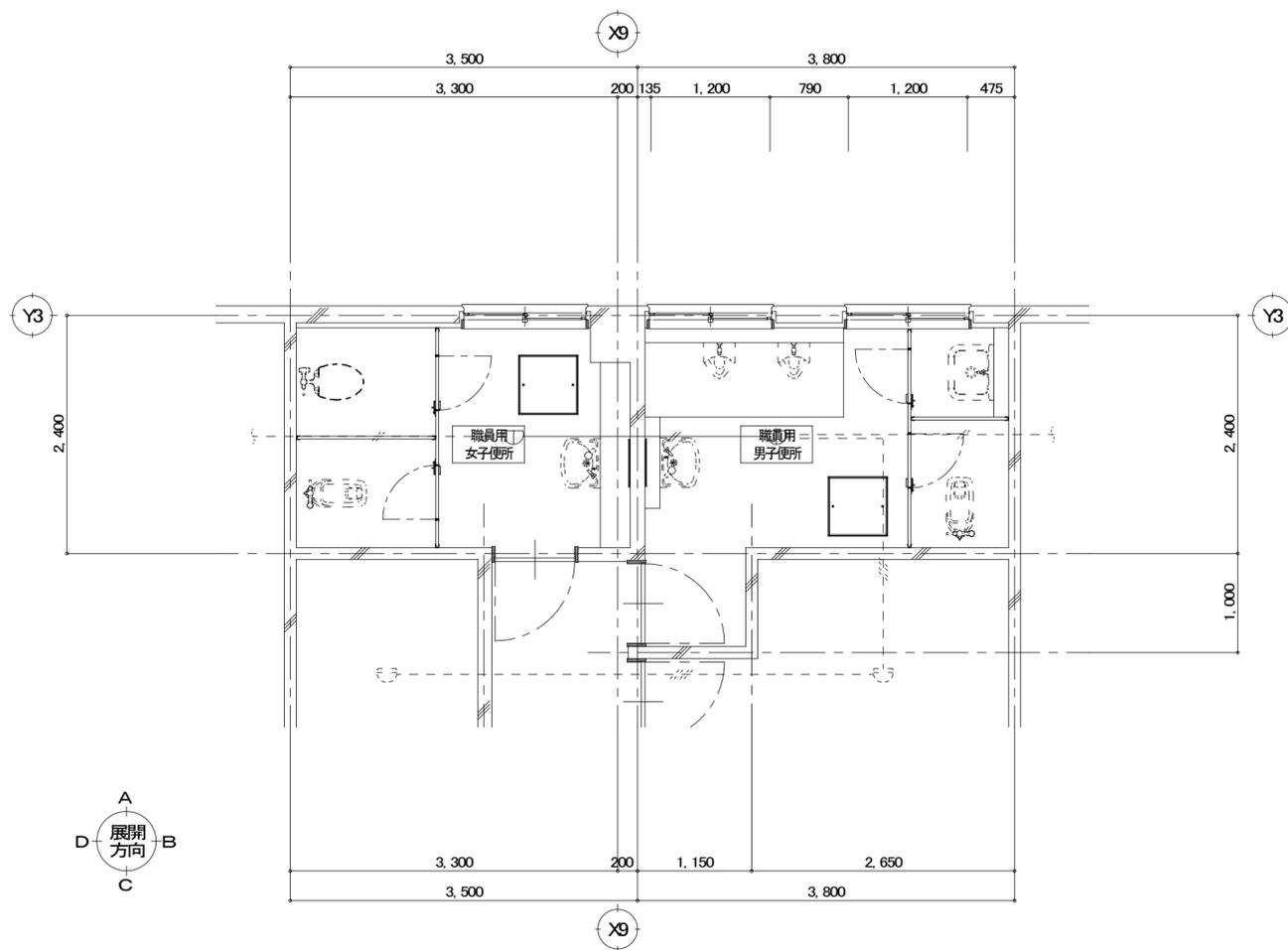

平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

図面名  
自火報・誘導支援設備 2階平面詳細図  
(改修前・後)  
【校舎棟 南側】

縮尺 S=1:50 [A2:原版 A3:71%縮小]

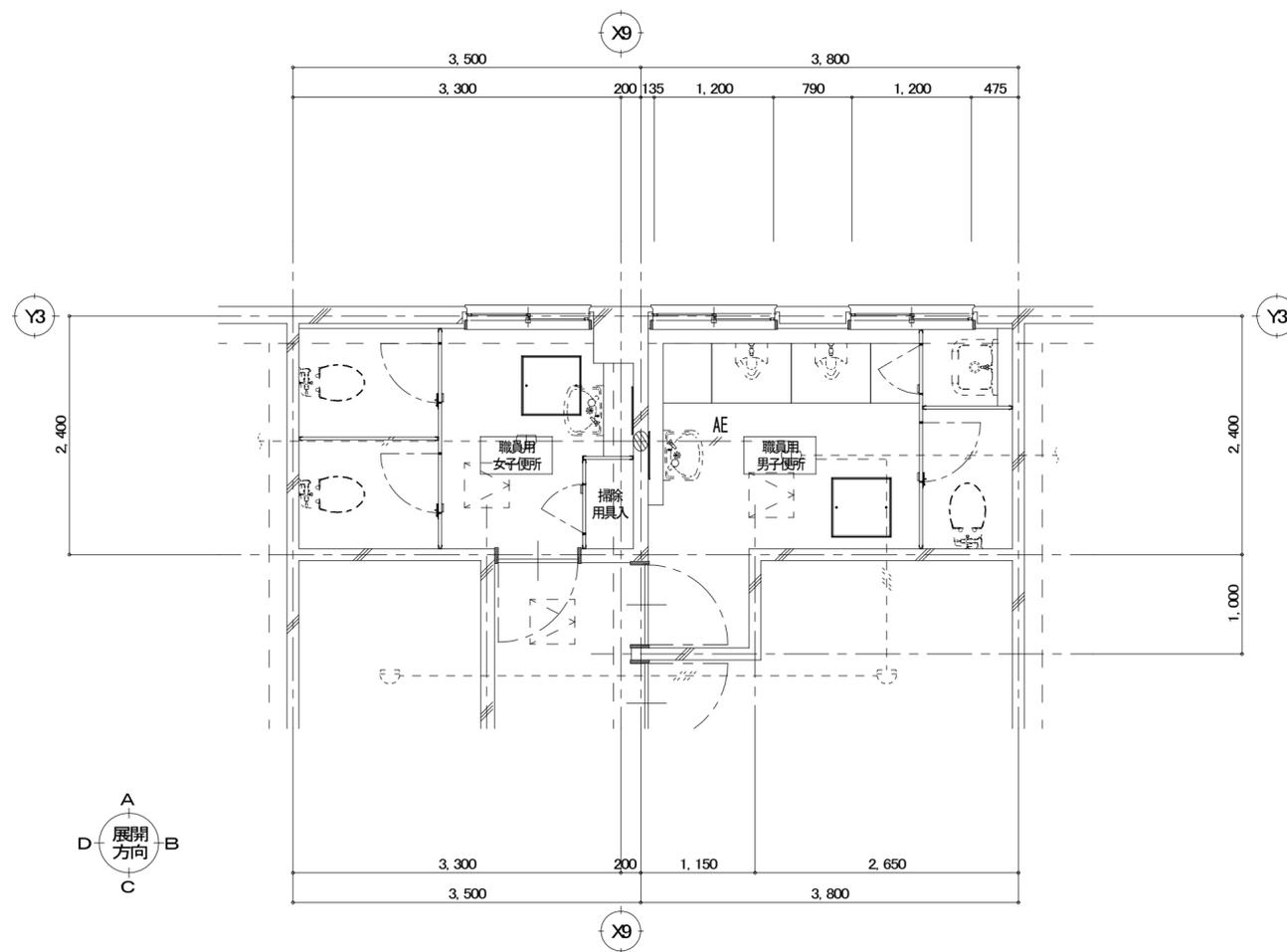
図面種別
E
図面番号
14

改修前



職員用便所 平面詳細図 S=1:50

改修後



職員用便所 平面詳細図 S=1:50



平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図
-------------------------

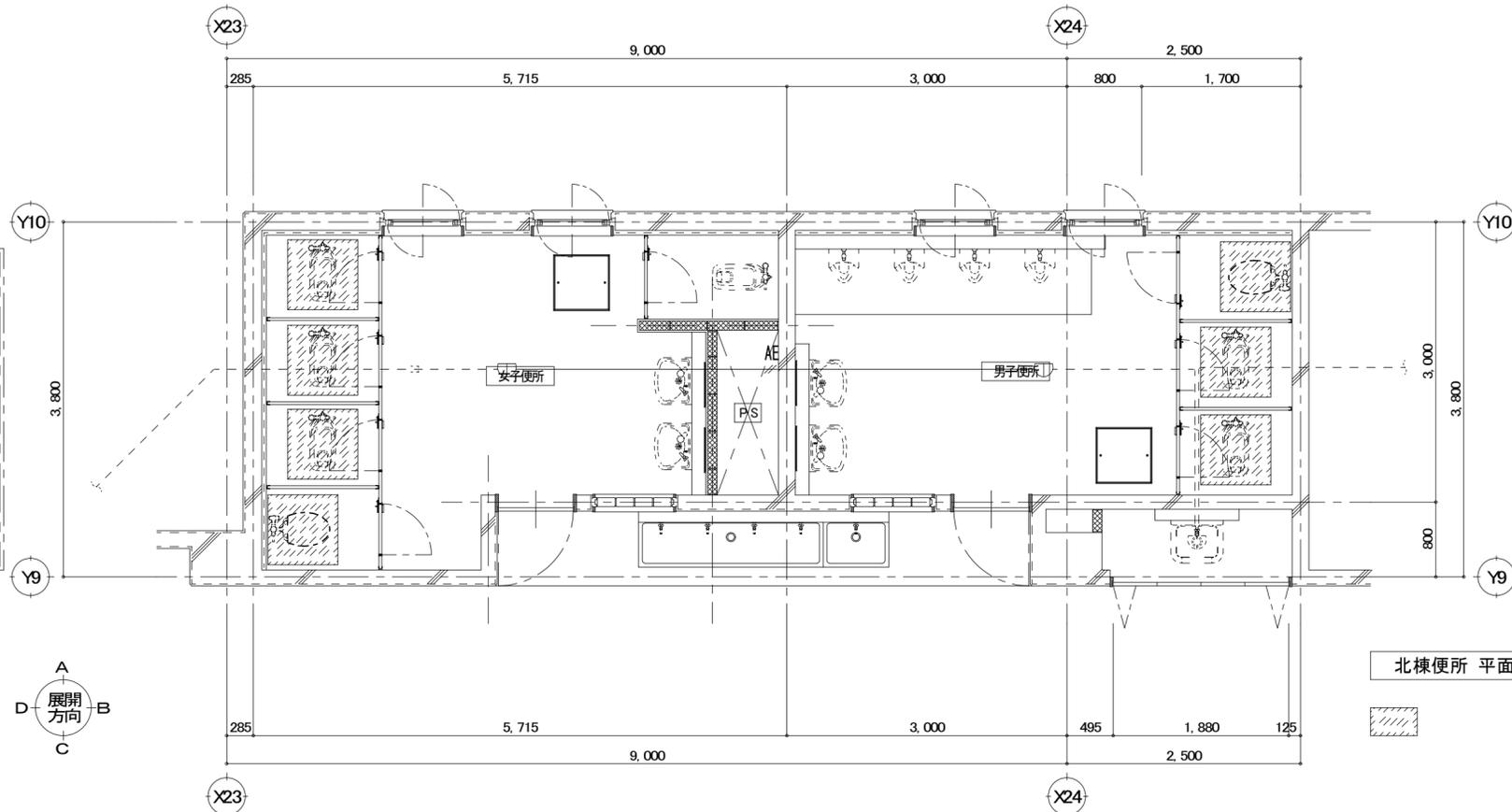
図面名 自火報設備 1階平面詳細図 (改修前・後) 【校舎棟 南側 職員便所】
縮尺 S=1:50 [A2:原版 A3:71%縮小]

図面種別 E
図面番号 15

改修前

※ 注記

- 1) 特記なき配線器具、配線配管は、撤去とする。  
ただし、打込配管は配線のみ撤去とする。
- 2) 細破線表記は既設再利用とし、そのままとする。
- 3) 壁・床・天井等の取壊し及びアンカー打ち等の行われる箇所は事前に配線が埋設されていないか設計図及び目視、既存図面等にて確認を行うこと。
- 4) 施工前・施工後に原則として全回路の絶縁測定試験を行うこと。
- 5) 天井解体箇所の既設転がし配線はケーブルが落下しない様に吊ボルト等に支持すること。
- 6) 施工前に、既存の状況を入念に調査・確認し、施工を行うこと。
- 7) 壁・床の斫りを行う場所は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。



凡例 (撤去)

記号	名称	摘要
☐	感知器	定温式スポット型 1種 防水 露出型
☐	感知器	差動式スポット型 2種 露出型

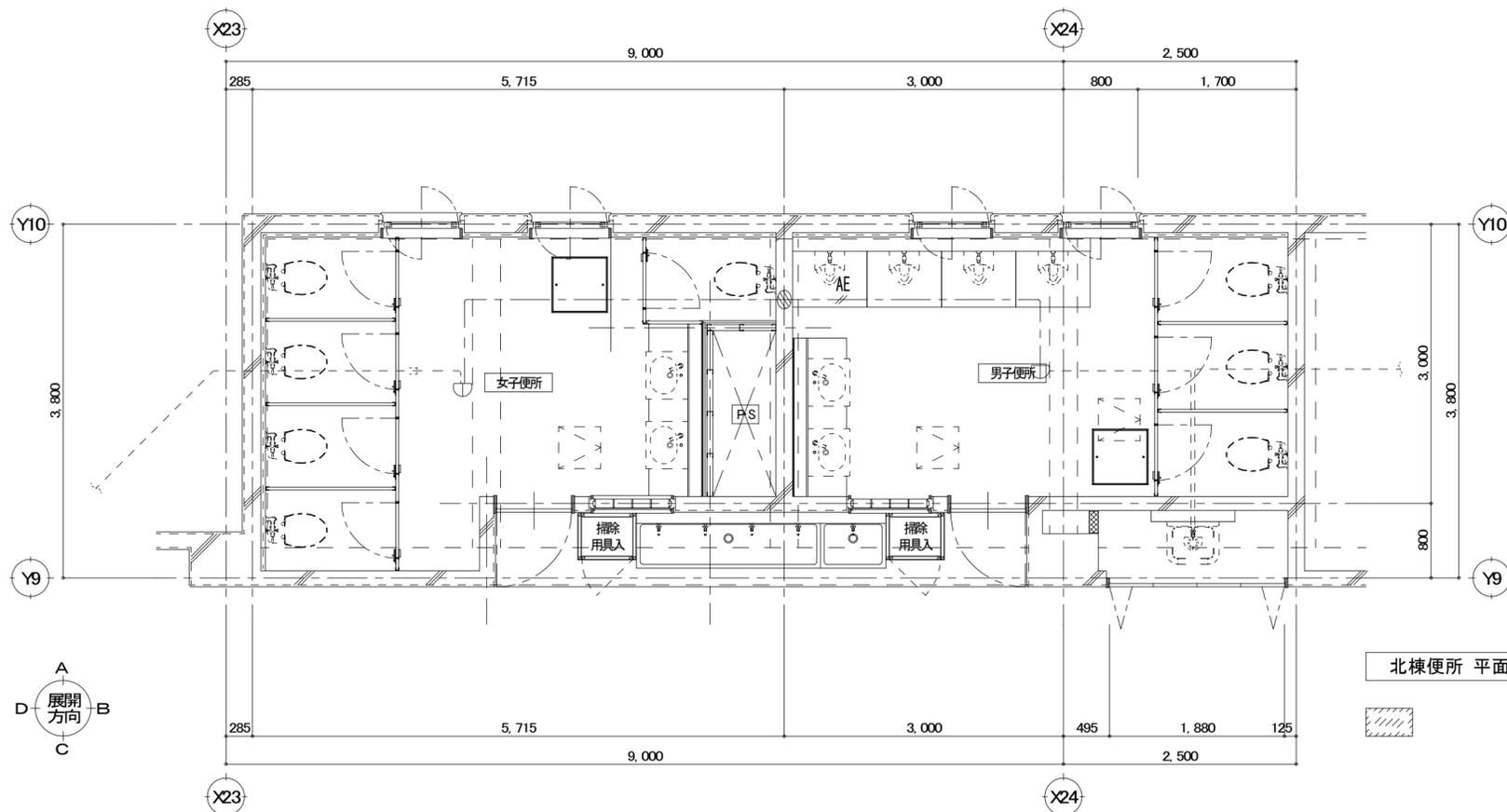
1. 特記なき配管配線は下記による。

- AE // AE AEO. 9-2C (CD16)
- AE // AE AEO. 9-4C (CD16)

※打込配管は配線のみ撤去とする

北棟便所 平面詳細図 S=1:50

改修後



凡例 (新設)

記号	名称	摘要
☐	機器収容箱	屋内消火栓組込型
☐	感知器	定温式スポット型 1種 防水 露出型
☐	感知器	差動式スポット型 2種 露出型
⊘	壁貫通斫り	※傍記なきものは50φとする。

1. 特記なき配管配線は下記による。

- AE // EM-AEO. 9-2C (保護管 ※PF16)
- AE // EM-AEO. 9-3C (保護管 ※PF16)
- AE // EM-AEO. 9-4C (保護管 ※PF16)
- AE // EM-AEO. 9-2C (配管部 MMA)
- AE // EM-AEO. 9-3C (配管部 MMA)

2. ケーブル配線において壁内の引下げ及び立上げ配線は、保護管(※部分)を敷設すること。

配線凡例

---	天井ころがし配線
---	配管配線

北棟便所 平面詳細図 S=1:50

改修前

※ 注記

- 1) 特記なき配線器具、配線配管は、撤去とする。ただし、打込配管は配線のみ撤去とする。
- 2) 細破線表記は既設再利用とし、そのままとする。
- 3) 壁・床・天井等の取壊し及びアンカー打ち等の行われる箇所は事前に配線が埋設されていないか設計図及び目視、既存図面等にて確認を行うこと。
- 4) 施工前・施工後に原則として全回路の絶縁測定試験を行うこと。
- 5) 天井解体箇所の既設転がし配線はケーブルが落下しない様に吊ボルト等に支持すること。
- 6) 施工前に、既存の状況を入念に調査・確認し、施工を行うこと。
- 7) 壁・床の削りを行う場所は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。

凡例 (撤去)

記号	名称	摘要
	電灯分電盤	※既存分電盤
	照明器具	※機器表参照
	照明器具	※機器表参照
	埋込スイッチ	1P15A×1 金属プレート
	埋込スイッチ	2P15A×2+PL 金属プレート
	埋込コンセント	2P15A×1 金属プレート
	壁換気扇	※別途工事
	パネルヒーター	※配線切離し (機器は別途機械工事)

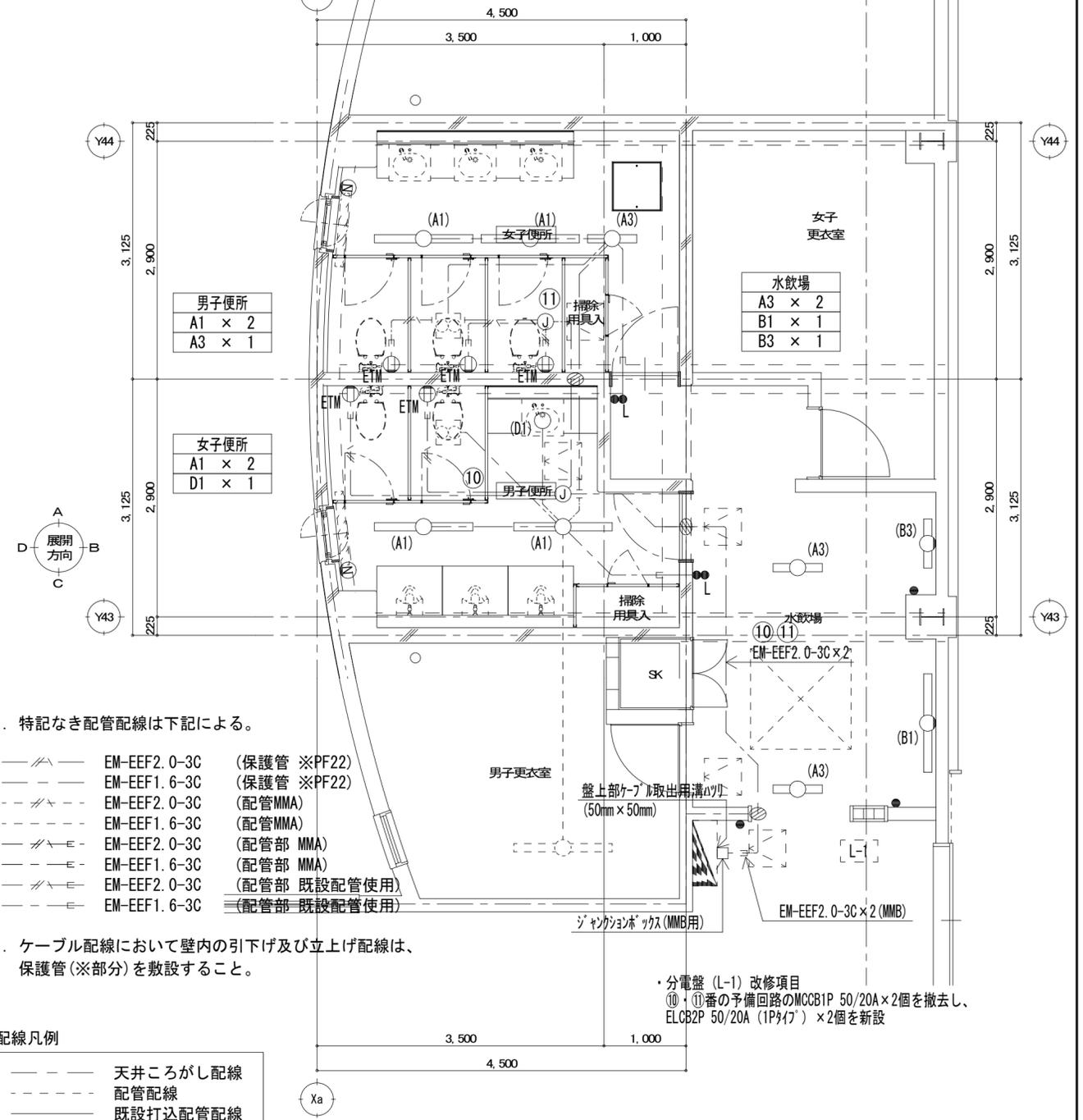


屋内運動場便所 平面詳細図 S=1:50

改修後

凡例

記号	名称	摘要	記号	名称	摘要
	電灯分電盤	※既存分電盤改修		埋込コンセント	2P15A×1 (接地端子付) 金属プレート
	照明器具	※機器表参照		埋込コンセント	2P15A×1 (接地端子付) 金属プレート ※第一種金属線び用スリットボックスに取付
	照明器具	※機器表参照		ノズルプレート	金属製
	照明器具	※機器表参照		アウトレットボックス	樹脂製
	埋込スイッチ	1P15A×1 金属プレート		壁貫通筋り	※傍記無きものは50φとする。
	埋込スイッチ	1P15A×1+1P15A(L)×1 金属プレート		パネルヒーター	※電源接続 (機器は別途機械工事)
				壁換気扇	※別途工事



1. 特記なき配管配線は下記による。

- EM-EEF2.0-3C (保護管 ※PF22)
- EM-EEF1.6-3C (保護管 ※PF22)
- - - EM-EEF2.0-3C (配管MMA)
- - - EM-EEF1.6-3C (配管MMA)
- - - EM-EEF2.0-3C (配管部 MMA)
- - - EM-EEF1.6-3C (配管部 MMA)
- - - EM-EEF2.0-3C (配管部 既設配管使用)
- - - EM-EEF1.6-3C (配管部 既設配管使用)

2. ケーブル配線において壁内の引下げ及び立上げ配線は、保護管(※部分)を敷設すること。

配線凡例

- 天井ころがし配線
- - - 配管配線
- 既設打込配管配線

1. 特記なき配管配線は下記による。(撤去工事)

- IV1.6×3 (19)
- - - IV1.6×4 (19)

※打込配管は配線のみ撤去とする

屋内運動場便所 平面詳細図 S=1:50

・分電盤 (L-1) 改修項目  
 ⑩・⑪番の予備回路のMCCB1P 50/20A×2個を撤去し、ELCB2P 50/20A (1P17) ×2個を新設

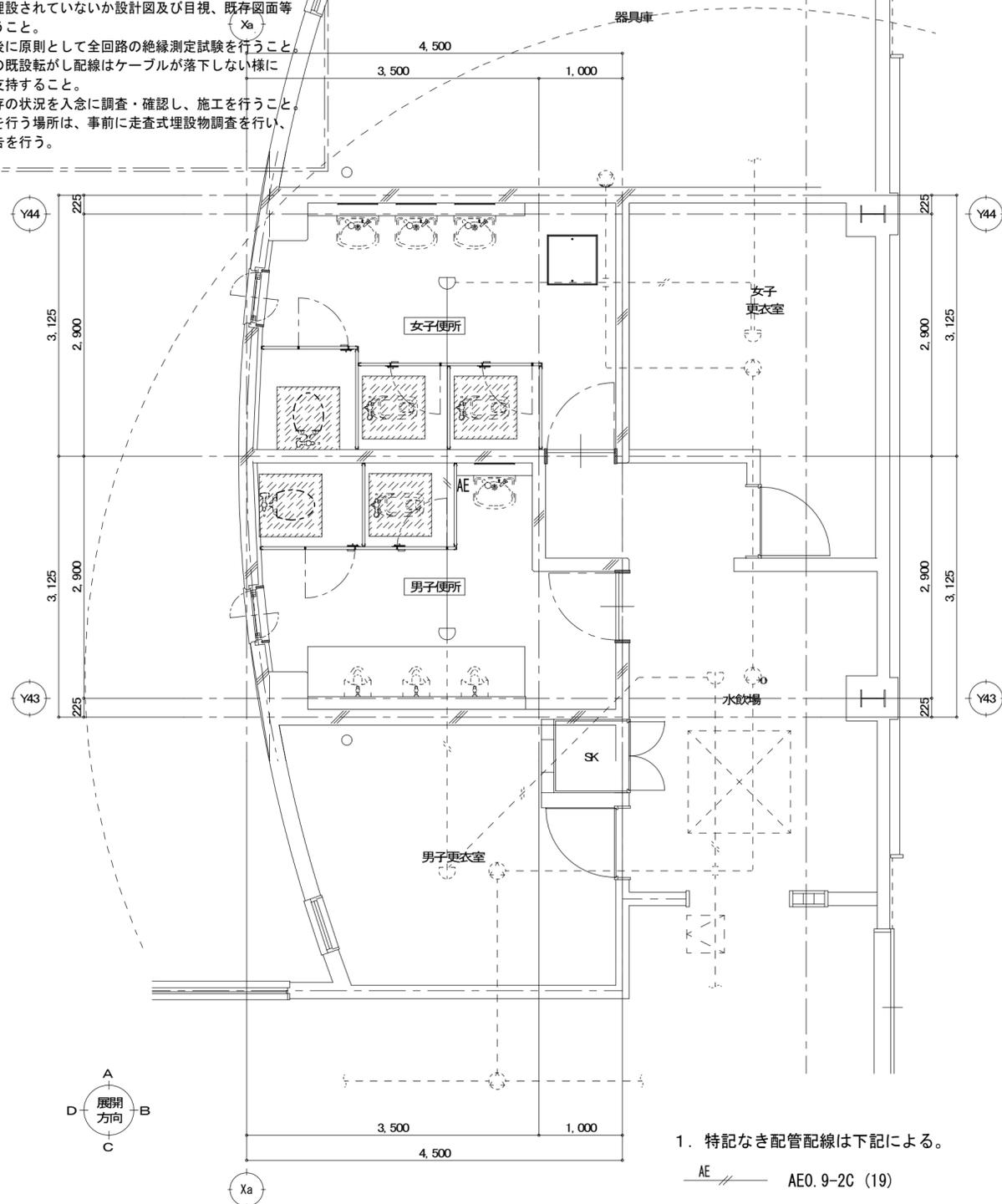
改修前

※ 注記

- 1) 特記なき配線器具、配線配管は、撤去とする。  
ただし、打込配管は配線のみ撤去とする。
- 2) 細破線表記は既設再利用とし、そのままとする。
- 3) 壁・床・天井等の取壊し及びアンカー打ち等の行われる箇所は事前に配線が埋設されていないか設計図及び目視、既存図面等にて確認を行うこと。
- 4) 施工前・施工後に原則として全回路の絶縁測定試験を行うこと。
- 5) 天井解体箇所の既設転がし配線はケーブルが落下しない様に吊ボルト等に支持すること。
- 6) 施工前に、既存の状況を入念に調査・確認し、施工を行うこと。
- 7) 壁・床の祈りを行う場所は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。

凡例 (撤去)

記号	名称	摘要
▽	感知器	定温式スポット型

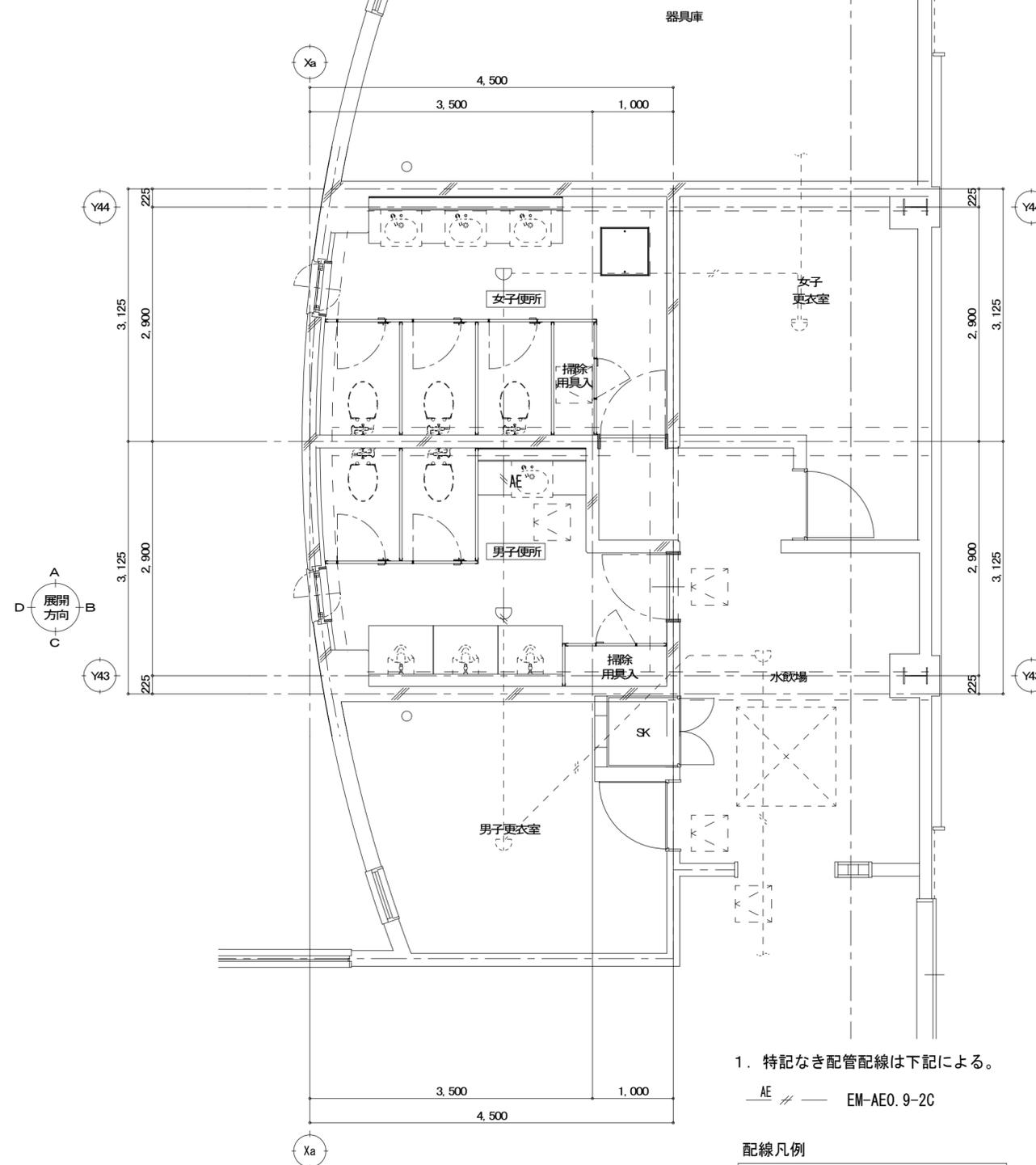


屋内運動場便所 平面詳細図 S=1:50

改修後

凡例 (新設)

記号	名称	摘要
▽	感知器	定温式スポット型



屋内運動場便所 平面詳細図 S=1:50

1. 特記なき配管配線は下記による。

AE // EM-AE0.9-2C

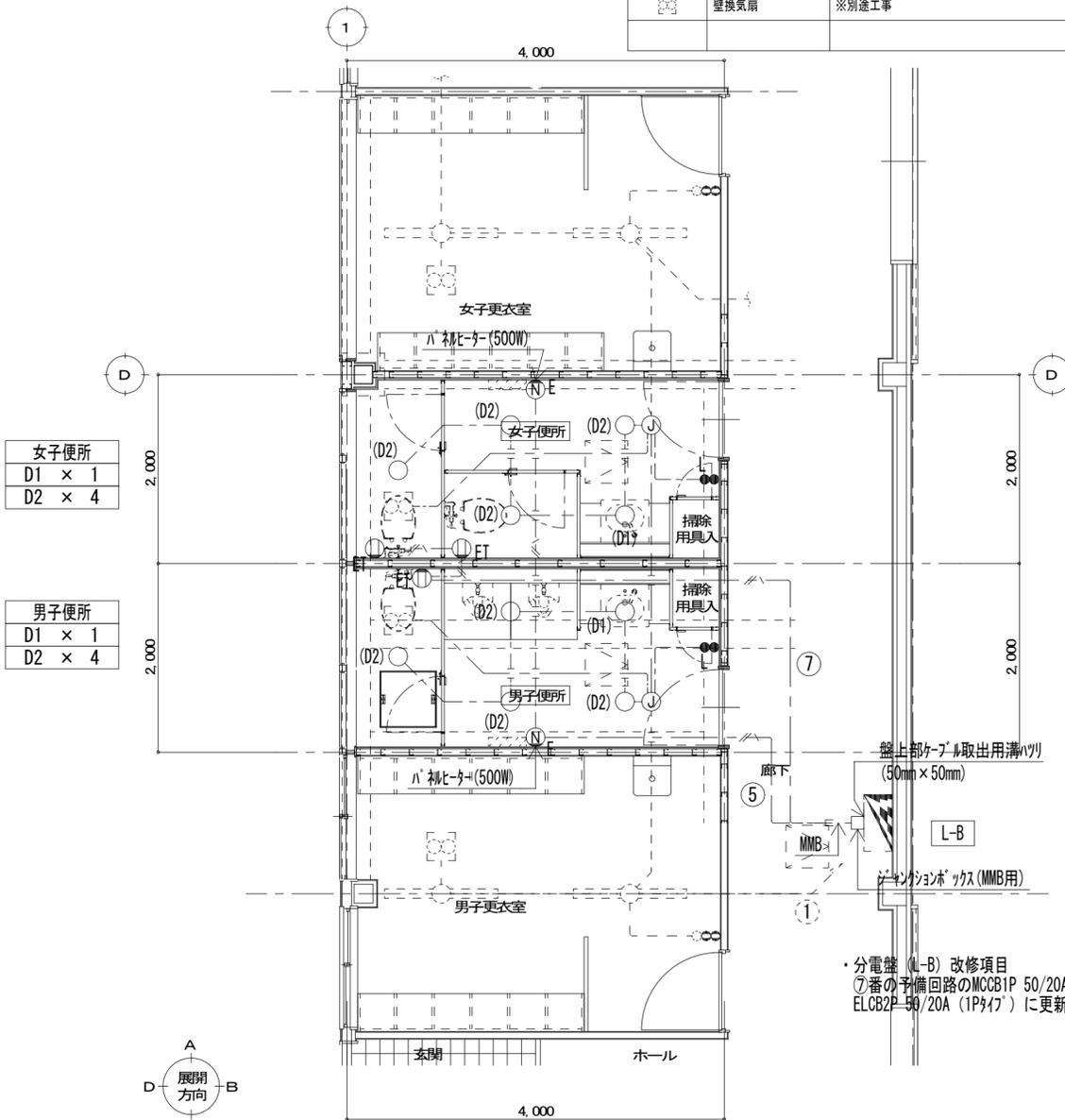
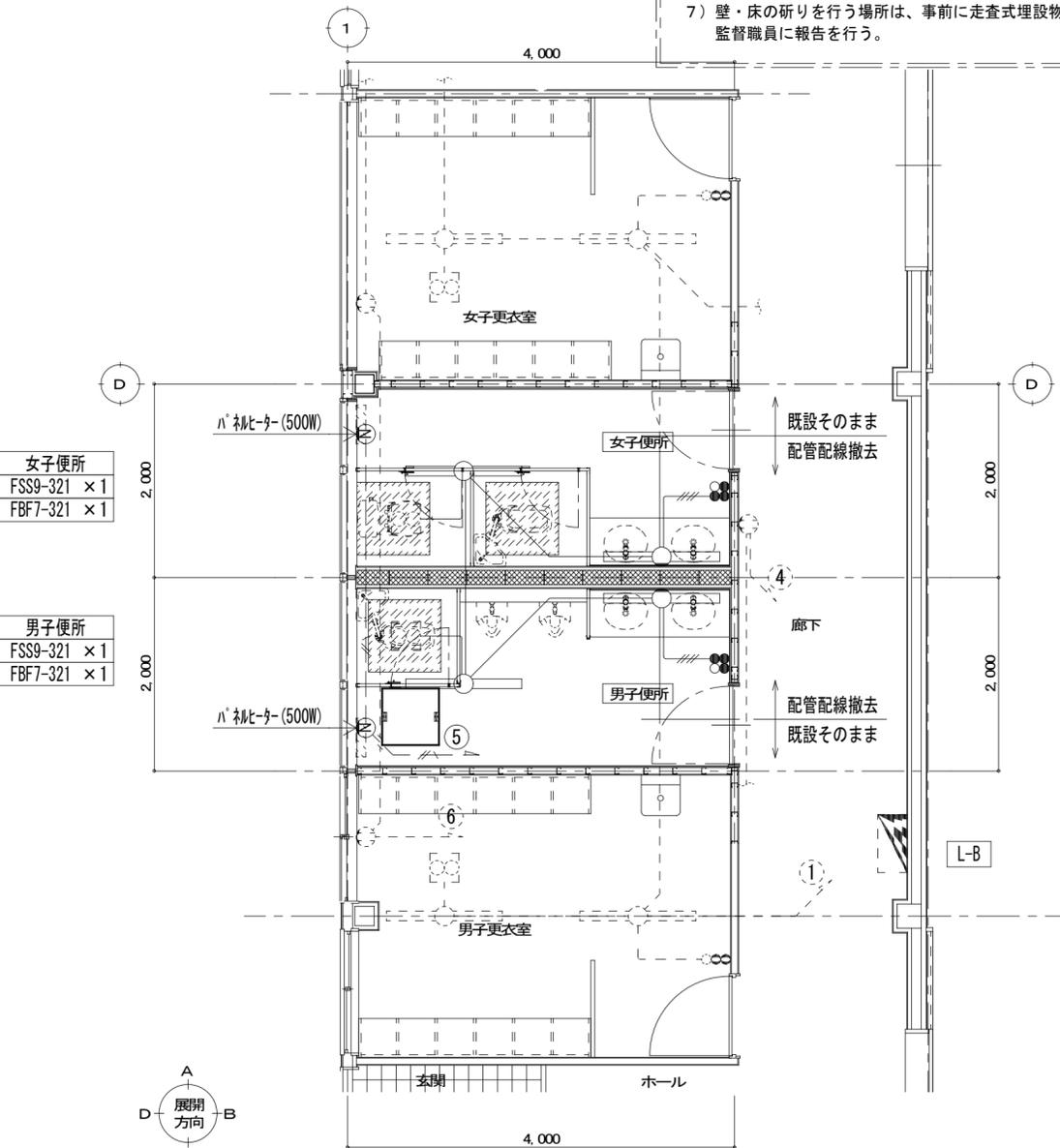
配線凡例

--- 天井ころがし配線

改修前

改修後

- ※ 注記
- 1) 特記なき配線器具、配線配管は、撤去とする。ただし、打込配管は配線のみ撤去とする。
  - 2) 細破線表記は既設再利用とし、そのままとする。
  - 3) 壁・床・天井等の取壊し及びアンカー打ち等の行われる箇所は事前に配線が埋設されていないか設計図及び目視、既存図面等にて確認を行うこと。
  - 4) 施工前・施工後に原則として全回路の絶縁測定試験を行うこと。
  - 5) 天井解体箇所の既設転がし配線はケーブルが落下しない様に吊ボルト等に支持すること。
  - 6) 施工前に、既存の状況を入念に調査・確認し、施工を行うこと。
  - 7) 壁・床の削りを行う場所は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。



記号	名称	摘要
☐	電灯分電盤	※既存分電盤改修
○	照明器具	※機器表参照
Ⓛ	埋込スイッチ	1P15A×1+1P15A(L)×1 金属プレート
Ⓜ	埋込コンセント	2P15A×1 (接地端子付) 金属プレート
Ⓝ	ノズルプレート	金属製
Ⓧ	アウトレットボックス	樹脂製
☐	パネルヒーター	※電源接続 (機器は別途機械工事)
☐	壁換気扇	※別途工事

女子便所  
FSS9-321 × 1  
FBF7-321 × 1

男子便所  
FSS9-321 × 1  
FBF7-321 × 1

女子便所  
D1 × 1  
D2 × 4

男子便所  
D1 × 1  
D2 × 4

凡例 (撤去)

記号	名称	摘要
○	照明器具	※機器表参照
○	照明器具	※機器表参照
Ⓛ	埋込スイッチ	2P15A×3+PL 金属プレート
Ⓜ	埋込コンセント	2P15A×1 金属プレート
Ⓝ	ノズルプレート	金属製
☐	壁換気扇	※別途工事
☐	パネルヒーター	※配線切離し (機器は別途機械工事)

1. 特記なき配管配線は下記による。  
(撤去工事)
- IV1.6×2 (19)
  - IV1.6×3 (19)
  - IV1.6×4 (19)
  - IV2.0×3 (19)
  - IV2.0×3 (19) ※床埋設配管
- ※打込配管は配線のみ撤去とする

1. 特記なき配管配線は下記による。
- EM-EEF2.0-3C (保護管 ※PF22)
  - EM-EEF1.6-3C (保護管 ※PF22)
2. ケーブル配線において壁内の引下げ及び立上げ配線は、保護管(※部分)を敷設すること。

配線凡例

—	天井ころがし配線
- - -	配管配線
—	既設打込配管配線

柔剣道場便所 平面詳細図 S=1:50

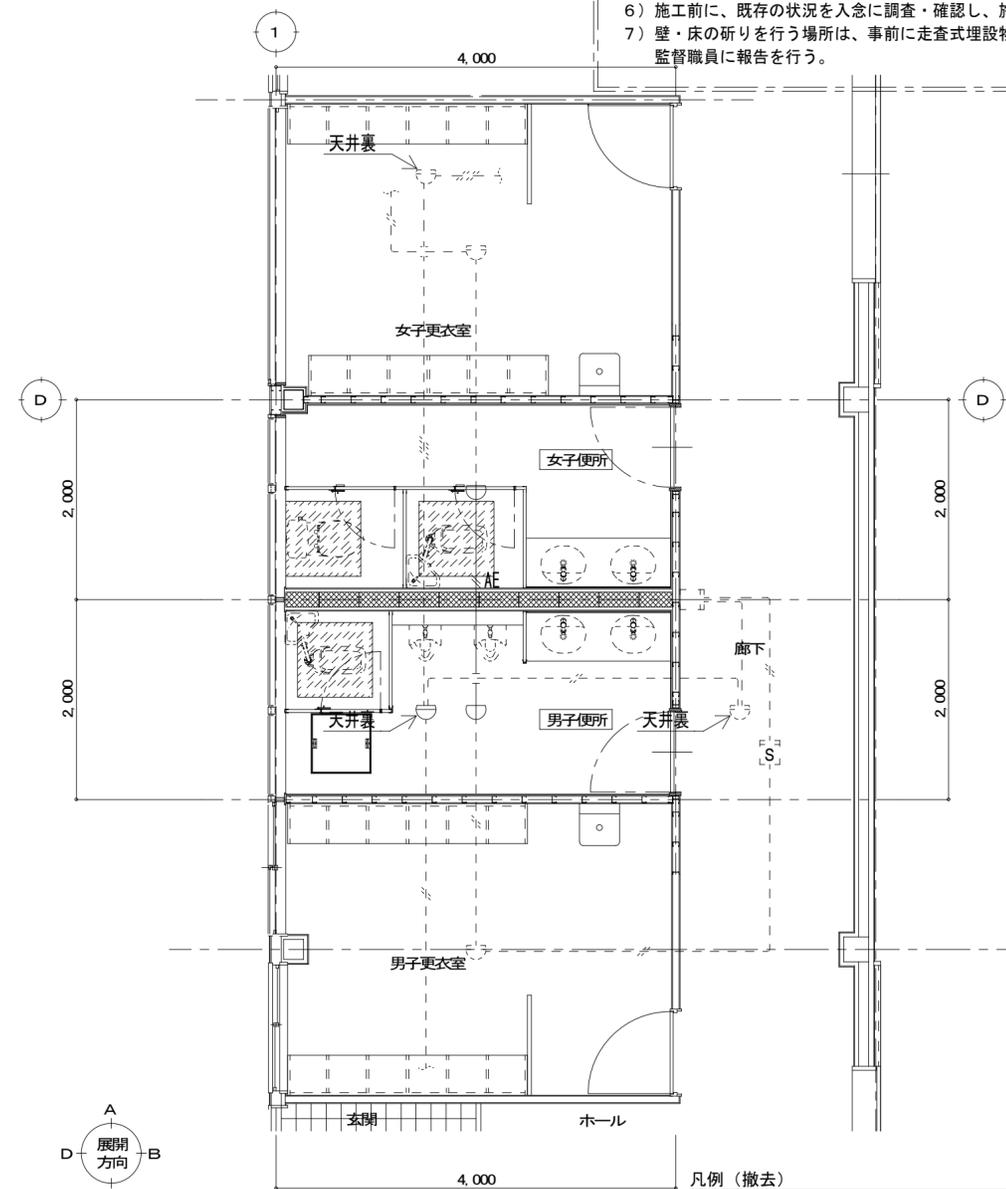
柔剣道場便所 平面詳細図 S=1:50

改修前

改修後

※ 注記

- 1) 特記なき配線器具、配線配管は、撤去とする。  
ただし、打込配管は配線のみ撤去とする。
- 2) 細破線表記は既設再利用とし、そのままとする。
- 3) 壁・床・天井等の取壊し及びアンカー打ち等の行われる箇所は事前に配線が埋設されていないか設計図及び目視、既存図面等にて確認を行うこと。
- 4) 施工前・施工後に原則として全回路の絶縁測定試験を行うこと。
- 5) 天井解体箇所の既設転がし配線はケーブルが落下しない様に吊ボルト等に支持すること。
- 6) 施工前に、既存の状況を入念に調査・確認し、施工を行うこと。
- 7) 壁・床の研りを行う場所は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。



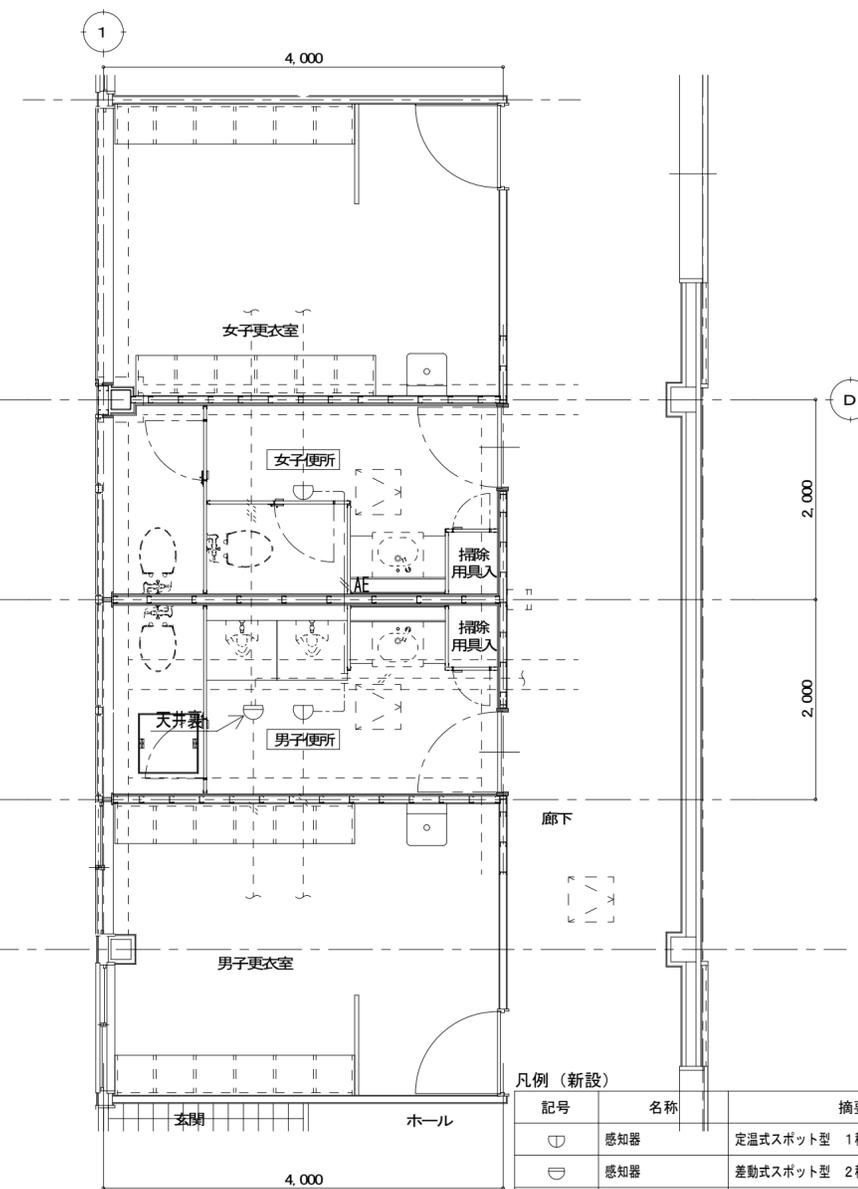
凡例 (撤去)

記号	名称	摘要
☐	感知器	定温式スポット型 1種 防水 露出型
☐	感知器	差動式スポット型 2種 露出型

1. 特記なき配管配線は下記による。

AE // AE0.9-2C (19)

柔剣道場便所 平面詳細図 S=1:50



凡例 (新設)

記号	名称	摘要
☐	感知器	定温式スポット型 1種 防水 露出型
☐	感知器	差動式スポット型 2種 露出型

1. 特記なき配管配線は下記による。

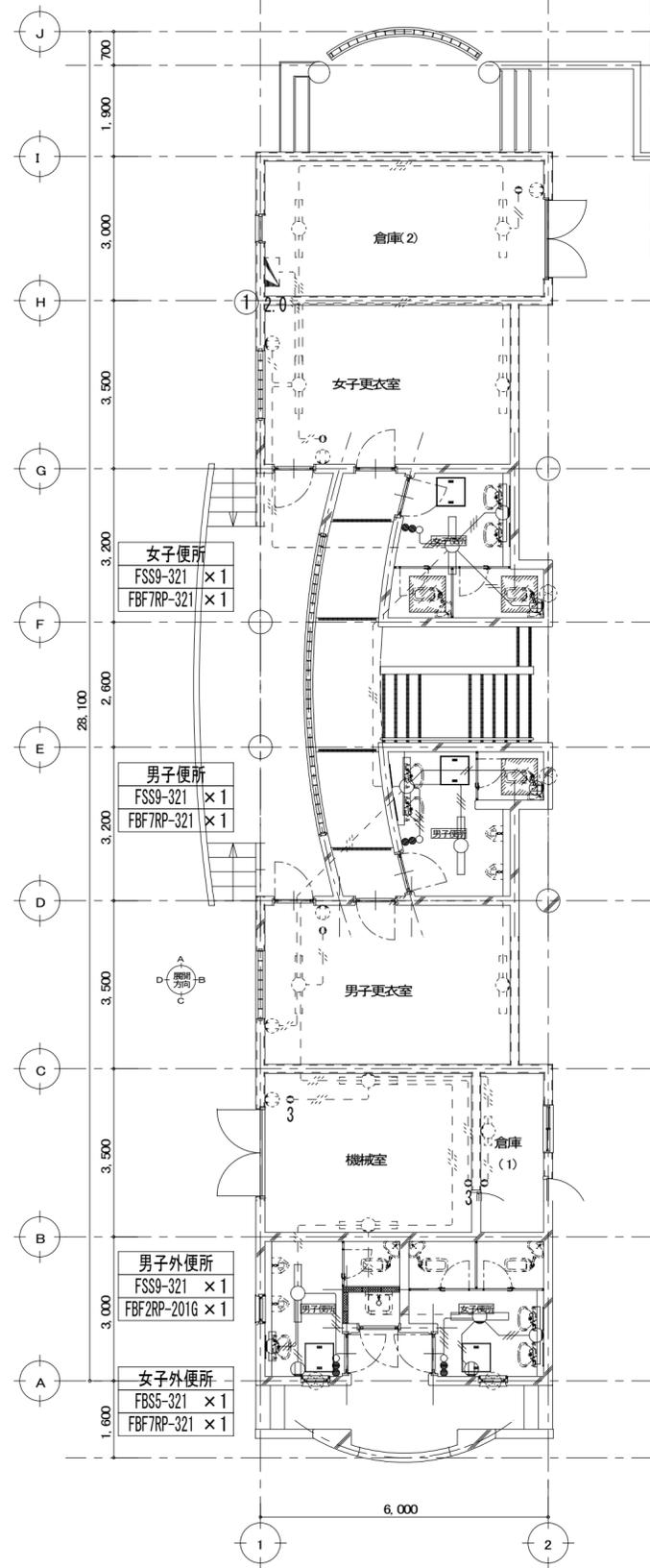
AE // EM-AE0.9-2C

配線凡例

--- 天井ころがし配線

柔剣道場便所 平面詳細図 S=1:50

改修前



※ 注記

- 1) 特記なき配線器具、配線配管は、撤去・新設とする。  
ただし、打込配管は配線のみ撤去とする。
- 2) 細破線表記は既設再利用とし、そのままとする。
- 3) 壁・床・天井等の取壊し及びアンカー打ち等の行われる箇所は事前に配線が埋設されていないか設計図及び目視、既存図面等にて確認を行うこと。
- 4) 施工前・施工後に原則として全回路の絶縁測定試験を行うこと。
- 5) 天井解体箇所の既設転がし配線はケーブルが落下しない様に吊ボルト等に支持すること。
- 6) 施工前に、既存の状況を入念に調査・確認し、施工を行うこと。
- 7) 壁・床の削りを行う場所は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。

凡例 (撤去)

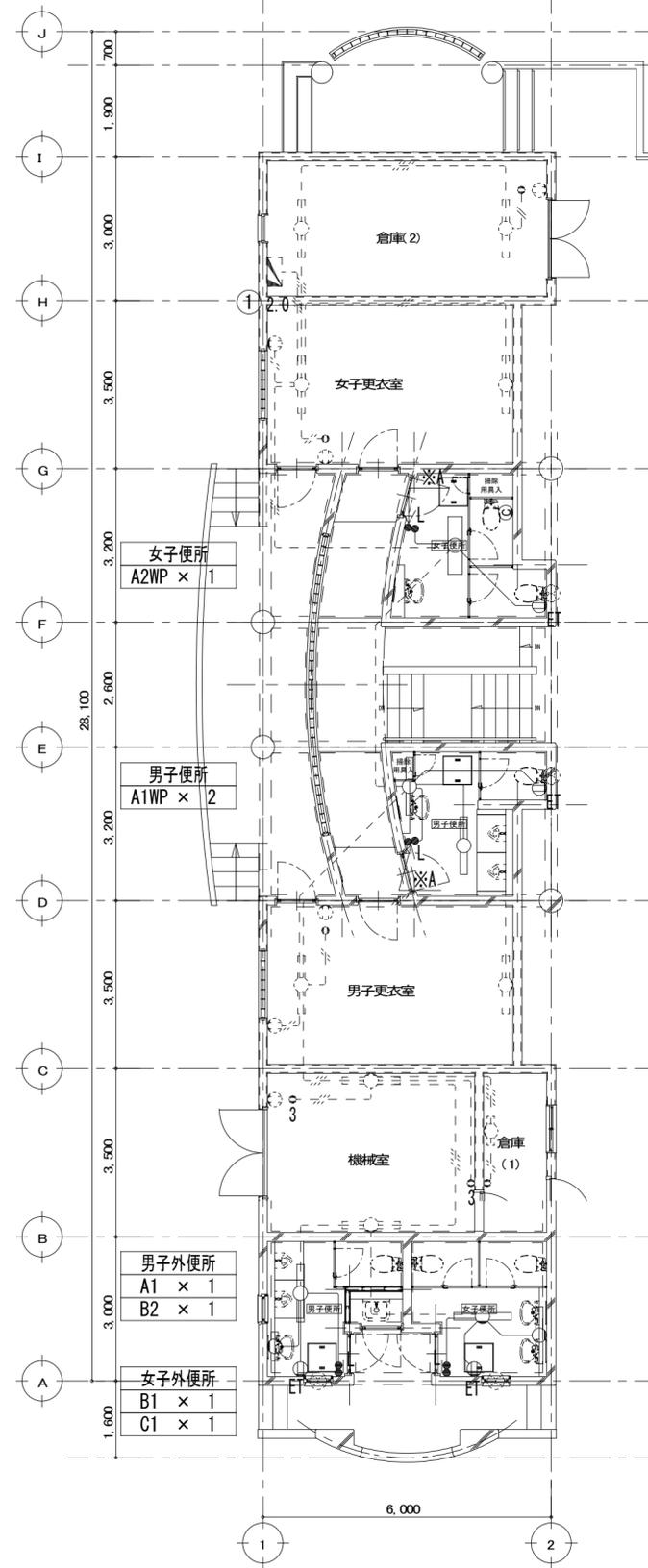
記号	名称	摘要
○	照明器具	※機器表参照
○	照明器具	※機器表参照
○	照明器具	※機器表参照
●	埋込スイッチ	2P15A×2+PL 金属プレート
⊕	埋込コンセント	2P15A×1 金属プレート
⊙	壁換気扇	※別途工事
□	パネルヒーター	※配線切離し(機器は別途機械工事)

1. 特記なき配管配線は下記による。  
(撤去工事)

- IV1.6×2 (CD16)
- IV1.6×3 (CD16)
- IV1.6×4 (CD22)

※打込配管は配線のみ撤去とする

改修後



凡例

記号	名称	摘要
○	照明器具	姿図参照
●	埋込スイッチ	1P15A×1+1P15A(L)×1 金属プレート
⊕	埋込コンセント	2P15A×1 (接地端子付) 金属プレート
⊙	カバープレート	金属製
⊗	壁換気扇	※別途工事

1. 特記なき配管配線は下記による。  
(新設工事)

EM-1E1.6×3 (既設打込配管使用)

※A

防雨スイッチプレート使用  
(参考品番 パナソニック電気: WN7942)

平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

図面名  
電灯・コンセント設備 平面図  
(改修前・後)  
【プール棟】

図面種別

E

図面番号

21

縮尺 S=1:100 [A2:原版 A3:71%縮小]

# 機械設備改修工事特記仕様書

- 工事概要
  - 工事名称 平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事
  - 工事場所 宮城県七ヶ浜町遠田1丁目9-18地内
- 建物概要

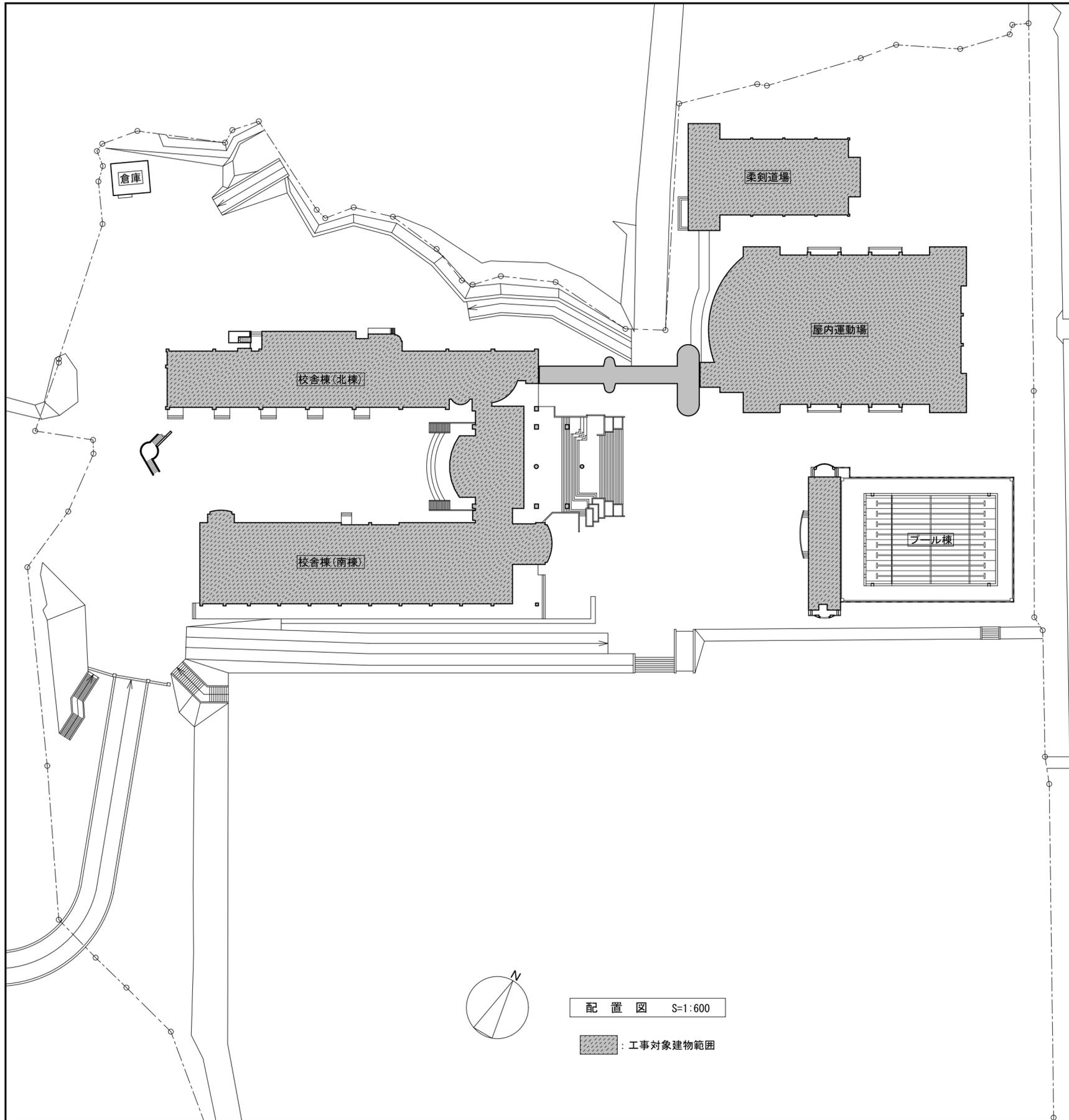
建物名称	構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築面積(m <sup>2</sup> )	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
校舎棟	RC造	3階	4,994m <sup>2</sup>			
屋内運動場	S造	平屋	1,546m <sup>2</sup>			
倉庫棟	S造	平屋	500m <sup>2</sup>			
プール	RC造	平屋	151m <sup>2</sup>			
- 工事項目 (印刷の付いたものを適用する。)

工事項目	取捨	校舎棟	屋内運動場	倉庫棟	プール	屋外
①電気設備	改修一式	改修一式	改修一式	改修一式	改修一式	
②配管設備	改修一式	改修一式	改修一式	改修一式	改修一式	
③自動制御設備	改修一式	改修一式	改修一式	改修一式	改修一式	
④衛生器具設備	改修一式	改修一式	改修一式	改修一式	改修一式	
⑤給排水設備	改修一式	改修一式	改修一式	改修一式	改修一式	
⑥空調設備	改修一式	改修一式	改修一式	改修一式	改修一式	
⑦防犯設備						
⑧防音設備						
⑨防振設備						
⑩その他						
- 指定部分 ※なし・あり (工期:平成 年 月 日) (対象部分: )
- 概成工期 ※なし・あり (工期:平成 年 月 日)
- 設置標準 (印刷の付いたものは、主要方式を示す)

方式	設	備	要
空気調和方式等	・ 空気調和	・ 全室空気方式	・ ファンコイルユニット、ダクト併用方式
給排水方式	・ 温水暖房	・ 全室空気方式	・ ファンコイルユニット、ダクト併用方式
給電方式	・ 蓄電装置	・ 温水暖房	・ 電気式パネルヒーター
消火設備方式	・ 防音防振	・ 防音防振	・ 防音防振

- 特記仕様書
  - 一般事項
    - 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「国土交通大臣官庁官庁管理業務部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編、平成28年版)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編、平成28年版)」(以下「標準仕様書」といふ。)、「関係技術者協会の「建設設備工事標準仕様書(機械設備工事編、平成28年版)」(以下「標準図」といふ。))、及び国土交通大臣官庁官庁管理業務部の「機械設備工事標準仕様書(平成28年版)」による。
    - 電気設備工事及び建築工事本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を用いる。なお、電気設備工事の仕様書は( / ) 図、建築工事の仕様書は( / ) 図による。
  - 特記事項
    - 項目番号( )の印の付いたものを適用する。
    - 特記事項は( )の印の付いたものを適用する。 ※印の付いた場合は、※印の付いたものを適用する。
    - ※印の付いた場合は、共に適用するものとする。
- 特記仕様書
  - 改修工事実施影響評価、関係図、設備工事(国土交通大臣官庁管理業務部監修 平成28年版版) 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) 宮城県建設工事先決「下請適正化要綱(平成28年12月1日施行)」 宮城県建設工事実施要綱(宮城県土木制度 平成28年版) ※ 本工事を使用する材料は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「建築設備のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド含量は、日本工業規格及び日本環境規格のF☆☆☆☆規格品、塗料材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシートにホルムアルデヒド使用が明示されたものとする。
- 環境配慮
  - 本工事着手前に主要材料メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督職員の承認を受ける。
  - 設備仕様は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出し、承認を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。
  - 本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後復旧し期限日まで、火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出すること。
- 取捨
  - 本工事は、公共建築実定額の紹介する者の記入欄に努めること。
- 施工計画書および施工図等
  - 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。工事の施工に先立ち、工種別施工要領書および施工図等を作成し、監督職員の承認を受ける。また、雨が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては、環境配慮計画(実施)書を作成し、監督職員に提出する。
- 工事実施情報の登録(CORINS)
  - 請負額が50万円以上の場合、工事実施情報を登録する。受注時、変更時及び完成時にかかわらず監督職員の承認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
- 手続
  - 工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を選択なく行う。なお、当該手続きに係る費用は、受注者の負担とする。
- 事故報告
  - 施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。 ※ 適用しない
- 電気保安技術者
  - 技能士下記の当該種別技能士(・1級・2級)を適用させる。(資格証の写しを提出する)
    - 配管(配管工事) ・ 建築板金(ダクト製作及び取付け) ● 熱機設備工(保溫工事) ・ 冷凍空調設備施工(ファンコイルユニット、パッケージ型空気調和機の取付け及び調整)
- 足場等
  - 別契約の関係請負者が設置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月改訂)」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
- 監督職員事務所
  - 設けない ・ 設ける( 号) ・ 建築工事仕様書
- 工事用電力、水、その他
  - 本工事に必要な工事用電力、水及び各種手続等の費用はすべて引渡まで受注者の負担とする。
- 工事用仮設物
  - 構内に作ることが ・ できない ・ できない
    - ・ 構外搬出 ※ 構内指示の場所に敷き敷く ・ 構内指示の場所にたい建設発生土を構外へ搬出する場合 1建設発生土現場管理書(複数可) ※ 構造設計書に記載し、提出する。 2ダクトフック等管理表 ※ 工事着手前に監督職員に提出する。 3建設発生土発生管理表 ※ 提出を行う旨の作成し、1週間毎の集計表を監督職員に提出する。 4建設発生土は受入地において、搬出先主量を右欄により管理するとともに、搬出先の土量を記録する。
- 残土処理
  - ・ 構外搬出 ※ 構内指示の場所に敷き敷く ・ 構内指示の場所にたい建設発生土を構外へ搬出する場合 1建設発生土現場管理書(複数可) ※ 構造設計書に記載し、提出する。 2ダクトフック等管理表 ※ 工事着手前に監督職員に提出する。 3建設発生土発生管理表 ※ 提出を行う旨の作成し、1週間毎の集計表を監督職員に提出する。 4建設発生土は受入地において、搬出先主量を右欄により管理するとともに、搬出先の土量を記録する。

- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 衛生器具設備
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄
  - 器具付風呂水栓
  - 温水洗浄便座加熱方式
- 大便秘洗弁
  - 便器洗浄用タンク
  - 小便器自動洗浄



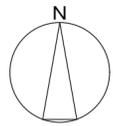
配置図 S=1:600

■: 工事対象建物範囲



工事場所：宮城県宮城郡七ヶ浜町遠山一丁目9-18 地内 向洋中学校

案内図



■ 工事概要

■ 校舎棟（南棟）

- 職員便所を含む男女便所の器具、配管、換気、パネルヒーターの撤去・新設を行う。
- 共用タテ管はピット内を含み既存のまま再利用する。
- 廊下面の流しに付随する器具、配管の撤去・新設を行う。

■ 校舎棟（北棟）

- 男女便所の器具、配管、換気、パネルヒーターの撤去・新設を行う。
- 共用タテ管はピット内を含み既存のまま再利用する。
- 廊下面の流しに付随する器具、配管の撤去・新設を行う。

■ 屋内運動場

- 男女便所の器具、配管、換気、パネルヒーターの撤去・新設を行う。

■ 柔剣道場

- 男女便所の器具、配管、換気、パネルヒーターの撤去・新設を行う。

■ プール棟

- 内部、外部とも男女便所の器具、配管、換気の撤去・新設を行う。



平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図
-------------------------

図面名 機械設備工事 配置図・案内図・工事概要
縮尺 S=1:600 [A2:原版 A3:71%縮小]

図面種別 M
図面番号 02

改修前

■機器表【撤去】

記号	名称	仕様	台数	電源			設置場所	備考
				相 φ	電圧 V	容量 kW		
PH-O1	パネルヒーター	壁掛け	6	1	100	0.5	北棟男女便所	参考重量 4.0kg 450W*70D*500H
			4				南棟男女便所	
			2				南棟職員便所	
EF-O1	天井埋込換気扇	低騒音型 150φ × 500m3/h × 80Pa	6	1	100	0.08	北棟男女便所	参考重量 10.0kg 400W*400D*300H
			2				南棟男便所	
EF-O2	天井埋込換気扇	低騒音型 150φ × 380m3/h × 40Pa	4	1	100	0.06	南棟女便所	参考重量 5.5kg 350W*350D*250H
EF-O3	天井埋込換気扇	低騒音型 150φ × 260m3/h × 80Pa	2	1	100	0.06	南棟職員便所	参考重量 5.5kg 350W*350D*250H

(特記)

1. 上記機器及び付属品すべての撤去・処分を行う

改修後

■機器表【新設】

記号	名称	仕様	台数	電源			設置場所	備考 【参考型番】
				相 φ	電圧 V	容量 kW		
PH-O1	パネルヒーター	ステンレス製 壁掛け 加熱能力0.5KW サーモスタット スイッチカバー 保護ガード 他付属品一式	6	1	200	0.5	北棟男女便所	
			4				南棟男女便所	
			2				南棟職員便所	
EF-O1	天井埋込換気扇	低騒音型 150φ × 500m3/h × 100Pa	6	1	100	0.06	北棟男女便所	[VD-23ZXP10-C : 三菱電機]
			2				南棟男便所	
			1				南棟2F女便所	
EF-O2	天井埋込換気扇	低騒音型 150φ × 380m3/h × 70Pa	1	1	100	0.05	南棟1F女便所	[VD-20ZXP10-C : 三菱電機]
EF-O3	天井埋込換気扇	低騒音型 150φ × 260m3/h × 40Pa	2	1	100	0.04	南棟職員便所	[VD-18ZXP10-C : 三菱電機]
			1				南棟1F女便所	
EF-O4	天井埋込換気扇	低騒音型 150φ × 180m3/h × 40Pa	1	1	100	0.03	南棟2F	[VD-18ZX10-C : 三菱電機]
							車椅子用便所	

(特記)

1. 上記機器及び付属品すべての新設を行う  
 2. 上記機器の取り付けのために必要な部材は一式本工事とする  
 3. 上記機器の取り付け固定に必要な下地の施工は本工事とする  
 4. 機器の能力・容量は表示された数量以上とし、電気容量は参考とする。採用機器により電気と調整を行うこと。

換気風量表

階	室名	面積 Af m <sup>2</sup>	天井高 H m	容積 Q m <sup>3</sup>	機械排煙 対象面積 m <sup>2</sup>	V=nQ		建築基準法 V=20(30)Af/N			設計風量					対象機器	
						n 回/h	V m <sup>3</sup> /h	N 人/人	Af/N 人	V m <sup>3</sup> /h	SA m <sup>3</sup> /h	RA m <sup>3</sup> /h	OA m <sup>3</sup> /h	EA m <sup>3</sup> /h	n 回/h		
1	南棟 職員便所(男)	10.27	2.50	25.68		10.0	256.8								260	10.1	EF-03
1	南棟 職員便所(女)	8.45	2.50	21.13		10.0	211.3								260	12.3	EF-03
1-2	南棟 男子便所	18.07	2.50	45.18		10.0	451.8								500	11.0	EF-01
1	南棟 女子便所	21.32	2.50	53.30		10.0	533.0								640	12.0	EF-02+EF-03
2	南棟 女子便所	18.40	2.50	46.00		10.0	460.0								500	10.8	EF-01
2	南棟 車椅子用便所	4.90	2.50	12.25		10.0	122.5								180	14.6	EF-04
1-3	北棟 男子便所	16.50	2.50	41.25		10.0	412.5								500	12.1	EF-01
1-3	北棟 女子便所	17.65	2.50	44.13		10.0	441.3								500	11.3	EF-01

図面名 機械設備工事

平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

機器表(改修前・後) 【校舎棟】

縮尺 S=1:NON [A2:原版 A3:71%縮小]

図面種別

M

図面番号

03

器具表【新設】

名称	参考型番 JIS (TOTO) (LIXIL)		仕様・付属品等	合計	北棟						南棟						備考
					1F		2F		3F		1F		2F		車椅子用便所		
					男子便所	女子便所											
洋風大便器	C710S	F V式(床給水) 洗浄便座(450W) 紙巻器(スベア1個付・タテ型)	3									1	2				
	CFS494NHNS	TCF5533S YM120N															
	C-P25 S	CF-T7114A CW-PA11FL-NE KF-42M															
洋風大便器	C710S	F V式(床給水) 暖房便座(100W) 紙巻器(スベア1個付・タテ型)	3	1	3	5	3	5						3	5	3	4
	CFS494NHNS	TCF116 YM120N															
	C-P25 S	CF-T7114A CF-18ALJ KF-42M															
洋風大便器	C710S	F V式(低圧損・床給水) 暖房便座(100W) 紙巻器(スベア1個付・タテ型)	8					3	5								
	CFS494NSNS	TCF116 YM120N															
	C-P25 S	CF-T7114TA CF-18ALJ KF-42M															
小便器	U520	壁掛け 大形 押釦F V式(凍結防止)	2	2	4		4	4		2	4	4					
	UFH500	TG600PL															
	U-406RU	UF-3JHT															
カウンター式洗面器		はめ込み角形 単水栓(壁給水・止水栓) 壁排水金具 水石映入	2	0	2	2	2	2	2	2		2	2	2	2		カウンター:建築工事
	L350CM	TL01101J T6PM1 TLK05202J															
	L-2150P	LF-E02 LF-5PAU KF-24EM															
洗面器	L410	壁掛け 単水栓(壁給水・止水栓) 壁排水金具 水石映入	2								1	1					
	L250CM	TL01101J T6PW1 TS126AR															
	L-176UP	LF-E02 LF-5PAU KF-24F															
洗面器	L410	カウンター一体 自動単水栓(100V・壁給水) 壁排水 水石映入	1													1	
	L270CM	TEN77G1 T7PW1 TS126AR															
	L-275FCRS	AM-211V1 LF-275PAU KF-24F															
多機能トイレバック		大便器(床置) 洗浄便座(貯湯式・450W) 手洗器 背もたれ 手摺	1													1	
	UADAY02L1A2ANN2W	TCF553AUPR															
	PTWC-EC106L1A1ANNW	CW-PC12-CK-UR-TU															
掃除用流し	S210	床置き・床排水・リムカバー・給水栓・給水ホース	1								1						
	SK22A	T37SGEP1・TK22・T23AE20C・TN114															
	S-202A	SF-20SAF-P・LF-7E-19・SF-202															
横水栓	F7-13	13A 吐水口回転形 送り座付き	2	5		5		5				5		5			
	T200ESNR13C																
	LF-7RE-13																

(特記)

1. 上記器具表の器具、及び付属品の【新設】一式を行う。
2. 器具の取り付けは全て本工事とする
3. 器具に必要な付属品一式は本工事とする
4. 器具の取付に必要な下地の施工は本工事とする

			平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事	機械設備工事 器具表(改修後)	【校舎棟】	M
				S=1:NON		04

■ 器具表【撤去】

名称	参考型番	仕様・付属品等	合計	北棟						南棟						備考
				1F		2F		3F		1F		2F				
				男子 便所	女子 廊下											
洋風大便器	C21	フラッシュバルブ式 洗浄便座 紙巻器 参考重量：30.0kg 450*750*450H	1											1		
洋風大便器	C21	フラッシュバルブ式 普通便座 紙巻器 参考重量：30.0kg 450*750*450H	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
和風大便器	C375VF	フラッシュバルブ式 紙巻器 参考重量：14.6kg 280×600×300	31	2	4	2	4	2	4	1	1	2	4	2	3	
小便器	U307C	床置き 押釦FV式 参考重量：35.0kg 380*200*920H	22	4		4		4		2	4		4			
壁掛け洗面器	L230	単水栓 参考重量：10.5kg 500*400*180H	22	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	
掃除用流し	SK-22A	単水栓20mm 床排水 参考重量：28.0kg 560*450*630H	2							1				1		
単水栓	F7	13A	25		5		5		5			5		5		

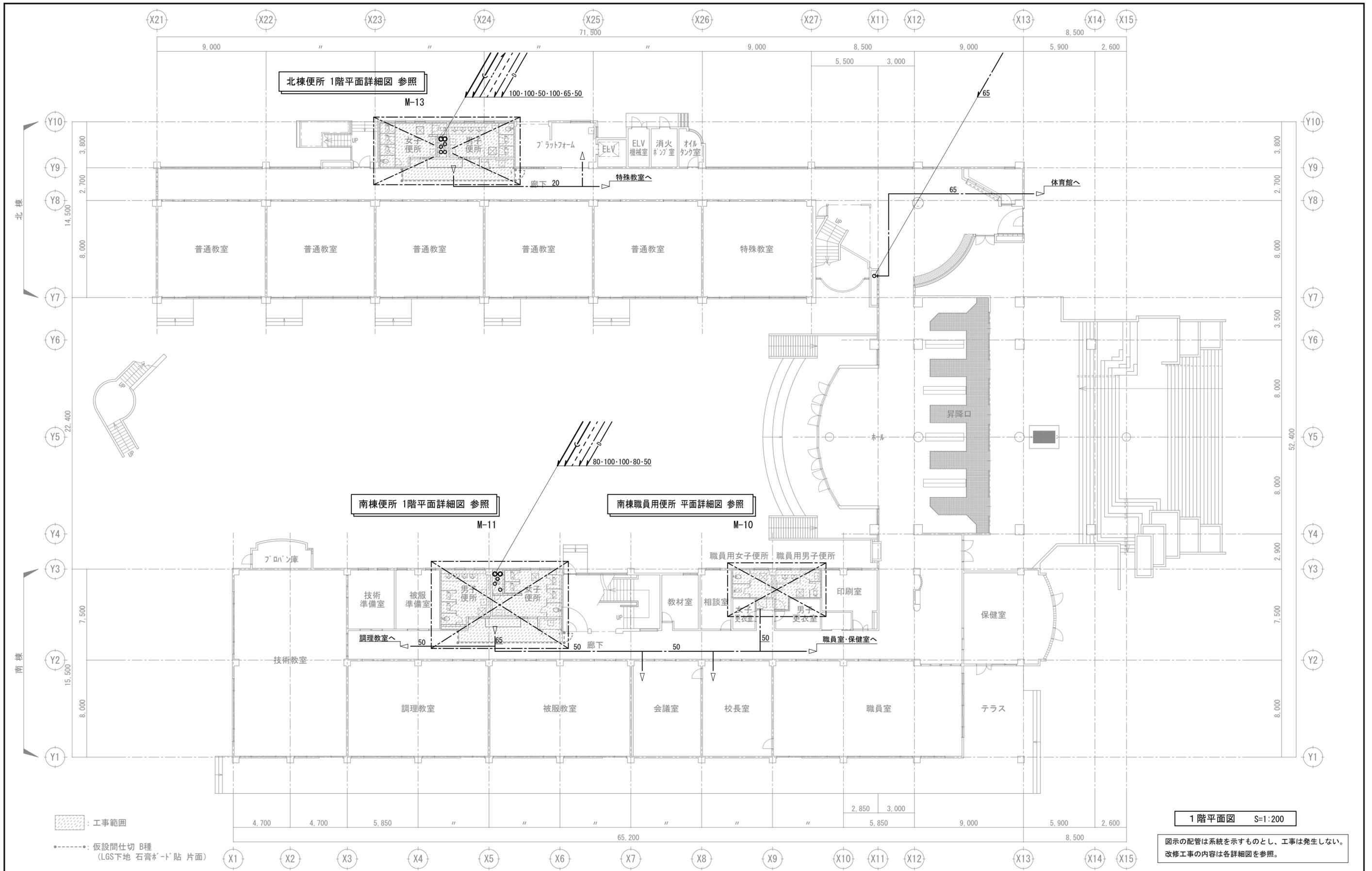
(特記)

- 上記器具表の器具、及び付属品の【撤去】・処分一式を行う。

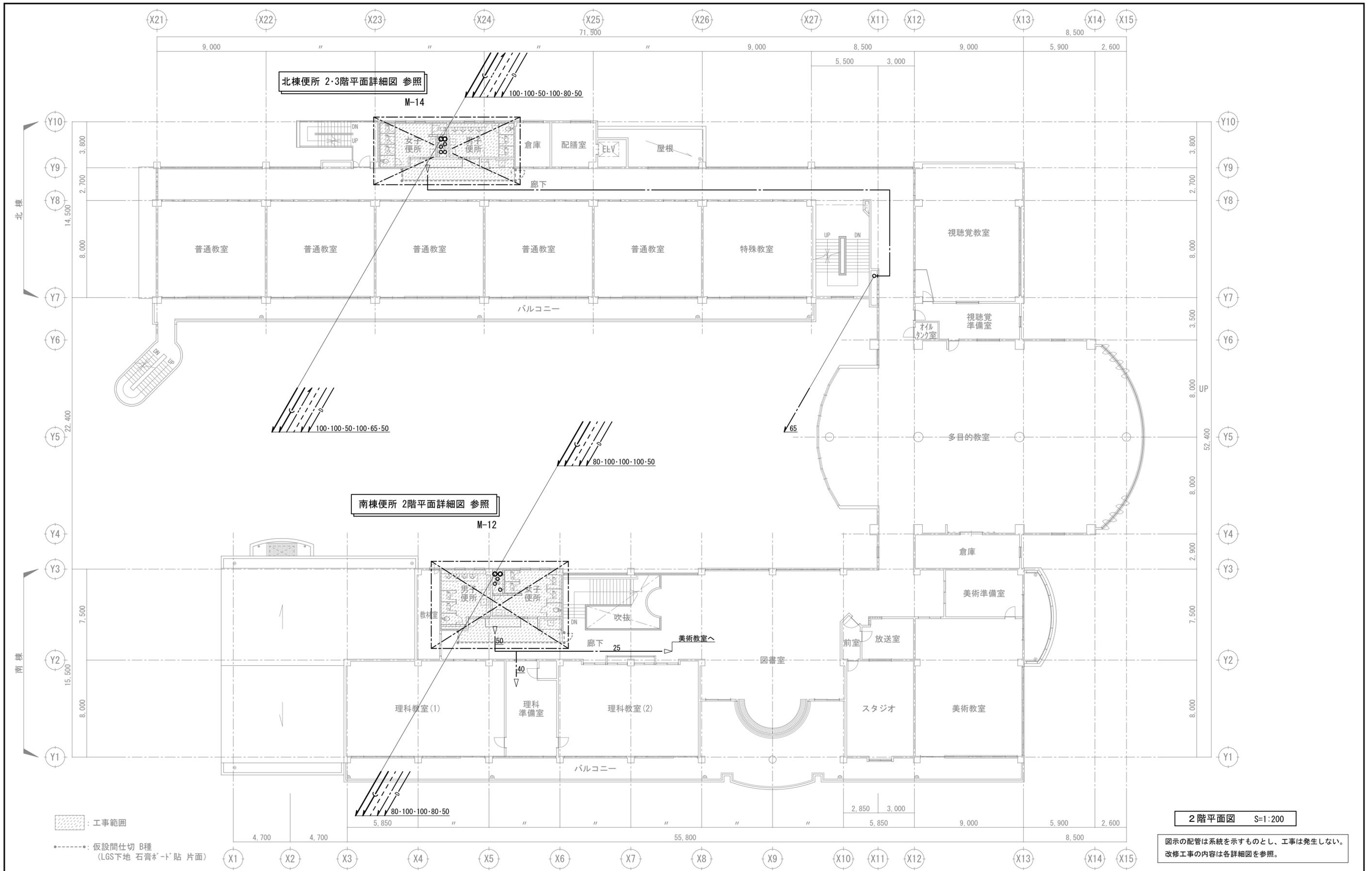


平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事	設計図
---------------------	-----

図面名 機械設備工事	図面種別
器具表 (改修前) 【校舎棟】	M
縮尺 S=1:NON [A2:原版 A3:71%縮小]	図面番号
	05

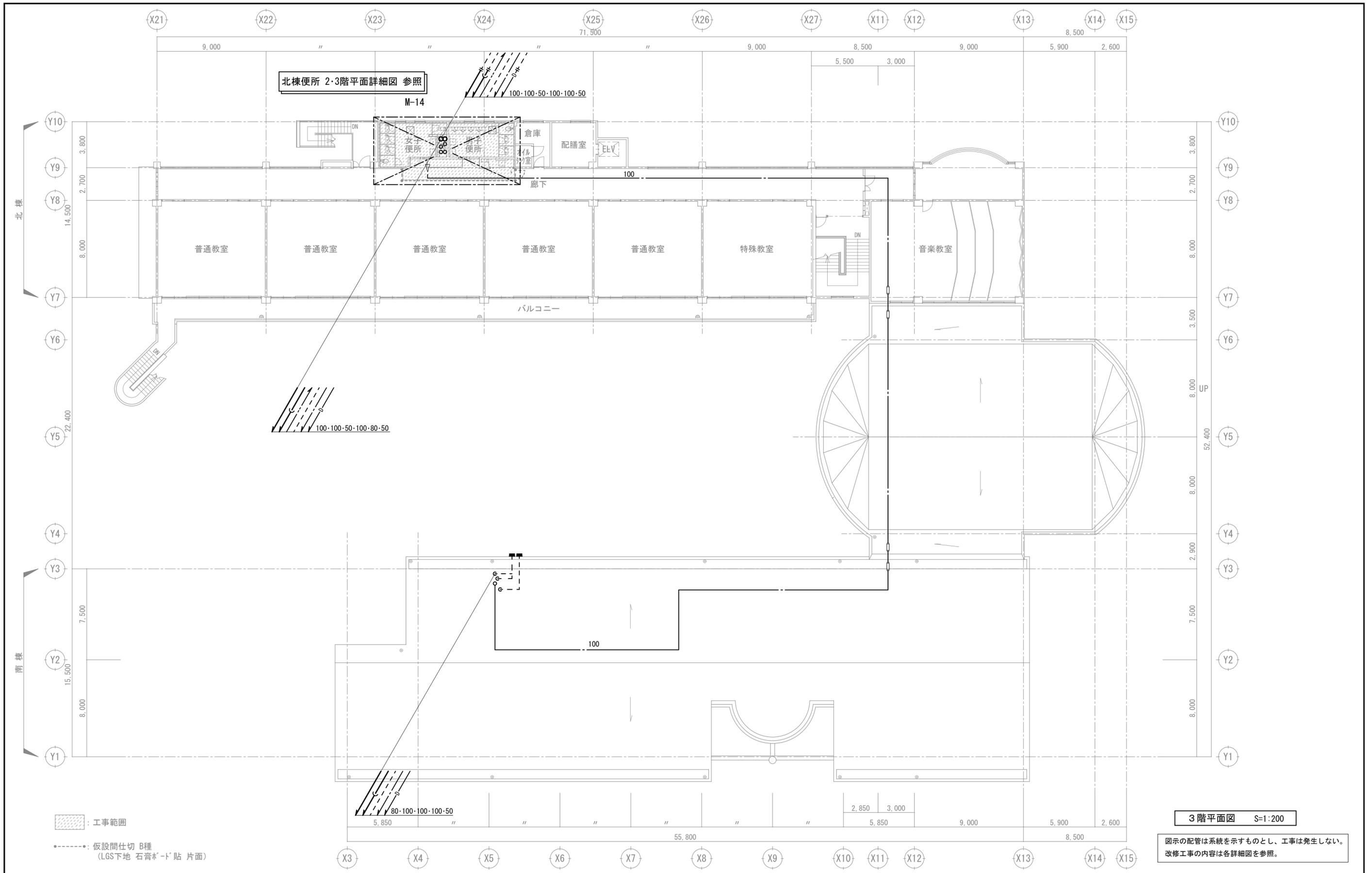
		図面名 機械設備工事	図面種別
		1階平面図	M
	平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図	【校舎棟】	図面番号
		縮尺 S=1:200 [A2:原版 A3:71%縮小]	06



[Hatched Box] : 工事範囲  
 [Dashed Line] : 仮設間仕切 B種 (LGS下地 石膏ボード貼片面)

**2階平面図 S=1:200**  
 図示の配管は系統を示すものとし、工事は発生しない。  
 改修工事の内容は各詳細図を参照。

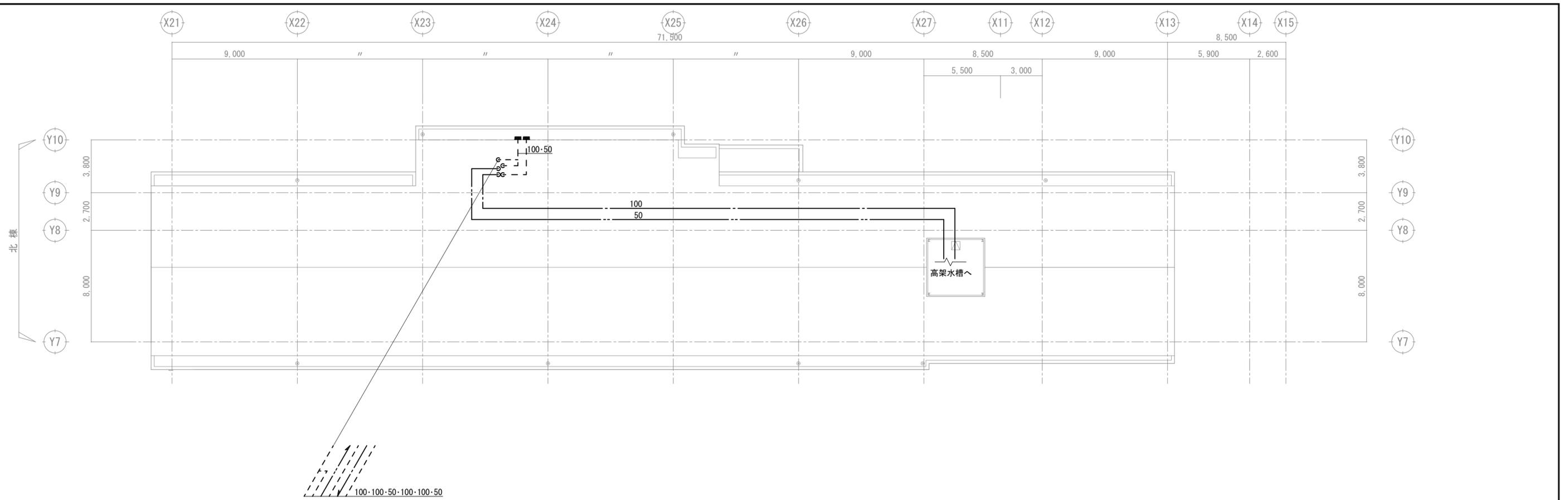
		平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図		図面名 機械設備工事 2階平面図 縮尺 S=1:200 [A2:原版 A3:71%縮小]	図面種別 M 図面番号 07
		【校舎棟】			



[Hatched Box] : 工事範囲  
 [Dashed Line] : 仮設間仕切 B種 (LGS下地 石膏板・ト'貼 片面)

**3階平面図 S=1:200**  
 図示の配管は系統を示すものとし、工事は発生しない。  
 改修工事の内容は各詳細図を参照。

	平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図		図面名 機械設備工事	図面種別
			3階平面図	M
			【校舎棟】	図面番号
			縮尺 S=1:200 [A2:原版 A3:71%縮小]	08

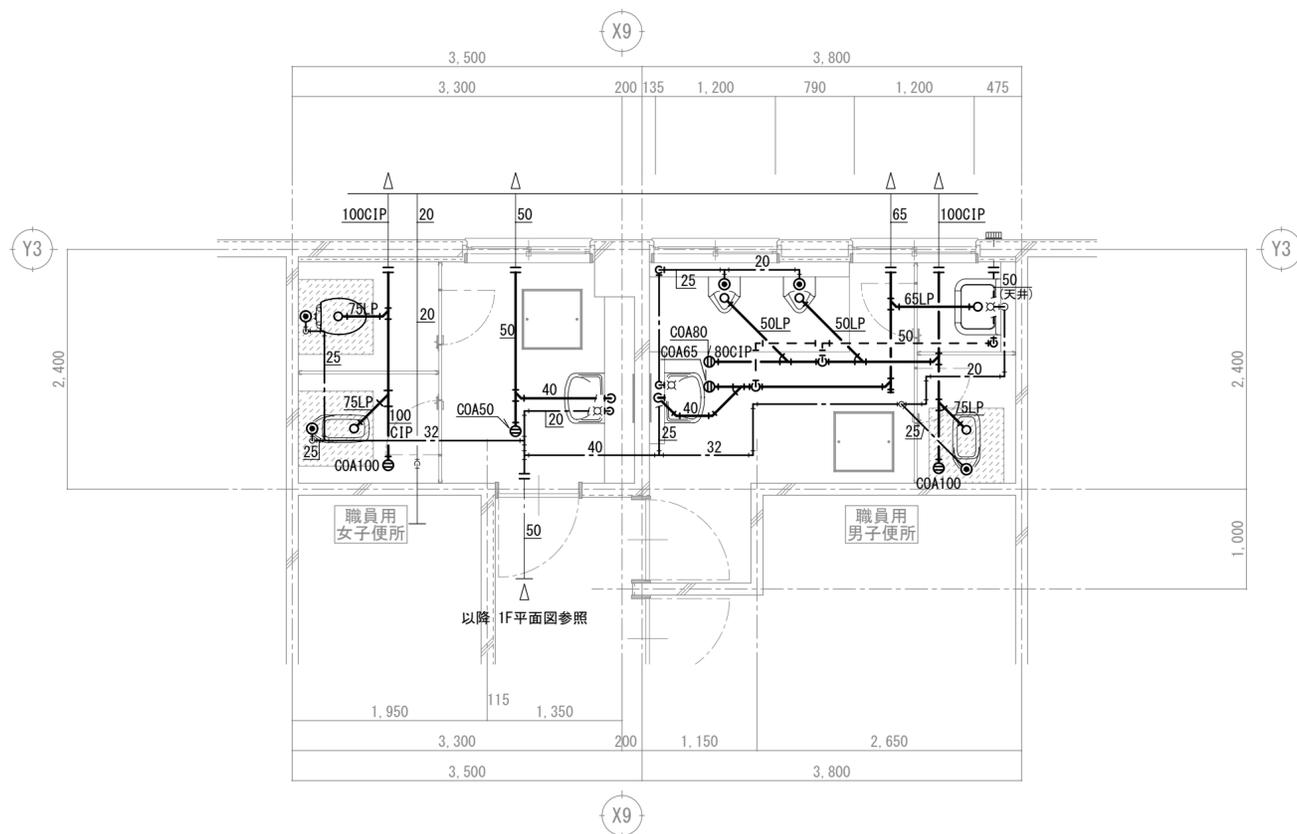


R階平面図 S=1:200

図示の配管は系統を示すものとし、工事は発生しない。  
改修工事の内容は各詳細図を参照。

		平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図	図面名 機械設備工事	図面種別
			R階平面図	M
				【校舎棟】
			縮尺 S=1:200 [A2:原版 A3:71%縮小]	図面番号
				09

改修前



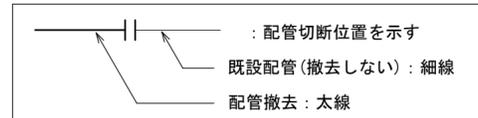
職員用便所 平面詳細図 S=1:50

床スラブ 撤去範囲

■撤去配管リスト

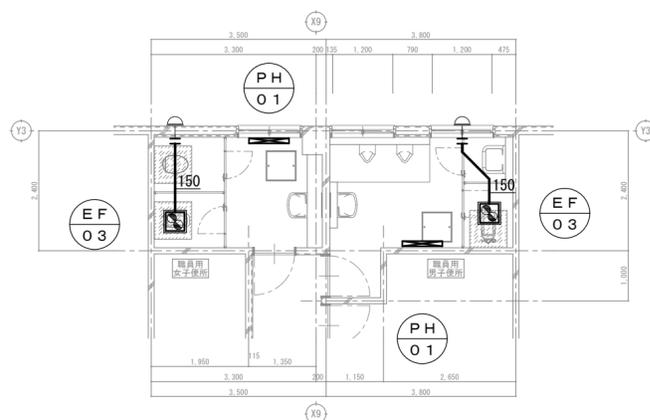
記号	名称	管種
---**	給水管	硬質塩ビライニング鋼管
---	排水管	配管用炭素鋼管(白)
---**CIP	排水管	排水用鋳鉄管
---	排水管	排水用鉛管
---**	排水通気管	配管用炭素鋼管(白)

■記号凡例



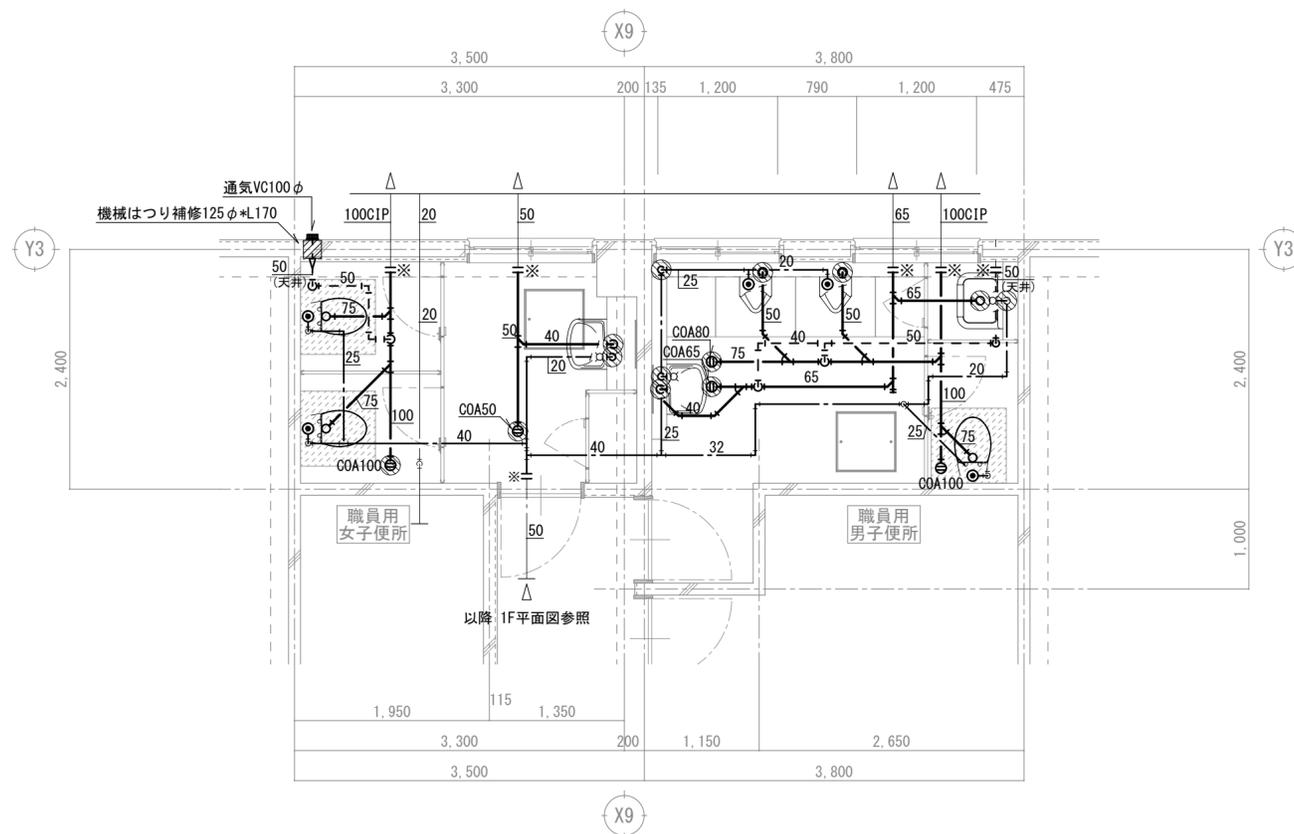
(特記)

- 凡例に従い図中の機器・器具・配管の撤去・処分一式を行う。
- 機器・器具の詳細については別紙機器表を参照。
- 機器・器具・配管等撤去後の不要な躯体開口はモルタル等で埋め戻すこと。
- 施工に先立ち、ピット内湧水排水・清掃を行うこと。



職員用便所 平面図 S=1:100

改修後



職員用便所 平面詳細図 S=1:50

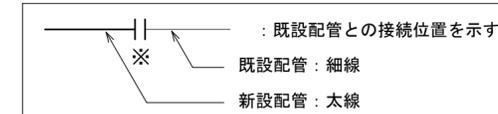
床スラブ 改修範囲

■穴明・補修リスト

配管種	配管径	貫通径	数量		数量合計
			男子	女子	
給水管	25φ以下	75φ	3	1	4
	30~50φ	100φ			
排水管	30~50φ	75φ	3	1	4
	65φ	100φ	1		
通気管	75φ	125φ			1
	100φ	150φ	2	2	

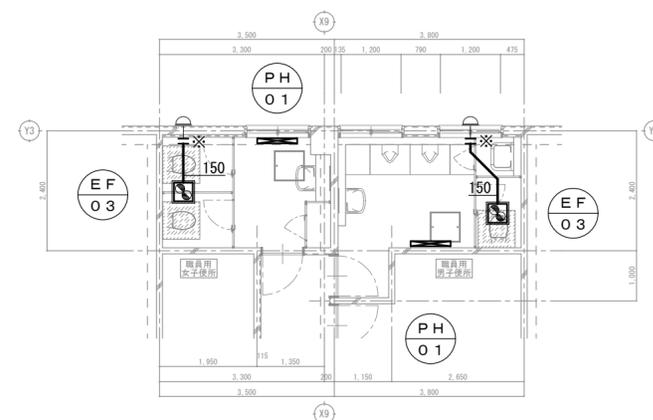
⊙ : はつり補修位置を示す

■記号凡例



(特記)

- 凡例に従い図中の機器・器具・配管の新設一式を行う。
- 機器・器具の詳細については別紙機器表・器具表を参照。
- 特記なき配管は見下げとする。
- 配管貫通部は原則既存再利用とし、新たな梁貫通は行わないこと。
- 床・壁の配管貫通部の穴明け(はつり補修)は鉄筋探索を行い監督員と協議の後施工すること。



職員用便所 平面図 S=1:100

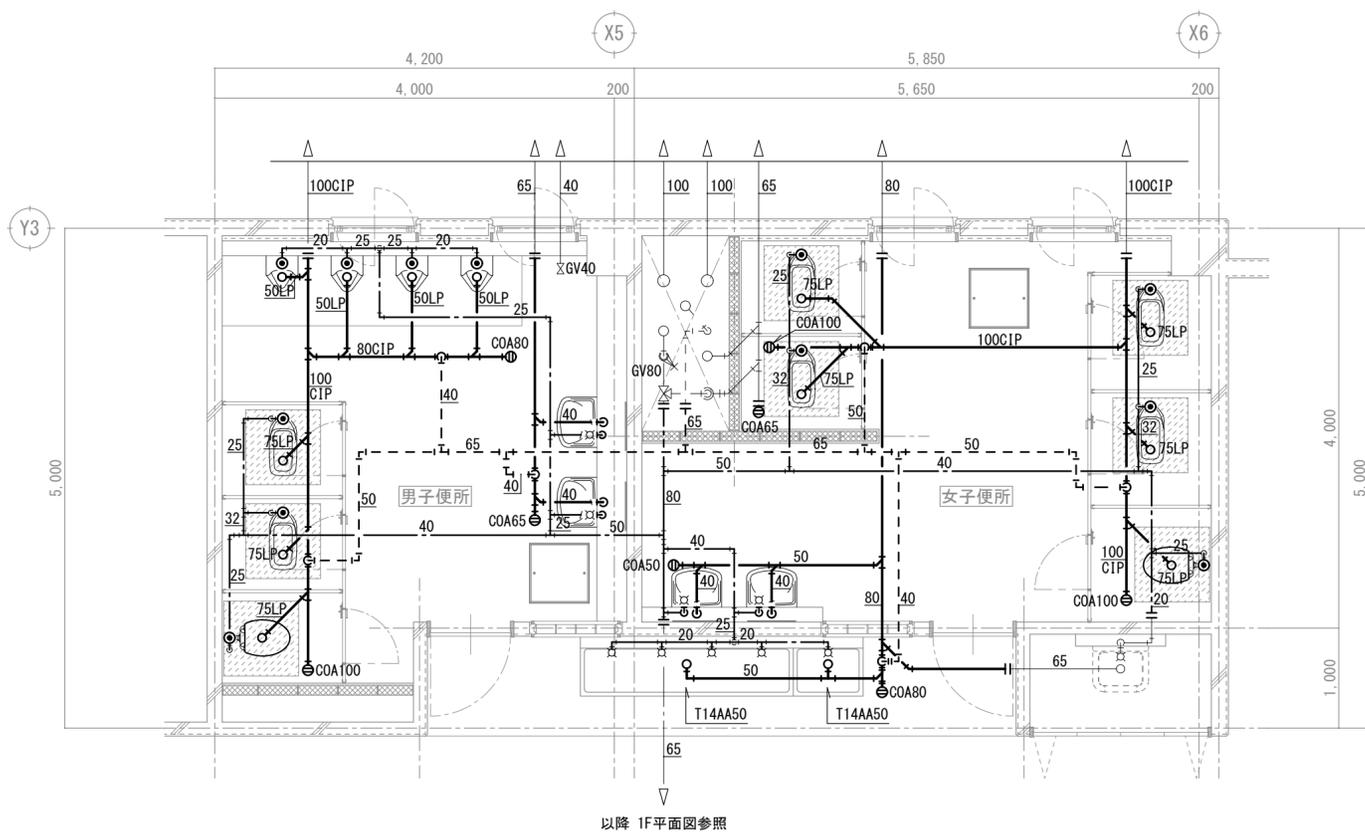
平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

図面名 機械設備工事  
南棟職員用便所 平面詳細図【校舎棟】

縮尺 S=1:50 [A2:原画 A3:71%縮小]

図面種別  
M  
図面番号  
10

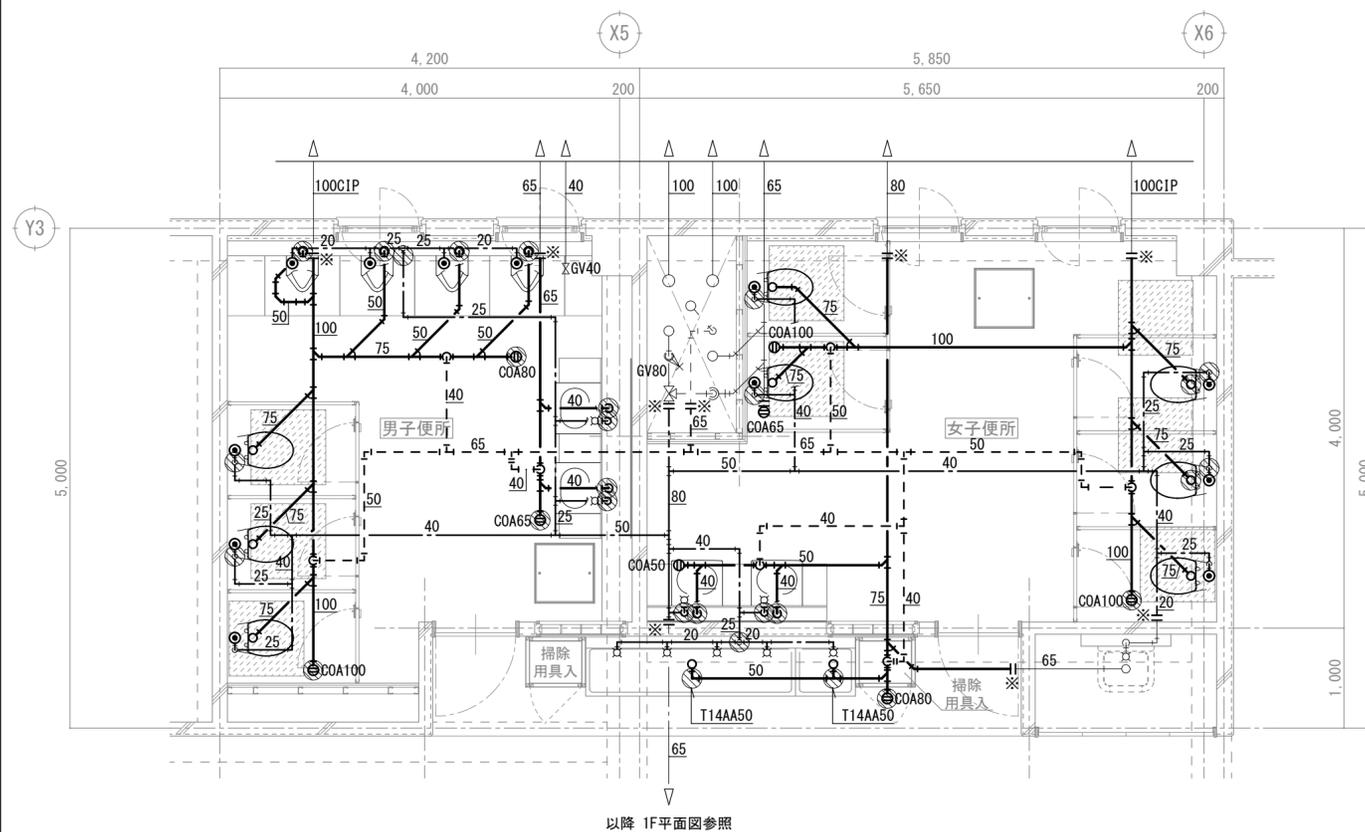
改修前



南棟便所 1階平面詳細図 S=1:50

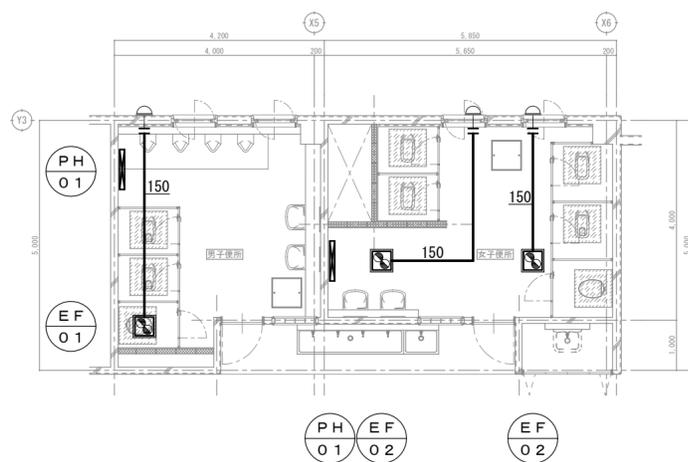
床スラブ 撤去範囲

改修後



南棟便所 1階平面詳細図 S=1:50

床スラブ 改修範囲

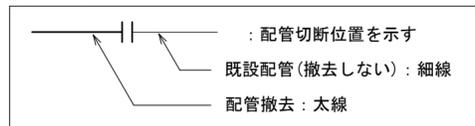


南棟便所 1階平面図 S=1:100

■撤去配管リスト

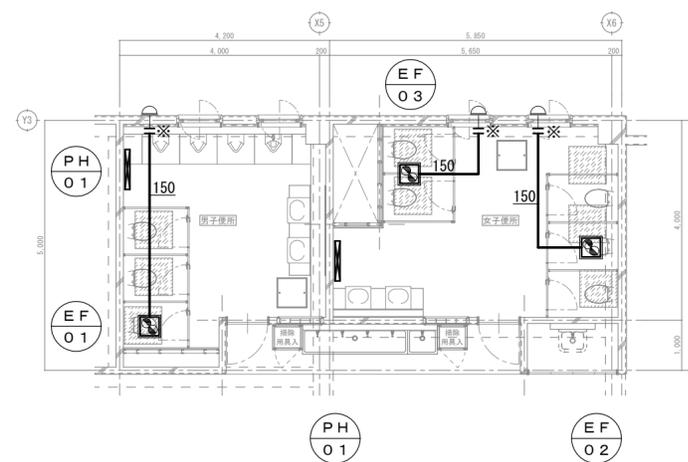
記号	名称	管種
---**	給水管	硬質塩ビライニング鋼管
---	排水管	配管用炭素鋼鋼管(白)
---**CIP	排水管	排水用鉄鉄管
---	排水管	排水用鉛管
---**	排水通気管	配管用炭素鋼鋼管(白)

■記号凡例



(特記)

- 凡例に従い図中の機器・器具・配管の撤去・処分一式を行う。
- 機器・器具の詳細については別紙機器表を参照。
- 機器・器具・配管等撤去後の不要な躯体開口はモルタル等で埋め戻すこと。
- 施工に先立ち、ピット内湧水排水・清掃を行うこと。



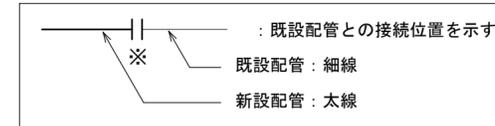
南棟便所 1階平面図 S=1:100

■穴明・補修リスト

配管種	配管径	貫通径	数量			数量合計
			男子	女子	流し	
給水	25φ以下	75φ	5	6	1	12
	30~50φ	100φ				
排水管	30~50φ	75φ	6	2	2	10
	65φ	100φ				
通気管	75φ	125φ		2		2
	100φ	150φ	3	1	1	5

⊙ : はつり補修位置を示す

■記号凡例



(特記)

- 凡例に従い図中の機器・器具・配管の新設一式を行う。
- 機器・器具の詳細については別紙機器表・器具表を参照。
- 特記なき配管は見下げとする。
- 配管貫通部は原則既存再利用とし、新たな梁貫通は行わないこと。
- 床・壁の配管貫通部の穴明け(はつり補修)は鉄筋探査を行い監督員と協議の後施工すること。

図面名 機械設備工事

南棟便所 1階平面詳細図 【校舎棟】

縮尺 S=1:50

【A2:原画 A3:71%縮小】

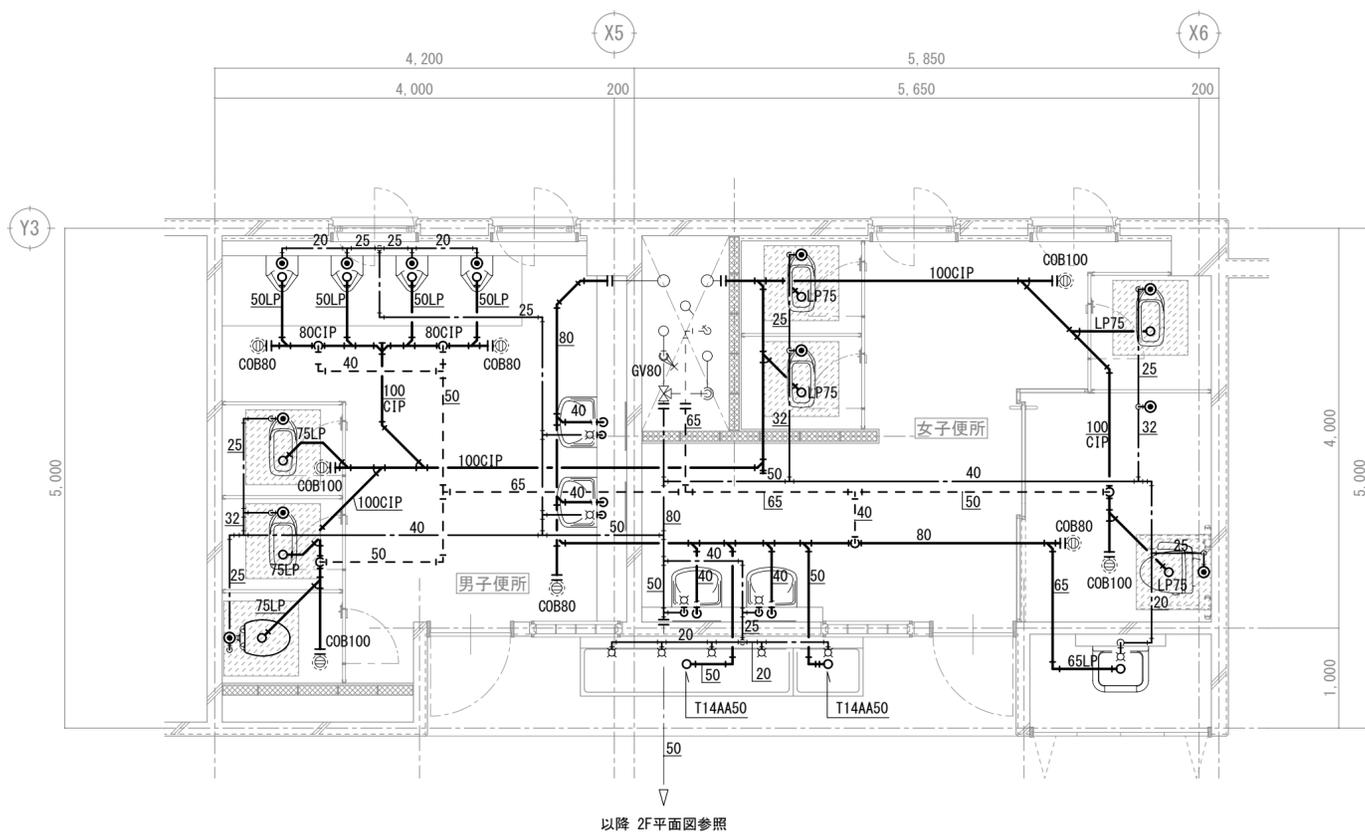
図面種別

M

図面番号

11

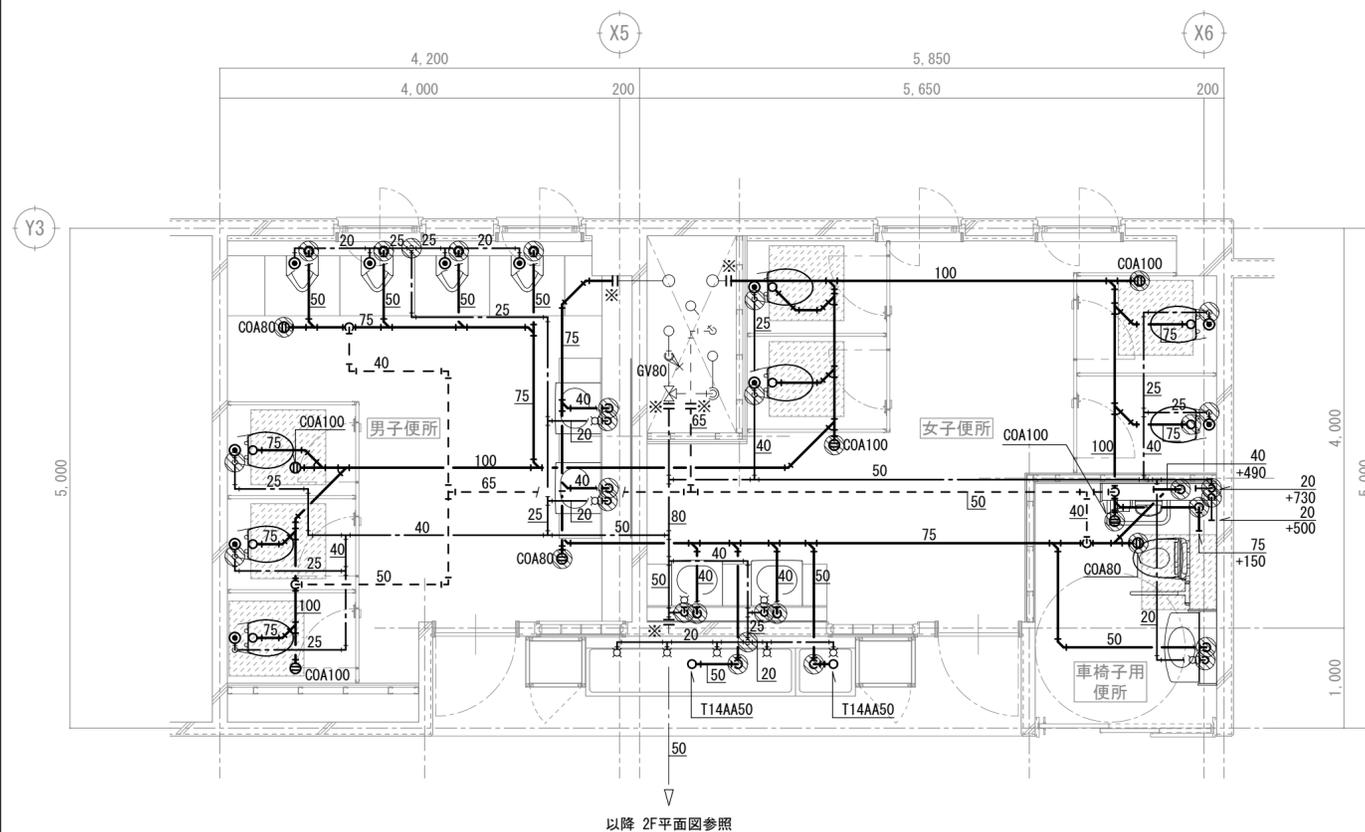
改修前



南棟便所 2階平面詳細図 S=1:50

床スラブ 撤去範囲

改修後



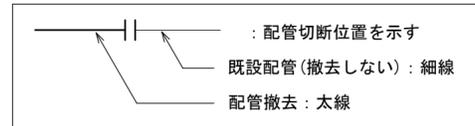
南棟便所 2階平面詳細図 S=1:50

床スラブ 改修範囲

■撤去配管リスト

記号	名称	管種
---**	給水管	硬質塩ビライニング鋼管
---	排水管	配管用炭素鋼鋼管(白)
---**CIP	排水管	排水用鑄鉄管
---	排水管	排水用鉛管
---**	排水通気管	配管用炭素鋼鋼管(白)

■記号凡例



(特記)

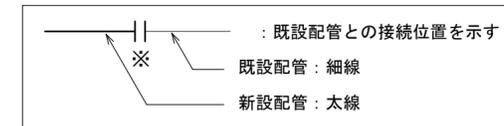
- 凡例に従い図中の機器・器具・配管の撤去・処分一式を行う。
- 機器・器具の詳細については別紙機器表を参照。
- 機器・器具・配管等撤去後の不要な躯体開口はモルタル等で埋め戻すこと。
- COBはスラブ下で配管切断+キャップ止めとし、残置とする。

■穴明・補修リスト

配管種	配管径	貫通径	数量			数量合計
			男子	女子	流し	
給水	25φ以下	75φ	5	9	1	15
	30~50φ	100φ				
排水管	30~50φ	75φ	6	4	2	12
	65φ	100φ				
通気管	75φ	125φ			2	2
	100φ	150φ	2	4		6

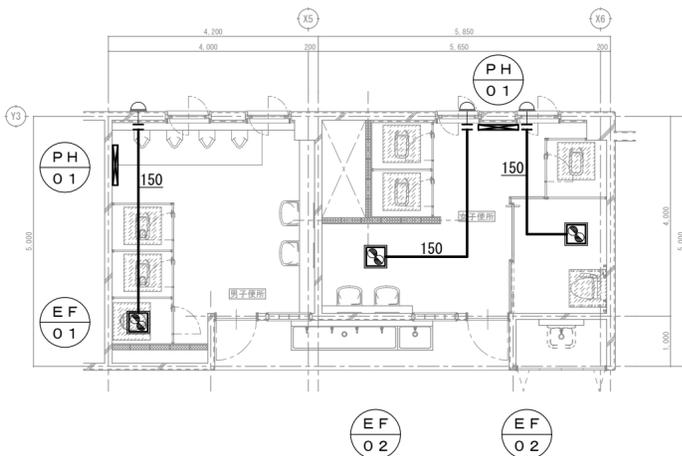
⊙ : はつり補修位置を示す

■記号凡例

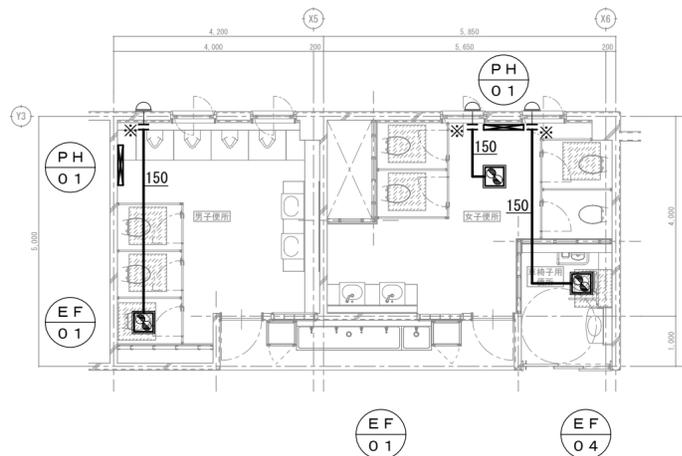


(特記)

- 凡例に従い図中の機器・器具・配管の新設一式を行う。
- 機器・器具の詳細については別紙機器表・器具表を参照。
- 特記なき配管は見下げとする。
- 配管貫通部は原則既存再利用とし、新たな梁貫通は行わないこと。
- 床・壁の配管貫通部の穴明け(はつり補修)は鉄筋探査を行い監督員と協議の後施工すること。

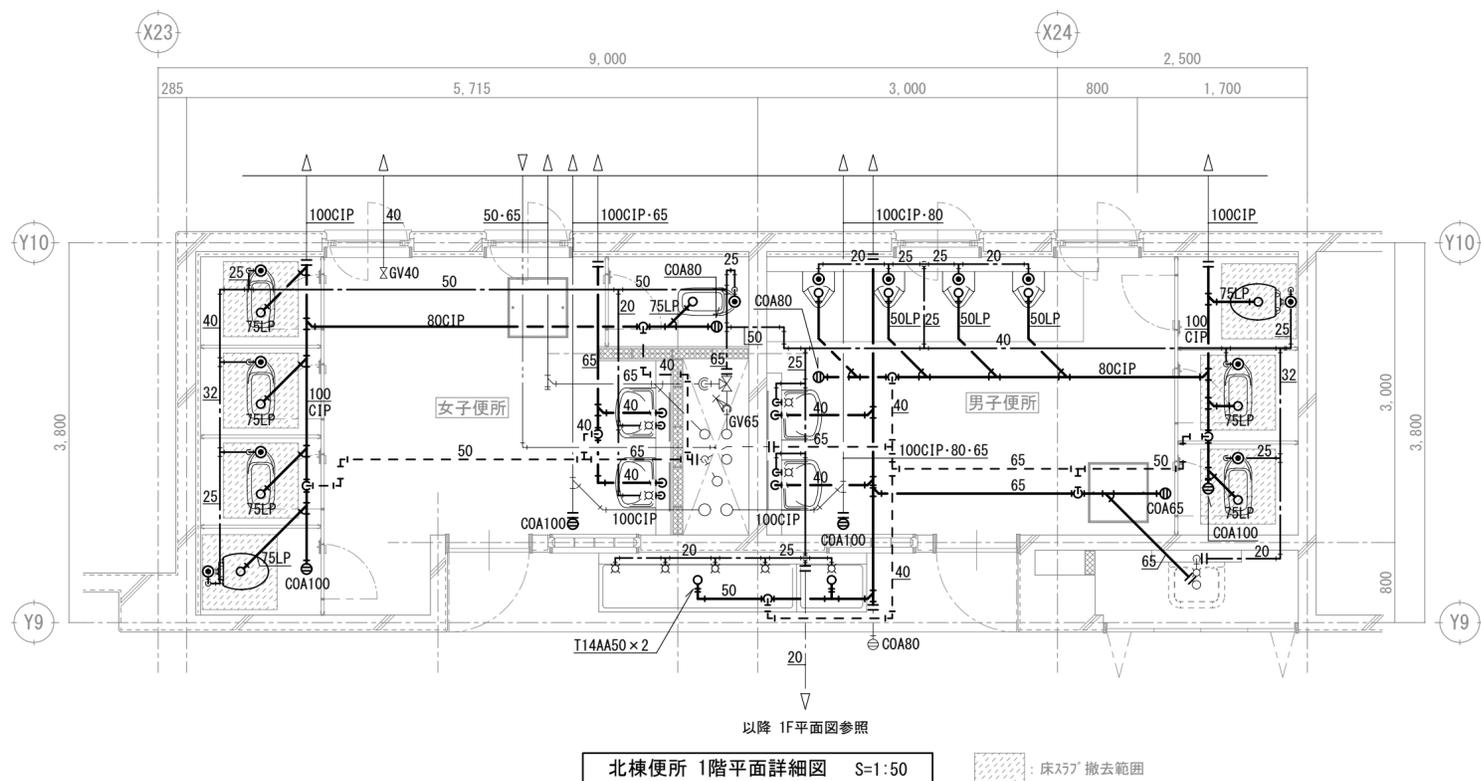


南棟便所 2階平面図 S=1:100

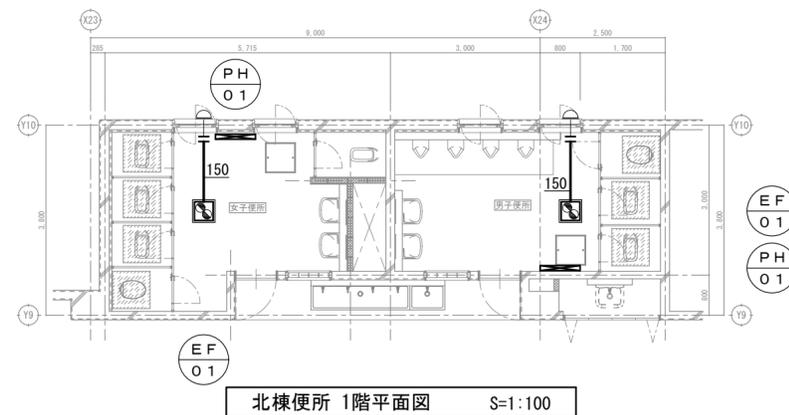


南棟便所 2階平面図 S=1:100

改修前



北棟便所 1階平面詳細図 S=1:50

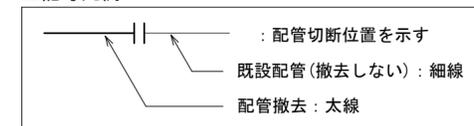


北棟便所 1階平面図 S=1:100

■撤去配管リスト

記号	名称	管種
---**	給水管	硬質塩ビライニング鋼管
---**	排水管	配管用炭素鋼管(白)
---**CIP	排水管	排水用鑄鉄管
---**LP	排水管	排水用鉛管
---**	排水通気管	配管用炭素鋼管(白)

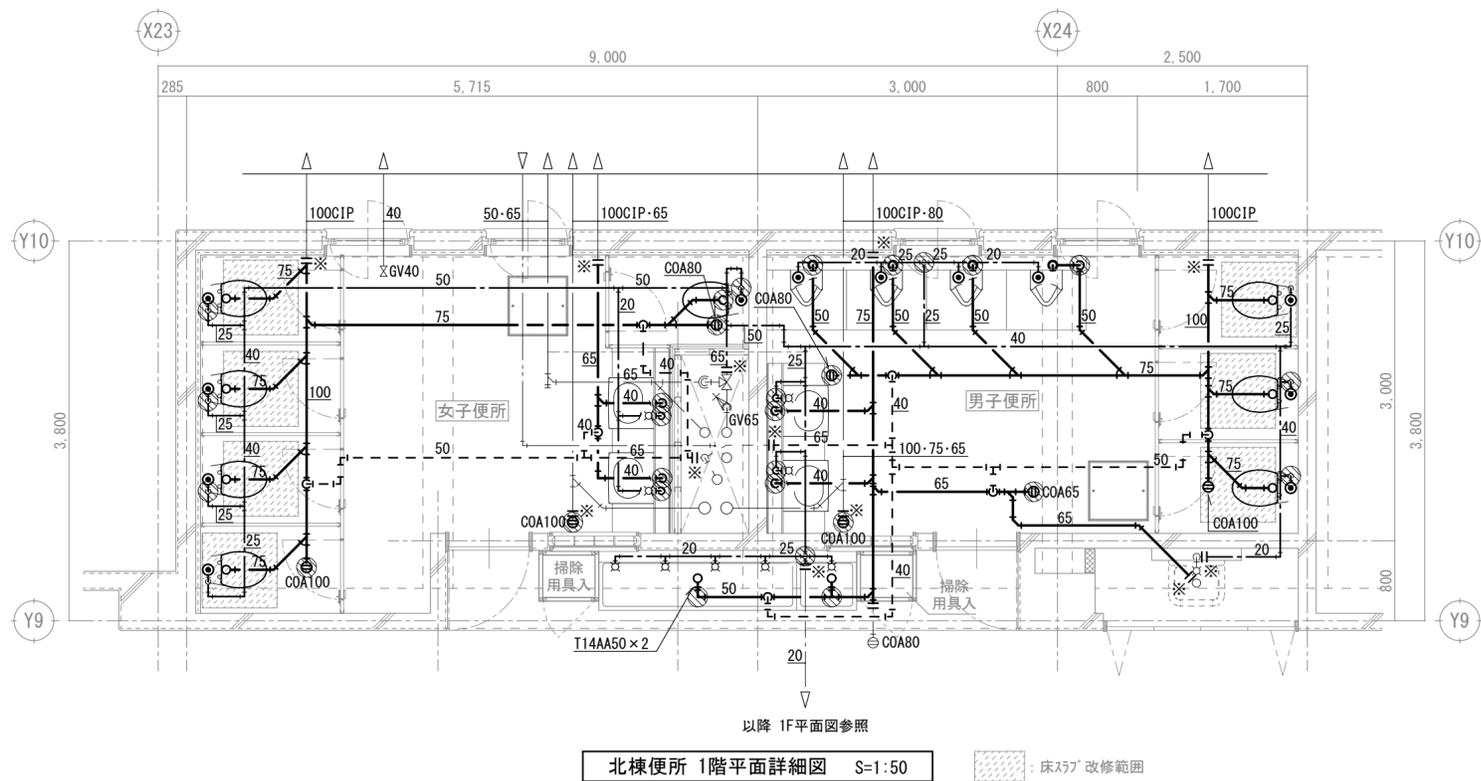
■記号凡例



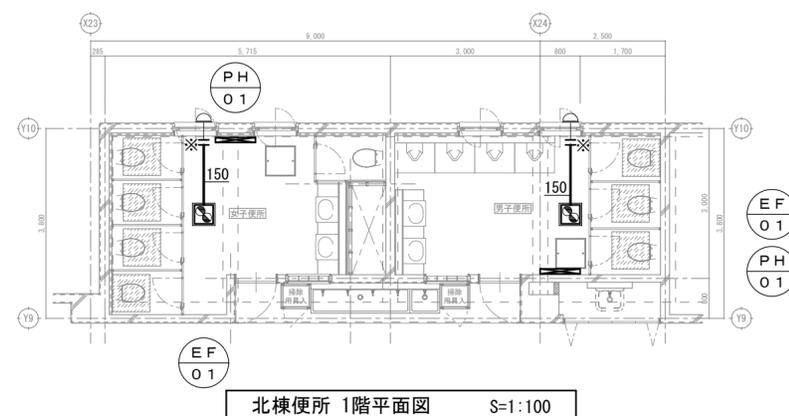
(特記)

- 凡例に従い図中の機器・器具・配管の撤去・処分一式を行う。
- 機器・器具の詳細については別紙機器表を参照。
- 機器・器具・配管等撤去後の不要な躯体開口はモルタル等で埋め戻すこと。
- 施工に先立ち、ビット内湧水排水・清掃を行うこと。

改修後



北棟便所 1階平面詳細図 S=1:50



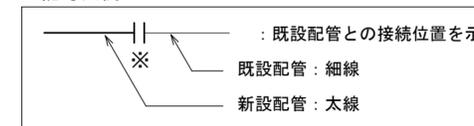
北棟便所 1階平面図 S=1:100

■穴明・補修リスト

配管種	配管径	貫通径	数量			数量合計
			男子	女子	流し	
給水	25φ以下	75φ	5	6	1	12
	30~50φ	100φ				
排水管	30~50φ	75φ	6	2	2	10
	65φ	100φ				
通気管	75φ	125φ		1		1
	100φ	150φ	3	3		6

◎ : はつり補修位置を示す

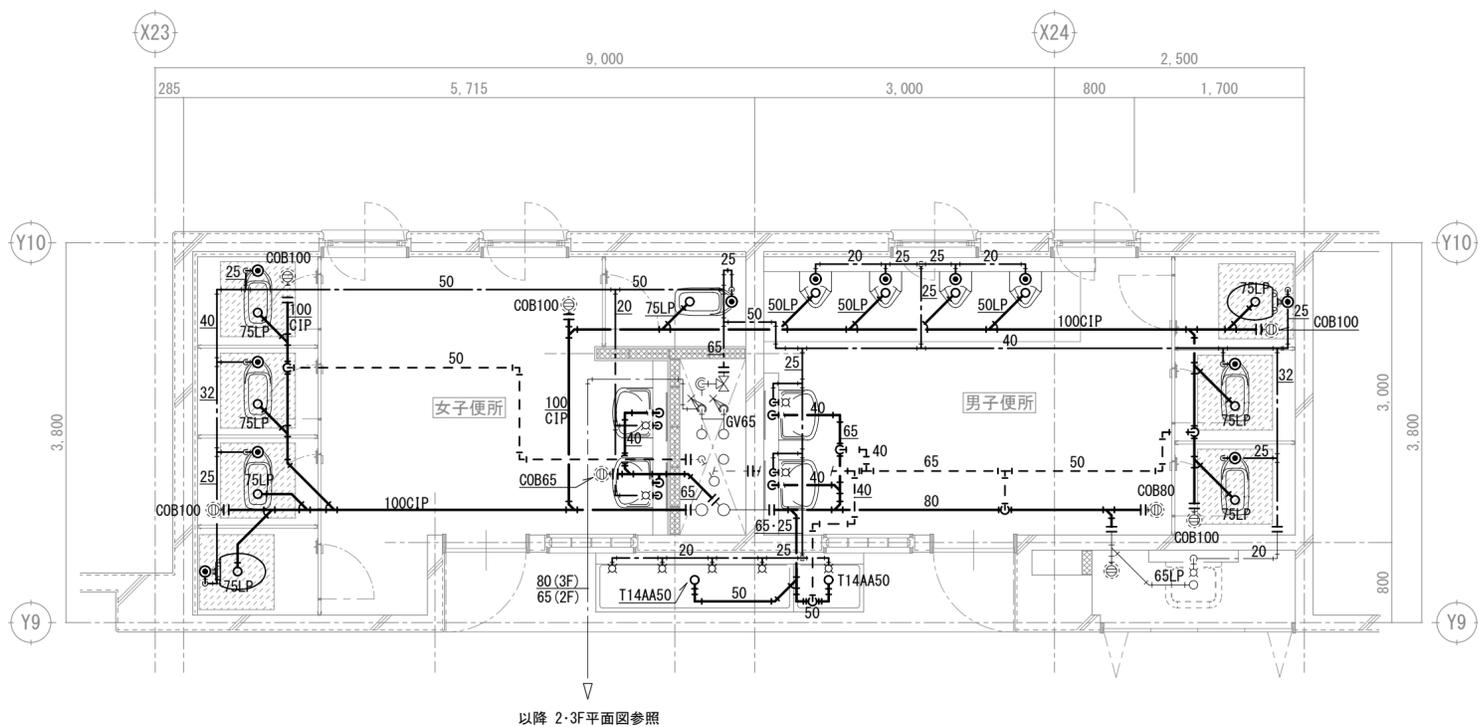
■記号凡例



(特記)

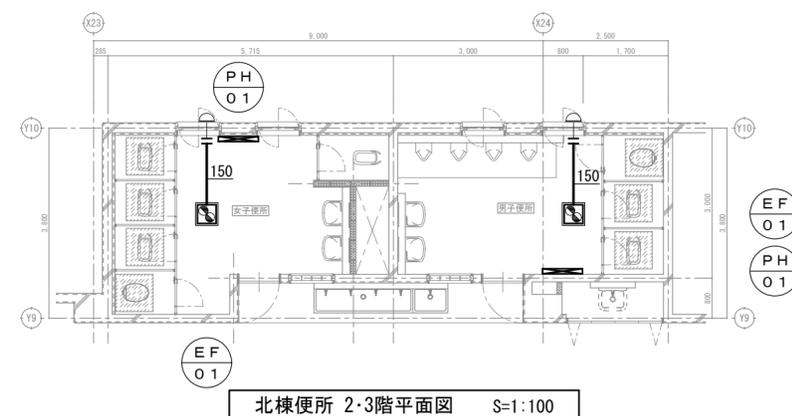
- 凡例に従い図中の機器・器具・配管の新設一式を行う。
- 機器・器具の詳細については別紙機器表・器具表を参照。
- 特記なき配管は見下げとする。
- 配管貫通部は原則既存再利用とし、新たな梁貫通は行わないこと。
- 床・壁の配管貫通部の穴明け(はつり補修)は鉄筋探査を行い監督員と協議の後施工すること。

改修前



北棟便所 2・3階平面詳細図 S=1:50

床スラップ 撤去範囲

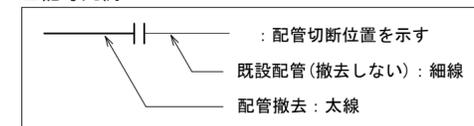


北棟便所 2・3階平面図 S=1:100

■撤去配管リスト

記号	名称	管種
— — — — **	給水管	硬質塩ビライニング鋼管
— — — — **	排水管	配管用炭素鋼管(白)
— — — — **CIP	排水管	排水用鑄鉄管
— — — — **LP	排水管	排水用鉛管
- - - - **	排水通気管	配管用炭素鋼管(白)

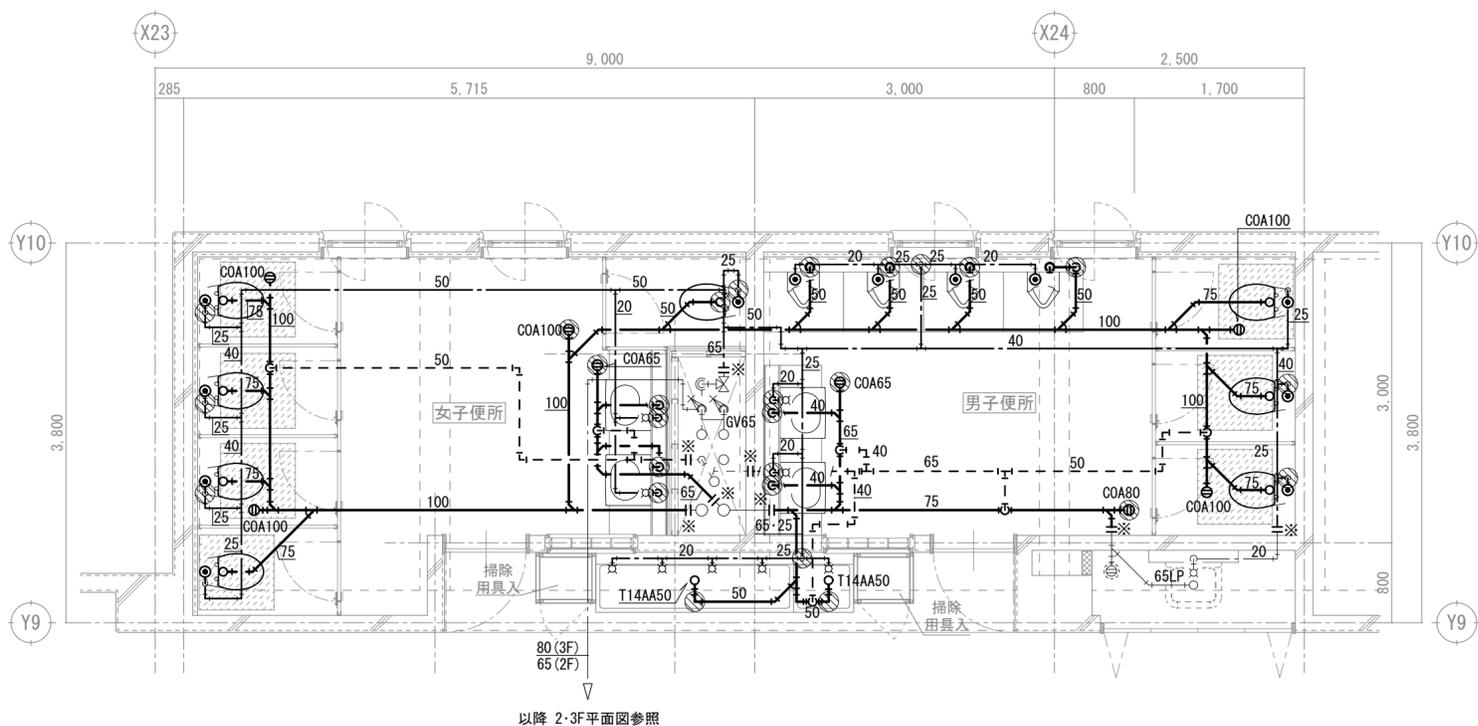
■記号凡例



(特記)

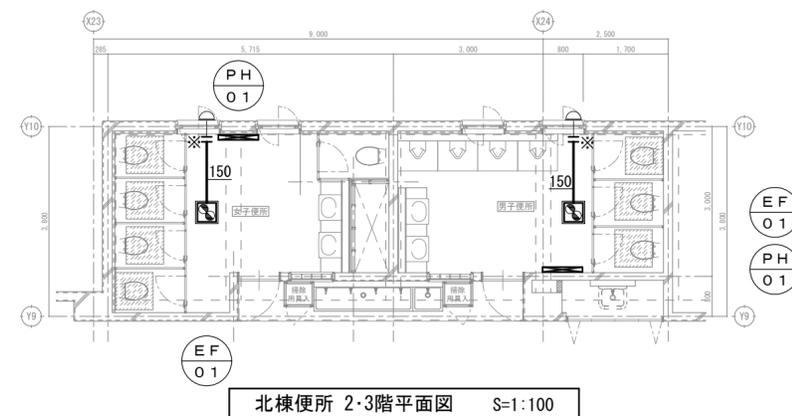
1. 凡例に従い図中の機器・器具・配管の撤去・処分一式を行う。
2. 機器・器具の詳細については別紙機器表を参照。
3. 機器・器具・配管等撤去後の不要な躯体開口はモルタル等で埋め戻すこと。
4. COBはスラブ下で配管切断+キャップ止めとし、残置とする。

改修後



北棟便所 2・3階平面詳細図 S=1:50

床スラップ 改修範囲



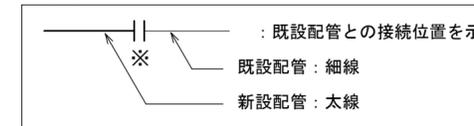
北棟便所 2・3階平面図 S=1:100

■穴明・補修リスト

配管種	配管径	貫通径	数量			数量合計
			男子	女子	流し	
給水	25φ以下	75φ	5	6	1	12
	30~50φ	100φ				
排水管	30~50φ	75φ	6	2	2	10
	65φ	100φ				
通気管	75φ	125φ		1		1
	100φ	150φ	2	2		4

◎ : はつり補修位置を示す

■記号凡例



(特記)

1. 凡例に従い図中の機器・器具・配管の新設一式を行う。
2. 機器・器具の詳細については別紙機器表・器具表を参照。
3. 特記なき配管は見下げとする。
4. 配管貫通部は原則既存再利用とし、新たな梁貫通は行わないこと。
5. 床・壁の配管貫通部の穴明け(はつり補修)は鉄筋探査を行い監督員と協議の後施工すること。

改修前

■機器表【撤去】

記号	名称	仕様	台数	電源			設置場所	備考
				相 φ	電圧 V	容量 kW		
PH-01	パネルヒーター	壁掛け	1	1	200	0.5	男子便所	
			1				女子便所	参考重量 3.0kg 760W*70D*200H
EF-01	天井埋込換気扇	低騒音型	1	1	100	0.06	男子便所	
		200φ × 380m3/h × 40Pa	1				女子便所	参考重量 10.0kg 400W*400D*300H

(特記)

- 上記機器及び付属品すべての撤去・処分を行う

■器具表【撤去】

名称	参考型番	仕様・付属品等	合計	男子 便所	女子 便所	備考
洋風大便器	C21	フラッシュバルブ式 紙巻器 参考重量：30.0kg 450*750*450H	2	1	1	
和風大便器	C375VF	フラッシュバルブ式 紙巻器 参考重量：14.6kg 280×600×300	3	1	2	
小便器	U307C	床置き 押釦FV式 参考重量：35.0kg 380*200*920H	3	3		
壁掛け洗面器	L230	単水栓 参考重量：10.5kg 500*400*180H	4	1	3	

(特記)

- 上記器具表の器具、及び付属品の【撤去】・処分一式を行う。

改修後

■機器表【新設】

記号	名称	仕様	台数	電源			設置場所	備考 [参考型番]
				相 φ	電圧 V	容量 kW		
PH-01	パネルヒーター	ステンレス製 壁掛け	1	1	200	0.5	男子便所	
		加熱能力0.5KW	1				女子便所	
		サーモスタット スイッチカバー						
		保護ガード 他附属品一式						
EF-01	天井埋込換気扇	低騒音型	1	1	100	0.04	男子便所	[VD-20ZXP10-C：三菱電機]
		150φ × 380m3/h × 70Pa	1				女子便所	

(特記)

- 上記機器及び付属品すべての新設を行う
- 上記機器の取り付けのために必要な部材は一式本工事とする
- 上記機器の取り付け固定に必要な下地の施工は本工事とする
- 機器の能力・容量は表示された数量以上とし、電気容量は参考とする。採用機器により電気と調整を行うこと。

■器具表【新設】

名称	参考型番	仕様・付属品等	合計	男子 便所	女子 便所	備考
洋風大便器	JIS (TOTO) (LIXIL)					
	C710S	FV式(床給水) 暖房便座(100W) 紙巻器(スベア1個付・タテ型)	5	2	3	
	CFS494NHNS C-P25S	TCF116 YM120N CF-T7114A CF-18ALJ KF-42M				
小便器	U520	壁掛け 大形 押釦FV式(凍結防止)	3	3		
	UFH500 U-406RU	TG600PL UF-3JHT				
カウンター式洗面器	L350CM	はめ込み角形 単水栓(壁給水・止水栓) 壁排水金具 水石輸入	4	1	3	カウンター：建築
	L-2150P	TLS01101J T6PM1 TLK05202J LF-E02 LF-5PAU KF-24EM				

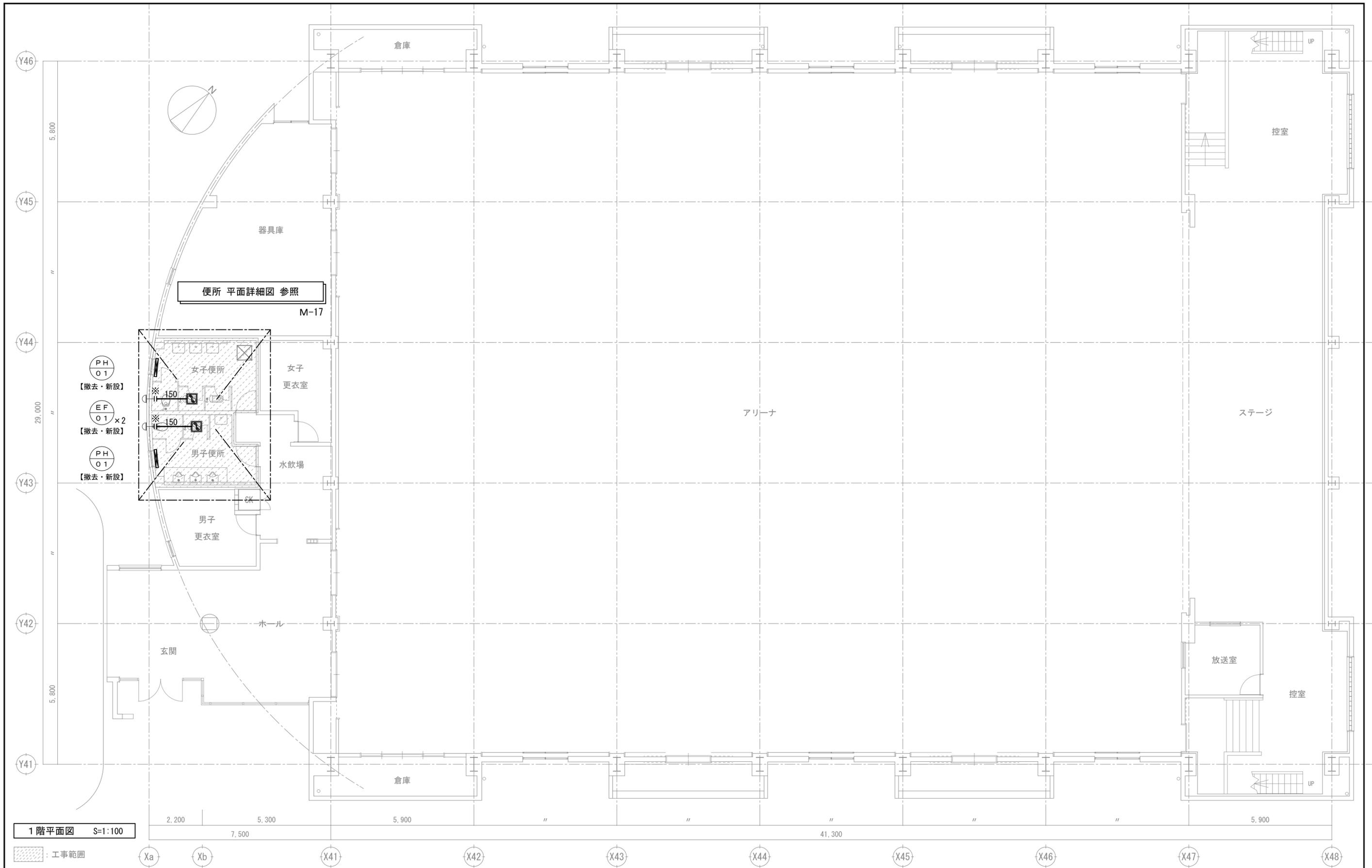
(特記)

- 上記器具表の器具、及び付属品の【新設】一式を行う。
- 器具の取り付けは全て本工事とする
- 器具に必要な付属品一式は本工事とする
- 器具の取付に必要な下地の施工は本工事とする

換気風量表

階	室名	面積 Af m <sup>2</sup>	天井高 H m	容積 Q m <sup>3</sup>	機械排煙 対象面積 m <sup>2</sup>	V=nQ		建築基準法 V=20(30)Af/N			設計風量					対象機器	
						シックハウス		N	Af/N	V	SA	RA	OA	EA	n		
						n	V										人
1	男子便所	12.33	2.50	30.83		10.0	308.3								380	12.3	EF-01
1	女子便所	13.68	2.50	34.20		10.0	342.0								380	11.1	EF-01

		平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図		図面名 機械設備工事 機器表・器具表(改修前・後) 【屋内運動場】		図面種別 M	
				縮尺 S=1:NON [A2:原画 A3:71%縮小]		図面番号 15	

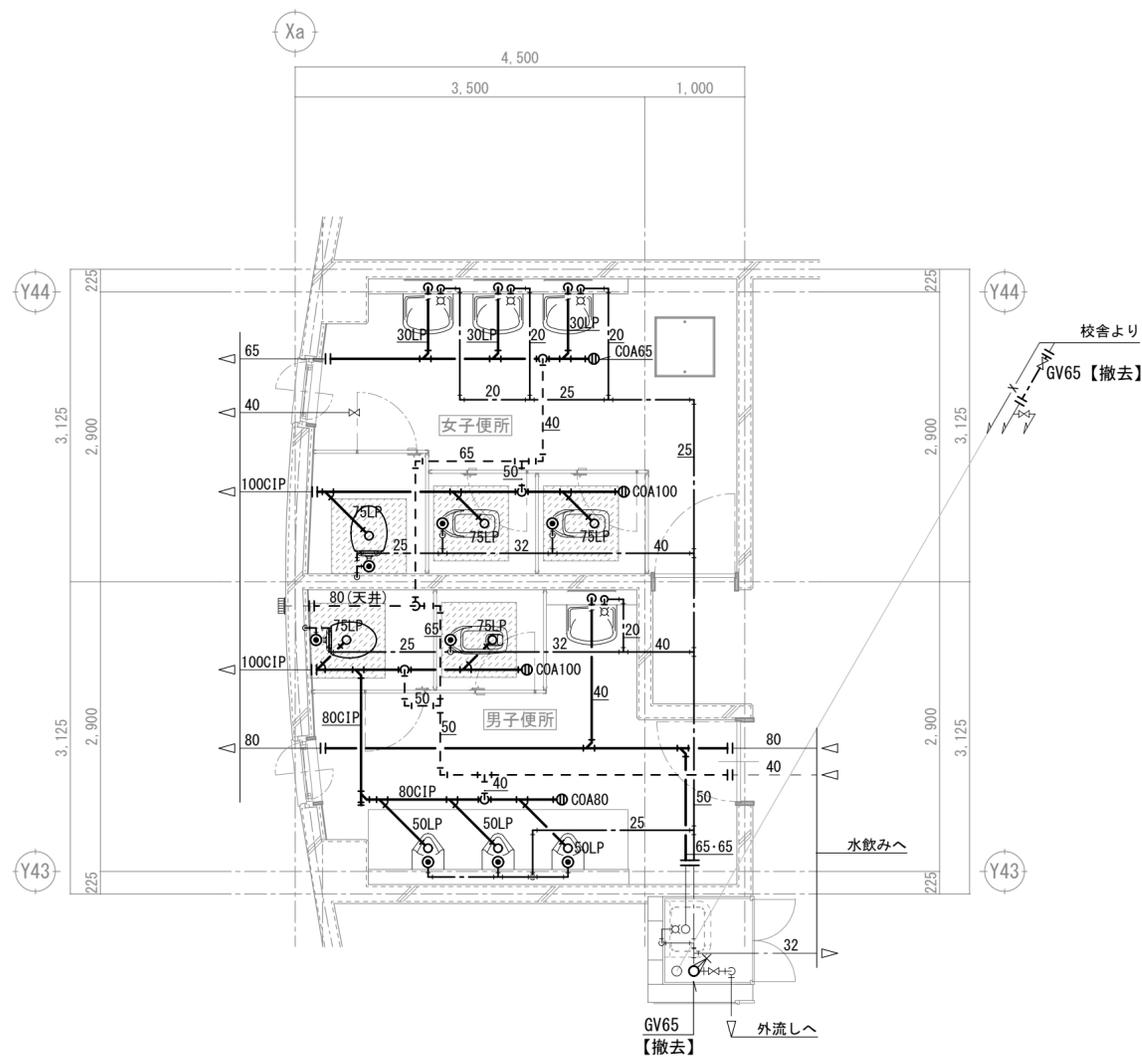


1階平面図 S=1:100

⊞ : 工事範囲

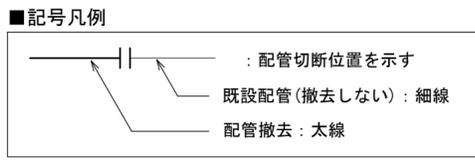
		平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図		図面名 機械設備工事 平面図	【屋内運動場】	図面種別 M
				縮尺 S=1:100	[A2:原版 A3:71%縮小]	図面番号 16

改修前



屋内運動場便所 平面詳細図 S=1:50

床スラブ 撤去範囲

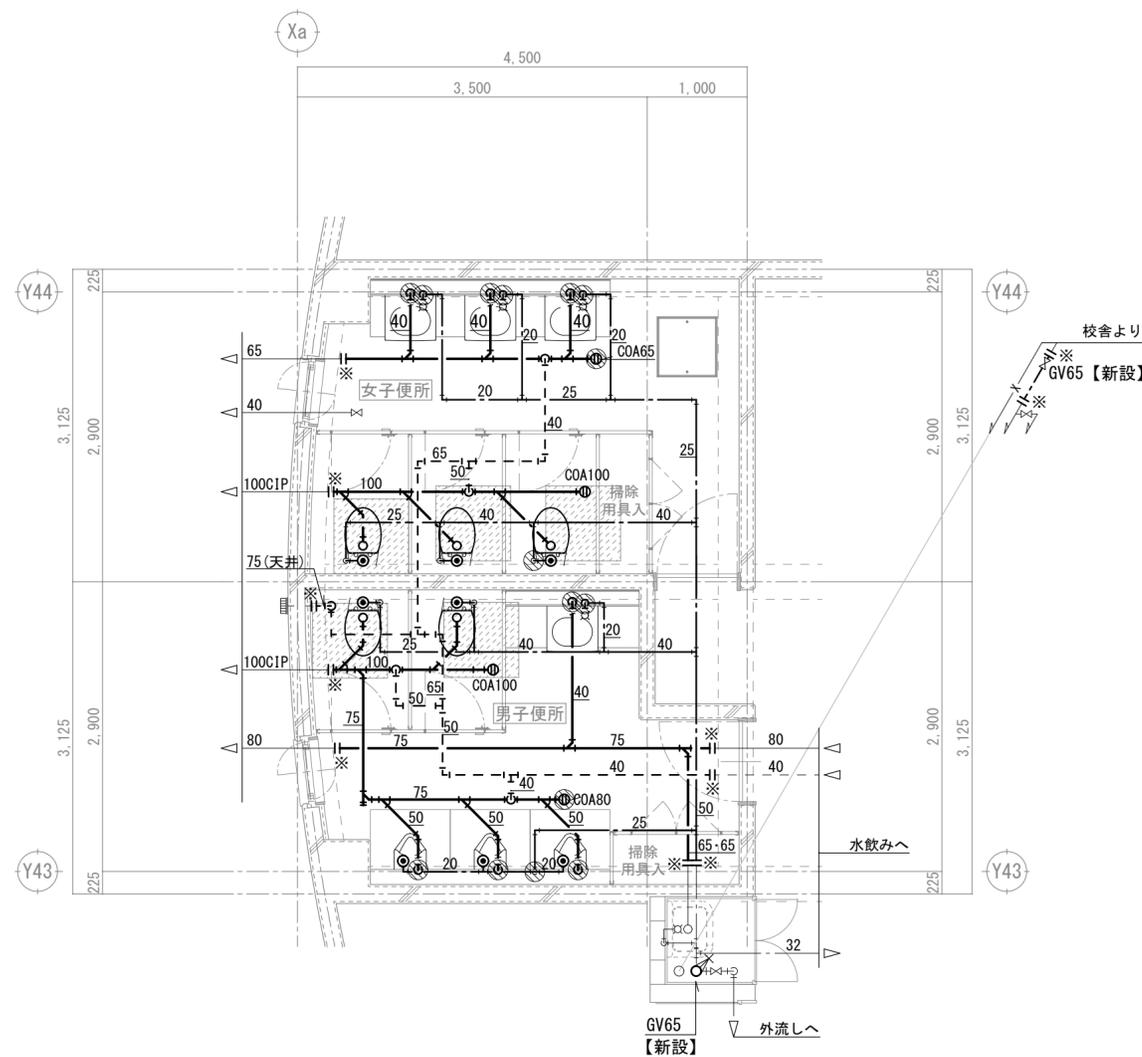


- (特記)
- 凡例に従い図中の機器・器具・配管の撤去・処分一式を行う。
  - 機器・器具の詳細については別紙機器表を参照。
  - 機器・器具・配管等撤去後の不要な躯体開口はモルタル等で埋め戻すこと。
  - 施工に先立ち、ピット内湧水排水・清掃を行うこと。

■撤去配管リスト

記号	名称	管種
— — **	給水管	硬質塩化ビニル鋼管
— — **	排水管	配管用炭素鋼管(白)
— — **CIP	排水管	排水用鑄鉄管
— — **LP	排水管	排水用鉛管
— — — — **	排水通気管	配管用炭素鋼管(白)

改修後



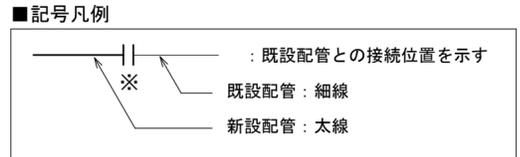
屋内運動場便所 平面詳細図 S=1:50

床スラブ 改修範囲

■穴明・補修リスト(参考)

配管種	配管径	貫通径	数量		数量合計
			男子	女子	
給水	25φ以下	75φ	2	4	6
	30~50φ	100φ			
排水管	30~50φ	75φ	4	3	7
	65φ	100φ		1	
	75φ	125φ			
通気管	100φ	150φ			

⊙ : はつり補修位置を示す



- (特記)
- 凡例に従い図中の機器・器具・配管の新設一式を行う。
  - 機器・器具の詳細については別紙機器表・器具表を参照。
  - 特記なき配管は見下げとする。
  - 配管貫通部は原則既存再利用とし、新たな梁貫通は行わないこと。
  - 床・壁の配管貫通部の穴明け(はつり補修)は鉄筋探査を行い監督員と協議の後施工すること。

平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

図面名	機械設備工事 便所 平面詳細図 【屋内運動場】	図面種別	M
縮尺	S=1:50	図面番号	17
	[A2:原画 A3:71%縮小]		

改修前

■機器表【撤去】

記号	名称	仕様	台数	電源			設置場所	備考
				相 φ	電圧 V	容量 kW		
PH-01	パネルヒーター	壁掛け	1	1	100	0.5	男子便所	
			1				女子便所	参考重量 4.0kg 450W*70D*500H
EF-01	天井埋込換気扇	低騒音型	1	1	100	0.02	男子便所	
		150φ × 270m3/h	1				女子便所	参考重量 5.5kg 350W*350D*250H

(特記)

1. 上記機器及び付属品すべての撤去・処分を行う

■器具表【撤去】

名称	参考型番	仕様・付属品等	合計	男子便所		女子便所	備考
				男子便所	女子便所		
洋風大便器	C720+S710B	ロータンク式 紙巻器 参考重量：30.0kg 450*750*450H	1	1	1		
和風大便器	C750V+S570B	隅付ロータンク式 紙巻器 参考重量：13.6kg 275×615×457 参考重量：16.5kg 334×450×490 (ロータンク)	2	1	1		
小便器	U307C	床置き 押釦FV式 参考重量：35.0kg 380*200*920H	2	2			
カウンター式洗面器	L525	単水栓 参考重量：8.5kg 590*480*200H	4	2	2		

(特記)

1. 上記器具表の器具、及び付属品の【撤去】・処分一式を行う。

改修後

■機器表【新設】

記号	名称	仕様	台数	電源			設置場所	備考 [参考型番]
				相 φ	電圧 V	容量 kW		
PH-01	パネルヒーター	ステンレス製 壁掛け	1	1	100	0.5	男子便所	
		加熱能力0.5KW	1				女子便所	
		サーモスタット スイッチカバー 保護ガード 他附属品一式						
EF-01	天井埋込換気扇	低騒音型	1	1	100	0.02	男子便所	[VD-18ZXP10-C：三菱電機]
		150φ × 270m3/h × 50Pa	1				女子便所	

(特記)

1. 上記機器及び付属品すべての新設を行う
2. 上記機器の取り付けのために必要な部材は一式本工事とする
3. 上記機器の取り付け固定に必要な下地の施工は本工事とする
4. 機器の能力・容量は表示された数量以上とし、電気容量は参考とする。採用機器により電気と調整を行うこと。

■器具表【新設】

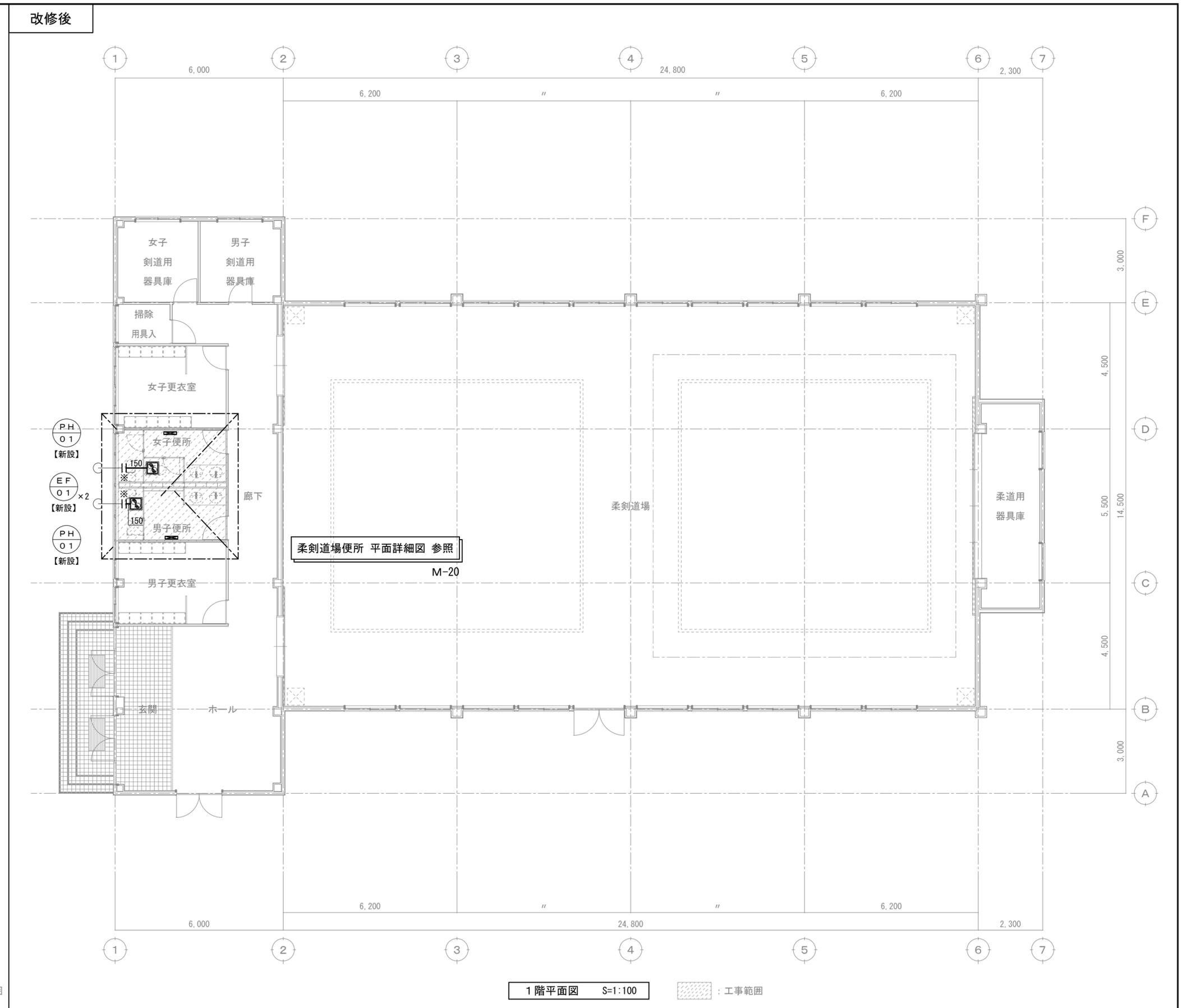
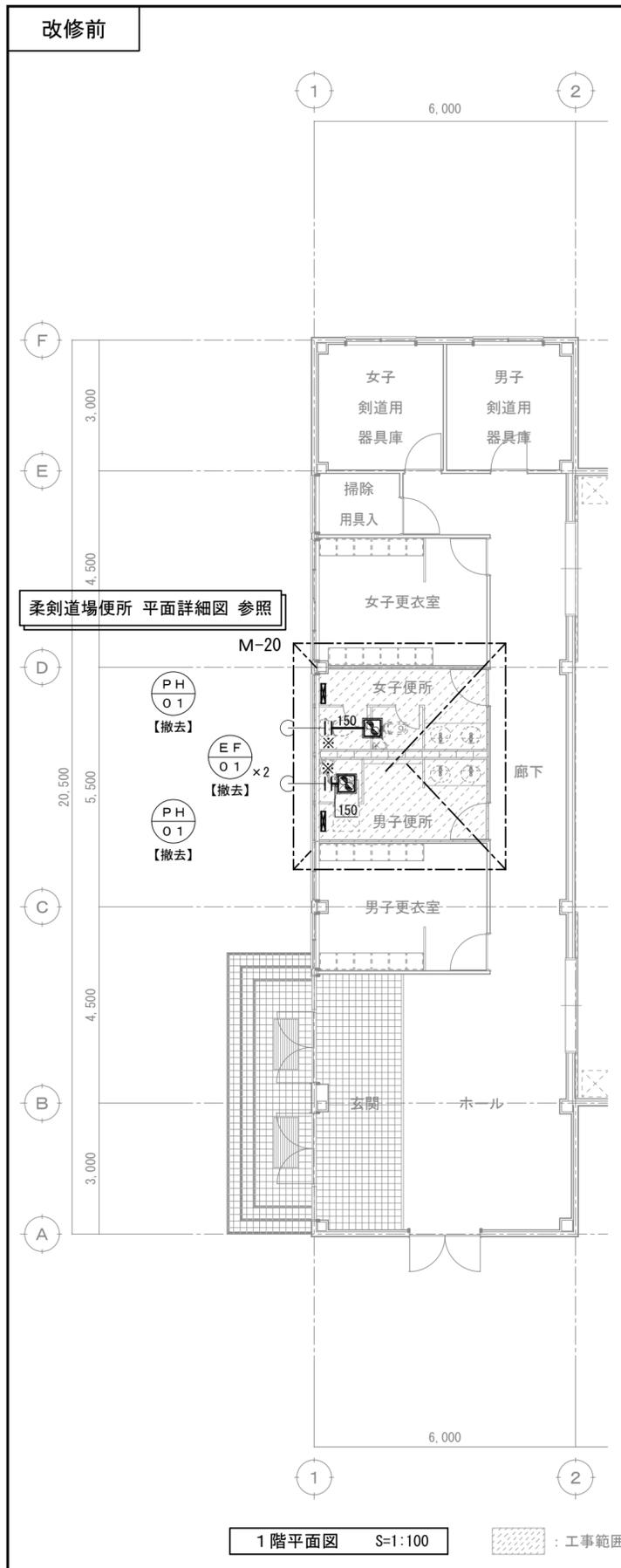
名称	参考型番	仕様・付属品等	合計	男子便所		女子便所	備考
				男子便所	女子便所		
洋風大便器	JIS (TOTO) (LIXIL)						
	C1200S	ロータンク式 暖房便座(100W) 紙巻器(スベア1個付・タテ型)	3	1	2		
	CS597BS BC-P20S	SH596BAYR TCF116 YM120N DT-PA250CHTK CF-18ALJ KF-42M					
小便器	U520	壁掛け 大形 押釦FV式(凍結防止)	2	2			
	UFH500 U-406RU	TG600PL UF-3JHT					
カウンター式洗面器	L350CM	はめ込み角形 単水栓(壁給水・止水栓) 壁排水金具 水石齧入	4	2	2		カウンター：建築
	L-2150P	TLS01101J T6PM1 TLK05202J LF-E02 LF-5PAU KF-24EM					

(特記)

1. 上記器具表の器具、及び付属品の【新設】一式を行う。
2. 器具の取り付けは全て本工事とする
3. 器具に必要な付属品一式は本工事とする
4. 器具の取付に必要な下地の施工は本工事とする

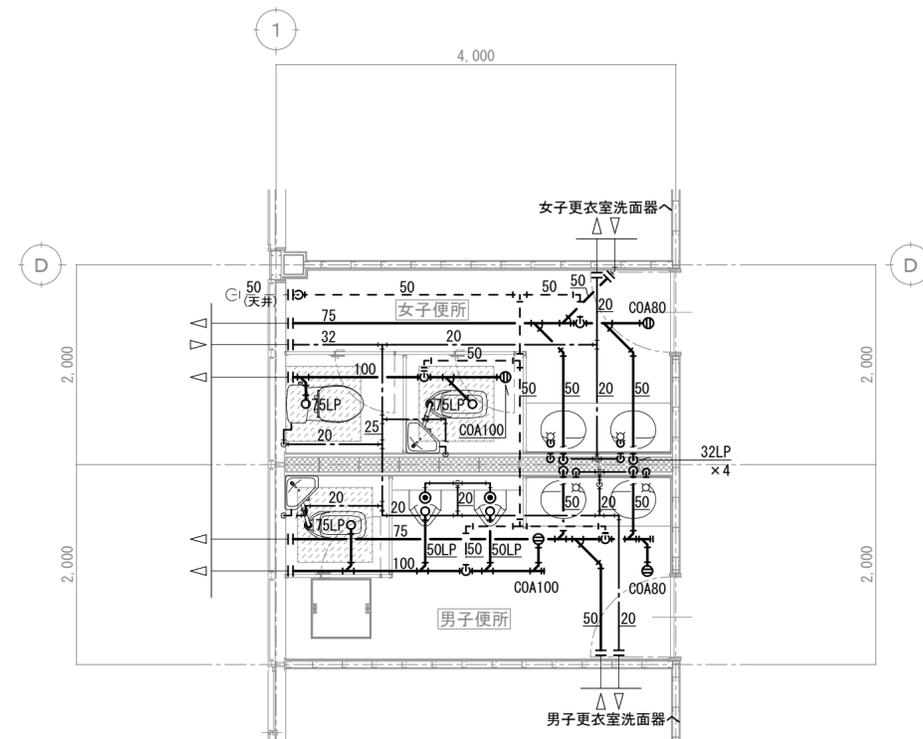
換気風量表

階	室名	面積 Af m <sup>2</sup>	天井高 H m	容積 Q m <sup>3</sup>	機械排煙 対象面積 m <sup>2</sup>	V=nQ シックハウス		建築基準法 V=20(30)Af/N					設計風量					対象機器
						n 回/h	V m <sup>3</sup> /h	N 人/人	Af/N 人	V m <sup>3</sup> /h	SA m <sup>3</sup> /h	RA m <sup>3</sup> /h	OA m <sup>3</sup> /h	EA m <sup>3</sup> /h	n 回/h			
1	男子便所	8.00	2.40	19.20		10.0	192.0								270	14.0	EF-01	
1	女子便所	8.00	2.40	19.20		10.0	192.0								270	14.0	EF-01	



		平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図		図面名 機械設備工事 平面図	図面種別 M
				【柔剣道場】	図面番号
				縮尺 S=1:100 [A2:原版 A3:71%縮小]	19

改修前



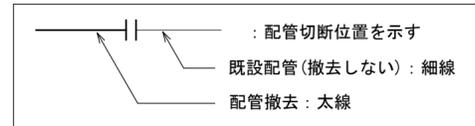
柔剣道場便所 平面詳細図 S=1:50

床スラブ 撤去範囲

■撤去配管リスト

記号	名称	管種
— — —**	給水管	硬質塩化ビニリング鋼管
— — —**	排水管	硬質塩化ビ管
— — —**LP	排水管	排水用鉛管
— — —**	排水通気管	硬質塩化ビ管

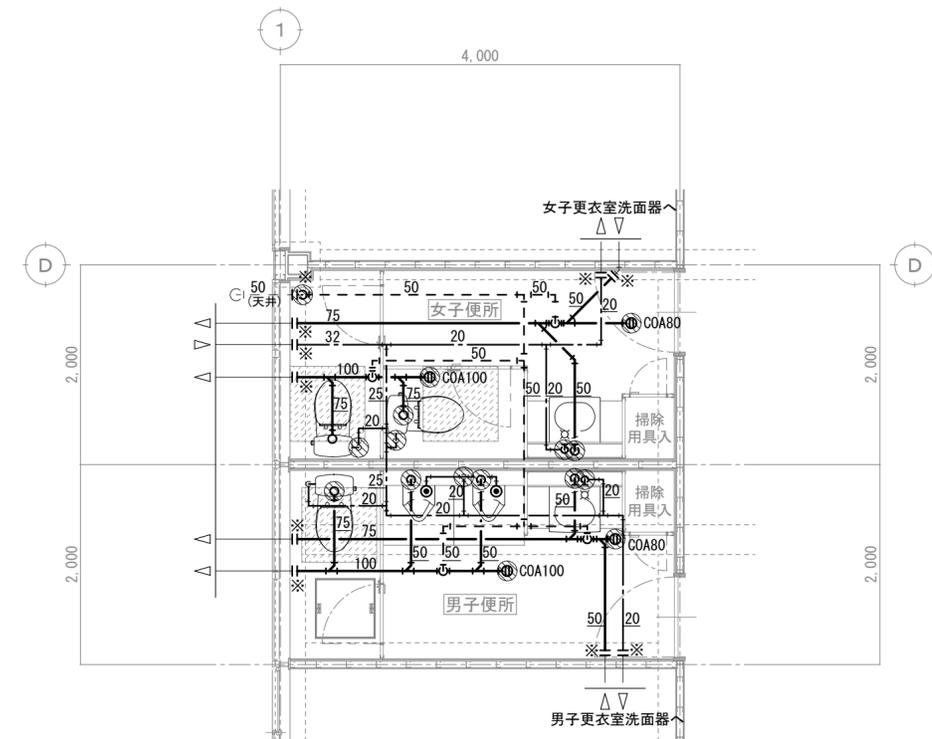
■記号凡例



(特記)

- 凡例に従い図中の機器・器具・配管の撤去・処分一式を行う。
- 機器・器具の詳細については別紙機器表を参照。
- 機器・器具・配管等撤去後の不要な躯体開口はモルタル等で埋め戻すこと。
- 施工に先立ち、ピット内湧水排水・清掃を行うこと。

改修後



柔剣道場便所 平面詳細図 S=1:50

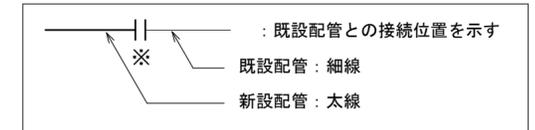
床スラブ 改修範囲

■穴明・補修リスト (参考)

配管種	配管径	貫通径	数量		数量合計
			男子	女子	
給水	25φ以下	75φ	2	3	5
	30~50φ	100φ			
排水管 通気管	30~50φ	75φ	3	2	5
	65φ	100φ			
	75φ	125φ		1	
	100φ	150φ	2	2	4

⊙ : はつり補修位置を示す

■記号凡例



(特記)

- 凡例に従い図中の機器・器具・配管の新設一式を行う。
- 機器・器具の詳細については別紙機器表・器具表を参照。
- 特記なき配管は見下げとする。
- 配管貫通部は原則既存再利用とし、新たな梁貫通は行わないこと。
- 床・壁の配管貫通部の穴明け(はつり補修)は鉄筋探査を行い監督員と協議の後施工すること。

図面名	機械設備工事	図面種別	M
	便所 平面詳細図 【柔剣道場】	図面番号	20
縮尺	S=1:50		[A2:原画 A3:71%縮小]

平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

改修前

■機器表【撤去】

記号	名称	仕様	台数	電源			設置場所	備考
				相 φ	電圧 V	容量 kW		
F-01	壁付換気扇	20cm	2	1	100	0.02	内便所(男女)	ウエザーカバー：残置
			2				外便所(男女)	参考重量 3.0kg 300W*100D*300H

(特記)

- 上記機器及び付属品すべての撤去・処分を行う

■器具表【撤去】

名称	参考型番	仕様・付属品等	合計	内			外			備考
				男子 便所	女子 便所	男子 便所	女子 便所			
和風大便器	C750V+S570B	隅付ロータンク式 紙巻器 参考重量：13.6kg 275×615×457 参考重量：16.5kg 334×450×490 (ロータンク)	6	1	2	1	2			
小便器	U307C	床置き 押釦FV式 参考重量：35.0kg 380*200*920H	4	2		2				
洗面器	L230	単水栓 参考重量：10.5kg 500*400*180H	7	2	2	1	2			
掃除用流し	SK-22A	単水栓20mm 床排水 参考重量：28.0kg 560*450*630H	1			1				

(特記)

- 上記器具表の器具、及び付属品の【撤去】・処分一式を行う。

改修後

■機器表【新設】

記号	名称	仕様	台数	電源			設置場所	備考
				相 φ	電圧 V	容量 kW		
F-01	壁付換気扇	格子タイプ 連動シャッター	2	1	100	0.02	内便所(男女)	ウエザーカバー：既存再利用
		20cm × 300m3/h	2				外便所(男女)	

(特記)

- 上記機器及び付属品すべての新設を行う
- 上記機器の取り付けのために必要な部材は一式本工事とする
- 上記機器の取り付け固定に必要な下地の施工は本工事とする
- 機器の能力・容量は表示された数量以上とし、電気容量は参考とする。採用機器により電気と調整を行うこと。

■器具表【新設】

名称	参考型番	仕様・付属品等	合計	内			外			備考
				男子 便所	女子 便所	男子 便所	女子 便所			
洋風大便器	C1200S (TOTO) (LIXIL)	ロータンク式 普通便座 紙巻器(スペア1個付・タテ型) SH596BAYR TCF291 YM120N DT-PA250CHTK CF-39AT KF-42M	6	1	2	1	2			
小便器	U520 UFH500 U-406RU	壁掛け 大形 押釦FV式(凍結防止) TG600PL UF-3JHT	4	2		2				
洗面器	L410 L250CM L-176UP	壁掛け 単水栓(壁給水・止水栓) 壁排水金具 水石蝕入 TLS01101J T6PW1 TS126AR LF-E02 LF-5PAU KF-24F	5	1	1	1	2			
掃除用流し	S210 SK22A S-202A	床置き・床排水・リムカバー・給水栓・給水ホース T37SGEP1・TK22・T23AE20C・TN114 SF-20SAF-P・LF-7E-19・SF-202	1			1				

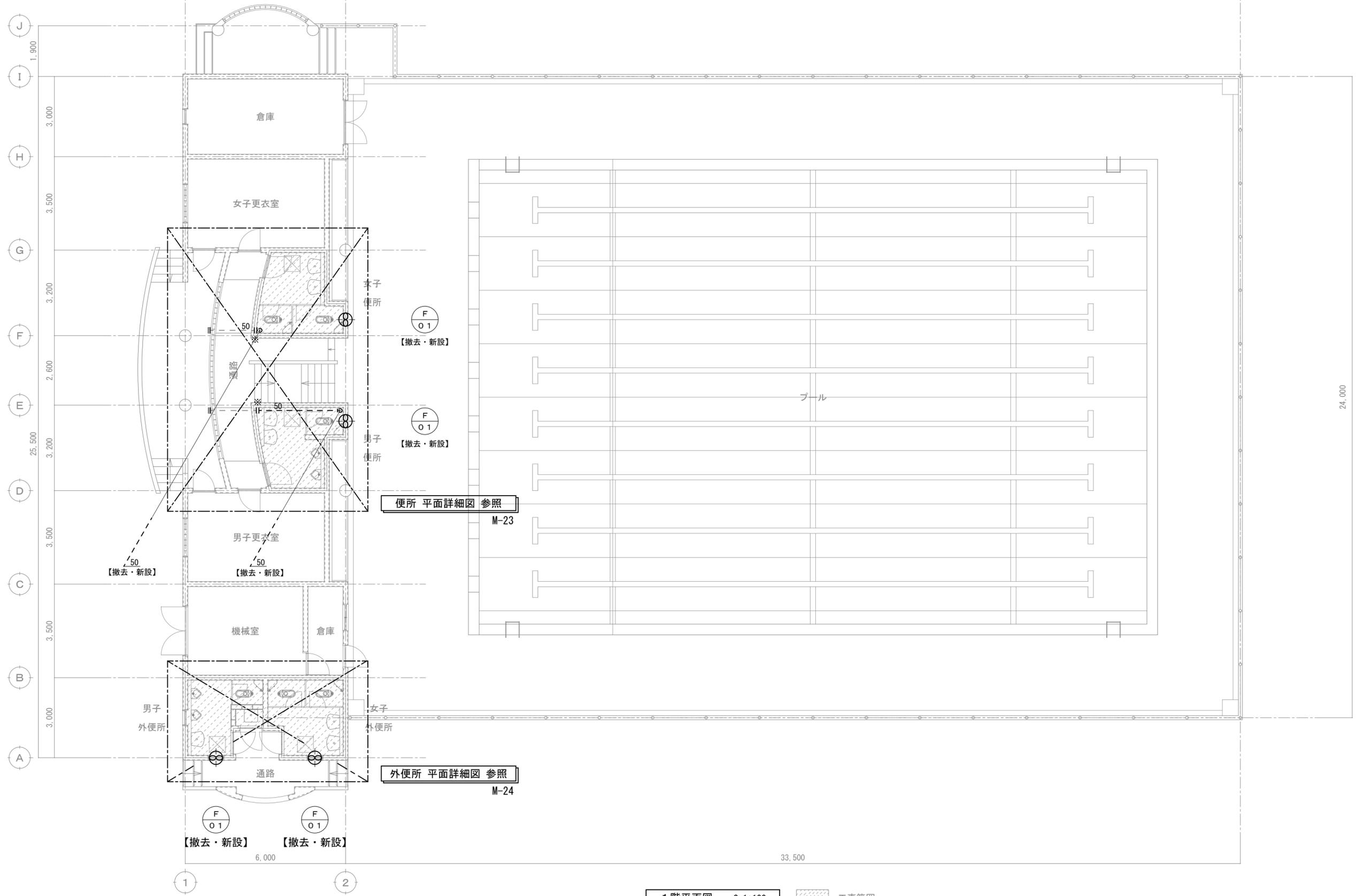
(特記)

- 上記器具表の器具、及び付属品の【新設】一式を行う。
- 器具の取り付けは全て本工事とする
- 器具に必要な付属品一式は本工事とする
- 器具の取付に必要な下地の施工は本工事とする

換気風量表

階	室名	面積 Af m <sup>2</sup>	天井高 H m	容積 Q m <sup>3</sup>	機械排煙 対象面積 m <sup>2</sup>	V=nQ		建築基準法 V=20(30)Af/N					設計風量					対象機器
						シックハウス		N	Af/N	V	SA	RA	OA	EA	n			
						n	V									n	V	
1	屋内便所(男)	8.70	2.70	23.49		10.0	234.9								300	12.7	F-01	
1	屋内便所(女)	8.70	2.70	23.49		10.0	234.9								300	12.7	F-01	
1	外便所(男)	6.65	3.00	19.95		10.0	199.5								300	15.0	F-01	
1	外便所(女)	8.32	3.00	24.96		10.0	249.6								300	12.0	F-01	

		図面名 機械設備工事		図面種別	
		機器表・器具表(改修前・後)		M	
		【プール棟】		図面番号	
		縮尺 S=1:NON [A2:原版 A3:71%縮小]		21	
		平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図			



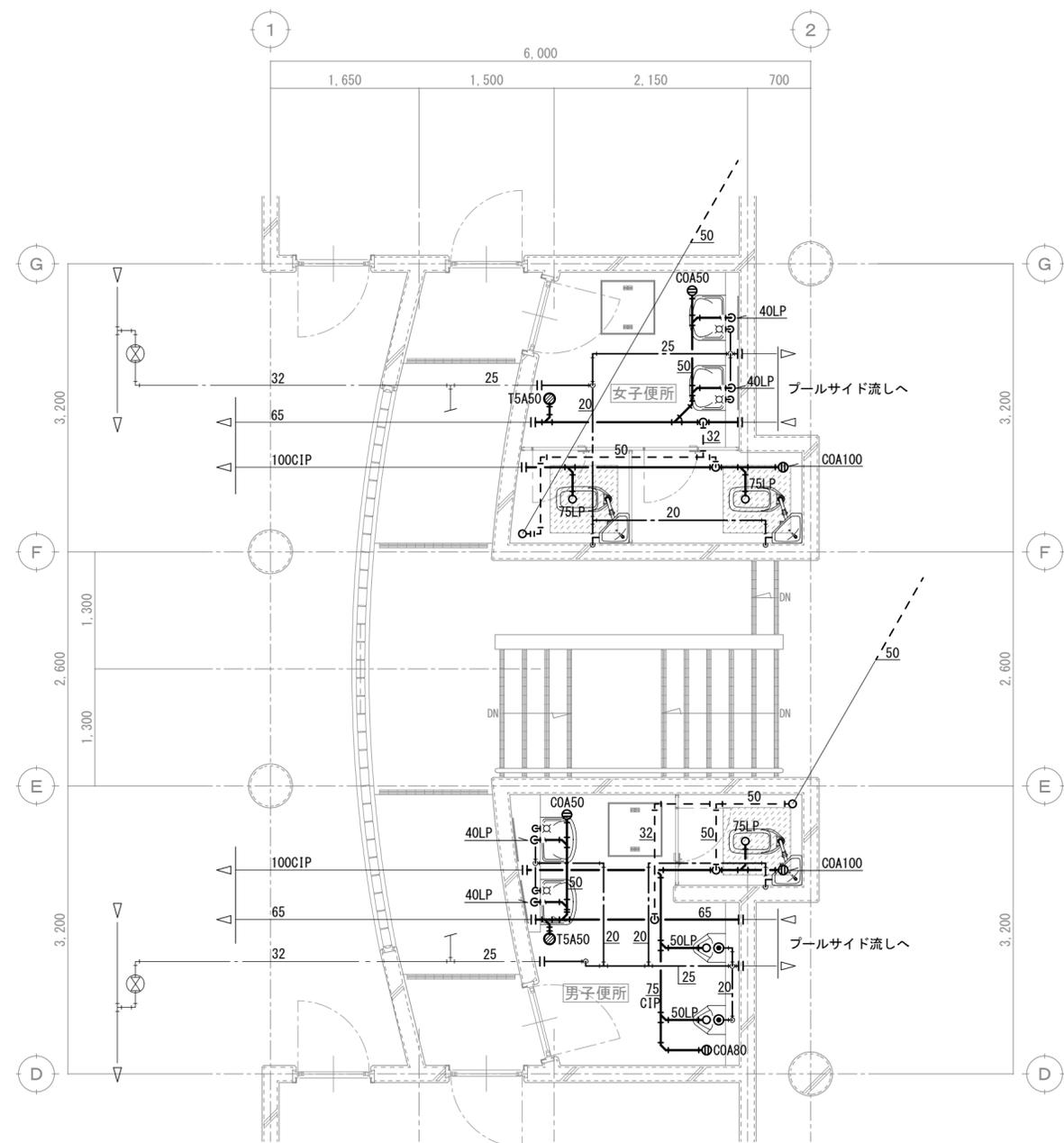


平成30年度 向洋中学校トイレ改修工事 設計図

図面名 機械設備工事  
平面図 【プール棟】  
縮尺 S=1:100 [A2:原版 A3:71%縮小]

図面種別
M
図面番号
22

改修前



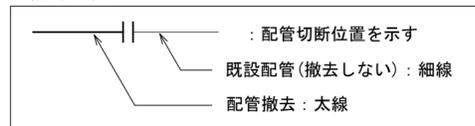
■撤去配管リスト

記号	名称	管種
---	給水管	硬質塩ビライニング鋼管
---	排水管	配管用炭素鋼鋼管(白)
---	排水管	排水用鑄鉄管
---	排水管	排水用鉛管
---	排水通気管	配管用炭素鋼鋼管(白)

便所 平面詳細図 S=1:50

床スラブ 撤去範囲

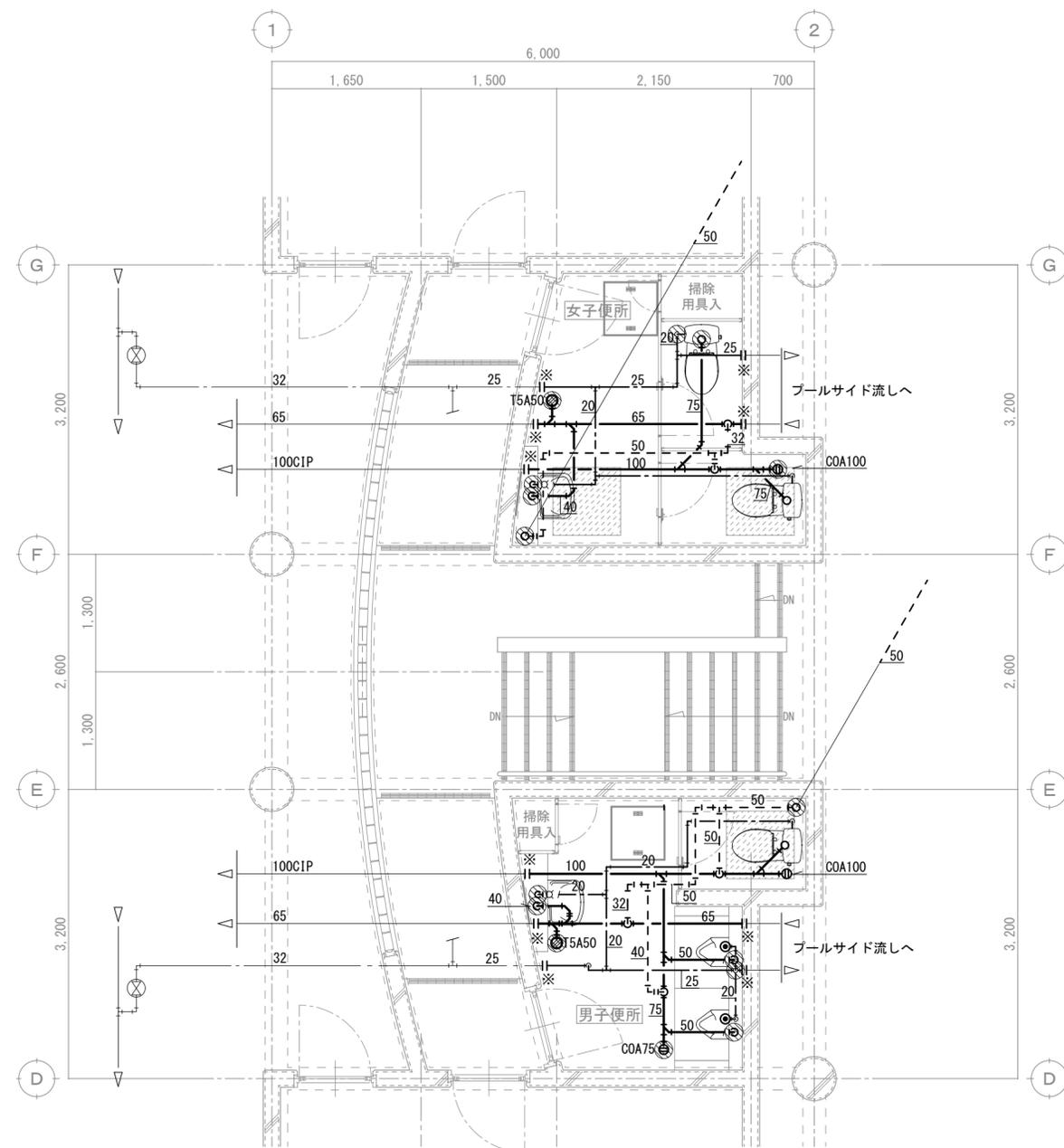
■記号凡例



(特記)

- 凡例に従い図中の機器・器具・配管の撤去・処分一式を行う。
- 機器・器具の詳細については別紙機器表を参照。
- 機器・器具・配管等撤去後の不要な躯体開口はモルタル等で埋め戻すこと。
- 施工に先立ち、ピット内湧水排水・清掃を行うこと。

改修後



■穴明・補修リスト (参考)

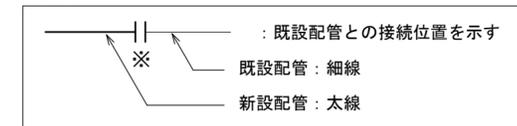
配管種	配管径	貫通径	数量		数量合計
			男子	女子	
給水	25φ以下	75φ	2	2	4
	30~50φ	100φ			
排水管 通気管	30~50φ	75φ	5	3	8
	65φ	100φ			
	75φ	125φ		1	
	100φ	150φ	1	1	2

⊙ : はつり補修位置を示す

便所 平面詳細図 S=1:50

床スラブ 改修範囲

■記号凡例



(特記)

- 凡例に従い図中の機器・器具・配管の新設一式を行う。
- 機器・器具の詳細については別紙機器表・器具表を参照。
- 特記なき配管は見上げとする。
- 配管貫通部は原則既存再利用とし、新たな梁貫通は行わないこと。
- 床・壁の配管貫通部の穴明け(はつり補修)は鉄筋探査を行い監督員と協議の後施工すること。

図面名 機械設備工事

内便所 平面詳細図 【プール棟】

縮尺 S=1:50

【A2:原版 A3:71%縮小】

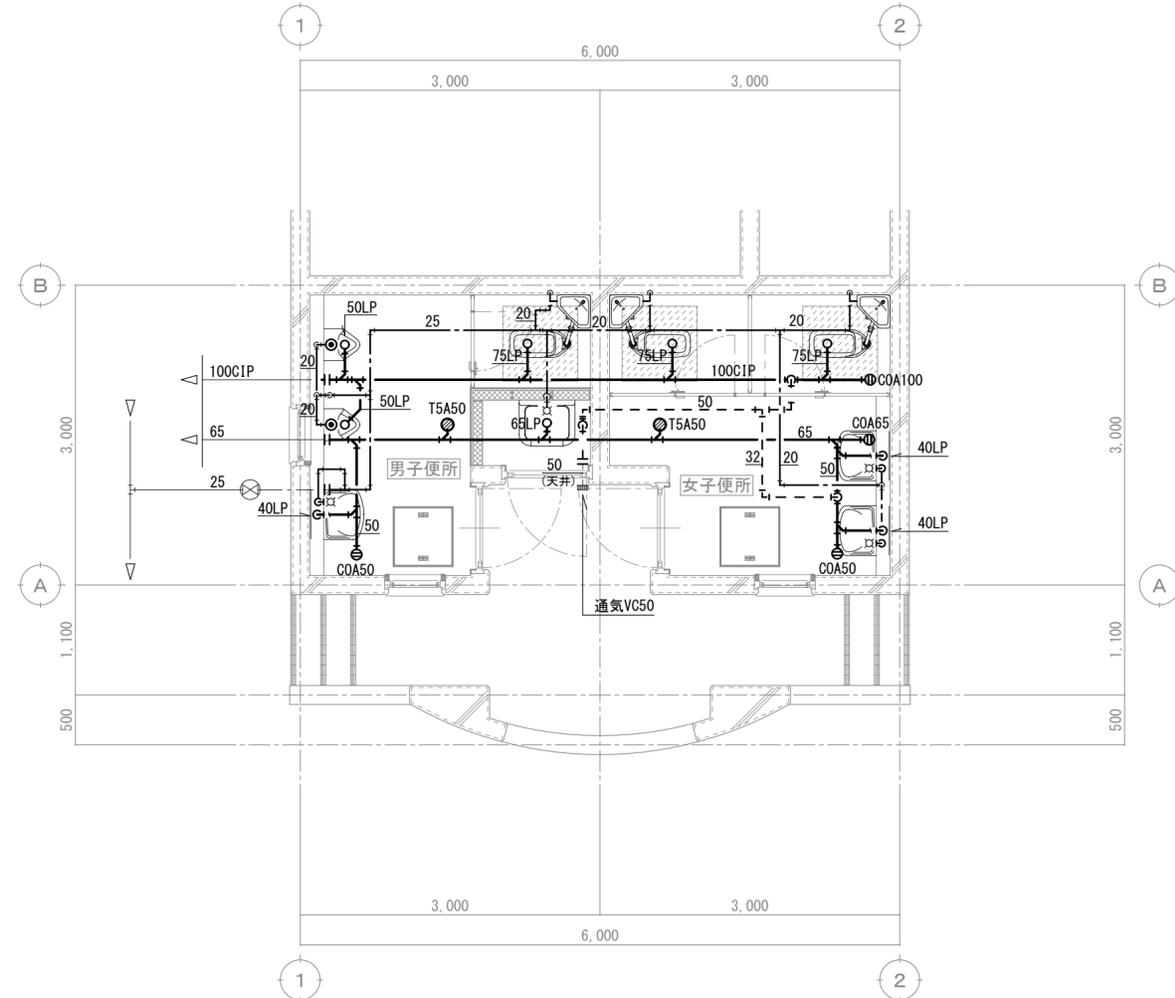
図面種別

M

図面番号

23

改修前



外便所 平面詳細図 S=1:50

床スラブ 撤去範囲

■撤去配管リスト

記号	名称	管種
---	給水管	硬質塩ビライニング鋼管
---	排水管	配管用炭素鋼鋼管(白)
---CIP	排水管	排水用鑄鉄管
---LP	排水管	排水用鉛管
---VC	排水通気管	配管用炭素鋼鋼管(白)

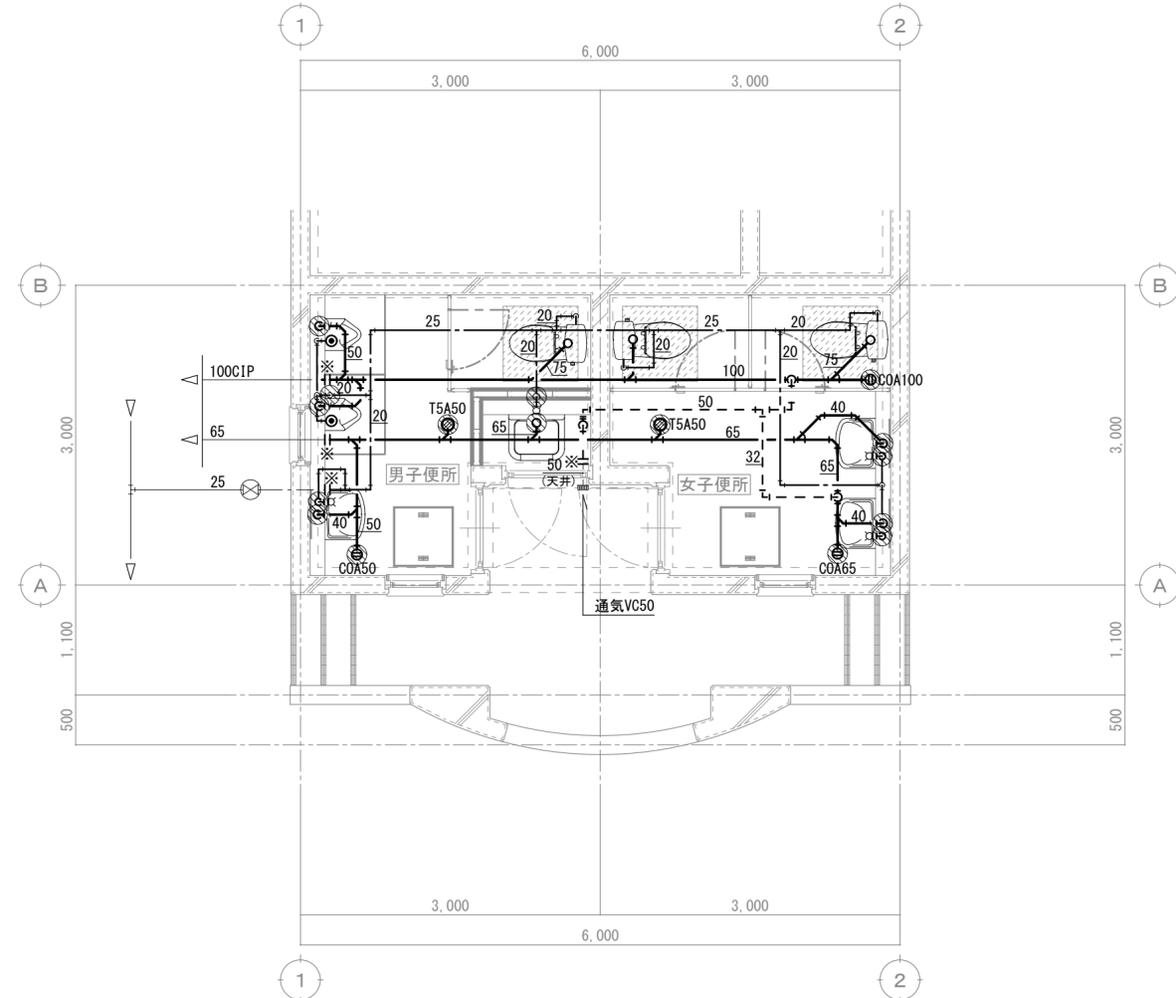
■記号凡例



(特記)

1. 凡例に従い図中の機器・器具・配管の撤去・処分一式を行う。
2. 機器・器具の詳細については別紙機器表を参照。
3. 機器・器具・配管等撤去後の不要な躯体開口はモルタル等で埋め戻すこと。
4. 施工に先立ち、ピット内湧水排水・清掃を行うこと。

改修後



外便所 平面詳細図 S=1:50

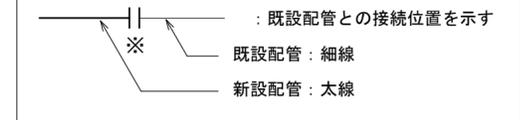
床スラブ 改修範囲

■穴明・補修リスト (参考)

配管種	配管径	貫通径	数量		数量合計
			男子	女子	
給水	25φ以下	75φ	3	2	5
	30~50φ	100φ			
排水管	30~50φ	75φ	3	2	5
	65φ	100φ	1		1
	75φ	125φ			
通気管	100φ	150φ	2	3	5

⊙ : はつり補修位置を示す

■記号凡例



(特記)

1. 凡例に従い図中の機器・器具・配管の新設一式を行う。
2. 機器・器具の詳細については別紙機器表・器具表を参照。
3. 特記なき配管は見下げとする。
4. 配管貫通部は原則既存再利用とし、新たな梁貫通は行わないこと。
5. 床・壁の配管貫通部の穴明け(はつり補修)は鉄筋探査を行い監督員と協議の後施工すること。